

令和6年度
「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」及び
「在宅介護実態調査」結果報告書

令和6（2024）年11月

葛飾区



目 次

第 1 章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1
Ⅰ 調査の概要	3
1 調査目的	3
2 調査実施概要	3
3 回収結果	3
4 報告書の内容に関する留意点	3
Ⅱ 調査結果	4
1 調査対象者本人について	4
（1）回答者	4
（2）性別	5
（3）年齢	6
（4）認定状況	7
2 家族や生活状況	8
（1）家族構成	8
（2）介護・介助の必要性	9
（3）経済状況	13
（4）住まい	14
3 からだを動かすこと	15
（1）階段を昇る	15
（2）椅子からの立ち上がり	16
（3）15 分続けて歩く	17
（4）転んだ経験	18
（5）転倒に対する不安	19
（6）閉じこもりについて	20
（7）昨年と比べて外出回数は減っているか	21
（8）外出を控えているか	22
（9）外出する際の移動手段	24
4 食べること	26
（1）身長・体重（BMI）	26
（2）固いものの食べにくさ	27
（3）むせること	28
（4）口の渇き	29
（5）毎日の歯磨き	30
（6）歯の数	31
（7）体重の減少	34
（8）食事をともにする機会	35

5	毎日の生活	36
(1)	認知機能	36
(2)	電話をかける	37
(3)	日付がわからない時がある	38
(4)	1人での外出	39
(5)	買物	40
(6)	食事の用意	41
(7)	請求書の支払い	42
(8)	預貯金の出し入れ	43
(9)	年金等の書類が書ける	44
(10)	新聞を読む	45
(11)	本や雑誌を読む	46
(12)	健康についての記事・番組への関心	47
(13)	友人の家を訪ねているか	48
(14)	家族や友人の相談にのるか	49
(15)	病人を見舞うことができる	50
(16)	若い人への話しかけ	51
(17)	趣味	52
(18)	生きがい	54
6	地域での活動	56
(1)	参加の頻度	56
(2)	地域づくり活動へ参加者として参加したいか	64
(3)	地域づくり活動へ世話役として参加したいか	65
7	たすけあい	66
(1)	相談を聞いてくれる人	66
(2)	相談を聞いてあげる人	67
(3)	病気の世話をしてくれる人	68
(4)	病気の世話をしてあげる人	69
(5)	家族や友人・知人以外で相談する人	70
(6)	友人・知人と会う頻度	71
(7)	1か月間に会った友人・知人の数	72
(8)	よく会う友人・知人の関係	73
8	健康	74
(1)	現在の健康状態	74
(2)	現在の幸福度	75
(3)	気分が沈むこと	76
(4)	物事に対して興味がわかないこと	77
(5)	お酒	78
(6)	タバコ	79
(7)	治療中・後遺症のある病気	80

9	住まいや暮らしの環境	82
	(1) 現在の住まいに住みたいか	82
	(2) 住みたい理由	83
	(3) 住みたいと思わない理由	84
	(4) 今後暮らしたいと思う場所	85
	(5) 現在の住まいに住み続ける上での不安	86
10	認知症にかかる相談窓口の把握	88
	(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	88
	(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか	89
11	高齢者総合相談センター	90
	(1) 高齢者総合相談センターの認知度	90
12	各種リスクの状況	91
	(1) 運動器について	92
	(2) 転倒について	94
	(3) 閉じこもりについて	96
	(4) 低栄養状態について	98
	(5) 口腔機能について	100
	(6) 認知機能について	102
	(7) うつ傾向について	104

第2章 在宅介護実態調査 107

I	調査の概要	109
1	調査目的	109
2	調査実施概要	109
3	回収結果	109
4	報告書の内容に関する留意点	109
II	調査結果	110
1	調査対象者本人について	110
	(1) 回答者	110
	(2) 世帯類型	110
	(3) 性別と年齢	111
	(4) 認定状況	112
	(5) 本人の収入	113
	(6) 本人の1年間の手取り額	114
	(7) 施設等への入所・入居の検討状況	115
	(8) 現在抱えている傷病	117
	(9) 令和6年6月の1か月間における介護保険サービス利用の有無	119
	(10) 介護保険サービス別の利用状況	120
	(11) 介護保険サービスを利用していない理由	122

(12) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス.....	124
(13) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	125
(14) 訪問診療の利用の有無	125
(15) 家族・親族からの1週間あたりの介護	127
2 主な介護者について	128
(1) 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族.....	128
(2) 主な介護者	129
(3) 主な介護者の性別と年齢	131
(4) 主な介護者が行っている介護等	133
(5) 主な介護者が不安に感じる介護等	134
(6) 主な介護者の現在の勤務形態	136
(7) 介護者の働き方調整	138
(8) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援.....	139
(9) 働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み.....	140
3 過去3年間の比較	141
(1) 施設等への入所・入居の検討状況	141
(2) 1か月間の介護サービス利用の有無	142
(3) 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族.....	143
(4) 主な介護者が不安に感じる介護	144
(5) 働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み.....	145

第3章 調査票..... 147

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	149
2 在宅介護実態調査	165



第1章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、高齢者の方々の生活状況や健康状態などの傾向を把握し、今後区が取り組むべき高齢者施策の検討に活用するための基礎資料とする目的として、厚生労働省の調査手法に基づき実施しました。

2 調査実施概要

調査対象	65 歳以上の高齢者（要介護 1 以上の認定を受けている方を除く）
対象者数	2,500 人（無作為により抽出）
調査方法	郵送配付・郵送回収
調査期間	令和 6（2024）年 7 月 3 日（水）～ 8 月 5 日（月）

3 回収結果

配付数	回収数	有効回答数
2,500 人	1,645 人 （回答率 65.8%）	1,645 人 （回答率 65.8%）

4 報告書の内容に関する留意点

- 回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。端数調整はしていないため、合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「回答者数=1,645 人」及び(1,645)は、集計対象者数を示しています。質問によっては、該当する条件の人のみが回答しているため、1,645 人より少ない集計対象者数となり、条件によって集計対象者数は異なります。
- 複数回答は、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合の高い回答から記載しています。ただし、「その他」や「わからない」など、具体的な内容を含まない選択肢は下に記載しています。
- 図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化して掲載している場合があります。簡略化していない選択肢は、第3章 調査票をご参照ください。
- 本報告書は厚生労働省が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき作成しており、「運動器について」「転倒について」「閉じこもりについて」「低栄養状態について」「口腔機能について」「認知機能について」「うつ傾向について」の7つのリスクに該当する回答者の割合を算出し、認定状況別・日常生活圏域別に分析しています。

Ⅱ 調査結果

1 調査対象者本人について

(1) 回答者

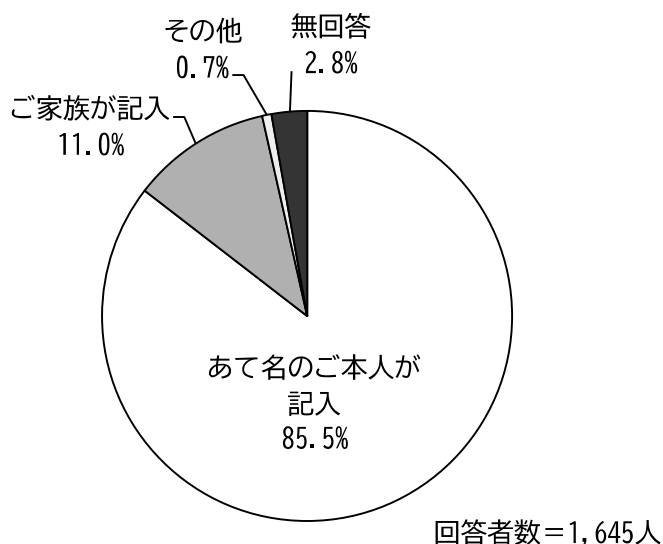
調査票を記入されたのはどなたですか（1つを選択）

回答者は、全体では「あて名のご本人が記入」85.5%、「ご家族が記入」11.0%、「その他」0.7%となっています。

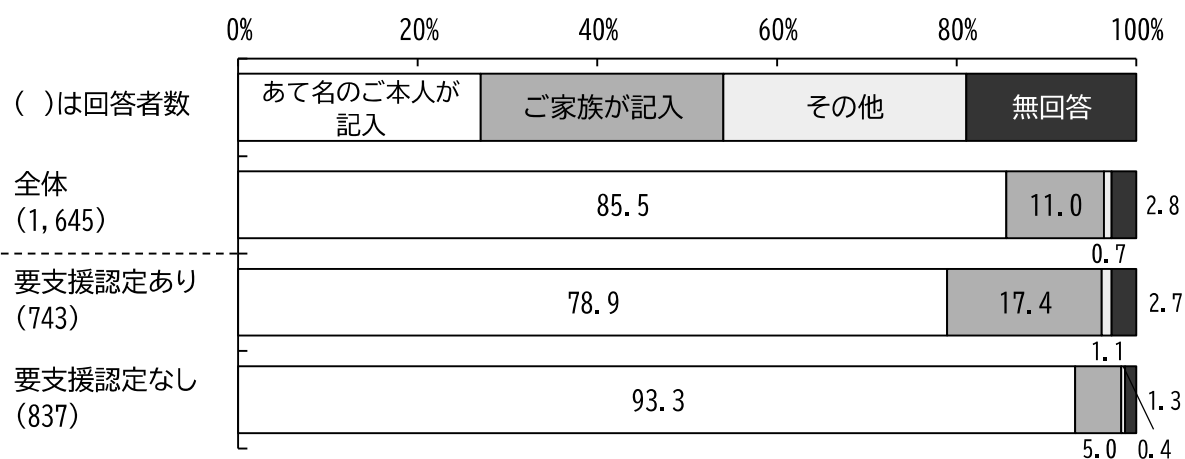
要支援認定あり(7 ページ)では、「あて名のご本人が記入」78.9%、「ご家族が記入」17.4%となっています。

要支援認定なしでは、「あて名のご本人が記入」93.3%、「ご家族が記入」5.0%となっています。「あて名のご本人が記入」は、要支援認定ありに比べ 14.4 ポイント高くなっています。

図表 1-1 回答者



図表 1-2 回答者【認定状況別】



(2) 性別

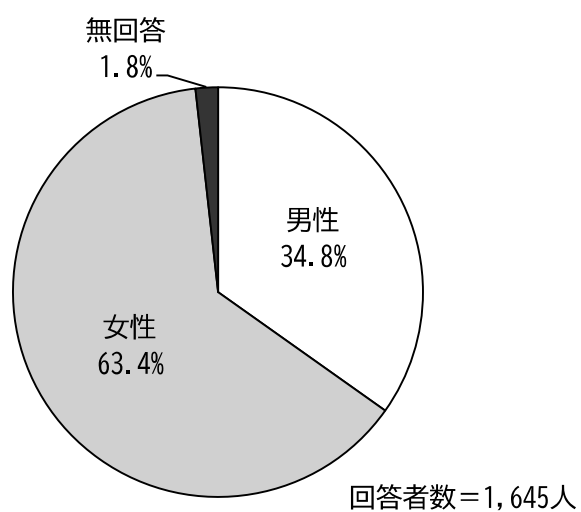
あなたの性別をお答えください（1つを選択）

性別は、全体では「男性」34.8%、「女性」63.4%です。

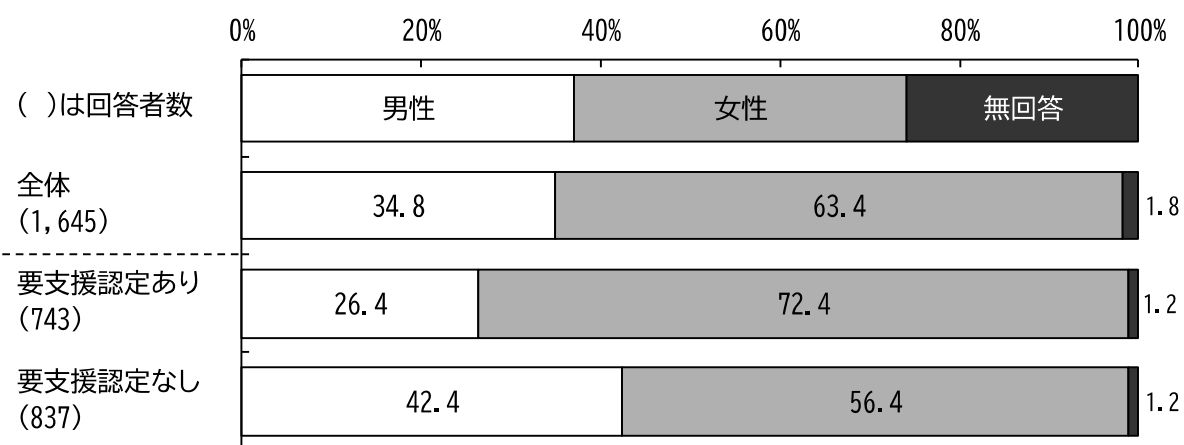
要支援認定ありでは、「男性」26.4%、「女性」72.4%となっています。

要支援認定なしでは、「男性」42.4%、「女性」56.4%となっています。

図表 1-3 性別



図表 1-4 性別【認定状況別】



(3) 年齢

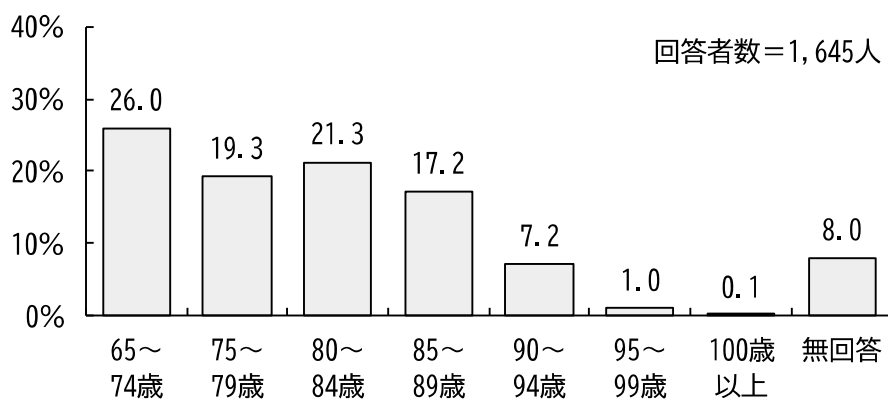
あなたの令和6年7月1日現在の年齢をお答えください（記述）

年齢は、全体では「65～74 歳」26.0%が最も高く、次いで「80～84 歳」21.3%、「75～79 歳」19.3%、「85～89 歳」17.2%が続いています。

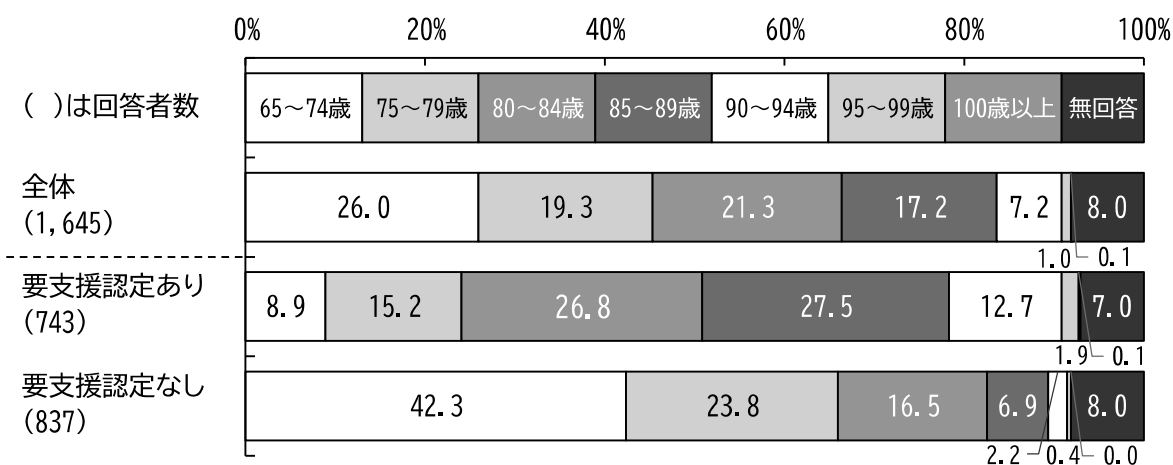
要支援認定ありでは、「85～89 歳」27.5%が最も高く、次いで「80～84 歳」26.8%、「75～79 歳」15.2%が続いています。

要支援認定なしでは、「65～74 歳」42.3%が最も高く、次いで「75～79 歳」23.8%、「80～84 歳」16.5%が続き、年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

図表 1-5 年齢



図表 1-6 年齢【認定状況別】



(4) 認定状況

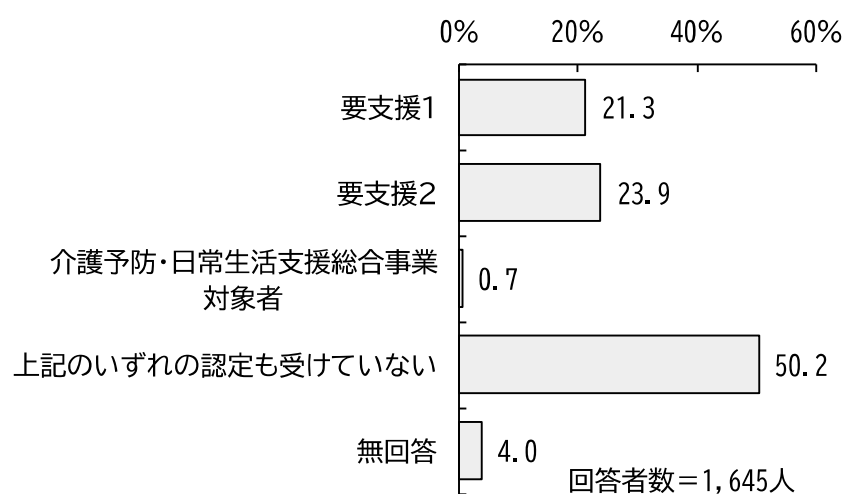
あなたの要介護認定の状況をお答えください（1つを選択）

認定状況は、全体では「要支援1」21.3%、「要支援2」23.9%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者(※)」0.7%であり、これらは合わせて 45.9%です。「上記のいずれの認定も受けていない」は最も高い 50.2%となっています。

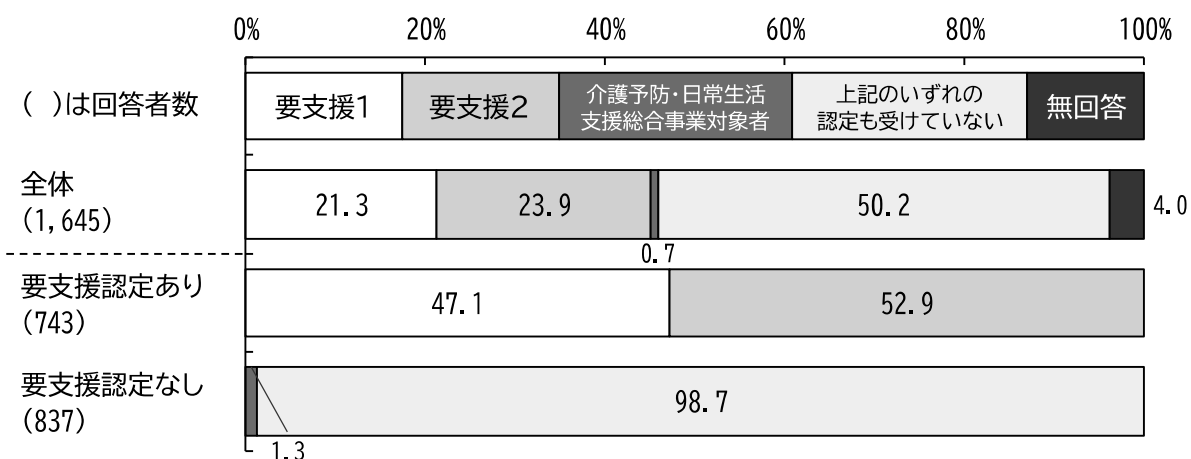
要支援認定ありでは、「要支援1」47.1%、「要支援2」52.9%となっています。

※高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)で「65 歳からのいきいき元気度チェック（基本チェックリスト）」を受け、介護予防の支援が必要と判断された方です。

図表 1-7 認定状況



図表 1-8 認定状況（詳細）【認定状況別】



2 家族や生活状況

(1) 家族構成

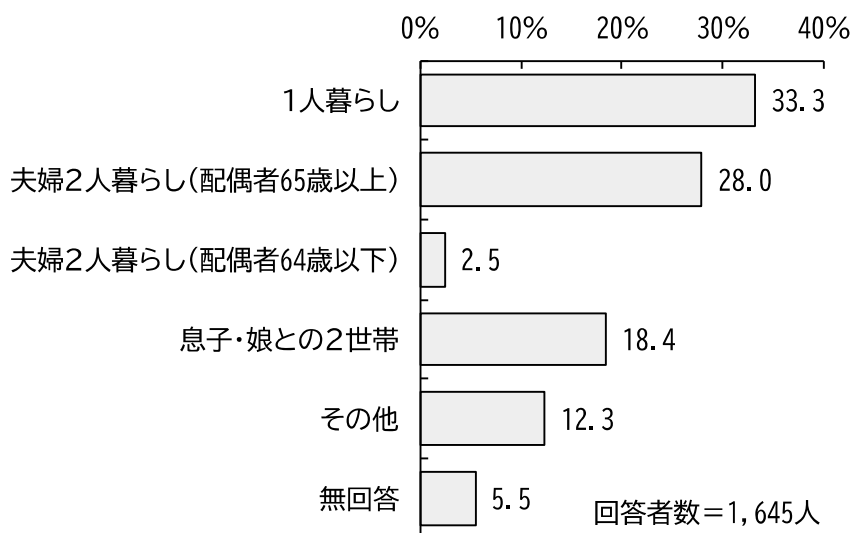
問1 (1) 家族構成をお教えてください (1つを選択)

家族構成は、「1人暮らし」33.3%が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」28.0%、「息子・娘との2世帯」18.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)」2.5%となっています。

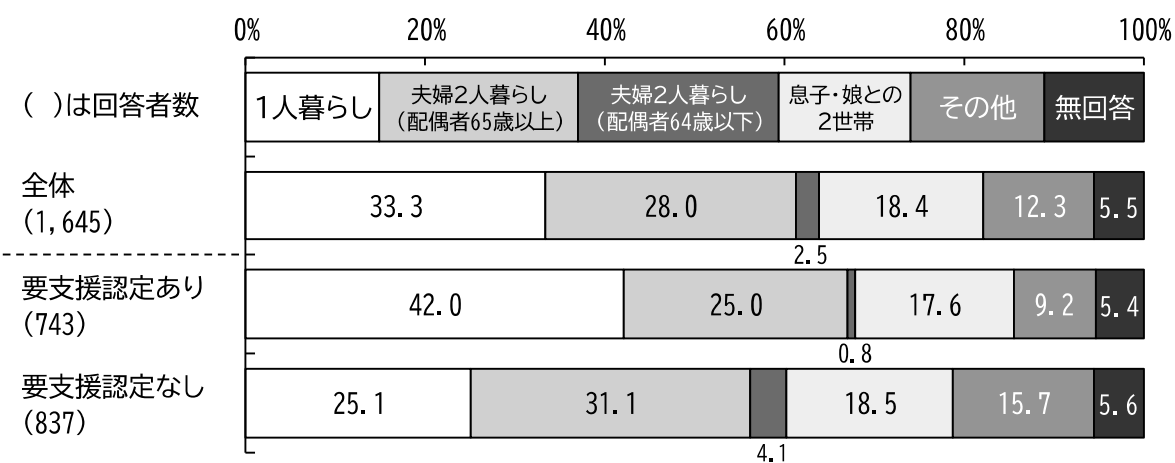
要支援認定ありでは、「1人暮らし」42.0%が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」25.0%、「息子・娘との2世帯」17.6%が続いています。

要支援認定なしでは、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」31.1%が最も高く、次いで「1人暮らし」25.1%、「息子・娘との2世帯」18.5%が続いています。

図表 1-9 家族構成



図表 1-10 家族構成【認定状況別】



(2) 介護・介助の必要性

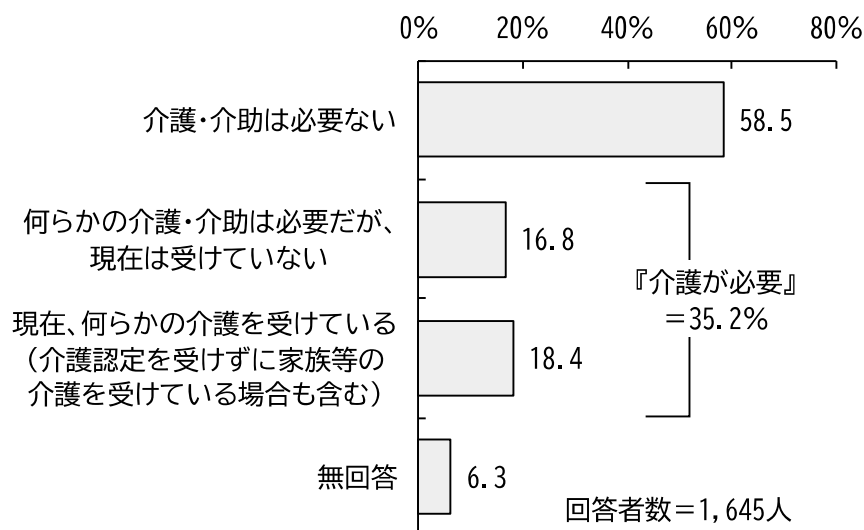
問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つを選択)

介護・介助の必要性は、全体では「介護・介助は必要ない」58.5%が最も高く、一方、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」18.4%と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」16.8%を合わせた『介護が必要』35.2%となっています。

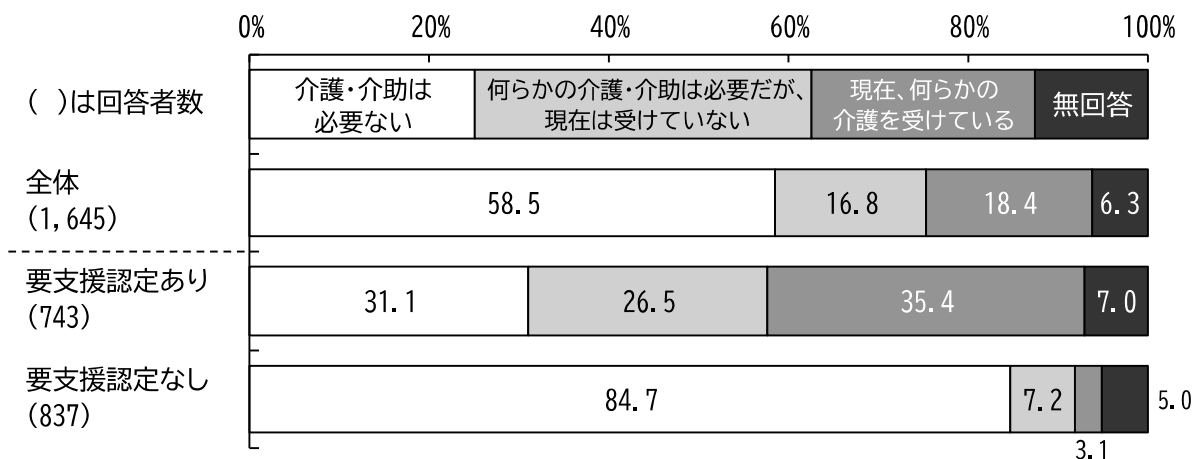
要支援認定ありでは、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」35.4%が最も高く、「介護・介助は必要ない」31.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」26.5%となっています。

要支援認定なしでは、「介護・介助は必要ない」84.7%が最も高くなっています。

図表 1-11 介護・介助の必要性



図表 1-12 介護・介助の必要性【認定状況別】



① 介護・介助が必要になった主な原因

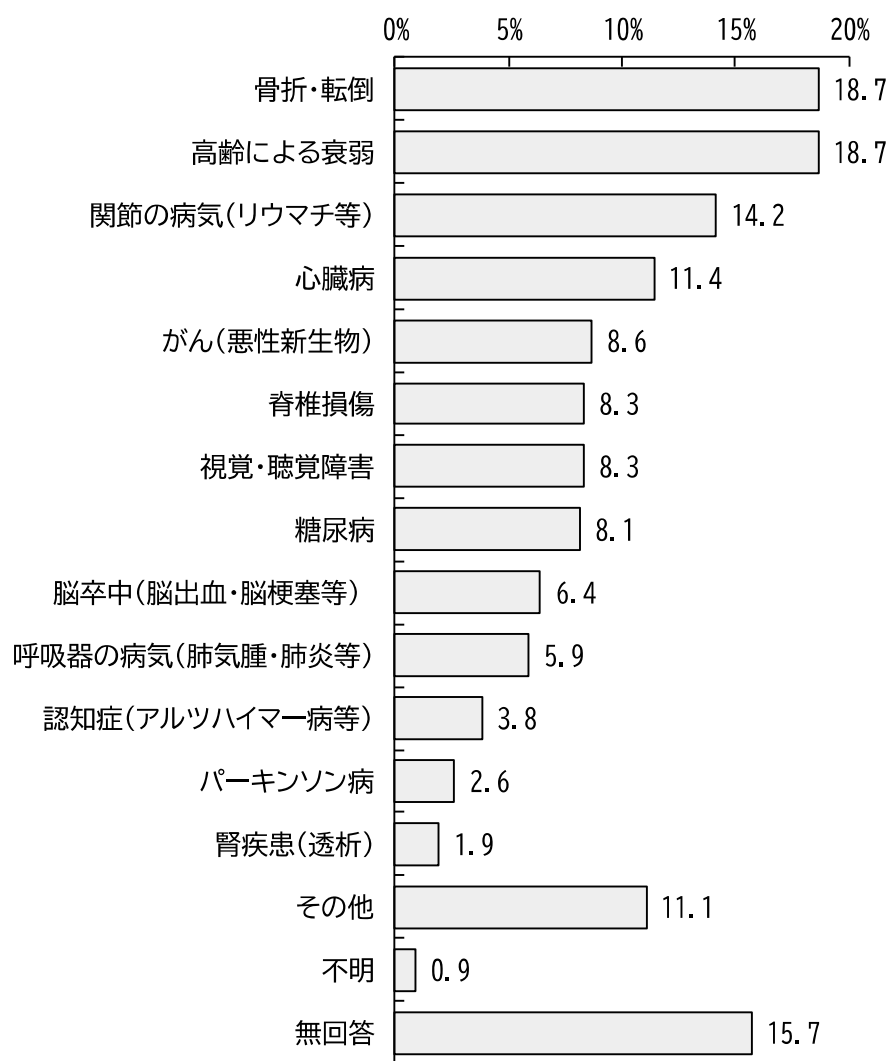
問 1 (2) ① 【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、全体では「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに18.7%で最も高く、次いで「関節の病気(リウマチ等)」14.2%、「心臓病」11.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに 20.0%、「関節の病気(リウマチ等)」15.9%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「高齢による衰弱」15.1%、「骨折・転倒」14.0%、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」12.8%が上位3位となっています。

図表 1-13 介護・介助が必要になった主な原因 (複数回答)



回答者数=579人

図表 1-14 介護・介助が必要になった主な原因【認定状況別】

		回答者数	骨折・転倒	高齢による衰弱	関節の病気 (リウマチ等)	心臓病	がん (悪性新生物)	脊椎損傷	視覚・聴覚障害	糖尿病
全体		579 100.0	108 18.7	108 18.7	82 14.2	66 11.4	50 8.6	48 8.3	48 8.3	47 8.1
認定状況別	要支援認定あり	460 100.0	92 20.0	92 20.0	73 15.9	55 12.0	40 8.7	40 8.7	44 9.6	35 7.6
	要支援認定なし	86 100.0	12 14.0	13 15.1	7 8.1	5 5.8	10 11.6	5 5.8	4 4.7	8 9.3

		回答者数	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答
全体		579 100.0	37 6.4	34 5.9	22 3.8	15 2.6	11 1.9	64 11.1	5 0.9	91 15.7
認定状況別	要支援認定あり	460 100.0	28 6.1	19 4.1	13 2.8	14 3.0	8 1.7	53 11.5	4 0.9	59 12.8
	要支援認定なし	86 100.0	4 4.7	11 12.8	7 8.1	0 0.0	3 3.5	8 9.3	1 1.2	23 26.7

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

② 主な介護者・介助者

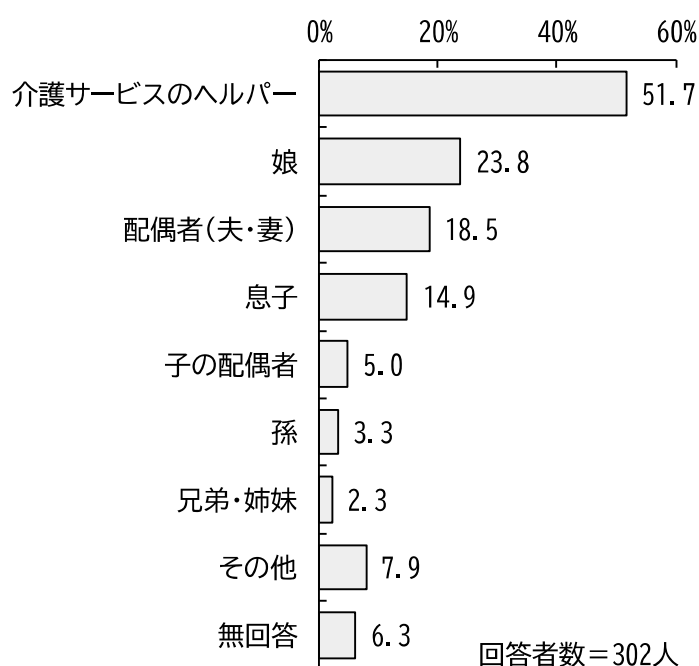
問１（２）②【（２）において「３．現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

主な介護者・介助者は、全体では「介護サービスのヘルパー」51.7%が最も高く、次いで「娘」23.8%、「配偶者(夫・妻)」18.5%、「息子」14.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「介護サービスのヘルパー」54.8%、「娘」24.3%、「配偶者(夫・妻)」17.1%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「娘」26.9%、「配偶者(夫・妻)」23.1%、「介護サービスのヘルパー」19.2%が上位3位となっています。

図表 1-15 主な介護者・介助者（複数回答）



図表 1-16 主な介護者・介助者【認定状況別】

		回答者数	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者(夫・妻)	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		302	156	72	56	45	15	10	7	24	19
		100.0	51.7	23.8	18.5	14.9	5.0	3.3	2.3	7.9	6.3
認定状況別	要支援認定あり	263	144	64	45	43	13	9	5	20	14
		100.0	54.8	24.3	17.1	16.3	4.9	3.4	1.9	7.6	5.3
	要支援認定なし	26	5	7	6	1	2	1	1	2	5
		100.0	19.2	26.9	23.1	3.8	7.7	3.8	3.8	7.7	19.2

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(3) 経済状況

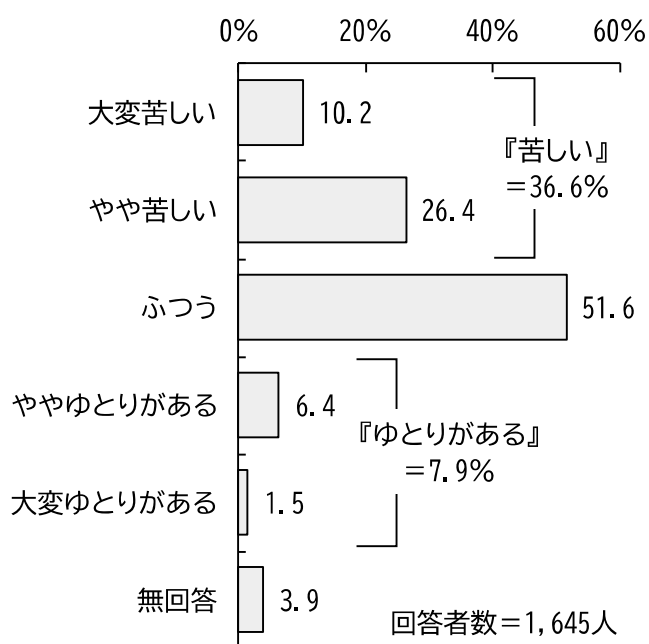
問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つを選択)

経済状況は、全体では「ふつう」51.6%が最も高く、次いで「やや苦しい」26.4%と「大変苦しい」10.2%を合わせた『苦しい』が 36.6%となっています。また、「ややゆとりがある」6.4%と「大変ゆとりがある」1.5%を合わせた『ゆとりがある』が 7.9%となっています。

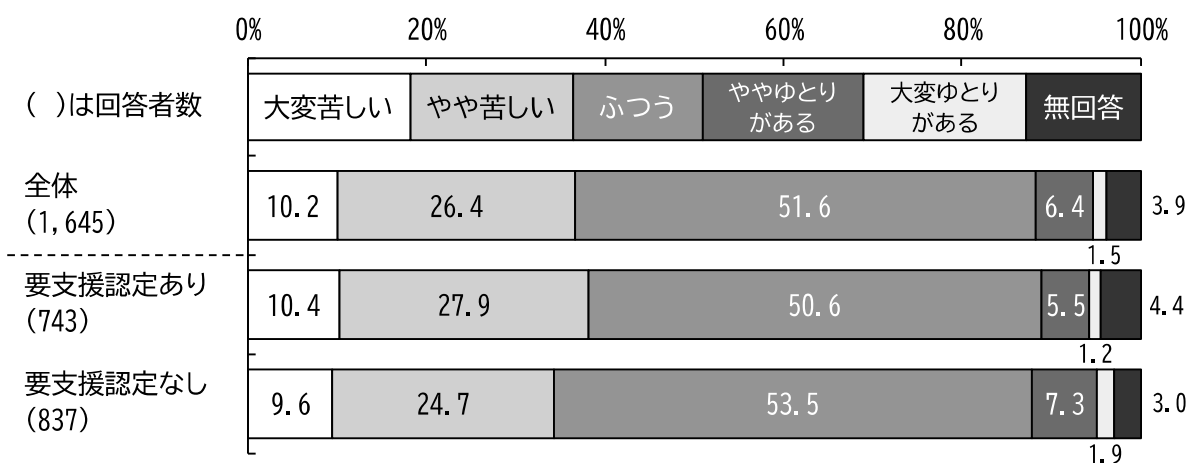
要支援認定ありでは、「ふつう」50.6%が最も高く、「やや苦しい」27.9%、「大変苦しい」10.4%が続いています。

要支援認定なしでは、「ふつう」53.5%が最も高く、「やや苦しい」24.7%、「大変苦しい」9.6%が続いています。

図表 1-17 経済状況



図表 1-18 経済状況【認定状況別】



(4) 住まい

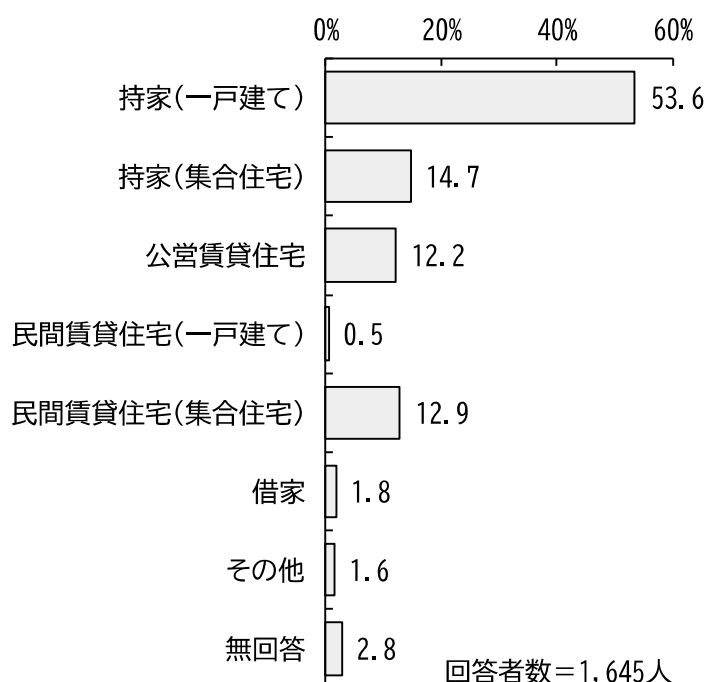
問1 (4) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか (1つを選択)

住まいは、全体では「持家(一戸建て)」53.6%が最も高く、次いで「持家(集合住宅)」14.7%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」12.9%、「公営賃貸住宅」12.2%が続いています。

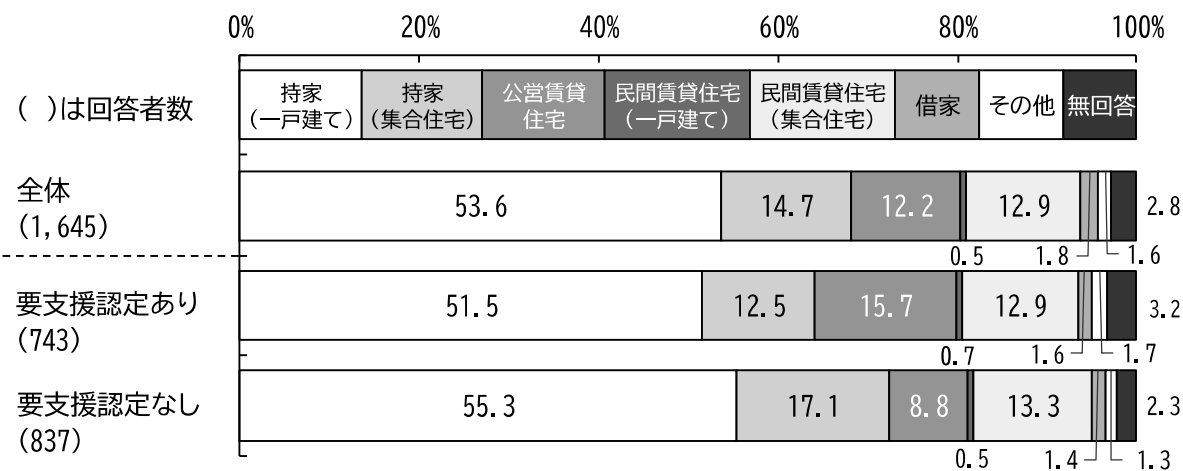
要支援認定ありでは、「持家(一戸建て)」51.5%が最も高く、次いで「公営賃貸住宅」15.7%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」12.9%が続いています。

要支援認定なしでは、「持家(一戸建て)」55.3%が最も高く、次いで「持家(集合住宅)」17.1%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」13.3%が続いています。

図表 1-19 住まい



図表 1-20 住まい【認定状況別】



3 からだを動かすこと

(1) 階段を昇る

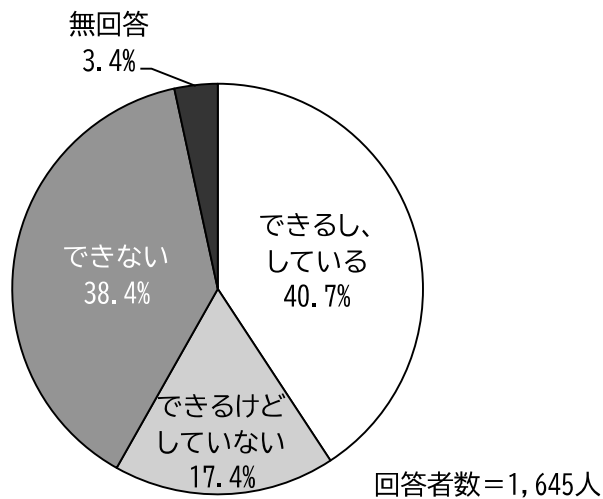
問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つを選択)

階段を昇る動作は、全体では「できるし、している」40.7%が最も高く、次いで「できない」38.4%、「できるけどしていない」17.4%となっています。

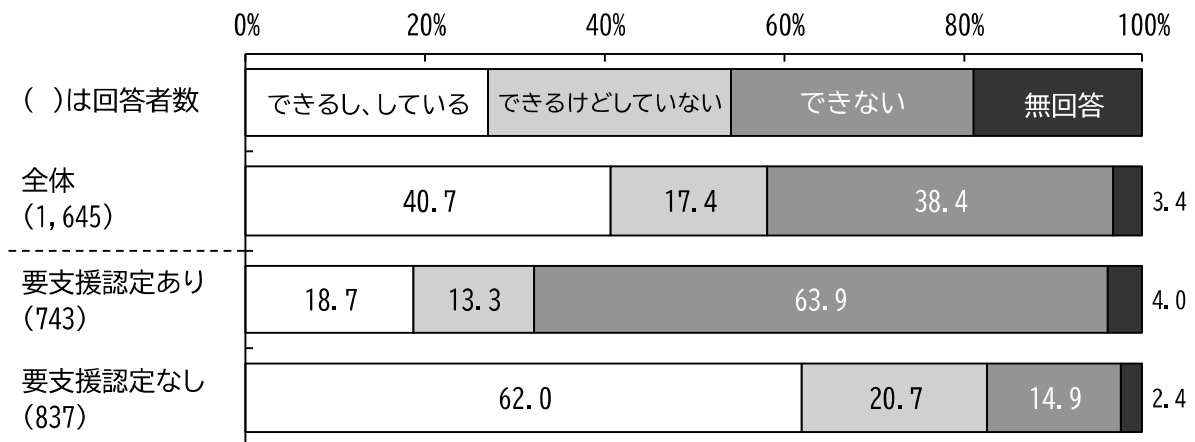
要支援認定ありでは、「できない」63.9%が最も高い割合になっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」62.0%が最も高い割合になっています。

図表 1-21 階段を昇る



図表 1-22 階段を昇る【認定状況別】



（２）椅子からの立ち上がり

問２（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

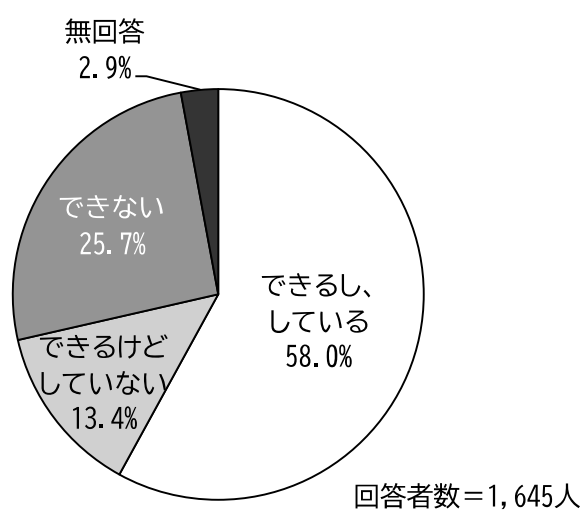
（１つを選択）

椅子からの立ち上がりの動作は、全体では「できるし、している」58.0%が最も高く、次いで「できない」25.7%、「できるけどしていない」13.4%となっています。

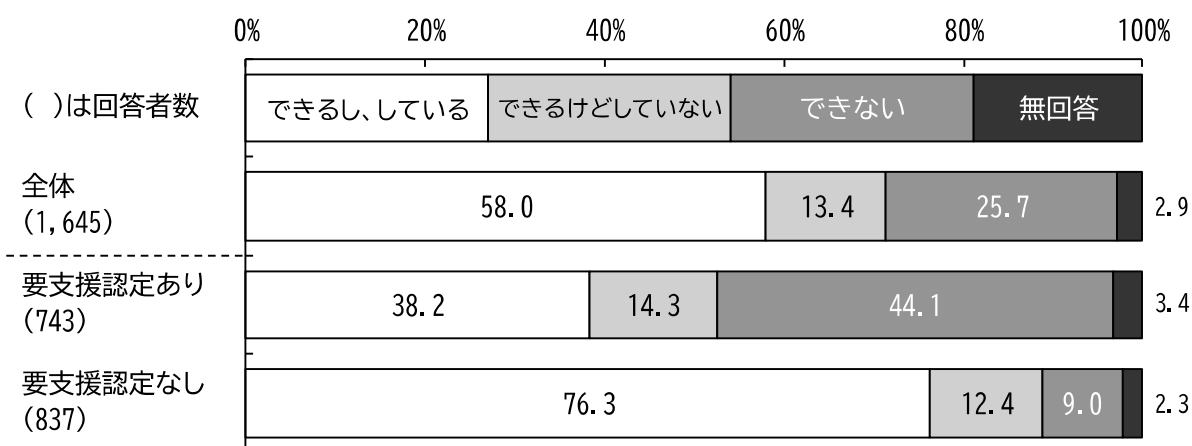
要支援認定ありでは、「できない」44.1%が最も高い割合になっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」76.3%が最も高い割合になっています。

図表 1-23 椅子からの立ち上がり



図表 1-24 椅子からの立ち上がり【認定状況別】



(3) 15 分続けて歩く

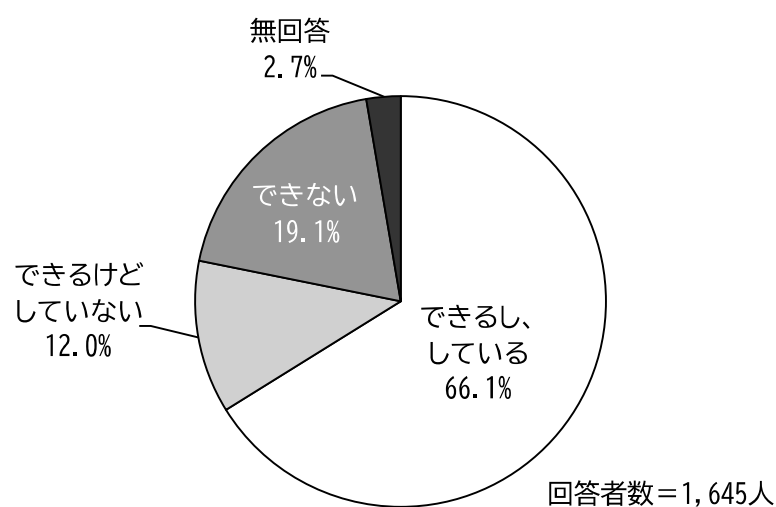
問2 (3) 15 分くらい続けて歩いていますか (1つを選択)

15 分続けて歩く動作は、全体では「できるし、している」66.1%が最も高く、次いで「できない」19.1%、「できるけどしていない」12.0%となっています。

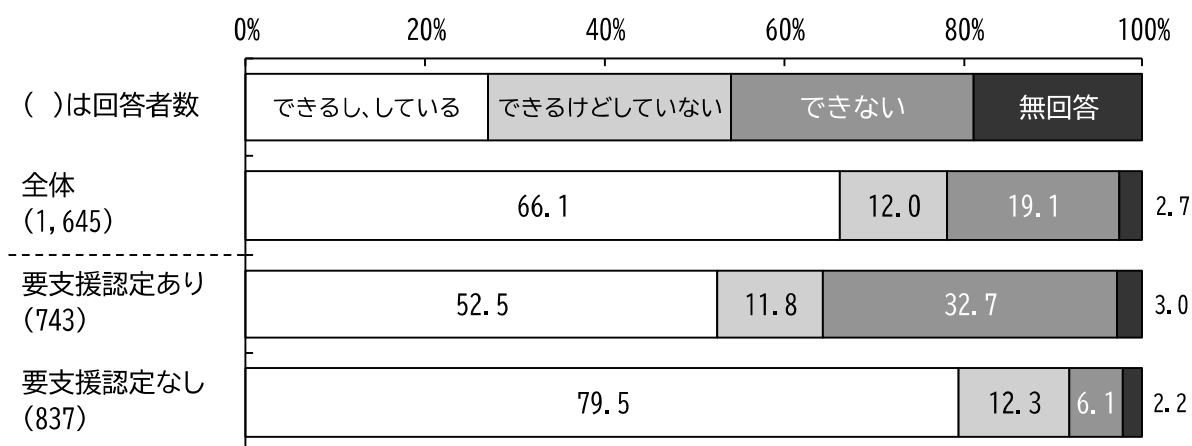
要支援認定ありでは、「できるし、している」52.5%、「できない」32.7%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」79.5%、「できるけどしていない」12.3%となっています。

図表 1-25 15 分続けて歩く



図表 1-26 15 分続けて歩く【認定状況別】



(4) 転んだ経験

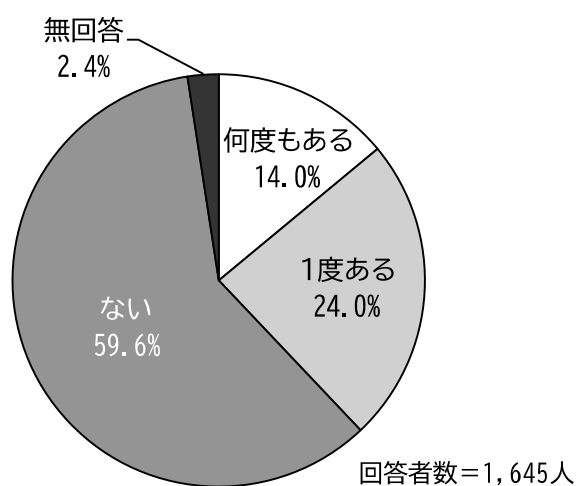
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(1つを選択)

転んだ経験は、全体では「ない」59.6%が最も高く、次いで「1度ある」24.0%、「何でもある」14.0%となっています。

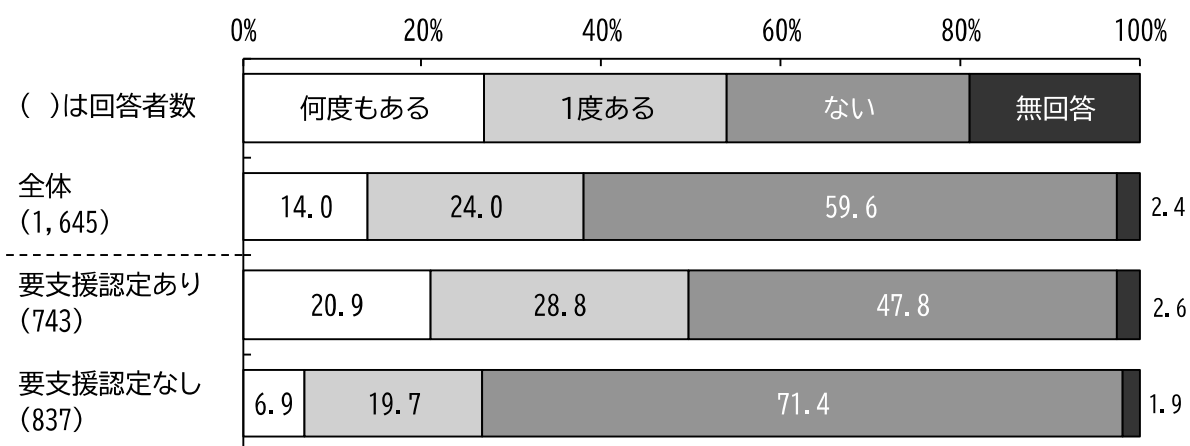
要支援認定ありでは、「ない」47.8%が最も高いものの、「何でもある」「1度ある」を合わせると49.7%となっています。

要支援認定なしでは、「ない」71.4%が最も高い割合となっています。

図表 1-27 転んだ経験



図表 1-28 転んだ経験【認定状況別】



（５）転倒に対する不安

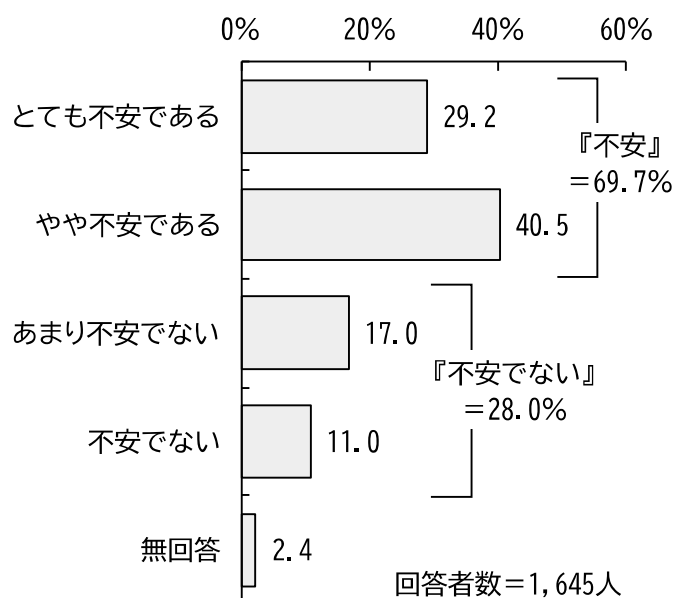
問２（５）転倒に対する不安は大きいですか（１つを選択）

転倒に対する不安は、全体では「やや不安である」40.5%が最も高く、次いで「とても不安である」29.2%、「あまり不安でない」17.0%、「不安でない」11.0%となっています。

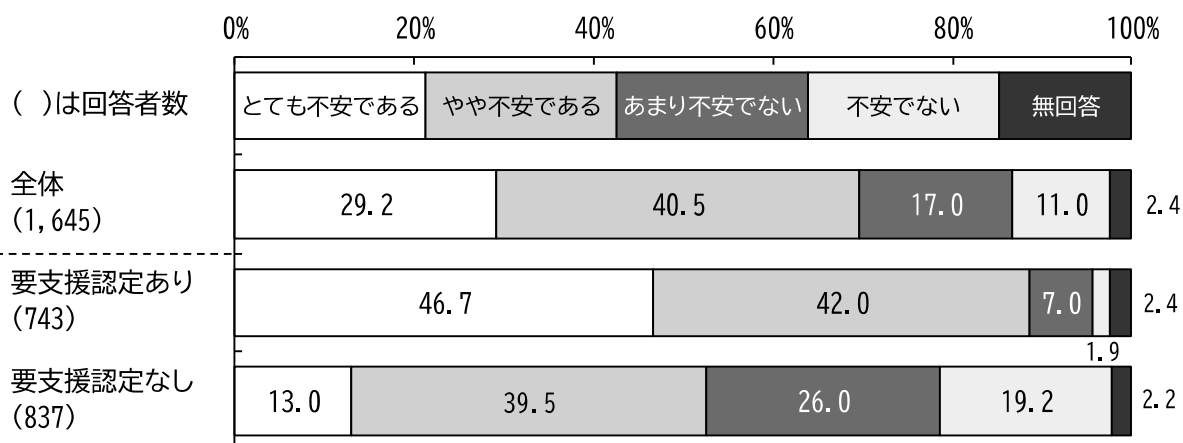
要支援認定ありでは、「とても不安である」46.7%が最も高く、「やや不安である」42.0%を合わせると 88.7%で9割近くが不安を感じています。

要支援認定なしでは、「やや不安である」39.5%が最も高く、「とても不安である」13.0%を合わせた『不安』は 52.5%となっています。

図表 1-29 転倒に対する不安



図表 1-30 転倒に対する不安【認定状況別】



（６）閉じこもりについて

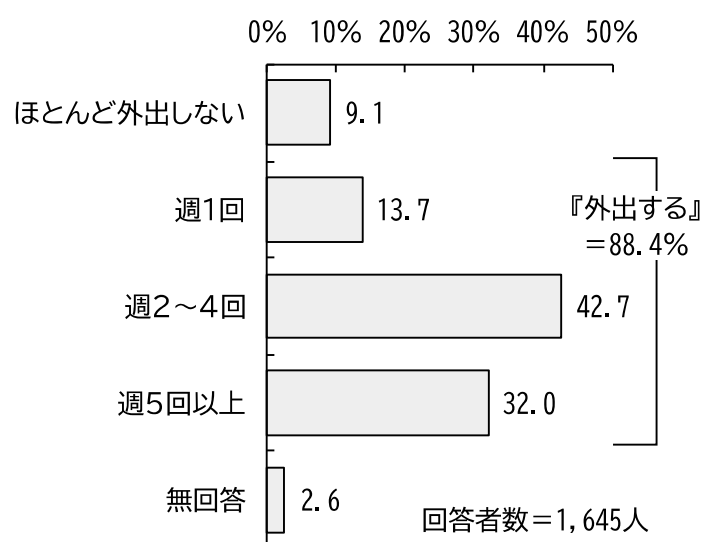
問２（６）週に１回以上は外出していますか（１つを選択）

閉じこもりについては、全体では「週２～４回」４２．７％が最も高く、これと「週５回以上」３２．０％、「週１回」１３．７％を合わせた『外出する』８８．４％は９割近くとなっています。一方、「ほとんど外出しない」９．１％は１割を下回っています。

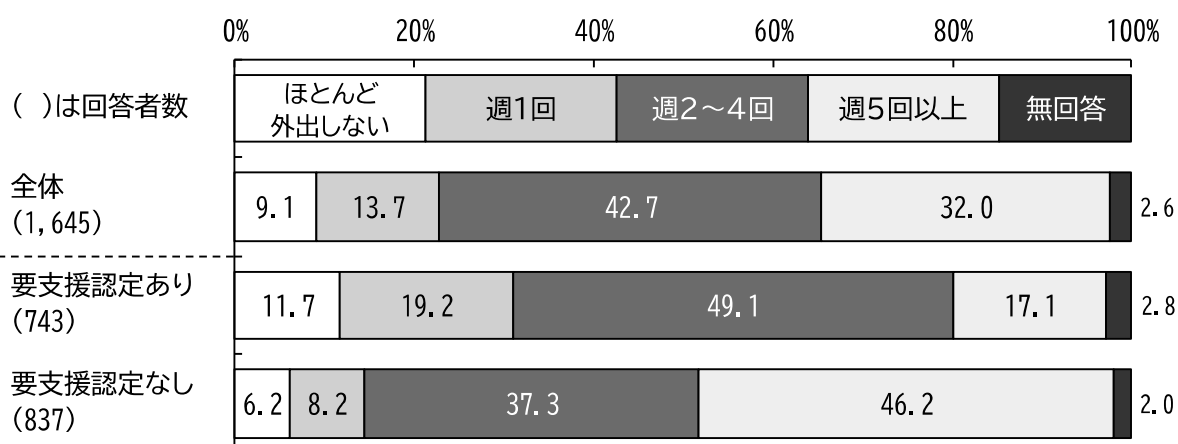
要支援認定ありでは、「週２～４回」４９．１％が最も高く、次いで「週１回」１９．２％、「週５回以上」１７．１％が続いています。

要支援認定なしでは、「週５回以上」４６．２％が最も高く、次いで「週２～４回」３７．３％、「週１回」８．２％が続いています。

図表 １-31 閉じこもりについて



図表 １-32 閉じこもりについて【認定状況別】



（７）昨年と比べて外出回数は減っているか

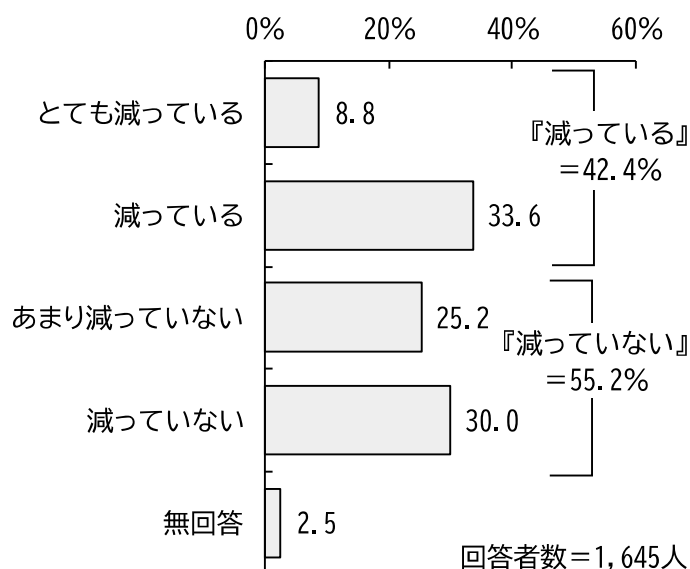
問２（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか（１つを選択）

昨年と比べて外出回数が減っているかについては、全体では「減っている」33.6%が最も高く、次いで「減っていない」30.0%、「あまり減っていない」25.2%、「とても減っている」8.8%となっています。

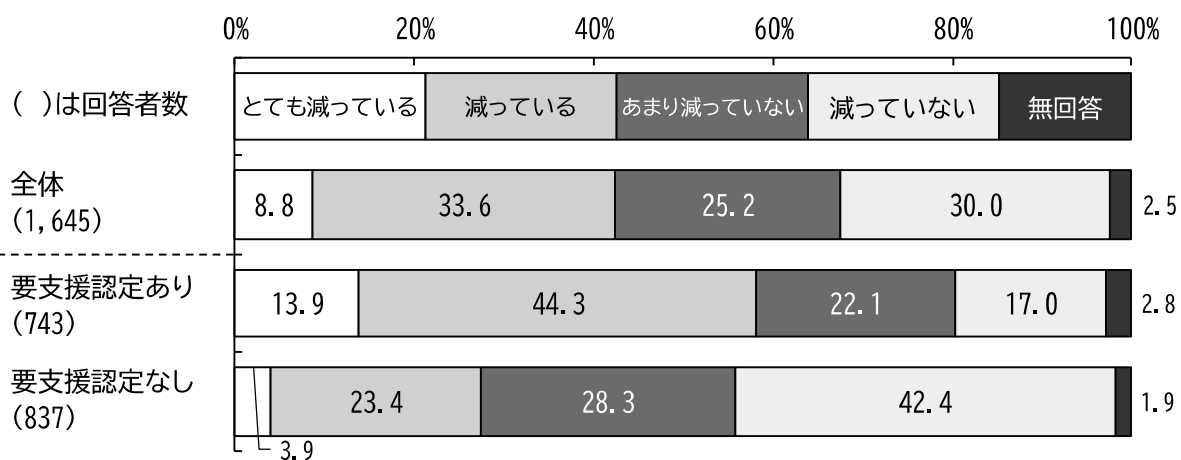
要支援認定ありでは、「減っている」44.3%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「減っていない」42.4%が最も高く、「あまり減っていない」28.3%と合わせた『減っていない』は70.7%となっています。

図表 1-33 外出回数は減っているか



図表 1-34 外出回数は減っているか【認定状況別】



（８）外出を控えているか

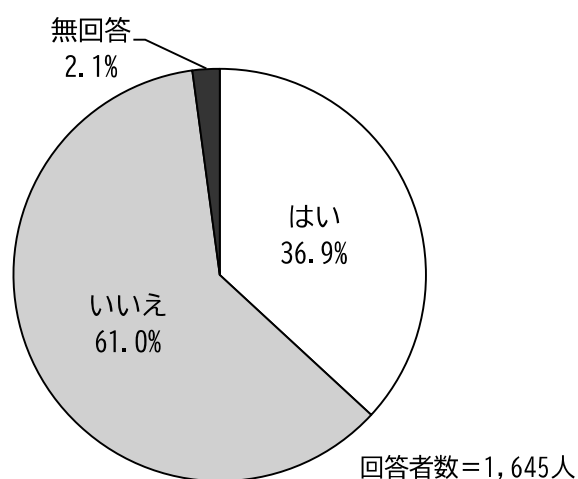
問２（８）外出を控えていますか（１つを選択）

外出を控えているかについては、全体では「はい」36.9%、「いいえ」61.0%です。

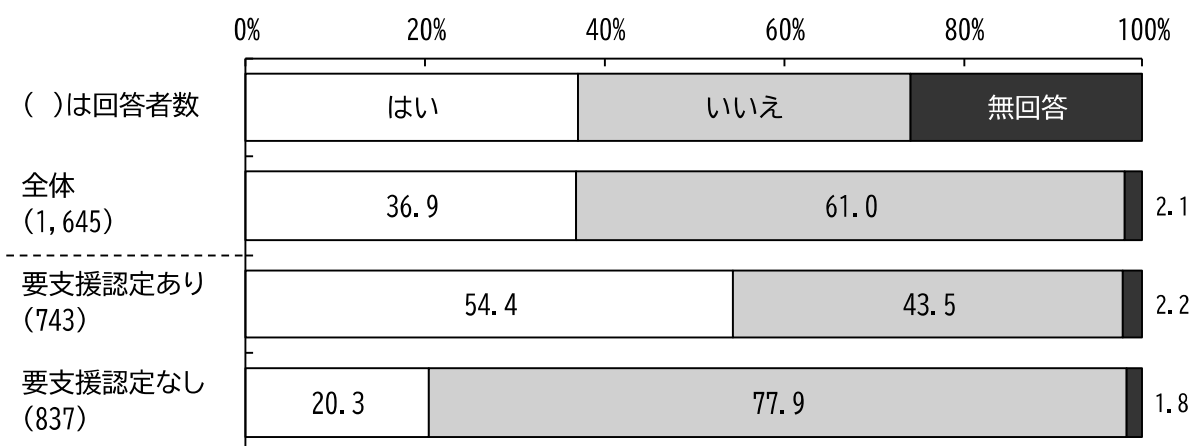
要支援認定ありでは、「はい」54.4%、「いいえ」43.5%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」20.3%、「いいえ」77.9%となっています。

図表 1-35 外出を控えているか



図表 1-36 外出を控えているか【認定状況別】



① 外出を控えている理由

問2（8）①【（8）で「1. はい」（外出を控えている）の方のみ】
外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

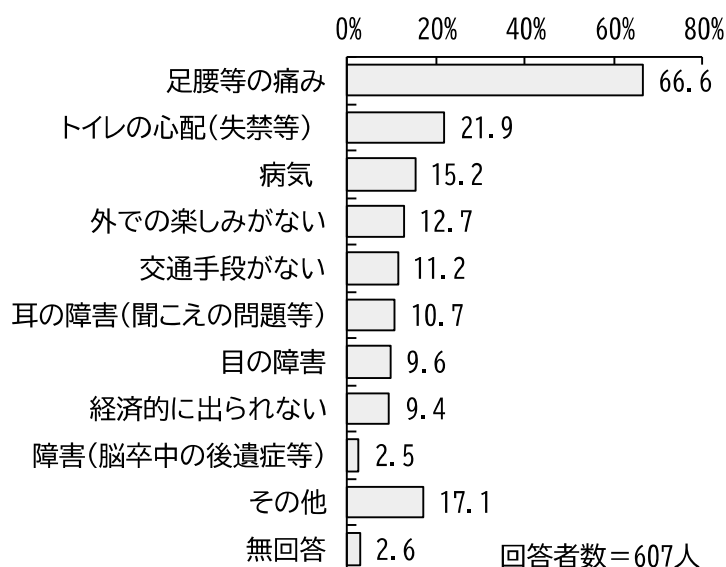
外出を控えている人にその理由をたずねたところ、全体では「足腰等の痛み」66.6%が最も高く、次いで「トイレの心配(失禁等)」21.9%、「その他」17.1%、「病気」15.2%、「外での楽しみがない」12.7%が続いています。

「その他」においては、暑さによる熱中症予防、新型コロナウイルス感染予防、転倒の不安等を理由にあげる記載が多くありました。

要支援認定ありでは、「足腰等の痛み」71.8%、「トイレの心配(失禁等)」24.0%、「病気」16.3%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「足腰等の痛み」51.2%、「その他」21.2%、「外での楽しみがない」15.9%が上位3位となっています。

図表 1-37 外出を控えている理由（複数回答）



図表 1-38 外出を控えている理由【認定状況別】

		回答者数	足腰等の痛み	(失禁等) トイレの心配	病気	外での楽しみがない	交通手段がない	耳の障害(聞こえの問題等)	目の障害	経済的に出られない	障害(脳卒中の後遺症等)	その他	無回答
全体		607	404	133	92	77	68	65	58	57	15	104	16
		100.0	66.6	21.9	15.2	12.7	11.2	10.7	9.6	9.4	2.5	17.1	2.6
認定状況別	要支援認定あり	404	290	97	66	45	51	48	41	31	12	65	10
		100.0	71.8	24.0	16.3	11.1	12.6	11.9	10.1	7.7	3.0	16.1	2.5
認定状況別	要支援認定なし	170	87	26	22	27	11	13	15	24	2	36	6
		100.0	51.2	15.3	12.9	15.9	6.5	7.6	8.8	14.1	1.2	21.2	3.5

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（９）外出する際の移動手段

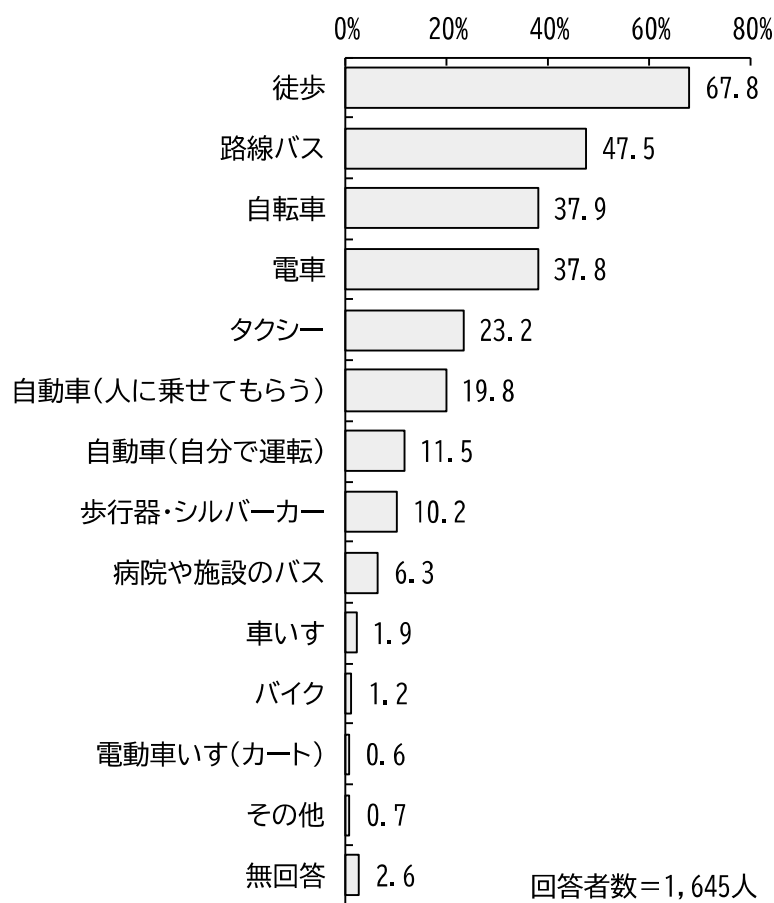
問２（９）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段については、全体では「徒歩」67.8%が最も高く、次いで「路線バス」47.5%、「自転車」37.9%、「電車」37.8%、「タクシー」23.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」19.8%が続いています。

要支援認定ありでは、「徒歩」57.5%、「路線バス」45.2%、「タクシー」35.4%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「徒歩」77.7%、「自転車」55.6%、「電車」49.8%が上位3位となっています。

図表 1-39 外出する際の移動手段（複数回答）



図表 1-40 外出する際の移動手段【認定状況別】

		回答者数	徒歩	路線バス	自転車	電車	タクシー	自動車 (人に乗せてもらう)	自動車 (自分で運転)
全体		1,645 100.0	1,116 67.8	781 47.5	623 37.9	622 37.8	382 23.2	325 19.8	189 11.5
認定 状況 別	要支援認定 あり	743 100.0	427 57.5	336 45.2	137 18.4	188 25.3	263 35.4	176 23.7	18 2.4
	要支援認定 なし	837 100.0	650 77.7	408 48.7	465 55.6	417 49.8	101 12.1	139 16.6	166 19.8

		回答者数	歩行者・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	バイク	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体		1,645 100.0	167 10.2	103 6.3	32 1.9	19 1.2	10 0.6	12 0.7	42 2.6
認定 状況 別	要支援認定 あり	743 100.0	142 19.1	83 11.2	28 3.8	3 0.4	9 1.2	10 1.3	25 3.4
	要支援認定 なし	837 100.0	15 1.8	17 2.0	2 0.2	16 1.9	1 0.1	2 0.2	16 1.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

4 食べること

(1) 身長・体重 (BMI)

問3 (1) 身長・体重

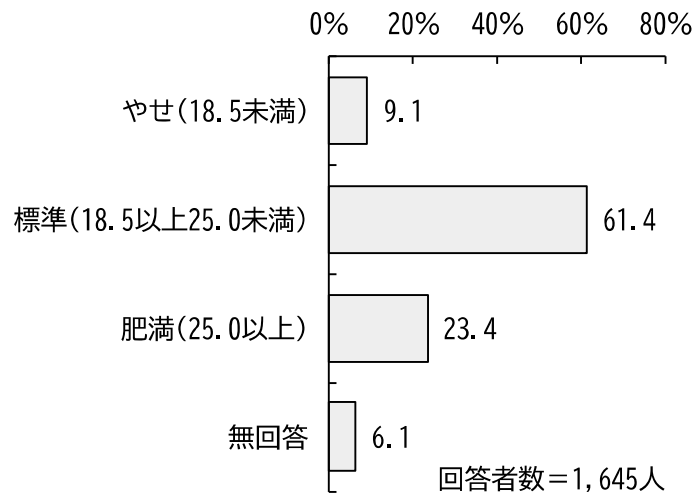
身長・体重から算出されるBMI(※)について、全体では「標準(18.5 以上 25.0 未満)」61.4%が最も高く、次いで「肥満(25.0 以上)」23.4%、「やせ(18.5 未満)」9.1%となっています。

要支援認定ありでは、「標準(18.5 以上 25.0 未満)」57.7%が最も高くなっていますが、「肥満(25.0 以上)」と「やせ(18.5 未満)」は要支援認定なしに比べ高くなっています。

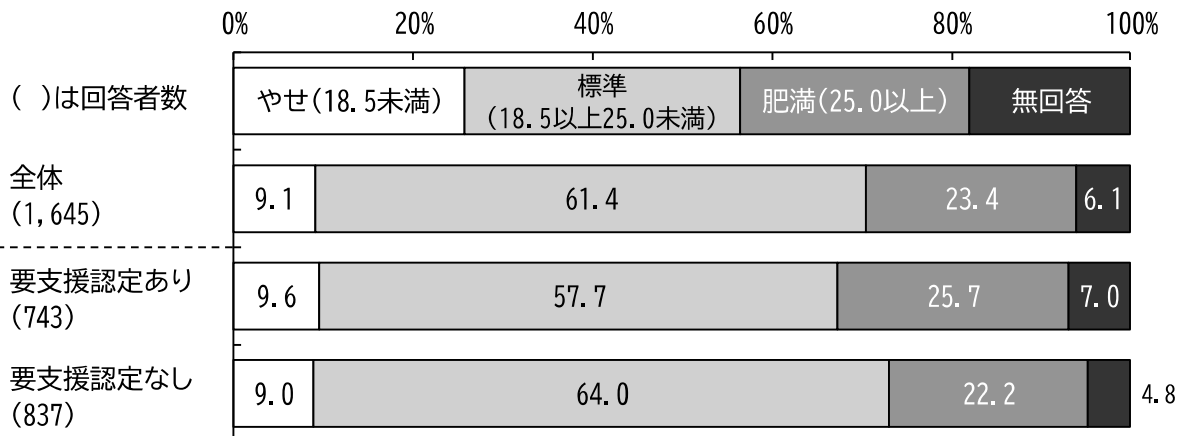
要支援認定なしでは、「標準(18.5 以上 25.0 未満)」64.0%が最も高くなっています。

※BMI (体格指数)：体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値です。

図表 1-41 BMI



図表 1-42 BMI 【認定状況別】



（２）固いものの食べにくさ

問３（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（１つを選択）

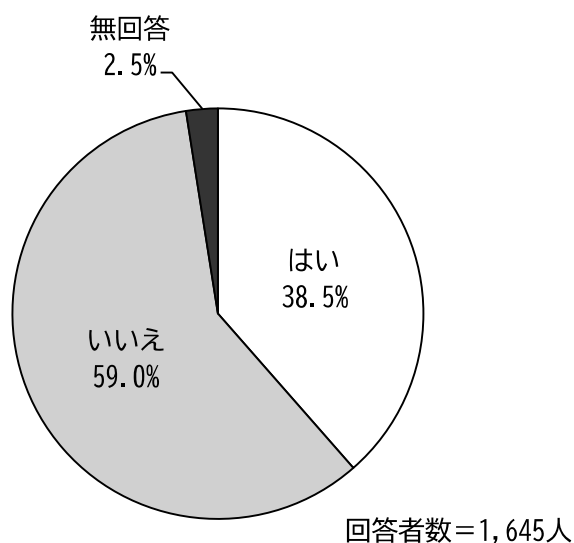
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、全体では「はい」38.5%、「いいえ」59.0%となっています。

要支援認定ありでは、「はい」48.0%、「いいえ」48.7%となっています。

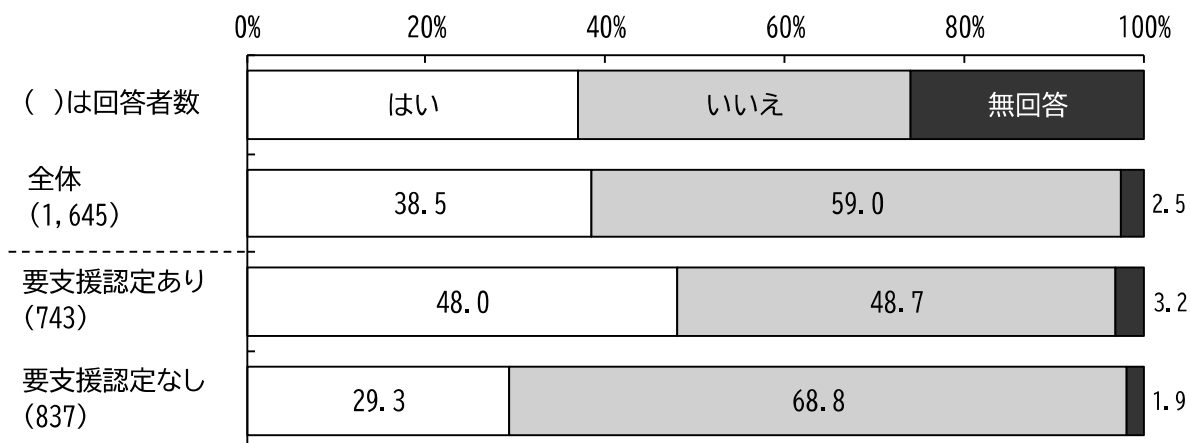
要支援認定なしでは、「はい」29.3%、「いいえ」68.8%となっています。

「はい」は要支援認定なしに比べ、要支援認定ありが 18.7 ポイント高くなっています。

図表 1-43 固いものの食べにくさ



図表 1-44 固いものの食べにくさ【認定状況別】

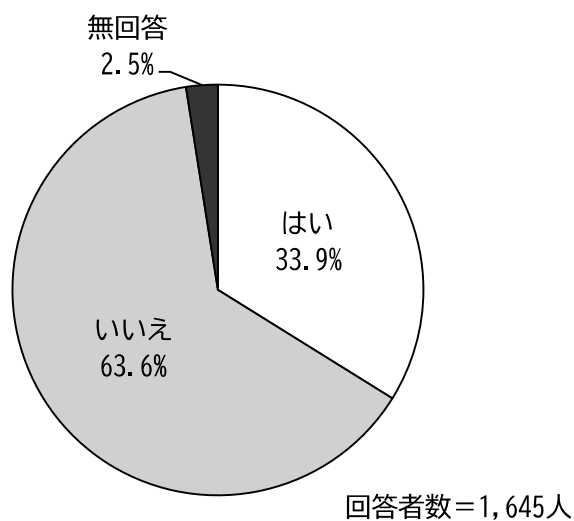


(3) むせること

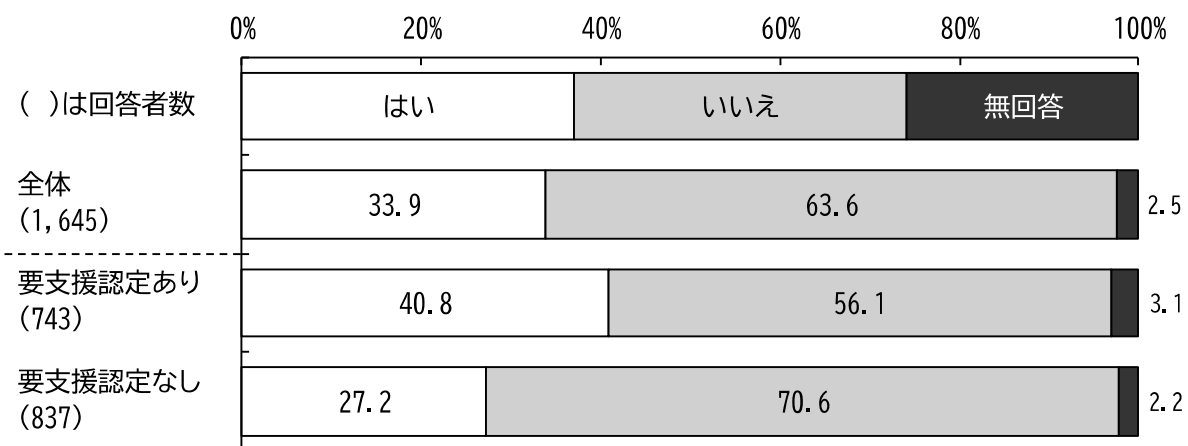
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (1つを選択)

むせることがあるかについては、全体では「はい」33.9%、「いいえ」63.6%となっています。
要支援認定ありでは、「はい」40.8%、「いいえ」56.1%となっています。
要支援認定なしでは、「はい」27.2%、「いいえ」70.6%となっています。

図表 1-45 むせること



図表 1-46 むせること【認定状況別】



(4) 口の渇き

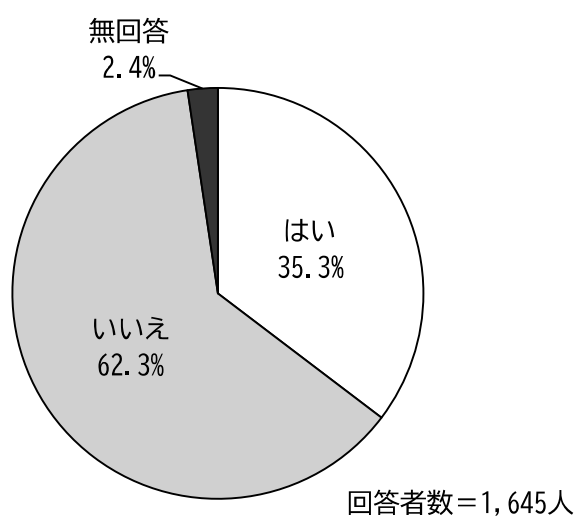
問3 (4) 口の渇きが気になりますか (1つを選択)

口の渇きが気になるかについては、全体では「はい」35.3%、「いいえ」62.3%となっています。

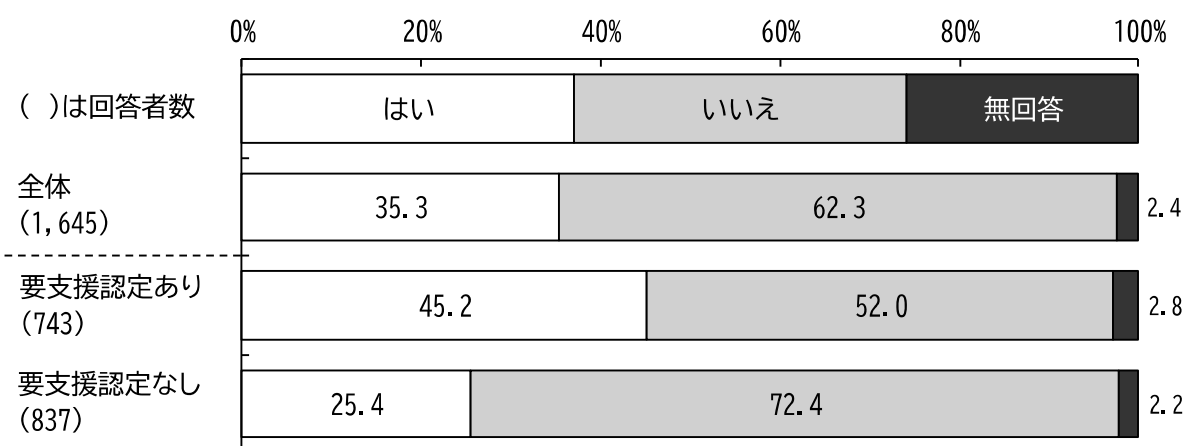
要支援認定ありでは、「はい」45.2%、「いいえ」52.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」25.4%、「いいえ」72.4%となっています。

図表 1-47 口の渇き



図表 1-48 口の渇き【認定状況別】



（５）毎日の歯磨き

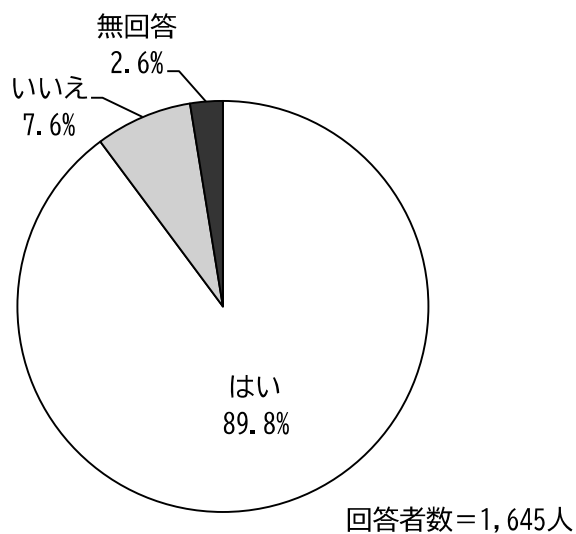
問３（５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（１つを選択）

毎日の歯磨きをしているかについては、全体では「はい」89.8%、「いいえ」7.6%となっています。

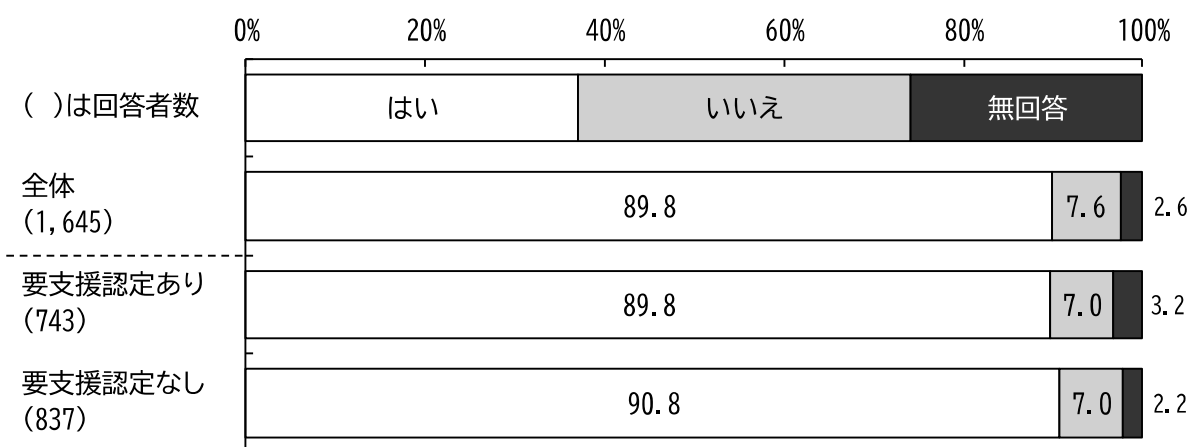
要支援認定ありでは、「はい」89.8%、「いいえ」7.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」90.8%、「いいえ」7.0%となっています。

図表 1-49 毎日の歯磨き



図表 1-50 毎日の歯磨き【認定状況別】



（６）歯の数

問３（６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

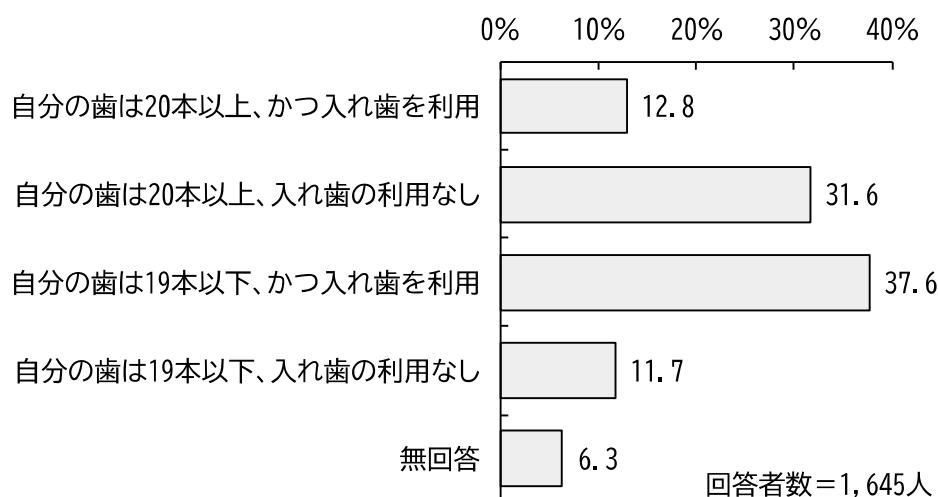
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（１つを選択）

歯の数については、全体では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」37.6%が最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」31.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」12.8%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」11.7%となっています。

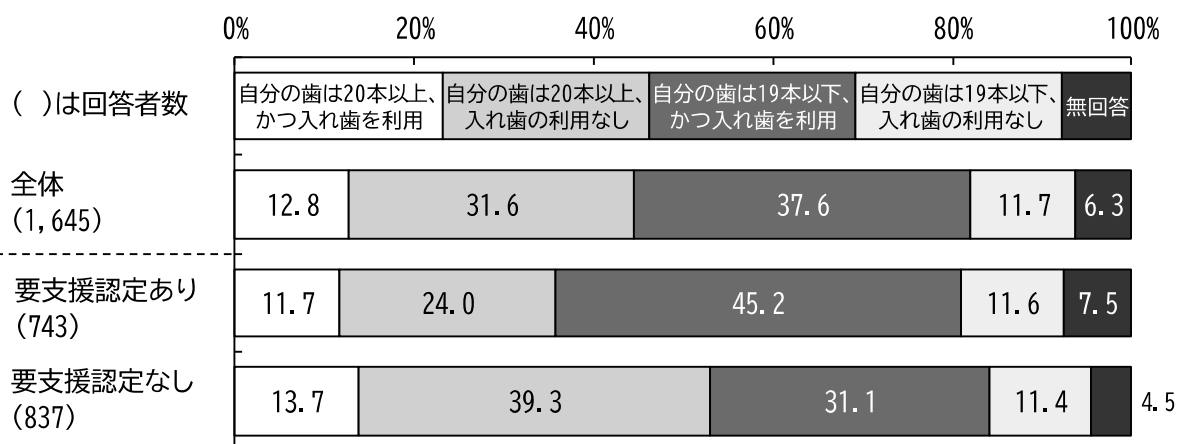
要支援認定ありでは、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」45.2%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」39.3%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」31.1%となっています。

図表 1-51 歯の数



図表 1-52 歯の数【認定状況別】

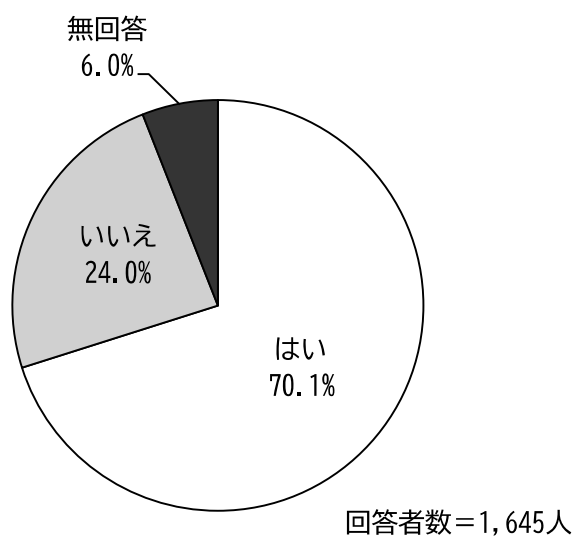


① 噛み合わせの良さ

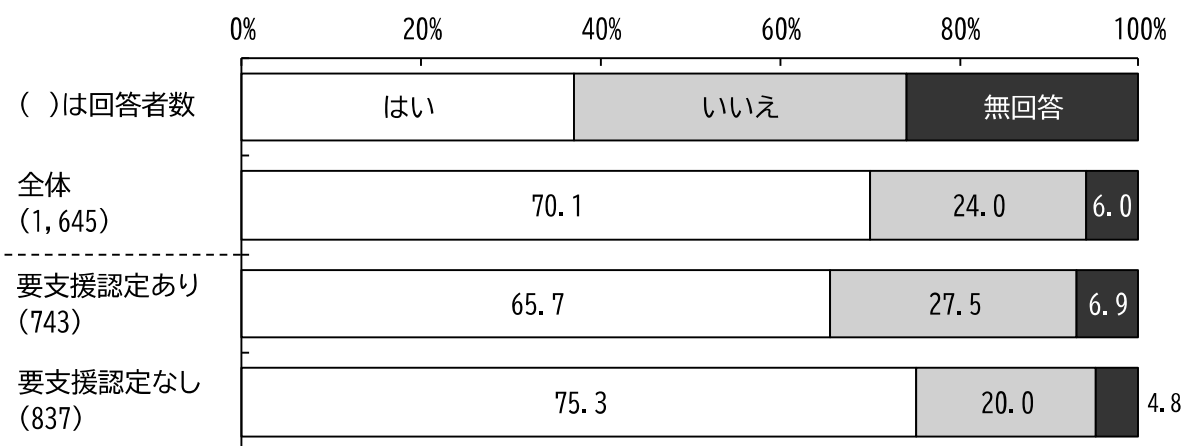
問3（6）①噛み合わせは良いですか（1つを選択）

噛み合わせが良いかについては、全体では「はい」70.1%、「いいえ」24.0%となっています。
 要支援認定ありでは、「はい」65.7%、「いいえ」27.5%となっています。
 要支援認定なしでは、「はい」75.3%、「いいえ」20.0%となっています。

図表 1-53 噛み合わせの良さ



図表 1-54 噛み合わせの良さ【認定状況別】



② 毎日の入れ歯の手入れ

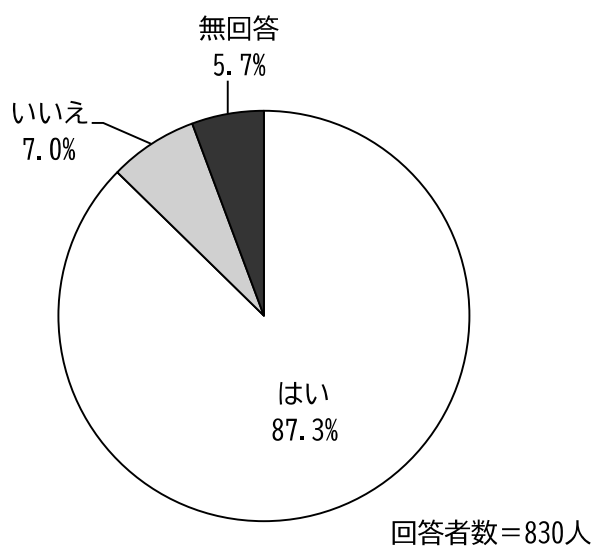
問3（6）②【（6）で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つを選択）

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかをたずねたところ、全体では「はい」87.3%、「いいえ」7.0%となっています。

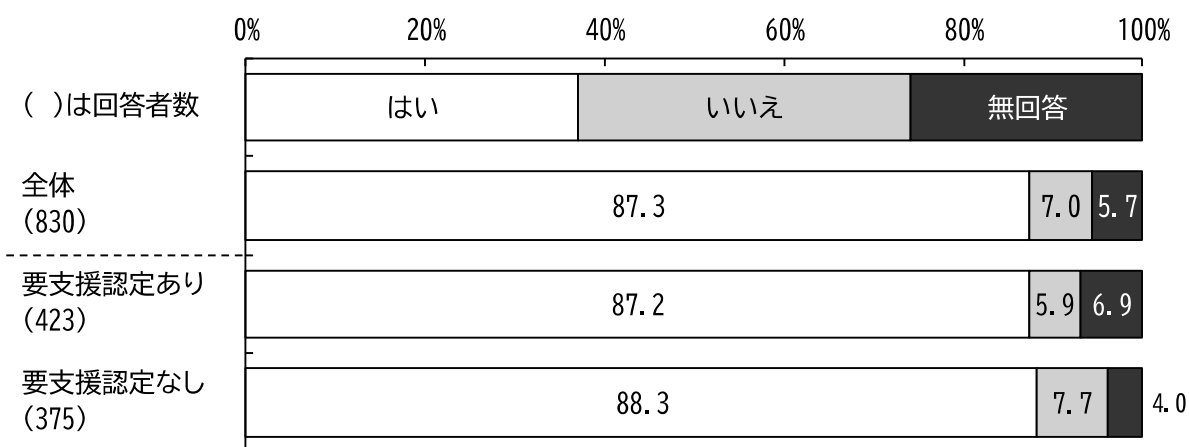
要支援認定ありでは、「はい」87.2%、「いいえ」5.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」88.3%、「いいえ」7.7%となっています。

図表 1-55 毎日の入れ歯の手入れ



図表 1-56 毎日の入れ歯の手入れ【認定状況別】



（７）体重の減少

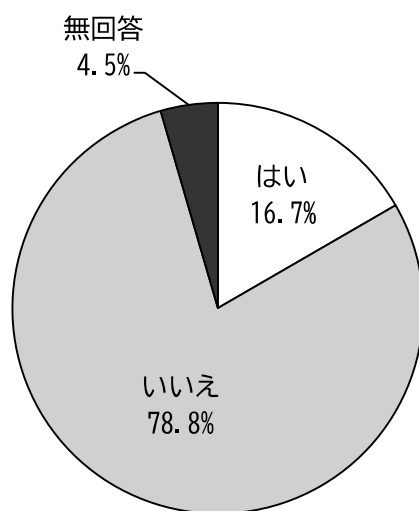
問３（７）６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか（１つを選択）

６か月間で２～３kg以上の体重減少があったかについては、全体では「はい」16.7%、「いいえ」78.8%となっています。

要支援認定ありでは、「はい」21.1%、「いいえ」73.8%となっています。

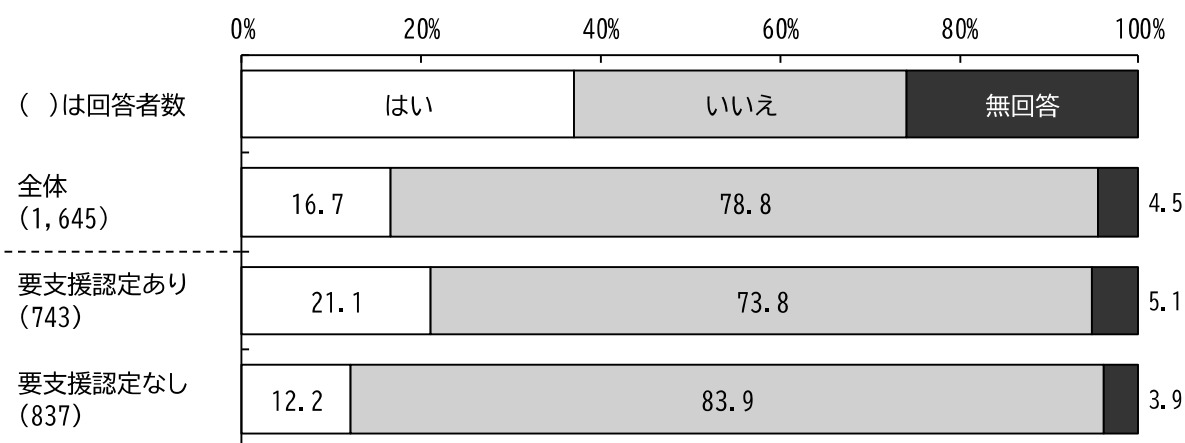
要支援認定なしでは、「はい」12.2%、「いいえ」83.9%となっています。

図表 1-57 体重の減少



回答者数=1,645人

図表 1-58 体重の減少【認定状況別】



（８）食事をともしする機会

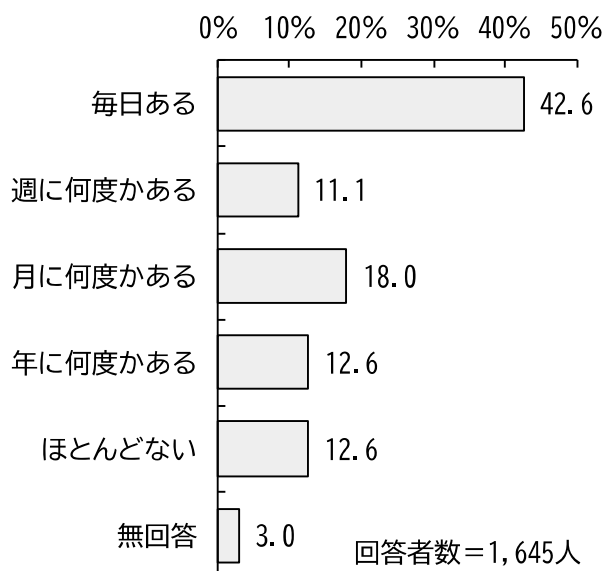
問３（８）どなたかと食事をともしする機会がありますか（１つを選択）

食事をともしする機会があるかについては、全体では「毎日ある」42.6%が最も高く、次いで「月に何度かある」18.0%、「年に何度かある」「ほとんどない」がともに 12.6%、「週に何度かある」11.1%となっています。

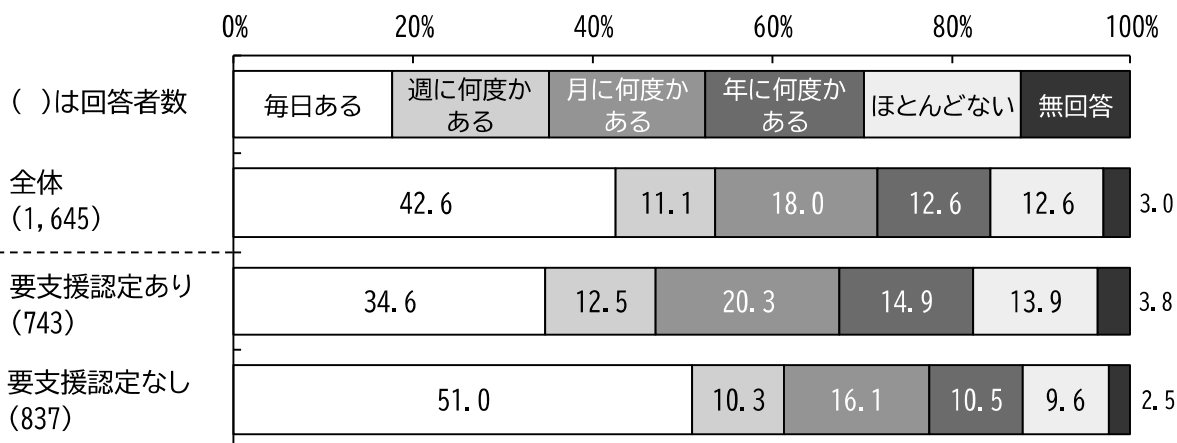
要支援認定ありでは、「毎日ある」34.6%が最も高く、次いで「月に何度かある」20.3%、「年に何度かある」14.9%が続いています。

要支援認定なしでは、「毎日ある」51.0%が最も高く、次いで「月に何度かある」16.1%、「年に何度かある」10.5%が続いています。

図表 1-59 食事をともしする機会



図表 1-60 食事をともしする機会【認定状況別】



5 毎日の生活

(1) 認知機能

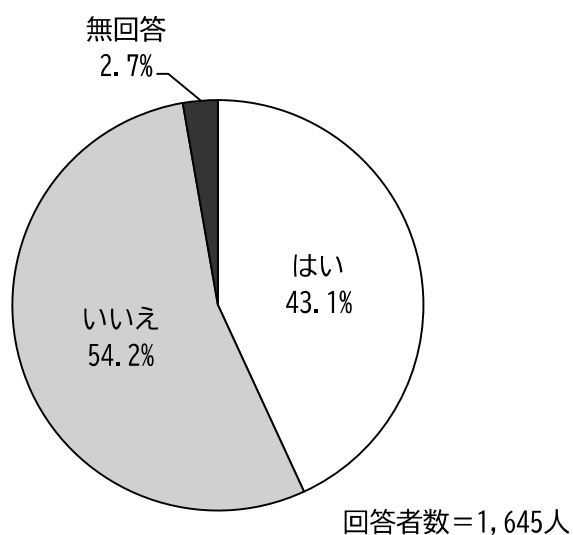
問4 (1) もの忘れが多いと感じますか (1つを選択)

もの忘れが多いと感じるかについては、全体では「はい」43.1%、「いいえ」54.2%となっています。

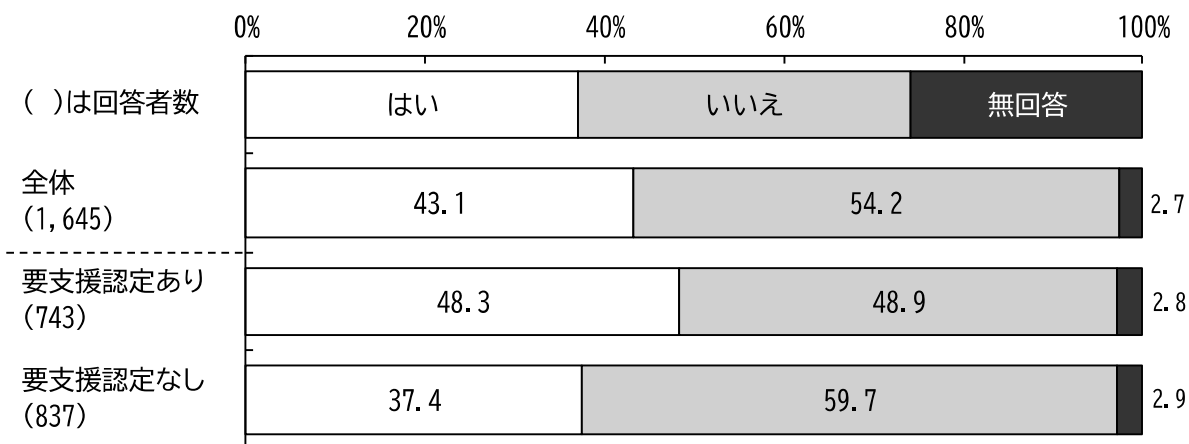
要支援認定ありでは、「はい」48.3%、「いいえ」48.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」37.4%、「いいえ」59.7%となっています。

図表 1-61 認知機能



図表 1-62 認知機能【認定状況別】



（２）電話をかける

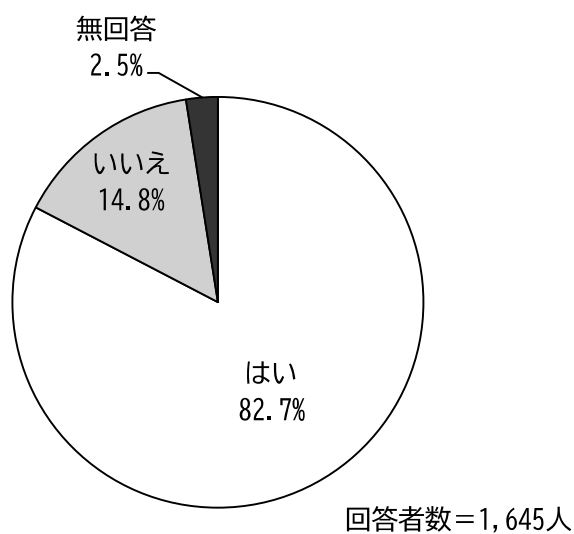
問４（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（１つを選択）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、全体では「はい」82.7%、「いいえ」14.8%となっています。

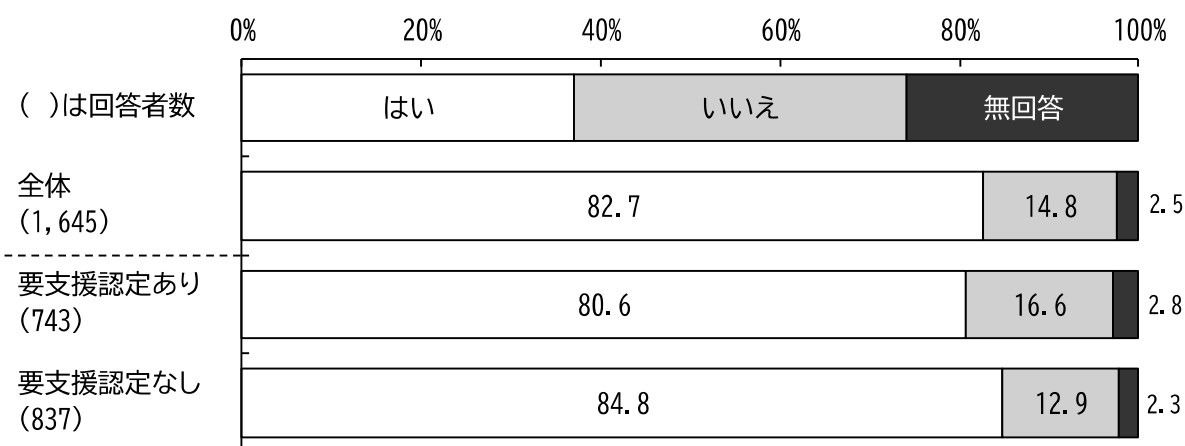
要支援認定ありでは、「はい」80.6%、「いいえ」16.6%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」84.8%、「いいえ」12.9%となっています。

図表 1-63 電話をかける



図表 1-64 電話をかける【認定状況別】



(3) 日付がわからない時がある

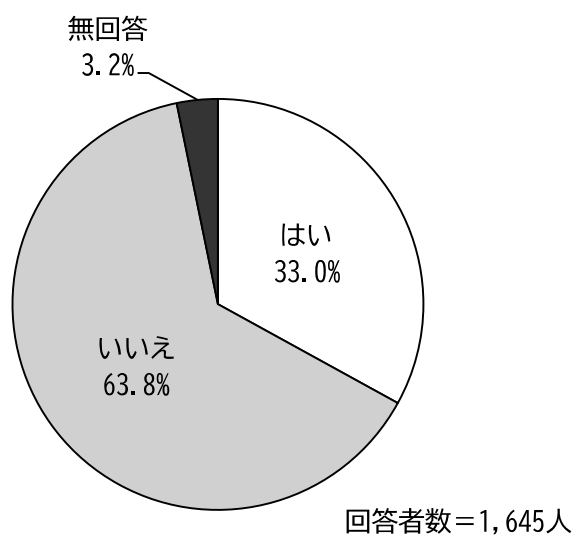
問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つを選択)

日付がわからない時があるかについては、全体では「はい」33.0%、「いいえ」63.8%となっています。

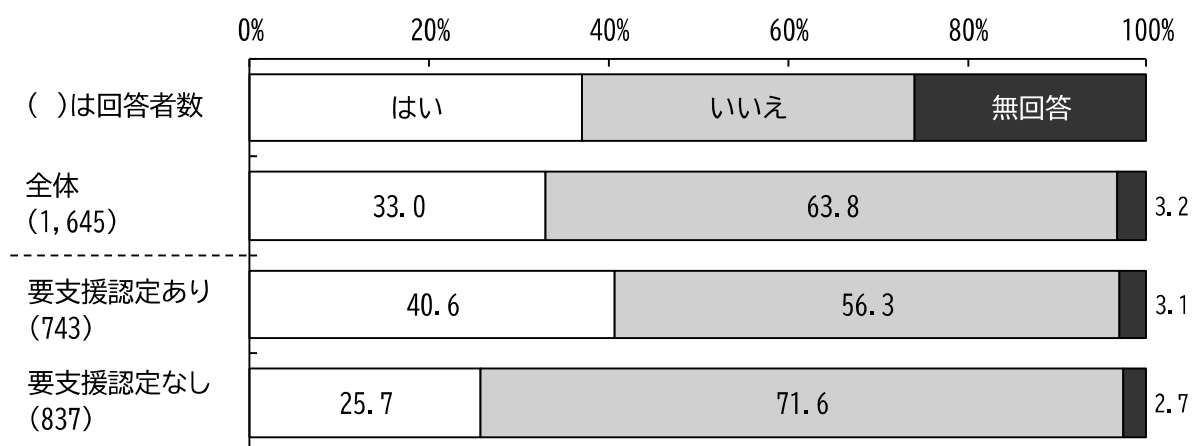
要支援認定ありでは、「はい」40.6%、「いいえ」56.3%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」25.7%、「いいえ」71.6%となっています。

図表 1-65 日付がわからない時がある



図表 1-66 日付がわからない時がある【認定状況別】



（４）１人での外出

問４（４）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

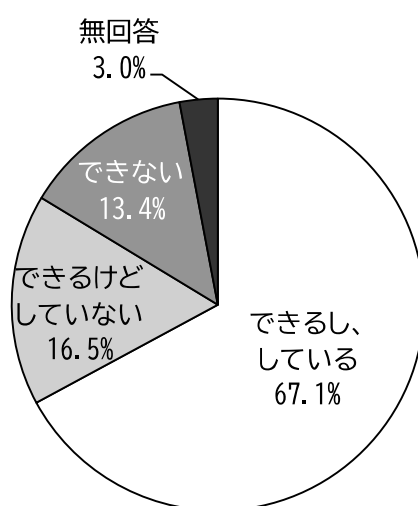
（１つを選択）

バスや電車を使って１人で外出しているかについては、全体では「できるし、している」67.1%が最も高く、次いで「できるけどしていない」16.5%、「できない」13.4%となっています。

要支援認定ありでは、「できるし、している」51.3%、「できない」23.8%、「できるけどしていない」21.5%となっています。

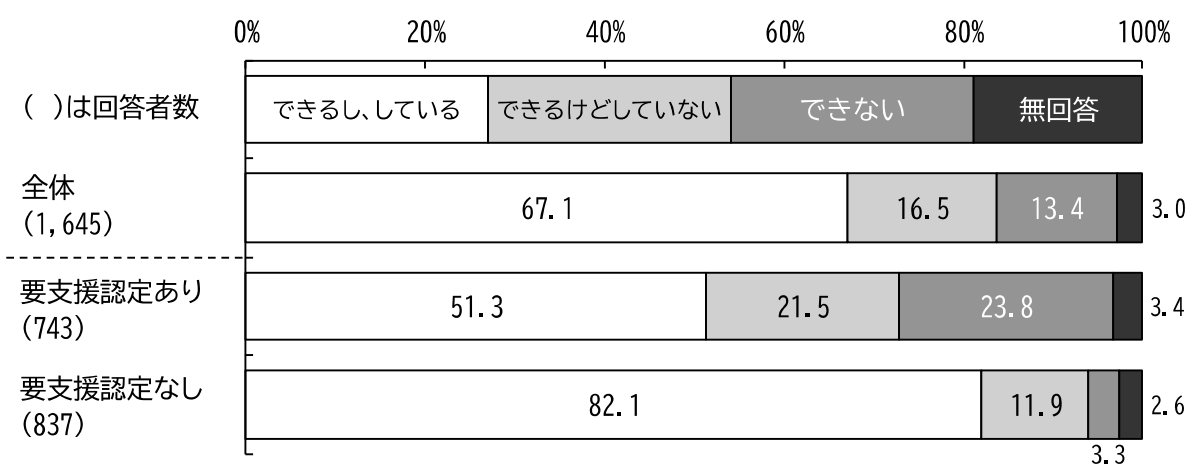
要支援認定なしでは、「できるし、している」82.1%、「できるけどしていない」11.9%、「できない」3.3%となっています。

図表 1-67 １人での外出



回答者数=1,645人

図表 1-68 １人での外出【認定状況別】



（５）買物

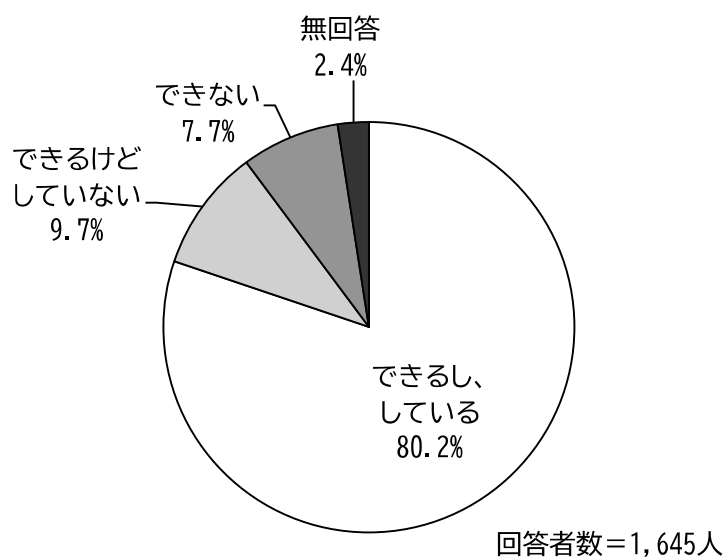
問４（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか（１つを選択）

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、全体では「できるし、している」80.2%が最も高く、次いで「できるけどしていない」9.7%、「できない」7.7%となっています。

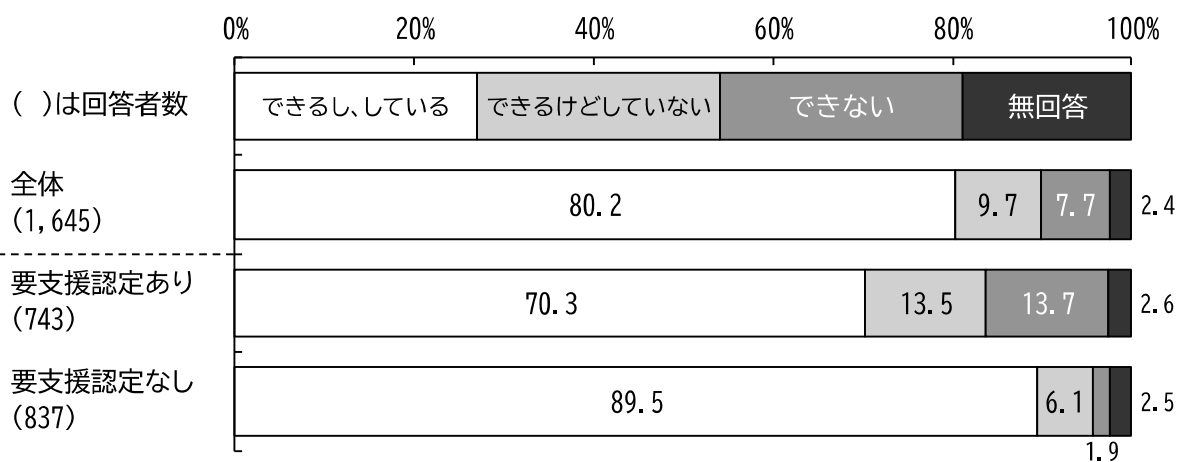
要支援認定ありでは、「できるし、している」70.3%、「できない」13.7%、「できるけどしていない」13.5%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」89.5%、「できるけどしていない」6.1%、「できない」1.9%となっています。

図表 1-69 買物



図表 1-70 買物【認定状況別】



（６）食事の用意

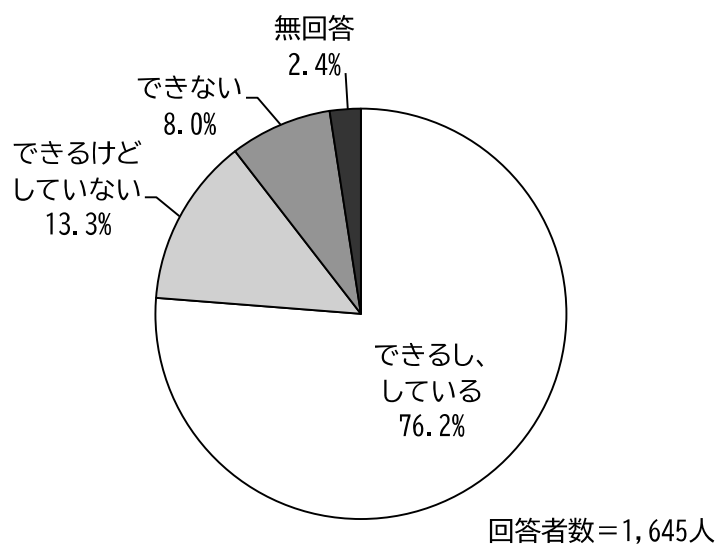
問４（６）自分で食事の用意をしていますか（１つを選択）

自分で食事の用意をしているかについては、全体では「できるし、している」76.2%が最も高く、「できるけどしていない」13.3%、「できない」8.0%となっています。

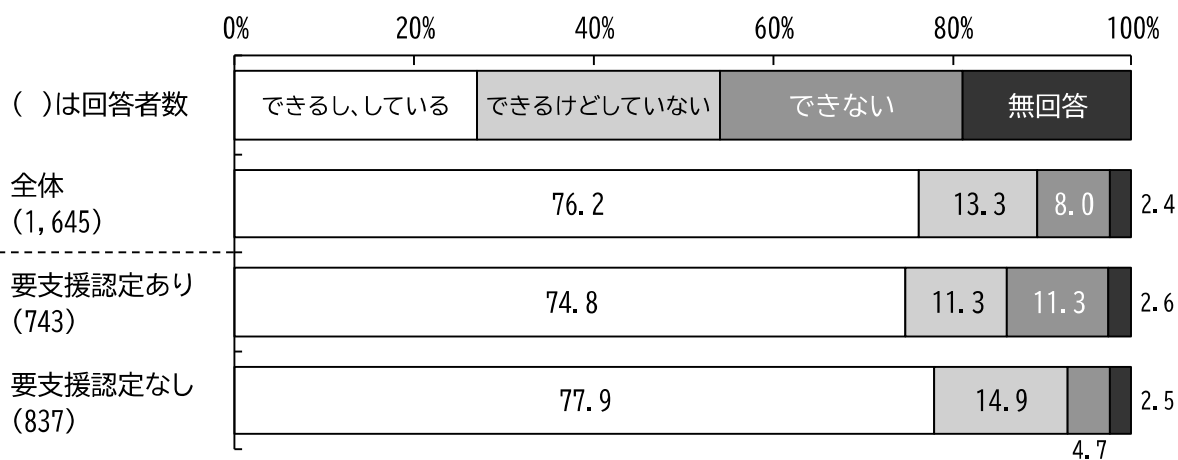
要支援認定ありでは、「できるし、している」74.8%、「できるけどしていない」「できない」がともに11.3%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」77.9%、「できるけどしていない」14.9%、「できない」4.7%となっています。

図表 1-71 食事の用意



図表 1-72 食事の用意【認定状況別】



（７）請求書の支払い

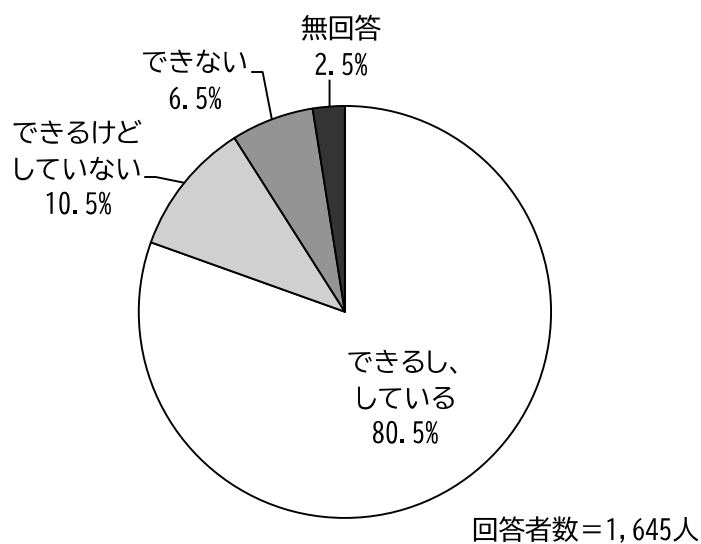
問４（７）自分で請求書の支払いをしていますか（１つを選択）

自分で請求書の支払いをしているかについては、全体では「できるし、している」80.5%が最も高く、次いで「できるけどしていない」10.5%、「できない」6.5%となっています。

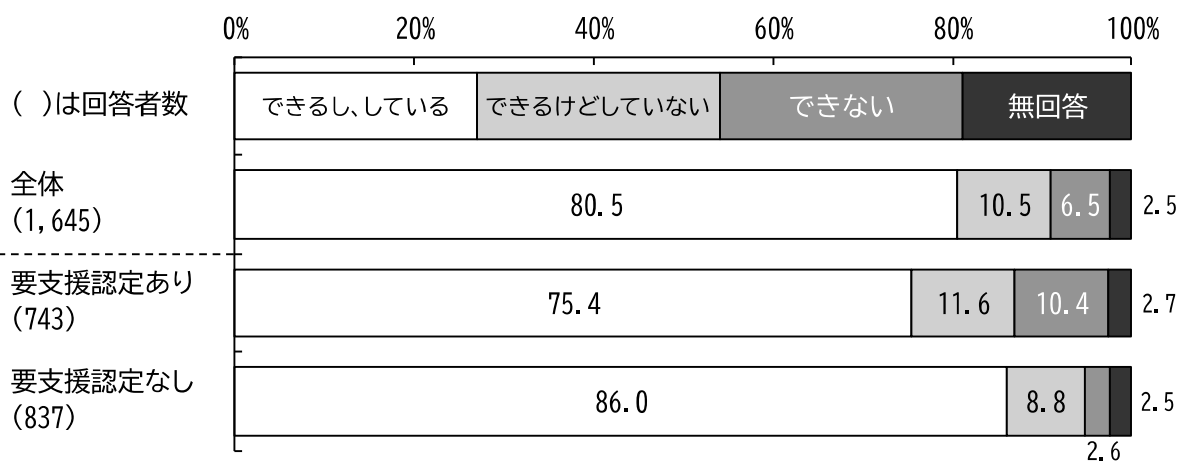
要支援認定ありでは、「できるし、している」75.4%、「できるけどしていない」11.6%、「できない」10.4%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」86.0%、「できるけどしていない」8.8%、「できない」2.6%となっています。

図表 1-73 請求書の支払い



図表 1-74 請求書の支払い【認定状況別】



（８）預貯金の出し入れ

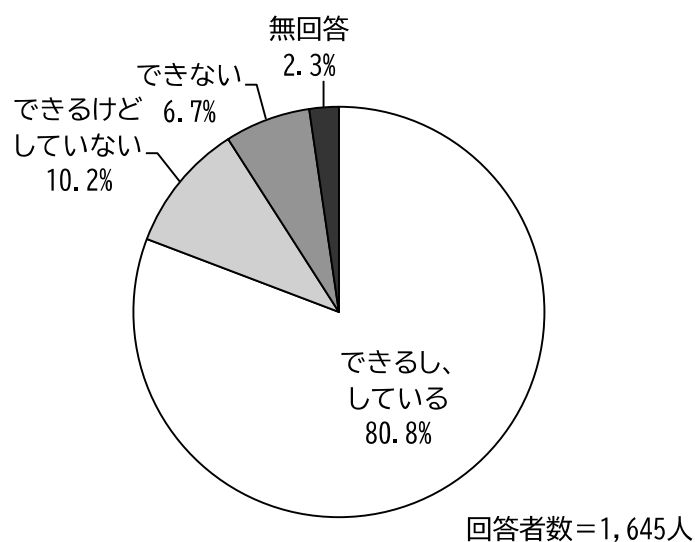
問４（８）自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つを選択）

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、全体では「できるし、している」80.8%が最も高く、次いで「できるけどしていない」10.2%、「できない」6.7%となっています。

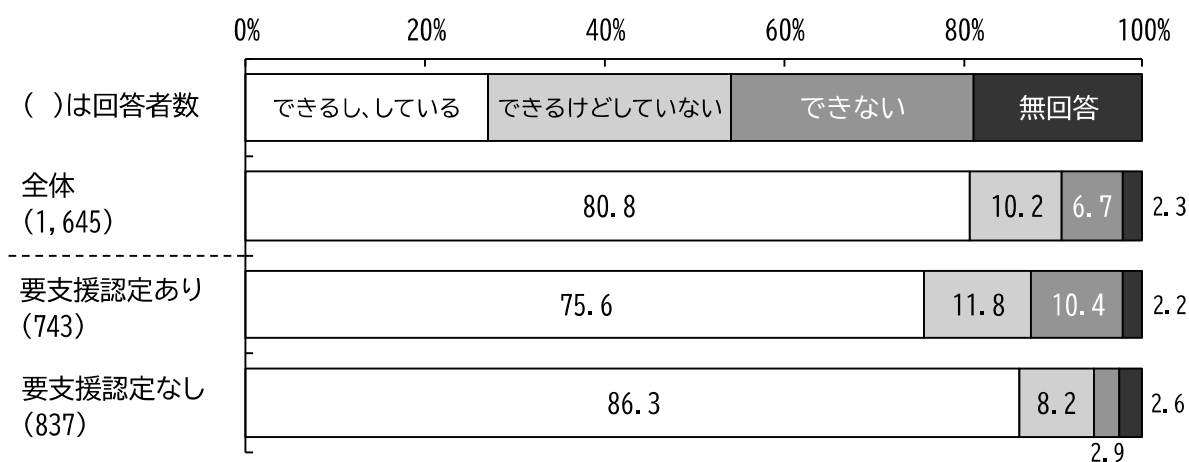
要支援認定ありでは、「できるし、している」75.6%、「できるけどしていない」11.8%、「できない」10.4%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」86.3%、「できるけどしていない」8.2%、「できない」2.9%となっています。

図表 1-75 預貯金の出し入れ



図表 1-76 預貯金の出し入れ【認定状況別】



（９）年金等の書類が書ける

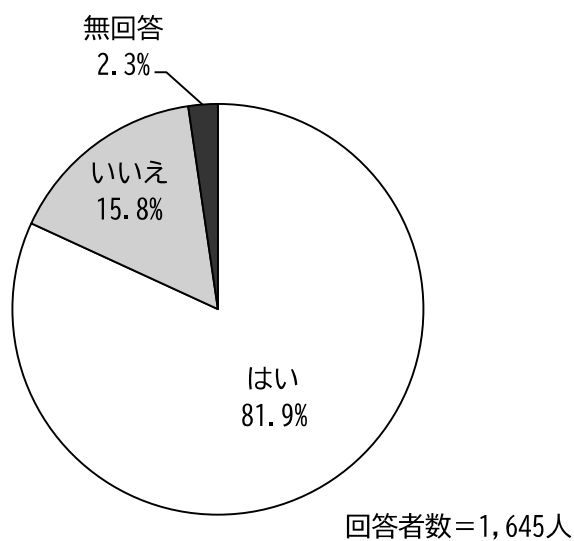
問４（９）年金等の書類（区役所や病院等に出す書類）が書けますか（１つを選択）

年金等の書類（区役所や病院等に出す書類）が書けるかについては、全体では「はい」81.9%、「いいえ」15.8%となっています。

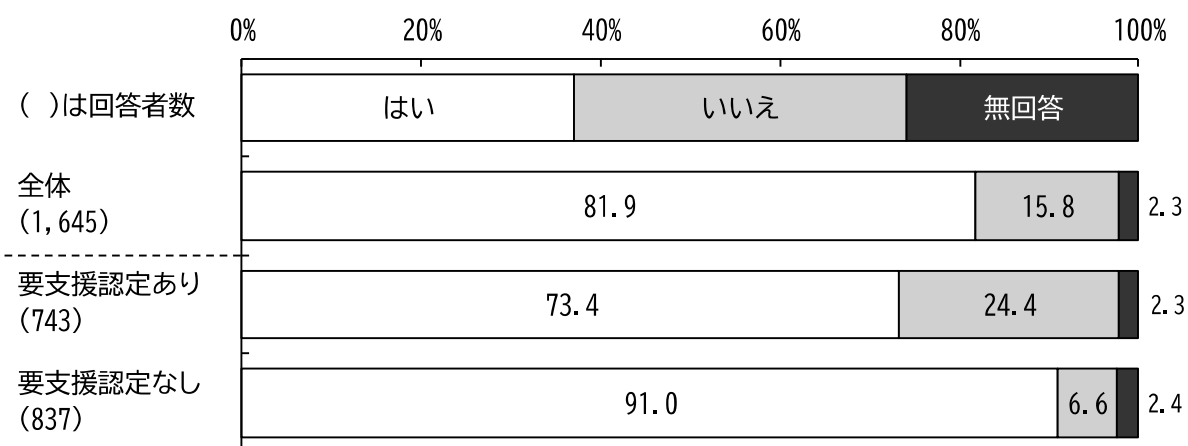
要支援認定ありでは、「はい」73.4%、「いいえ」24.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」91.0%、「いいえ」6.6%となっています。

図表 1-77 年金等の書類が書ける



図表 1-78 年金等の書類が書ける【認定状況別】



(10) 新聞を読む

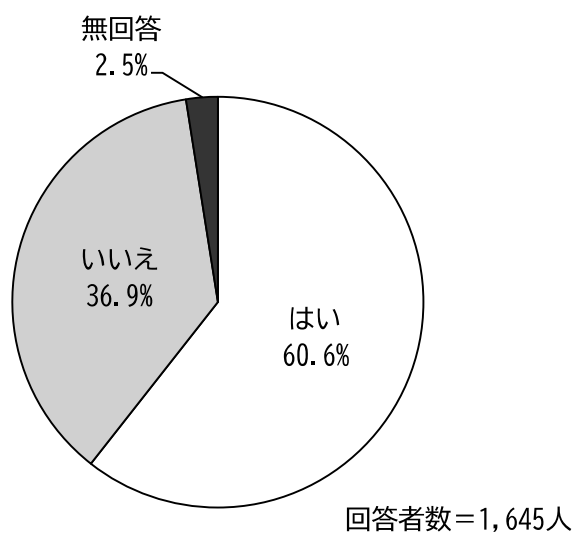
問 4 (10) 新聞を読んでいますか (1つを選択)

新聞を読むかについては、全体では「はい」60.6%、「いいえ」36.9%となっています。

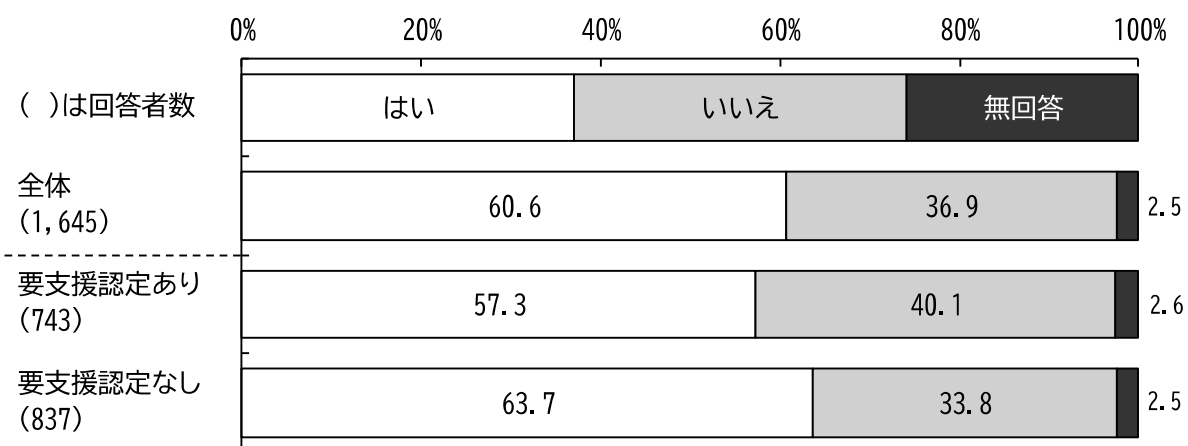
要支援認定ありでは、「はい」57.3%、「いいえ」40.1%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」63.7%、「いいえ」33.8%となっています。

図表 1-79 新聞を読む



図表 1-80 新聞を読む【認定状況別】



(11) 本や雑誌を読む

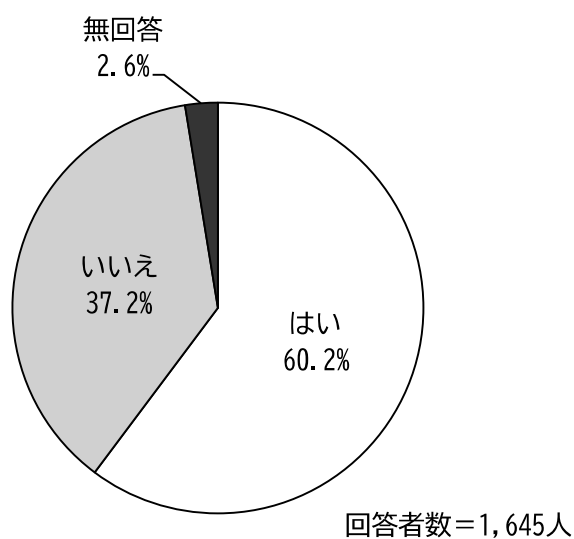
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか (1つを選択)

本や雑誌を読むかについては、全体では「はい」60.2%、「いいえ」37.2%となっています。

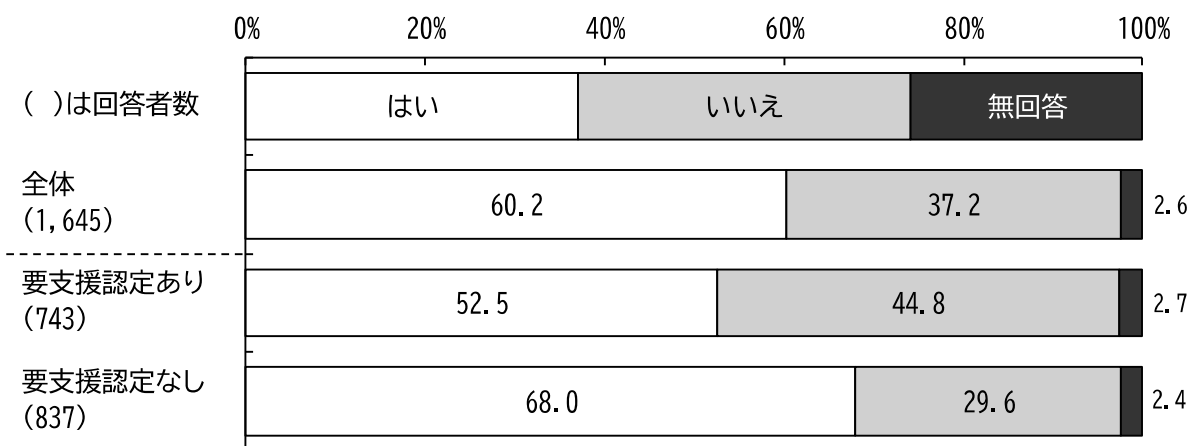
要支援認定ありでは、「はい」52.5%、「いいえ」44.8%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」68.0%、「いいえ」29.6%となっています。

図表 1-81 本や雑誌を読む



図表 1-82 本や雑誌を読む【認定状況別】



(12) 健康についての記事・番組への関心

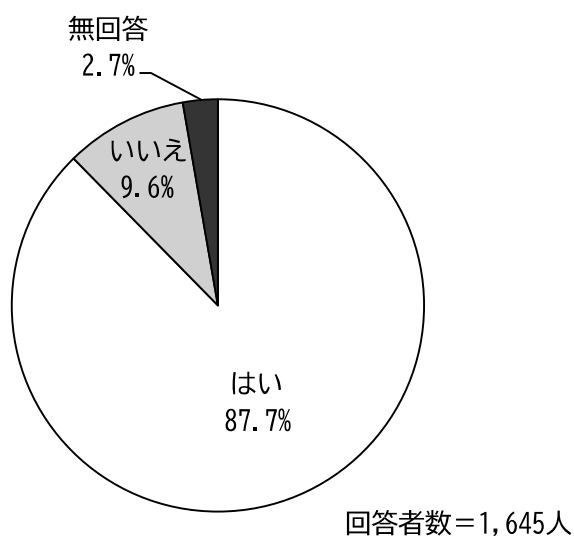
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

健康についての記事・番組に関心があるかについては、全体では「はい」87.7%、「いいえ」9.6%となっています。

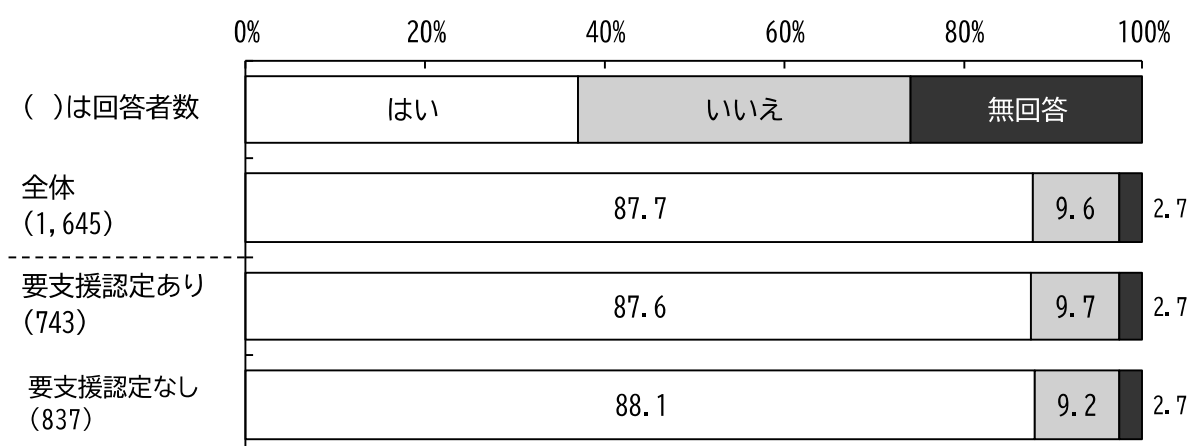
要支援認定ありでは、「はい」87.6%、「いいえ」9.7%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」88.1%、「いいえ」9.2%となっています。

図表 1-83 健康についての記事・番組への関心



図表 1-84 健康についての記事・番組への関心【認定状況別】



(13) 友人の家を訪ねているか

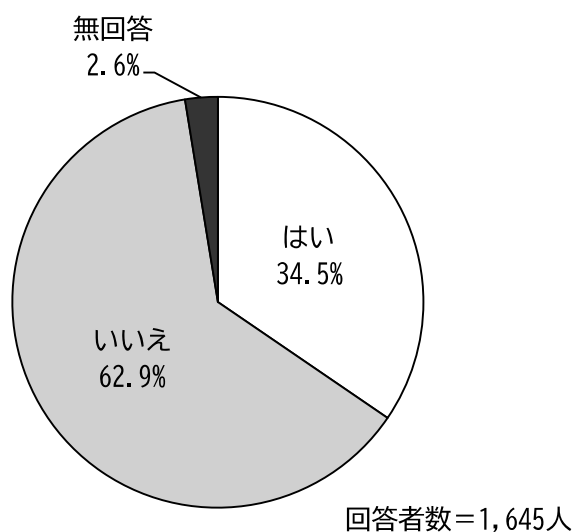
問 4 (13) 友人の家を訪ねていますか (1つを選択)

友人の家を訪ねているかについては、全体では「はい」34.5%、「いいえ」62.9%となっています。

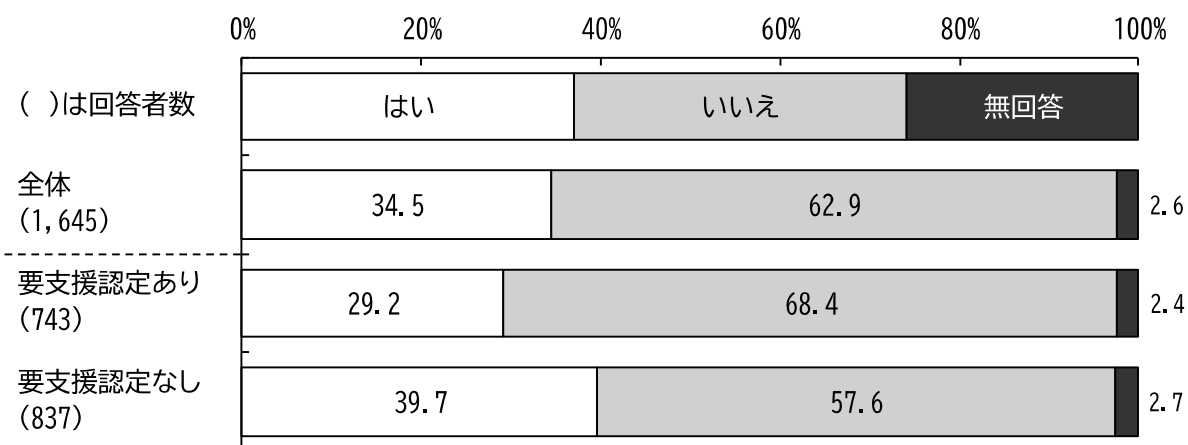
要支援認定ありでは、「はい」29.2%、「いいえ」68.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」39.7%、「いいえ」57.6%となっています。

図表 1-85 友人の家を訪ねているか



図表 1-86 友人の家を訪ねているか【認定状況別】



(14) 家族や友人の相談にのるか

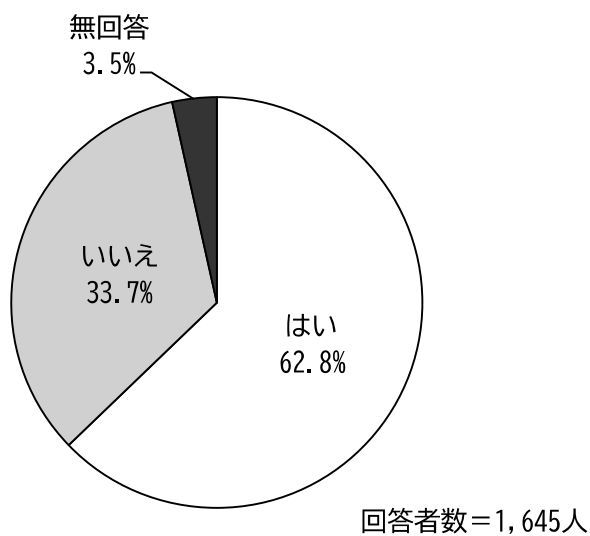
問 4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つを選択)

家族や友人の相談にのるかについては、全体では「はい」62.8%、「いいえ」33.7%となっています。

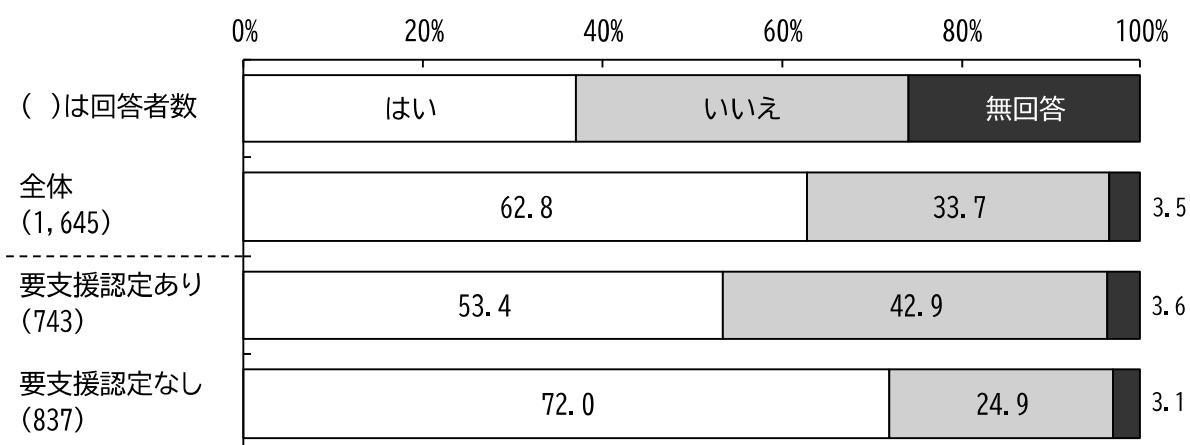
要支援認定ありでは、「はい」53.4%、「いいえ」42.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」72.0%、「いいえ」24.9%となっています。

図表 1-87 家族や友人の相談にのるか



図表 1-88 家族や友人の相談にのるか【認定状況別】



(15) 病人を見舞うことができる

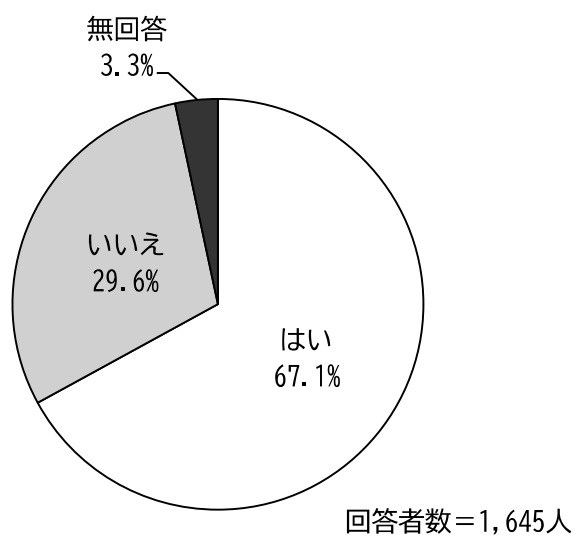
問4 (15) 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

病人を見舞うことができるかについては、全体では「はい」67.1%、「いいえ」29.6%となっています。

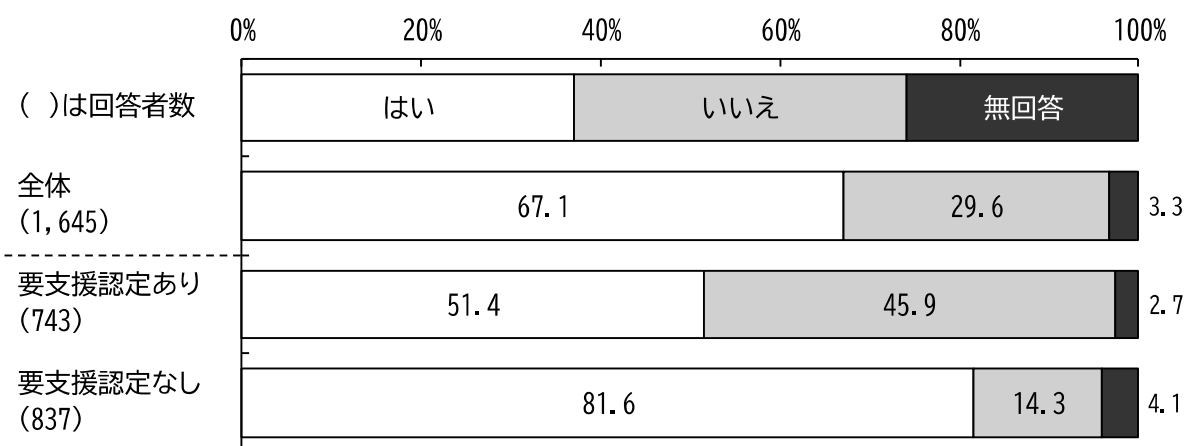
要支援認定ありでは、「はい」51.4%、「いいえ」45.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」81.6%、「いいえ」14.3%となっています。

図表 1-89 病人を見舞うことができる



図表 1-90 病人を見舞うことができる【認定状況別】



(16) 若い人への話しかけ

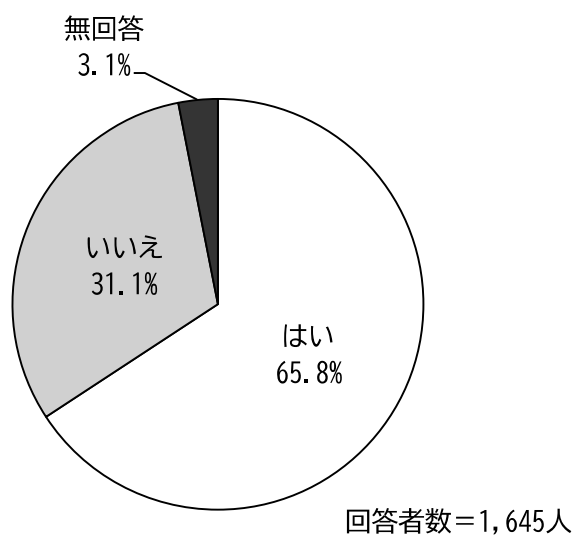
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つを選択）

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、全体では「はい」65.8%、「いいえ」31.1%となっています。

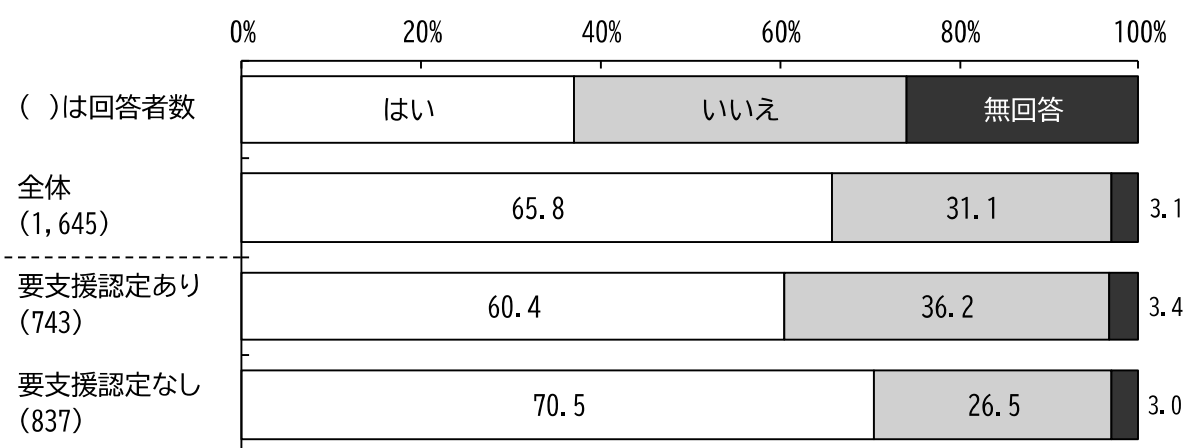
要支援認定ありでは、「はい」60.4%、「いいえ」36.2%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」70.5%、「いいえ」26.5%となっています。

図表 1-91 若い人への話しかけ



図表 1-92 若い人への話しかけ【認定状況別】



(17) 趣味

問 4 (17) 趣味はありますか（１つを選択・記述）

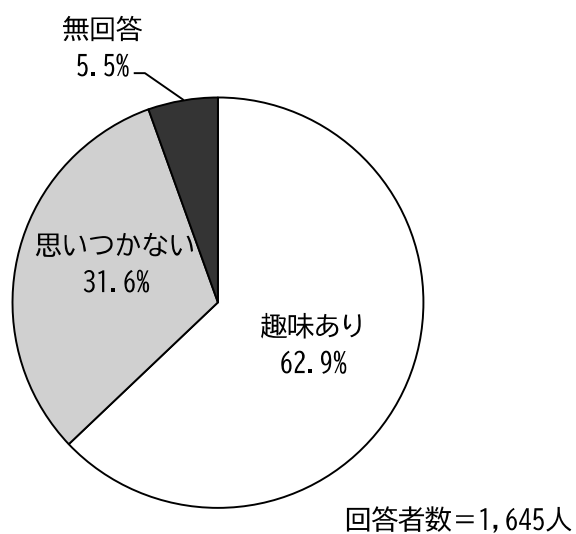
趣味はあるかについては、全体では「趣味あり」62.9%、「思いつかない」31.6%となっています。

要支援認定ありでは、「趣味あり」56.0%、「思いつかない」38.9%となっています。

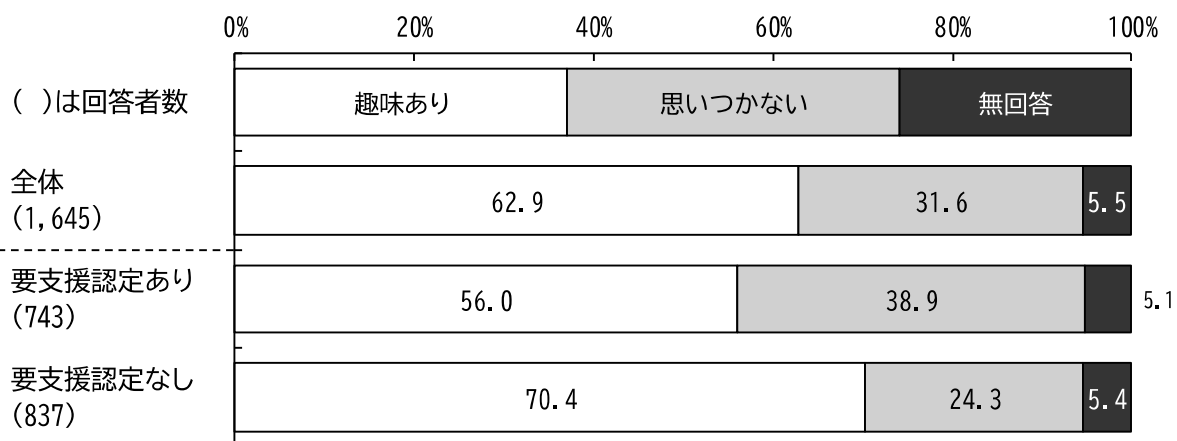
要支援認定なしでは、「趣味あり」70.4%、「思いつかない」24.3%となっています。

趣味の具体的内容については、図表1-95 のとおりとなっています。

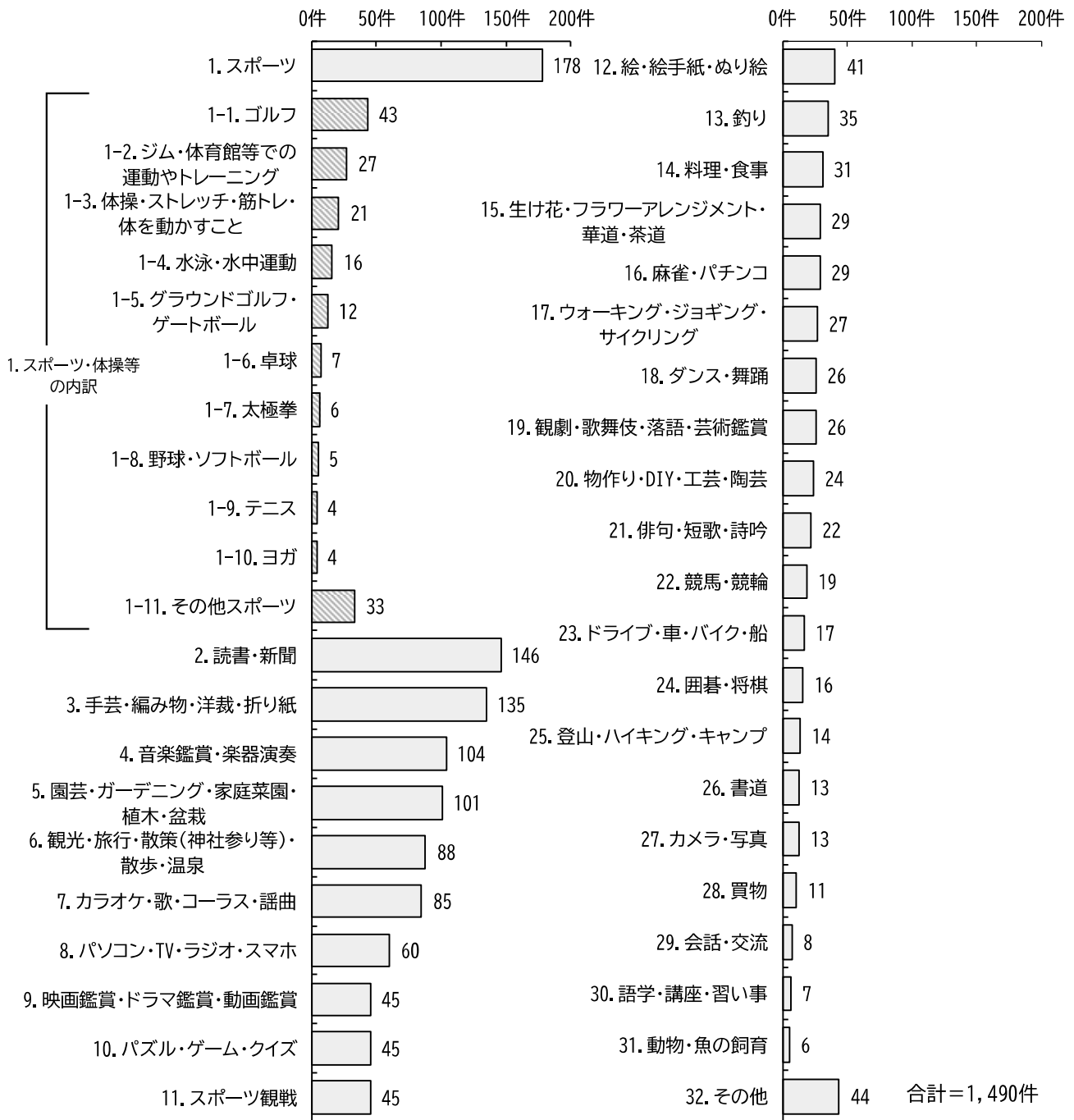
図表 1-93 趣味



図表 1-94 趣味【認定状況別】



図表 1-95 趣味の具体的内容（複数回答）



(18) 生きがい

問4 (18) 生きがいがありますか（1つを選択・記述）

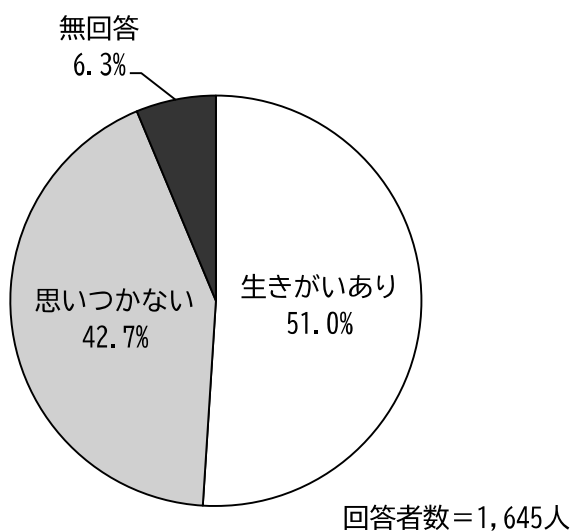
生きがいはあるかについては、全体では「生きがいあり」51.0%、「思いつかない」42.7%となっています。

要支援認定ありでは、「生きがいあり」44.1%、「思いつかない」49.3%となっています。

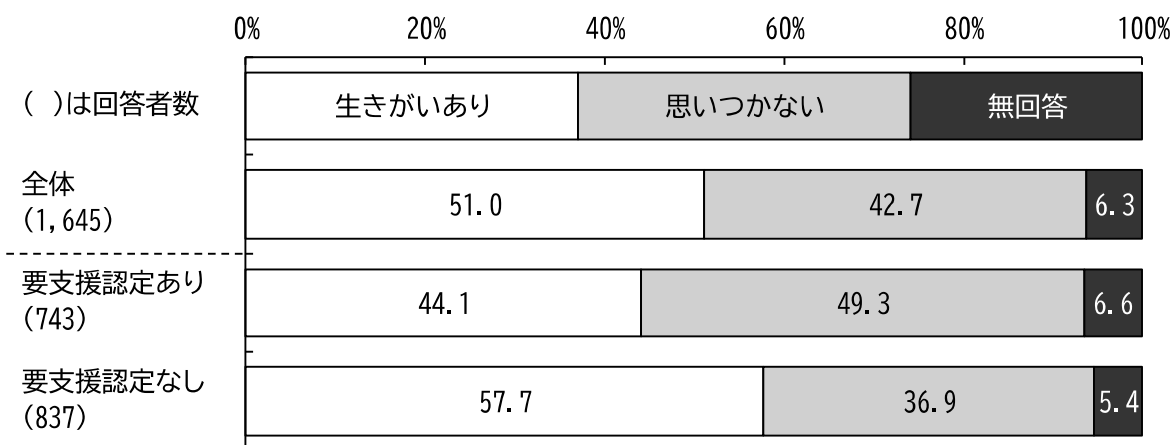
要支援認定なしでは、「生きがいあり」57.7%、「思いつかない」36.9%となっています。

生きがいの具体的内容は、図表1-98 のとおりとなっています。

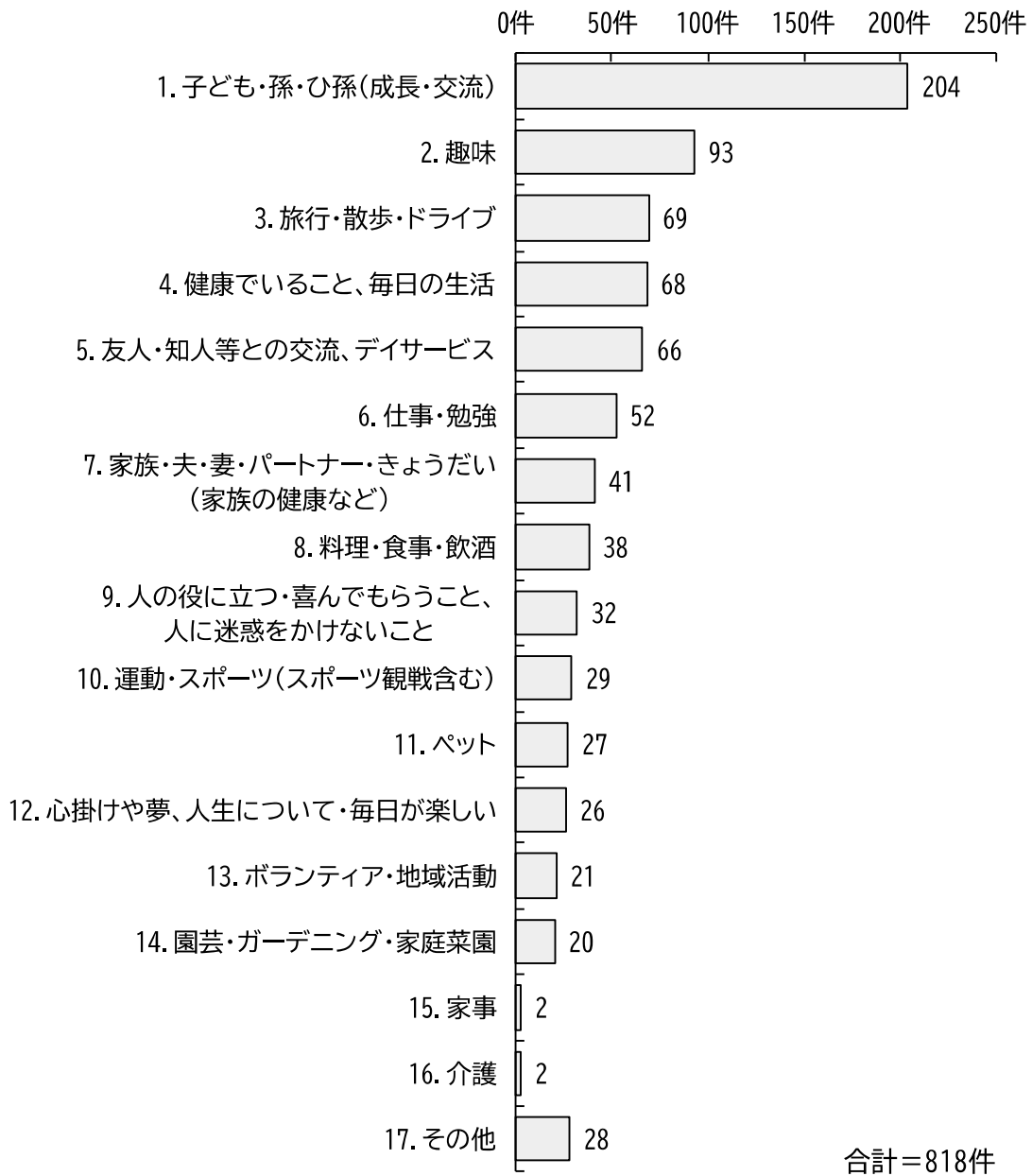
図表 1-96 生きがい



図表 1-97 生きがい【認定状況別】



図表 1-98 生きがいの具体的内容（複数回答）



6 地域での活動

(1) 参加の頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①～⑧それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

※以下で記載している『参加している』は、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を足し上げた数値です。

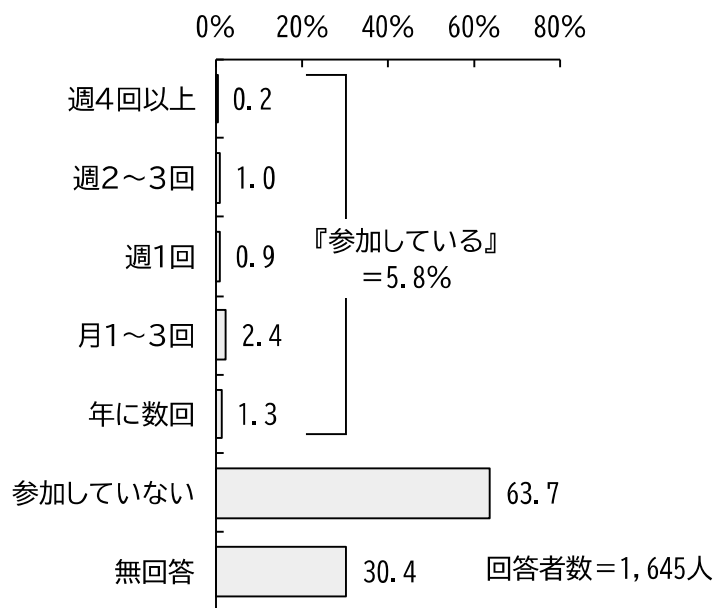
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加については、全体では「参加していない」63.7%が最も高く、次いで「月1～3回」2.4%、「年に数回」1.3%が続いています。

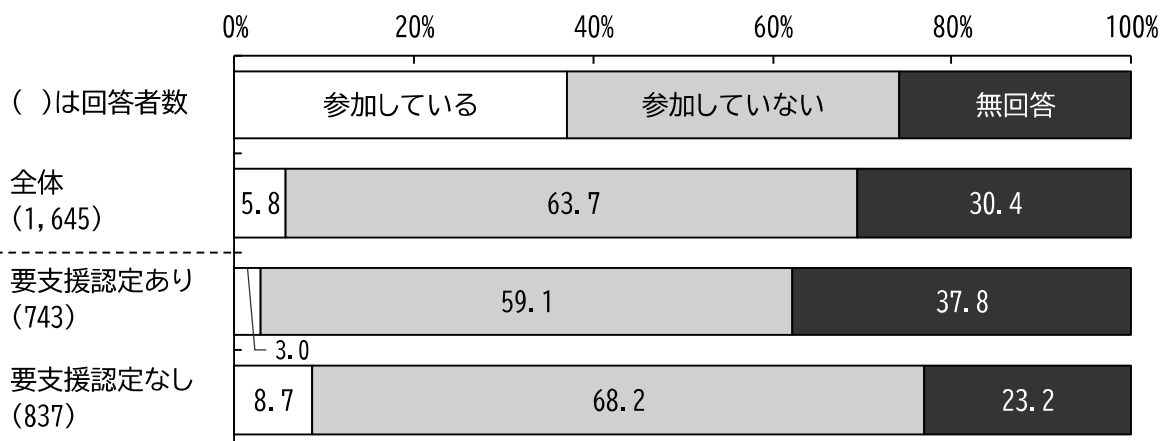
要支援認定ありでは、「参加していない」59.1%、『参加している』は3.0%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」68.2%、『参加している』は8.7%です。

図表 1-99 ボランティアのグループ



図表 1-100 ボランティアのグループ【認定状況別】



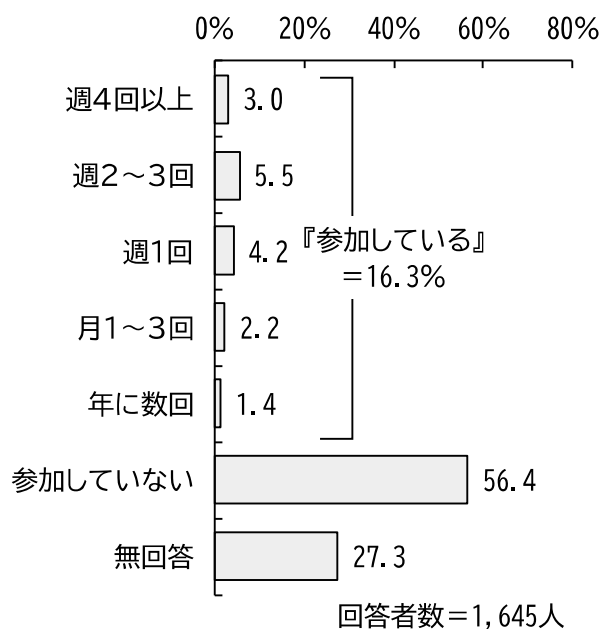
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加については、全体では「参加していない」56.4%が最も高く、次いで「週2～3回」5.5%、「週に1回」4.2%、「週4回以上」3.0%が続いています。

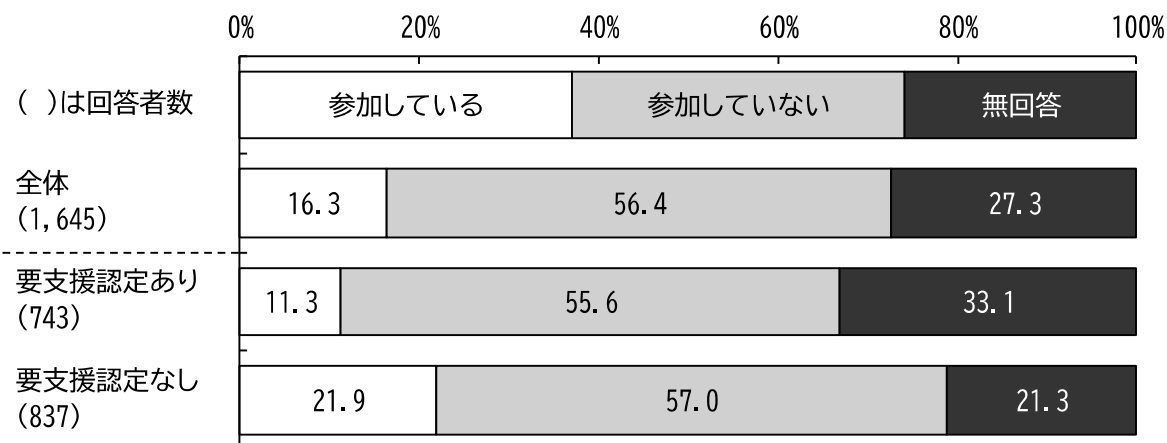
要支援認定ありでは、「参加していない」55.6%、『参加している』は11.3%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」57.0%、『参加している』は21.9%です。

図表 1-101 スポーツ関係のグループやクラブ



図表 1-102 スポーツ関係のグループやクラブ【認定状況別】



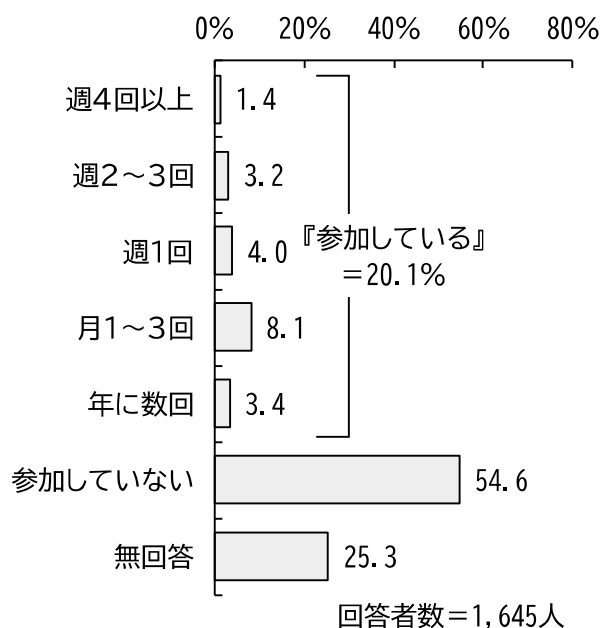
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加については、全体では「参加していない」54.6%が最も高く、次いで「月1～3回」8.1%、「週1回」4.0%、「年に数回」3.4%が続いています。

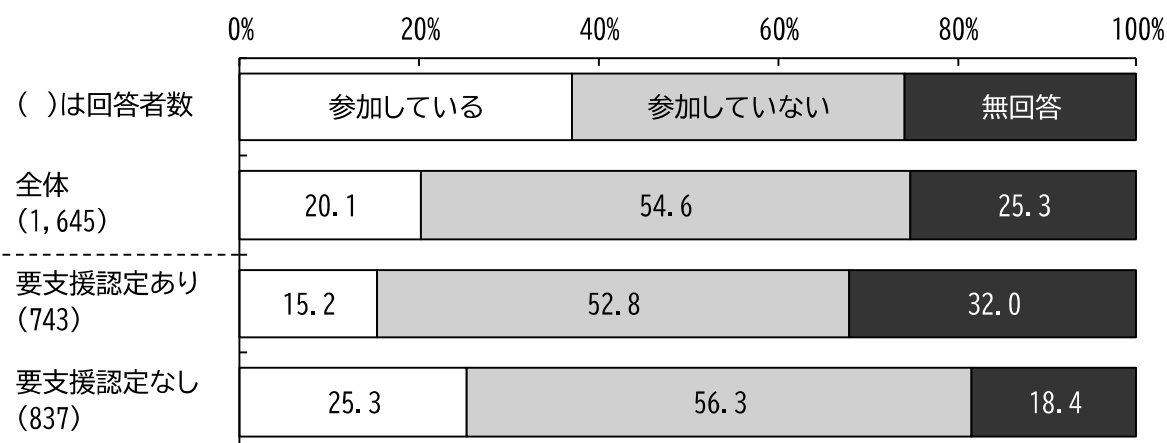
要支援認定ありでは、「参加していない」52.8%、『参加している』は15.2%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」56.3%、『参加している』は25.3%です。

図表 1-103 趣味関係のグループ



図表 1-104 趣味関係のグループ【認定状況別】



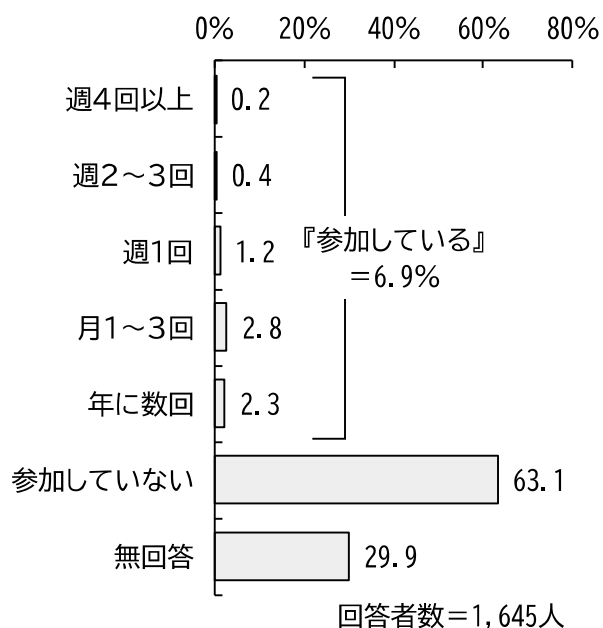
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加については、全体では「参加していない」63.1%が最も高く、次いで「月1～3回」2.8%、「年に数回」2.3%、「週1回」1.2%が続いています。

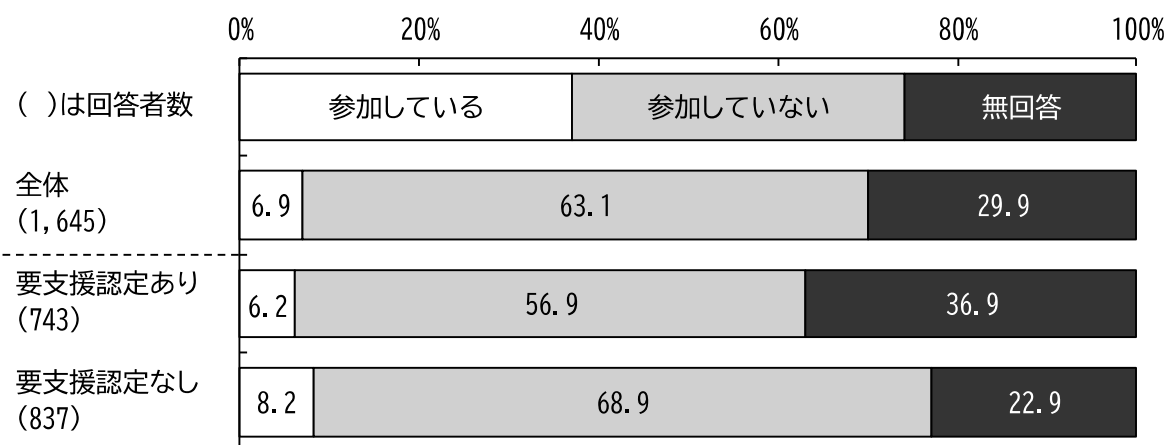
要支援認定ありでは、「参加していない」56.9%、『参加している』は 6.2%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」68.9%、『参加している』は 8.2%です。

図表 1-105 学習・教養サークル



図表 1-106 学習・教養サークル【認定状況別】



⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場(※)への参加については、全体では「参加していない」58.9%が最も高く、次いで「週2～3回」7.8%、「週1回」5.2%が続いています。

要支援認定ありでは、「参加していない」44.3%、『参加している』は29.5%です。

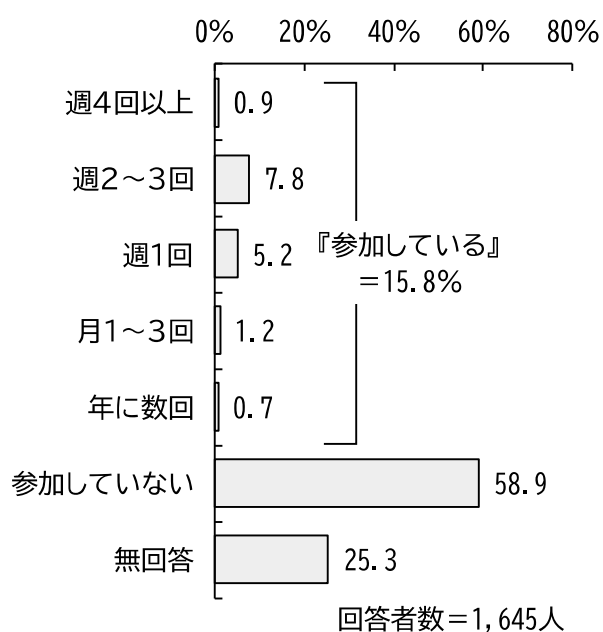
要支援認定なしでは、「参加していない」72.6%、『参加している』は3.6%です。

※介護予防のための通いの場

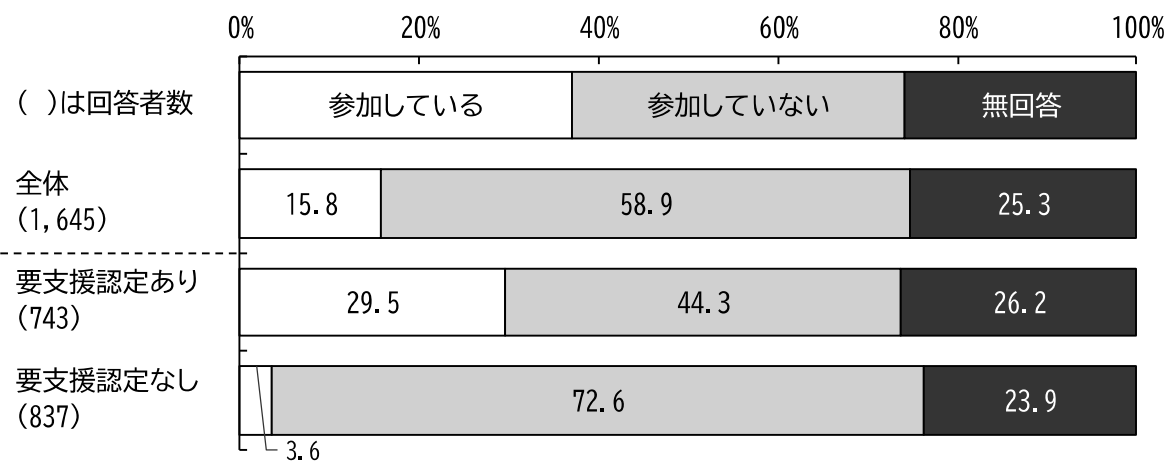
筋トレや体操、脳トレ等、健康維持や認知症予防を目的とした活動を行う場所(団体)です。

(具体例)通所型住民主体サービス実施団体やシニア活動マップ掲載団体、地域の自主グループ等

図表 1-107 介護予防のための通いの場



図表 1-108 介護予防のための通いの場【認定状況別】



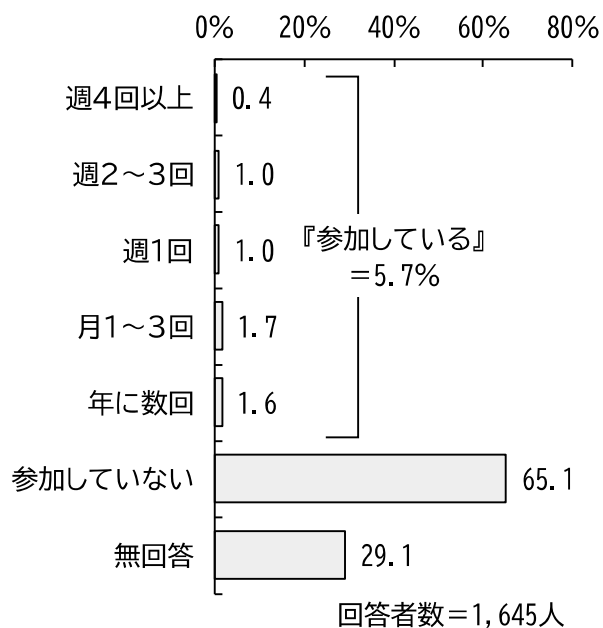
⑥高齢者クラブ

高齢者クラブへの参加については、全体では「参加していない」65.1%が最も高く、次いで「月1～3回」1.7%、「年に数回」1.6%が続いています。

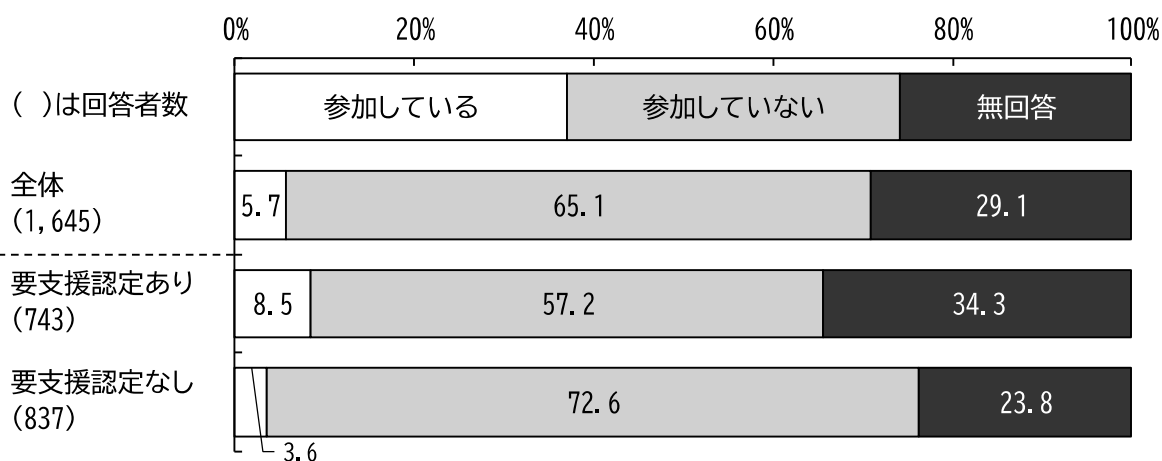
要支援認定ありでは、「参加していない」57.2%、『参加している』は8.5%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」72.6%、『参加している』は3.6%です。

図表 1-109 高齢者クラブ



図表 1-110 高齢者クラブ【認定状況別】



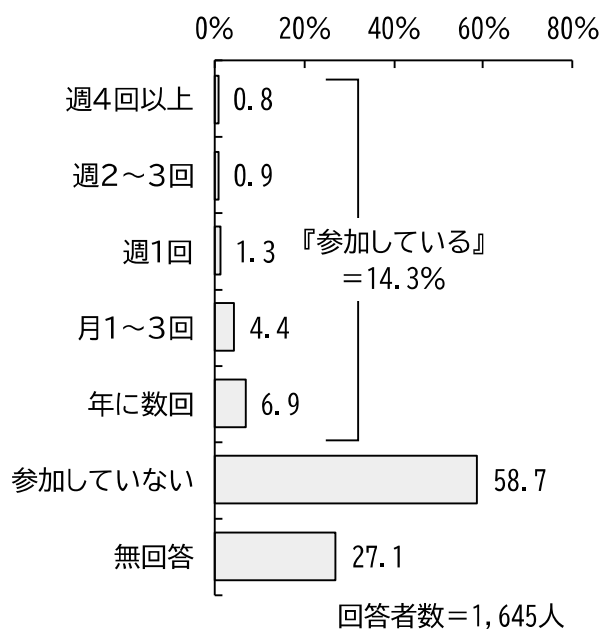
⑦町会・自治会

町会・自治会への参加については、全体では「参加していない」58.7%が最も高く、次いで「年に数回」6.9%、「月1～3回」4.4%が続いています。

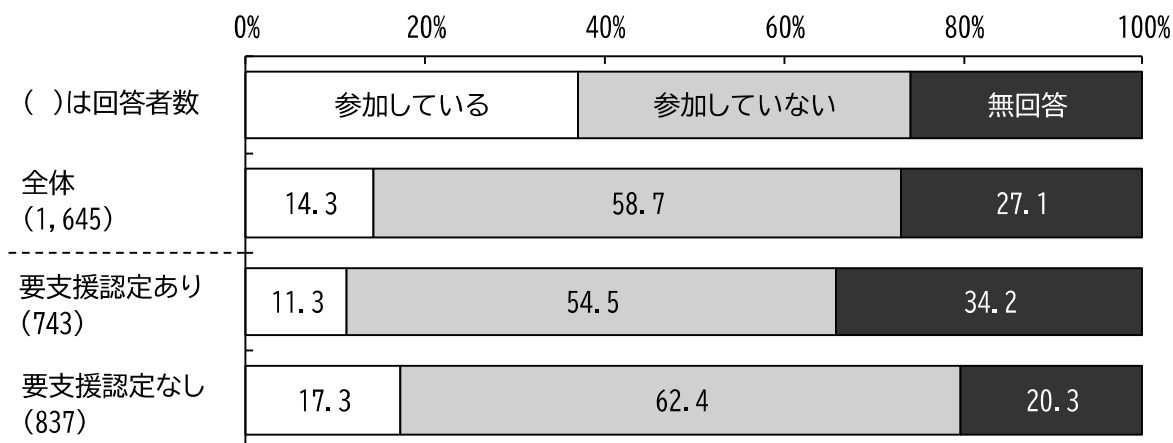
要支援認定ありでは、「参加していない」54.5%、『参加している』は11.3%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」62.4%、『参加している』は17.3%です。

図表 1-111 町会・自治会



図表 1-112 町会・自治会【認定状況別】



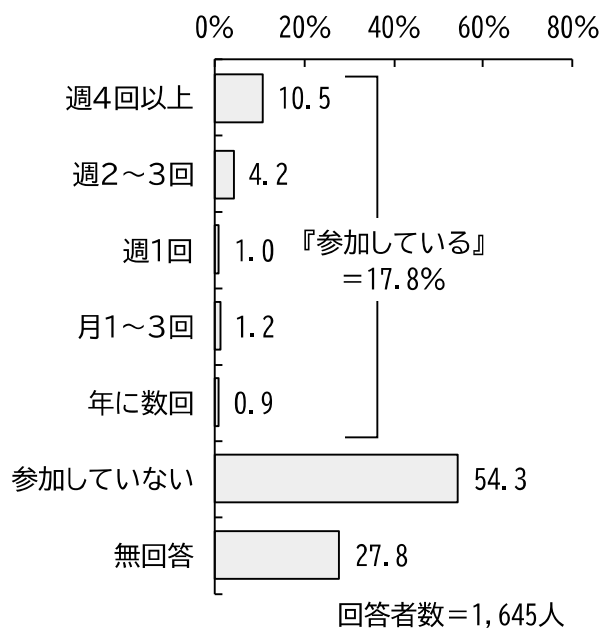
⑧収入のある仕事

収入のある仕事については、全体では「参加していない」54.3%が最も高く、次いで「週4回以上」10.5%、「週2～3回」4.2%が続いています。

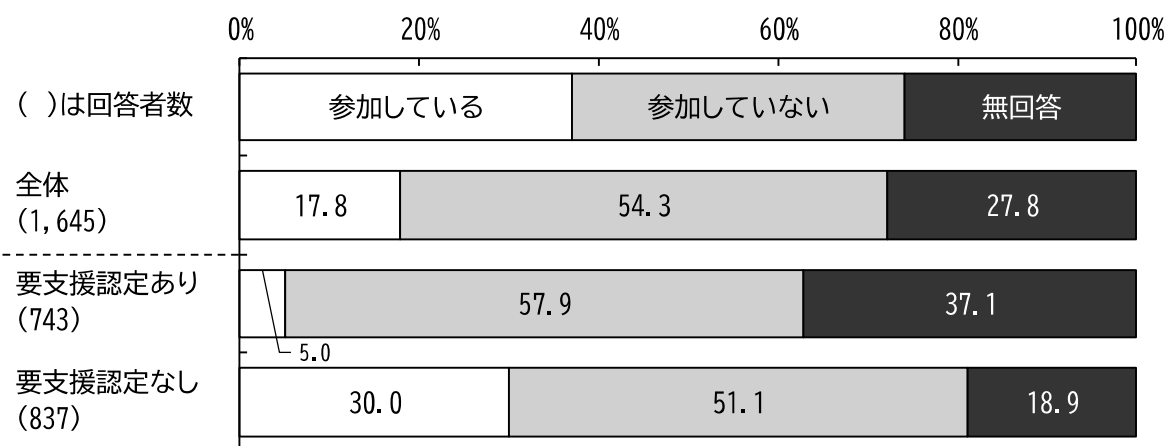
要支援認定ありでは、「参加していない」57.9%、『参加している』は5.0%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」51.1%、『参加している』は30.0%です。

図表 1-113 収入のある仕事



図表 1-114 収入のある仕事【認定状況別】



（２）地域づくり活動へ参加者として参加したいか

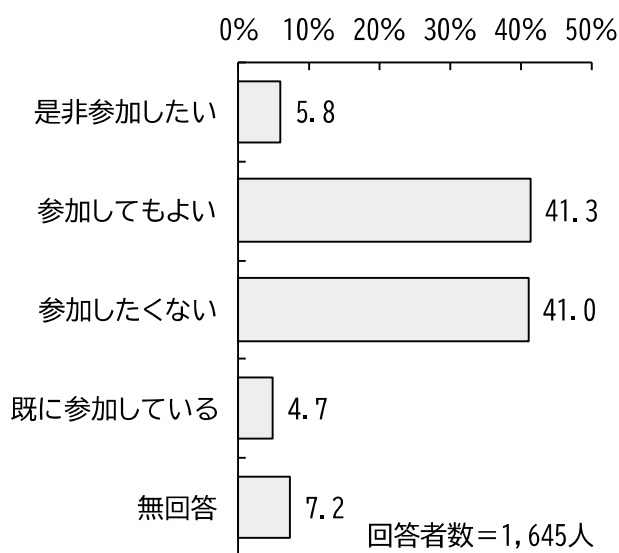
問５（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（１つを選択）

地域づくり活動へ参加者として参加したいかについては、全体では「参加してもよい」41.3%が最も高く、次いで「参加したくない」41.0%、「是非参加したい」5.8%、「既に参加している」4.7%となっています。

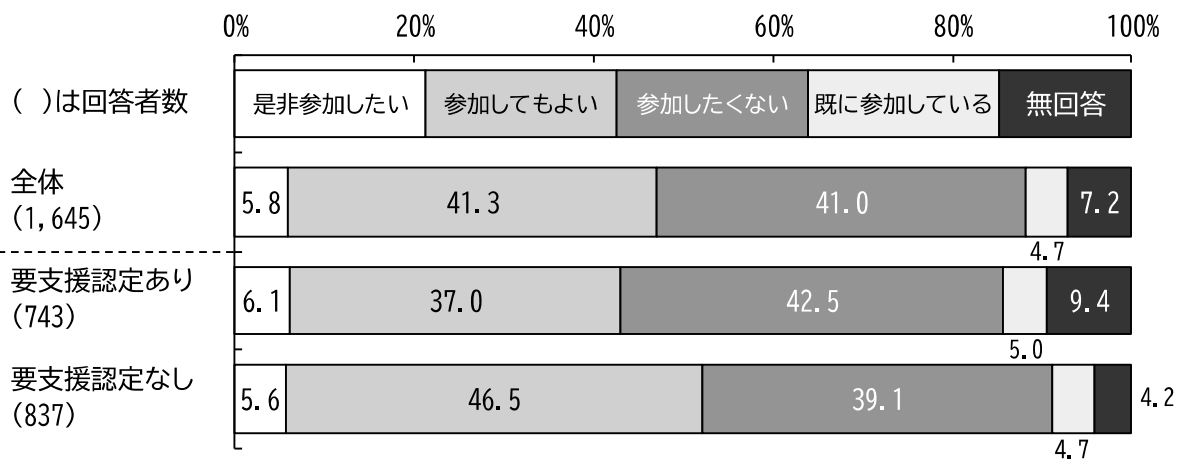
要支援認定ありでは、「参加したくない」42.5%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「参加してもよい」46.5%が最も高くなっています。

図表 1-115 地域づくり活動へ参加者として参加したいか



図表 1-116 地域づくり活動へ参加者として参加したいか【認定状況別】



（３）地域づくり活動へ世話役として参加したいか

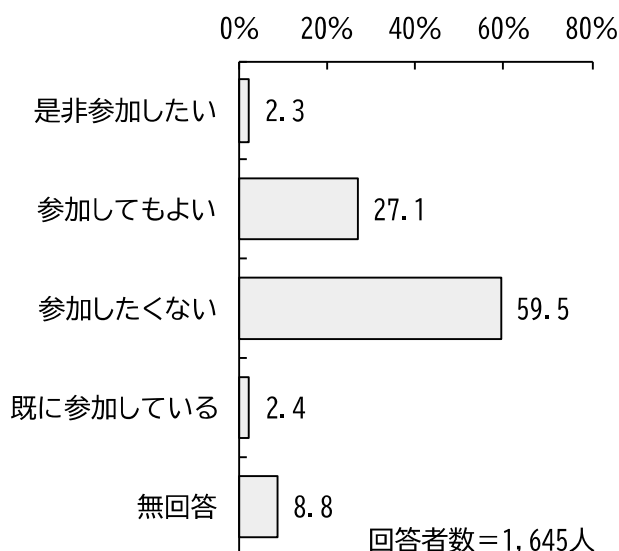
問５（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（１つを選択）

地域づくり活動へ世話役として参加したいかについては、全体では「参加したくない」59.5%が最も高く、次いで「参加してもよい」27.1%、「既に参加している」2.4%、「是非参加したい」2.3%となっています。

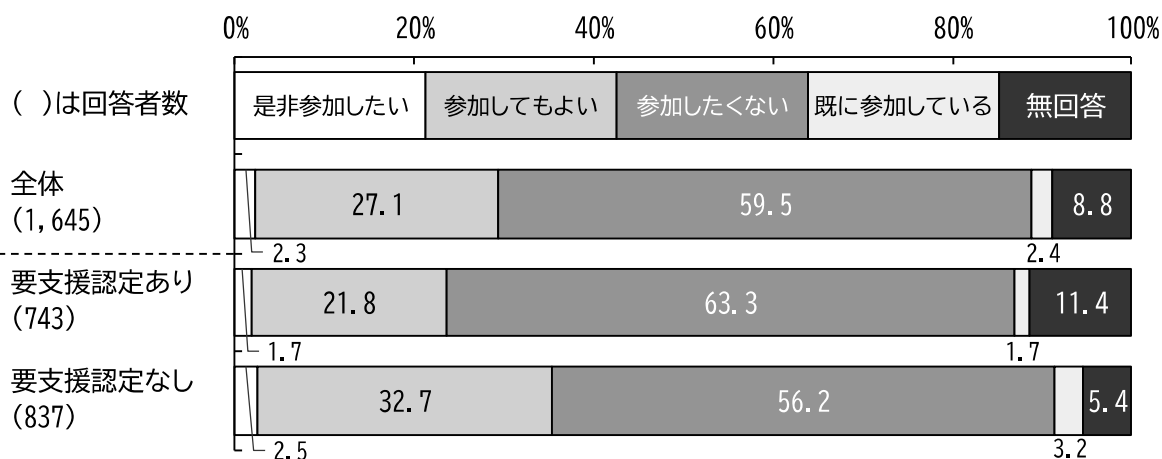
要支援認定ありでは、「参加したくない」63.3%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「参加したくない」56.2%が最も高くなっています。

図表 1-117 地域づくり活動へ世話役として参加したいか



図表 1-118 地域づくり活動へ世話役として参加したいか【認定状況別】



7 たすけあい

(1) 相談を聞いてくれる人

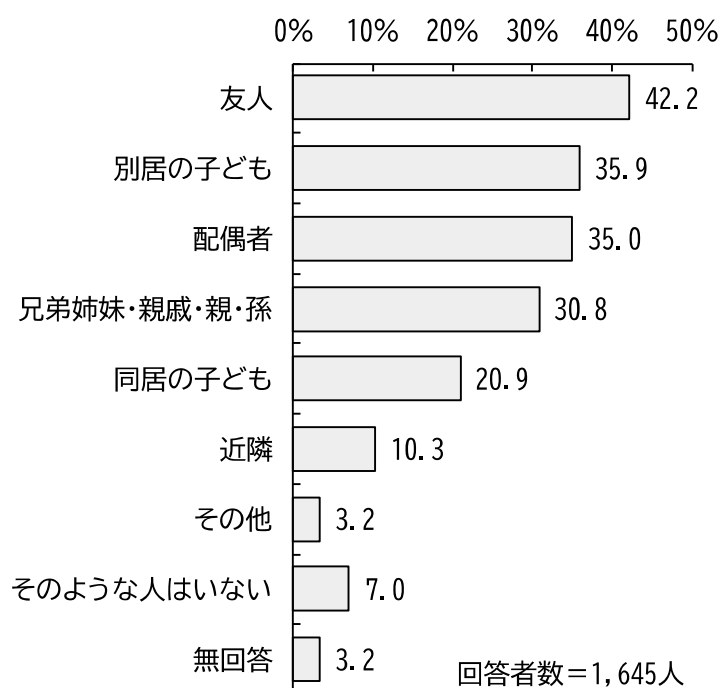
問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

相談を聞いてくれる人は、全体では「友人」42.2%が最も高く、次いで「別居の子ども」35.9%、「配偶者」35.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」30.8%が続いています。

要支援認定ありでは、「別居の子ども」38.9%、「友人」36.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「友人」47.9%、「配偶者」45.9%、「別居の子ども」33.7%が上位3位となっています。

図表 1-119 相談を聞いてくれる人(複数回答)



図表 1-120 相談を聞いてくれる人【認定状況別】

		回答者数	友人	別居の子ども	配偶者	親兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体		1,645	694	590	576	506	344	170	53	115	53	53
		100.0	42.2	35.9	35.0	30.8	20.9	10.3	3.2	7.0	3.2	3.2
認定状況別	要支援認定あり	743	273	289	175	230	139	82	33	60	29	29
		100.0	36.7	38.9	23.6	31.0	18.7	11.0	4.4	8.1	3.9	3.9
認定状況別	要支援認定なし	837	401	282	384	258	195	83	18	50	20	20
		100.0	47.9	33.7	45.9	30.8	23.3	9.9	2.2	6.0	2.4	2.4

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(2) 相談を聞いてあげる人

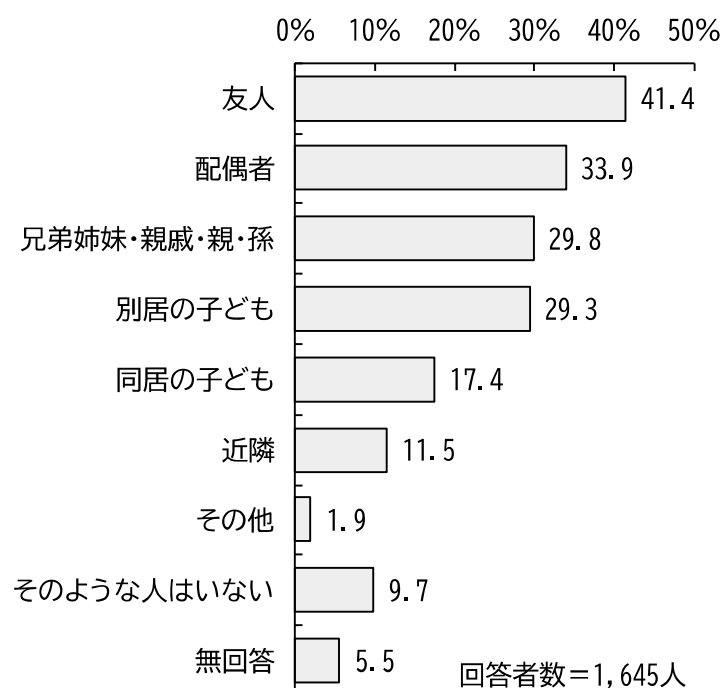
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

相談を聞いてあげる人は、全体では「友人」41.4%が最も高く、次いで「配偶者」33.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」29.8%、「別居の子ども」29.3%が続いています。

要支援認定ありでは、「友人」37.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」28.4%、「別居の子ども」27.9%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「友人」46.1%、「配偶者」45.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.5%が上位3位となっています。

図表 1-121 相談を聞いてあげる人（複数回答）



図表 1-122 相談を聞いてあげる人【認定状況別】

		回答者数	友人	配偶者	親戚・兄弟姉妹・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体		1,645 100.0	681 41.4	557 33.9	490 29.8	482 29.3	287 17.4	189 11.5	31 1.9	159 9.7		90 5.5
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	277 37.3	162 21.8	211 28.4	207 27.9	97 13.1	83 11.2	11 1.5	98 13.2		54 7.3
	要支援認定なし	837 100.0	386 46.1	379 45.3	264 31.5	262 31.3	181 21.6	100 11.9	20 2.4	54 6.5		25 3.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（３）病気の世話をしてくれる人

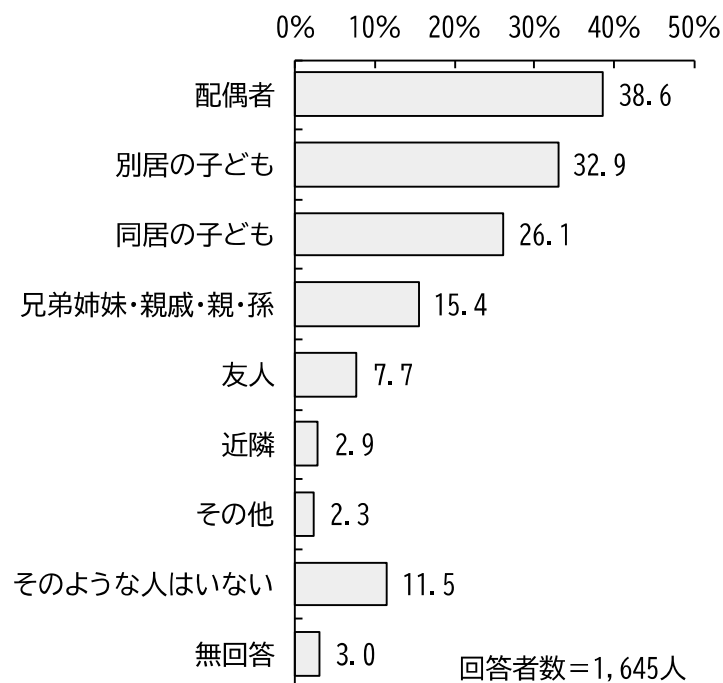
問６（３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)

自分が病気のときに世話をしてくれる人は、全体では「配偶者」38.6%が最も高く、次いで「別居の子ども」32.9%、「同居の子ども」26.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」15.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「別居の子ども」38.5%、「配偶者」26.4%、「同居の子ども」24.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「配偶者」50.4%、「別居の子ども」「同居の子ども」がともに 28.1%で上位3位となっています。

図表 1-123 病気の世話をしてくれる人（複数回答）



図表 1-124 病気の世話をしてくれる人【認定状況別】

		回答者数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・姉妹・親・孫	友人	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体		1,645 100.0	635 38.6	541 32.9	429 26.1	254 15.4	127 7.7	48 2.9	38 2.3	189 11.5		50 3.0
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	196 26.4	286 38.5	178 24.0	113 15.2	55 7.4	23 3.1	27 3.6	106 14.3		28 3.8
	要支援認定なし	837 100.0	422 50.4	235 28.1	235 28.1	130 15.5	70 8.4	23 2.7	9 1.1	74 8.8		17 2.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（４）病気の世話をしてあげる人

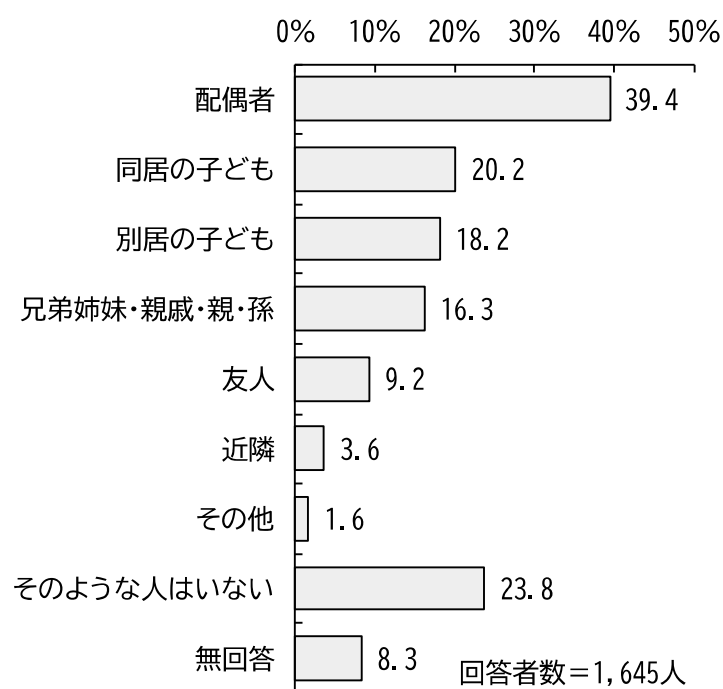
問６（４）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

病気の世話をしてあげる人は、全体では「配偶者」39.4%が最も高く、次いで「そのような人はいない」23.8%、「同居の子ども」20.2%、「別居の子ども」18.2%が続いています。

要支援認定ありでは、「そのような人はいない」32.8%、「配偶者」28.1%、「同居の子ども」15.2%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「配偶者」50.4%、「同居の子ども」25.2%、「別居の子ども」23.7%が上位3位となっています。

図表 1-125 病気の世話をしてあげる人（複数回答）



図表 1-126 病気の世話をしてあげる人【認定状況別】

	回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	いない そのような人は	無回答
全体	1,645 100.0	648 39.4	332 20.2	300 18.2	268 16.3	152 9.2	59 3.6	27 1.6	391 23.8	136 8.3
認定状況別										
要支援認定あり	743 100.0	209 28.1	113 15.2	93 12.5	86 11.6	54 7.3	20 2.7	17 2.3	244 32.8	84 11.3
要支援認定なし	837 100.0	422 50.4	211 25.2	198 23.7	178 21.3	92 11.0	36 4.3	9 1.1	126 15.1	42 5.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(5) 家族や友人・知人以外で相談する人

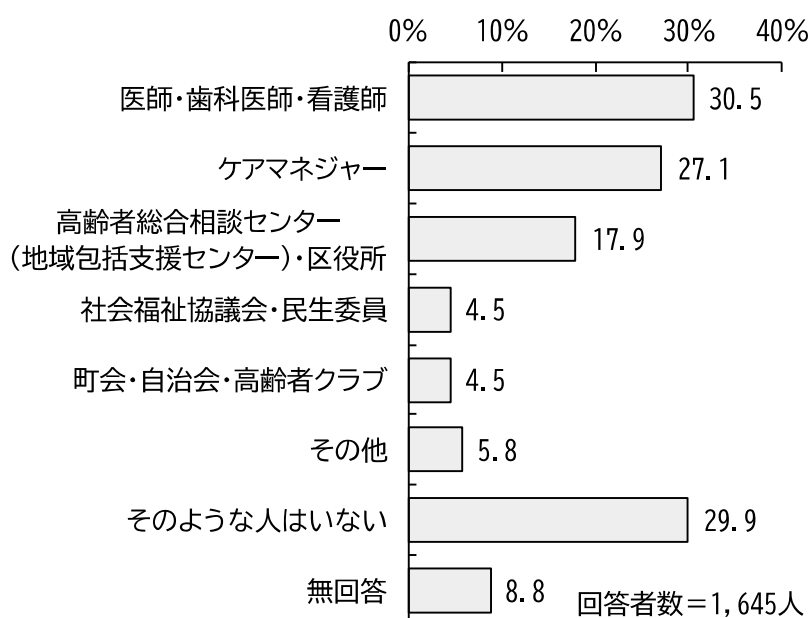
問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で相談する人は、全体では「医師・歯科医師・看護師」30.5%が最も高く、次いで「そのような人はいない」29.9%、「ケアマネジャー」27.1%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」17.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「ケアマネジャー」53.0%、「医師・歯科医師・看護師」29.5%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」23.1%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「そのような人はいない」41.0%、「医師・歯科医師・看護師」31.4%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」13.9%が上位3位となっています。

図表 1-127 家族や友人・知人以外で相談する人(複数回答)



図表 1-128 家族や友人・知人以外で相談する人【認定状況別】

		回答者数	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所	社会福祉協議会・民生委員	町会・自治会・高齢者クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,645 100.0	501 30.5	446 27.1	295 17.9	74 4.5	74 4.5	95 5.8	492 29.9	144 8.8
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	219 29.5	394 53.0	172 23.1	37 5.0	32 4.3	29 3.9	136 18.3	52 7.0
	要支援認定なし	837 100.0	263 31.4	33 3.9	116 13.9	33 3.9	38 4.5	63 7.5	343 41.0	79 9.4

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（６）友人・知人と会う頻度

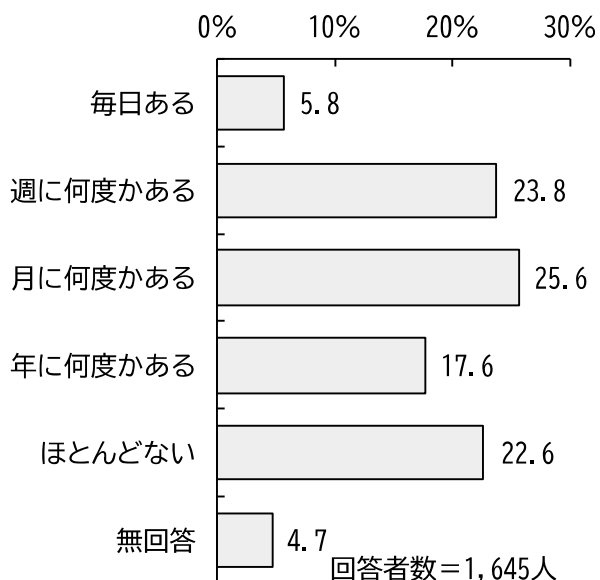
問６（６）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つを選択）

友人・知人と会う頻度は、全体では「月に何度かある」25.6%が最も高く、次いで「週に何度かある」23.8%、「ほとんどない」22.6%、「年に何度かある」17.6%、「毎日ある」5.8%となっています。

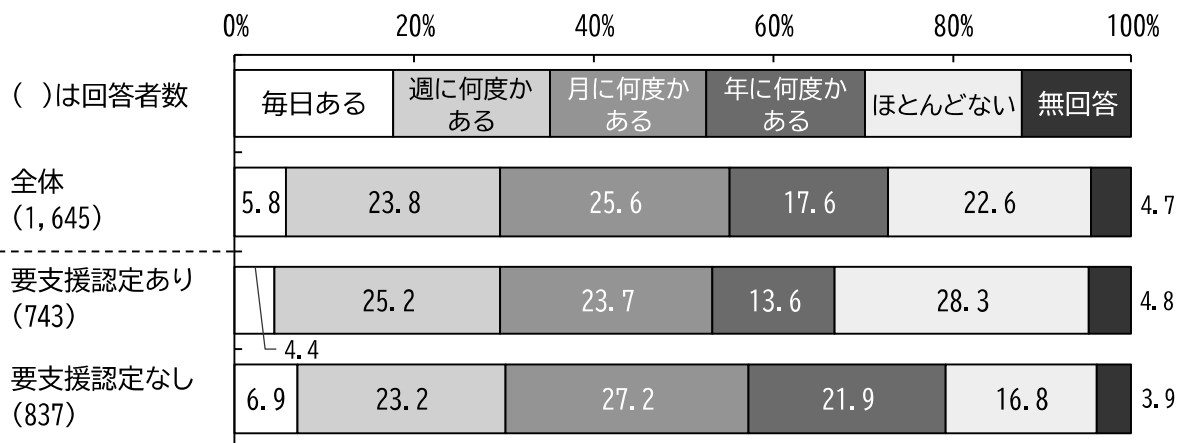
要支援認定ありでは、「ほとんどない」28.3%が最も高く、「週に何度かある」25.2%、「月に何度かある」23.7%が続いています。

要支援認定なしでは、「月に何度かある」27.2%が最も高く、「週に何度かある」23.2%、「年に何度かある」21.9%が続いています。

図表 1-129 友人・知人と会う頻度



図表 1-130 友人・知人と会う頻度【認定状況別】



（７） １か月間に会った友人・知人の数

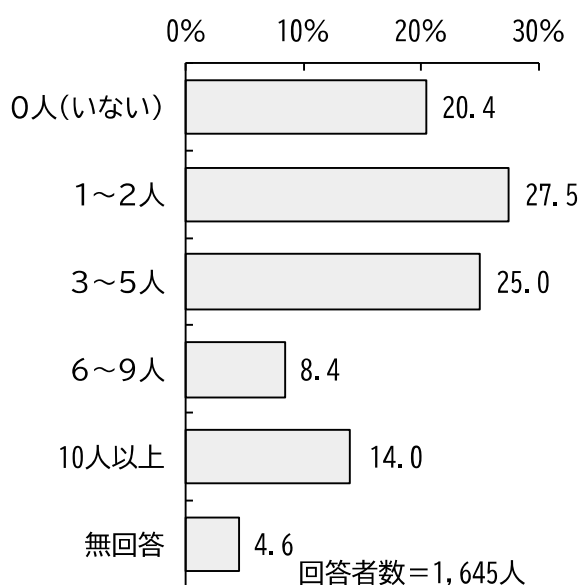
問６（７） この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか
 同じ人には何度会っても１人と数えることとします（１つを選択）

１か月間に会った友人・知人の数は、全体では「１～２人」２７.５％が最も高く、次いで「３～５人」２５.０％、「０人(いない)」２０.４％、「１０人以上」１４.０％、「６～９人」８.４％となっています。

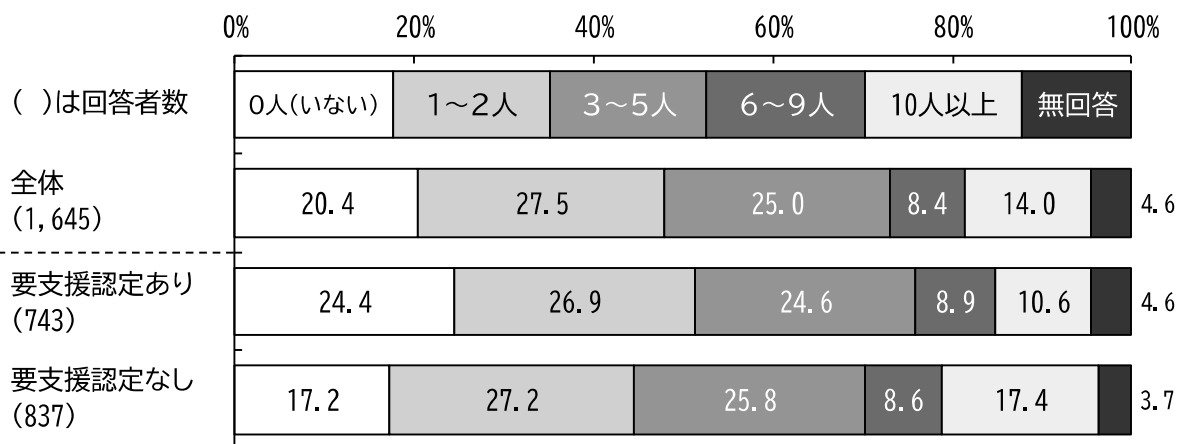
要支援認定ありでは、「１～２人」２６.９％が最も高く、「３～５人」２４.６％、「０人(いない)」２４.４％が続いています。

要支援認定なしでは、「１～２人」２７.２％が最も高く、「３～５人」２５.８％、「１０人以上」１７.４％が続いています。

図表 １-131 １か月間に会った友人・知人の数



図表 １-132 １か月間に会った友人・知人の数【認定状況別】



(8) よく会う友人・知人の関係

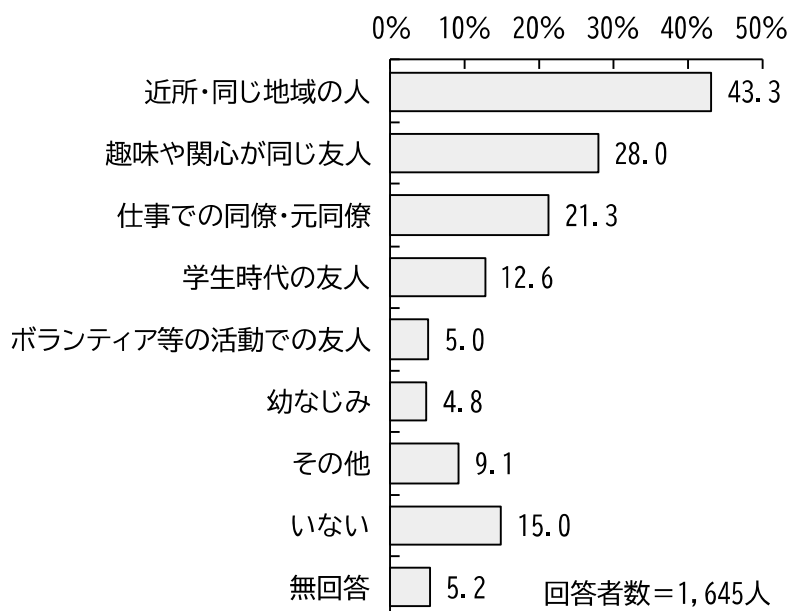
問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

よく会う友人・知人の関係は、全体では「近所・同じ地域の人」43.3%が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」28.0%、「仕事での同僚・元同僚」21.3%、「いない」15.0%が続いています。

要支援認定ありでは、「近所・同じ地域の人」47.8%、「趣味や関心が同じ友人」23.0%、「いない」19.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「近所・同じ地域の人」39.7%、「趣味や関心が同じ友人」33.2%、「仕事での同僚・元同僚」32.3%が上位3位となっています。

図表 1-133 よく会う友人・知人の関係 (複数回答)



図表 1-134 よく会う友人・知人の関係【認定状況別】

	回答者数	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	ボランティア等の活動での友人	幼なじみ	その他	いない	無回答
全体	1,645 100.0	712 43.3	461 28.0	351 21.3	208 12.6	83 5.0	79 4.8	150 9.1	246 15.0	86 5.2
認定状況別										
要支援認定あり	743 100.0	355 47.8	171 23.0	70 9.4	55 7.4	27 3.6	25 3.4	82 11.0	141 19.0	42 5.7
要支援認定なし	837 100.0	332 39.7	278 33.2	270 32.3	148 17.7	54 6.5	53 6.3	65 7.8	92 11.0	36 4.3

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

8 健康

(1) 現在の健康状態

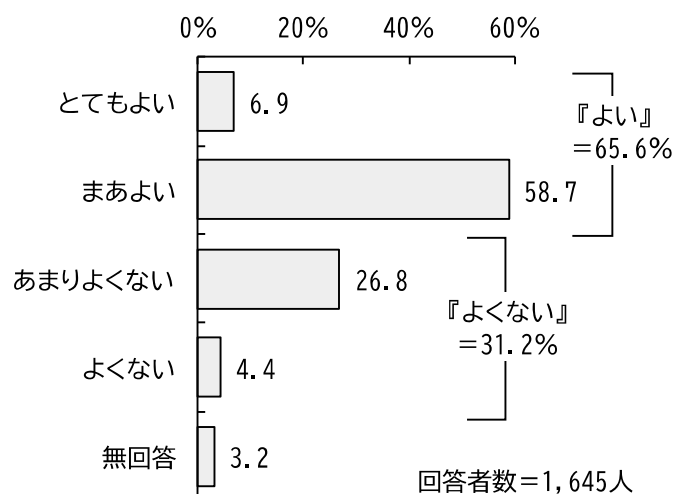
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つを選択)

現在の健康状態は、全体では「まあよい」58.7%が最も高く、次いで「あまりよくない」26.8%、「とてもよい」6.9%、「よくない」4.4%となっています。

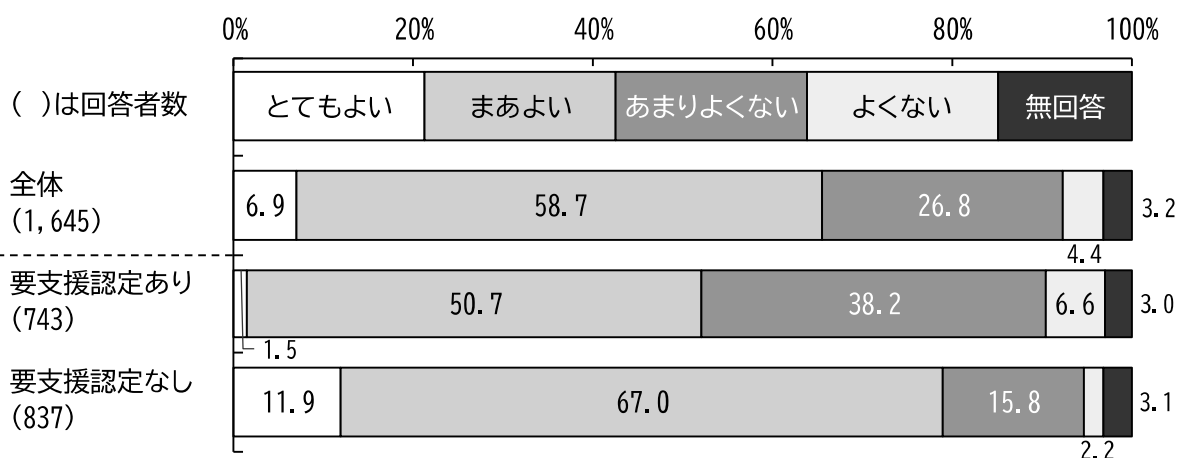
要支援認定ありでは、「まあよい」50.7%が最も高く、次いで「あまりよくない」38.2%が続いています。

要支援認定なしでは、「まあよい」67.0%が最も高く、次いで「あまりよくない」15.8%が続いています。

図表 1-135 現在の健康状態



図表 1-136 現在の健康状態【認定状況別】



(2) 現在の幸福度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか (1つを選択)

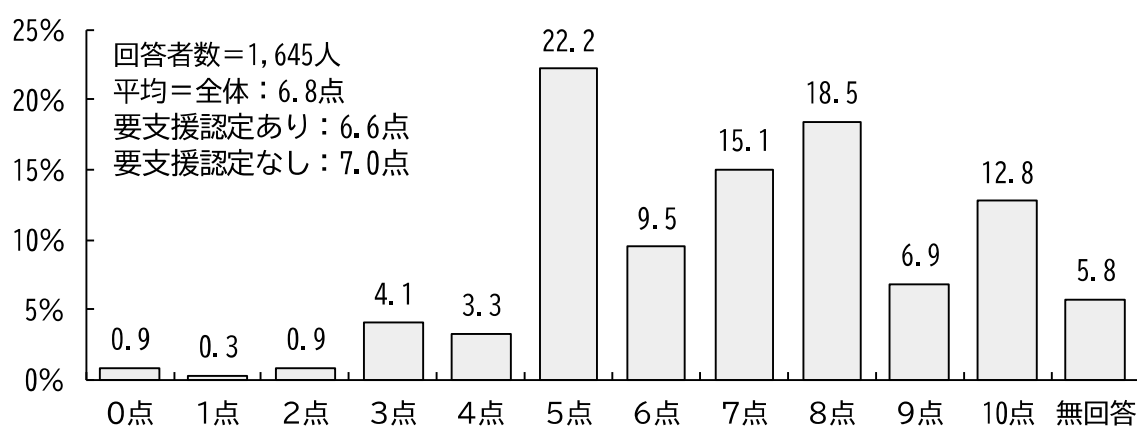
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福度については、全体では「5点」22.2%が最も高く、次いで「8点」18.5%、「7点」15.1%、「10点」12.8%と続いています。平均点は6.8点です。

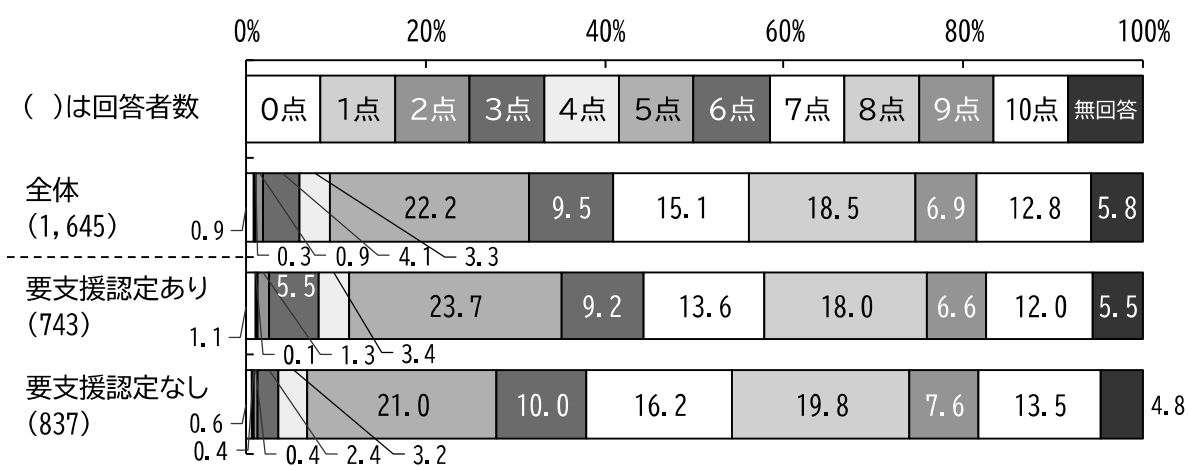
要支援認定ありでは、「5点」23.7%が最も高く、平均点は6.6点です。

要支援認定なしでは、「5点」21.0%が最も高く、平均点は7.0点です。

図表 1-137 現在の幸福度



図表 1-138 現在の幸福度【認定状況別】



（３）気分が沈むこと

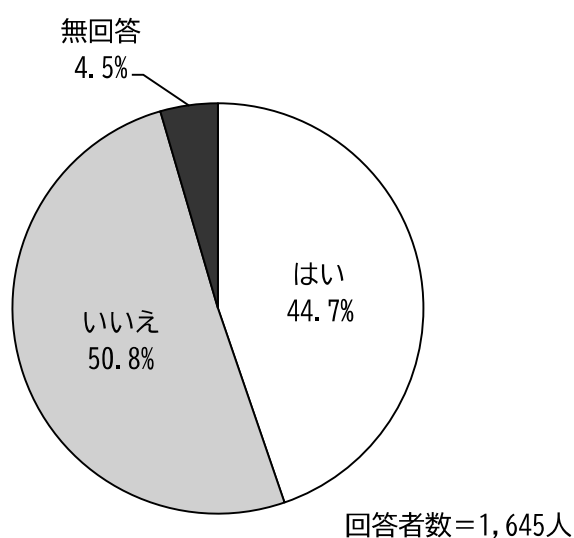
問７（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（１つを選択）

この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、全体では「はい」44.7%、「いいえ」50.8%となっています。

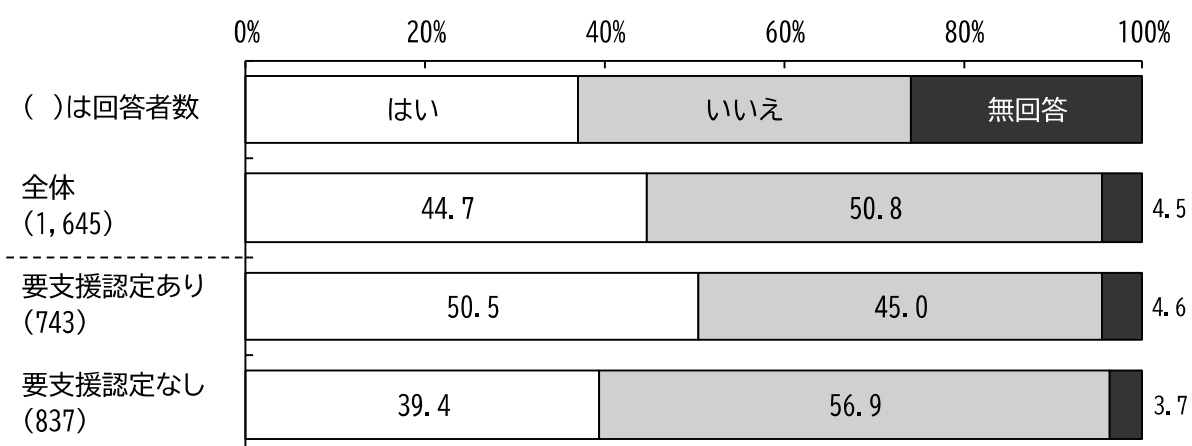
要支援認定ありでは、「はい」50.5%、「いいえ」45.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」39.4%、「いいえ」56.9%となっています。

図表 １-139 気分が沈むこと



図表 １-140 気分が沈むこと【認定状況別】



（４）物事に対して興味がわからないこと

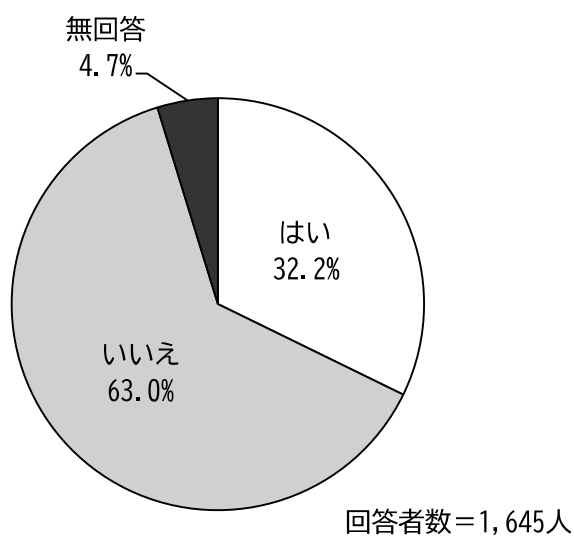
問７（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（１つを選択）

この１か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、全体では「はい」32.2%、「いいえ」63.0%となっています。

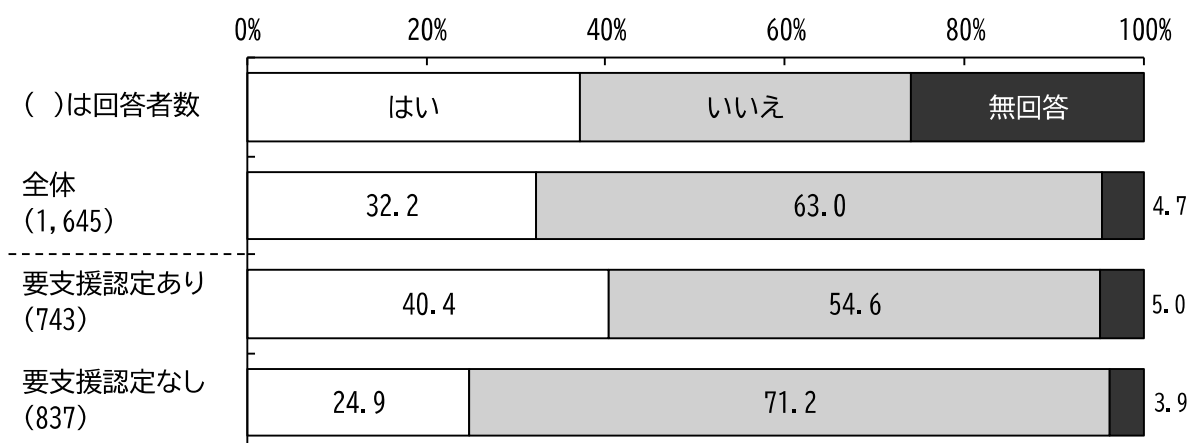
要支援認定ありでは、「はい」40.4%、「いいえ」54.6%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」24.9%、「いいえ」71.2%となっています。

図表 １-141 物事に対して興味がわからないこと



図表 １-142 物事に対して興味がわからないこと【認定状況別】



（５）お酒

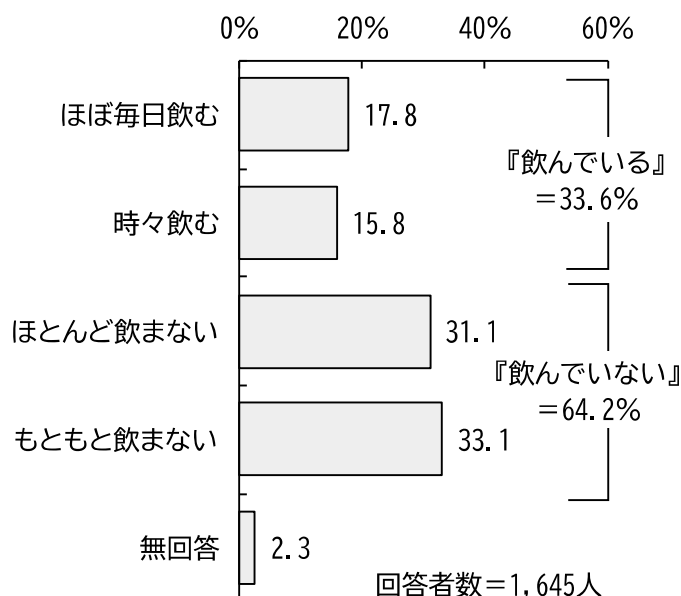
問７（５）お酒は飲みますか（１つを選択）

お酒を飲むかについては、全体では「もともと飲まない」33.1%が最も高く、これと「ほとんど飲まない」31.1%を合わせた『飲んでいない』64.2%となっています。一方、「ほぼ毎日飲む」17.8%と「時々飲む」15.8%を合わせた『飲んでいる』33.6%となっています。

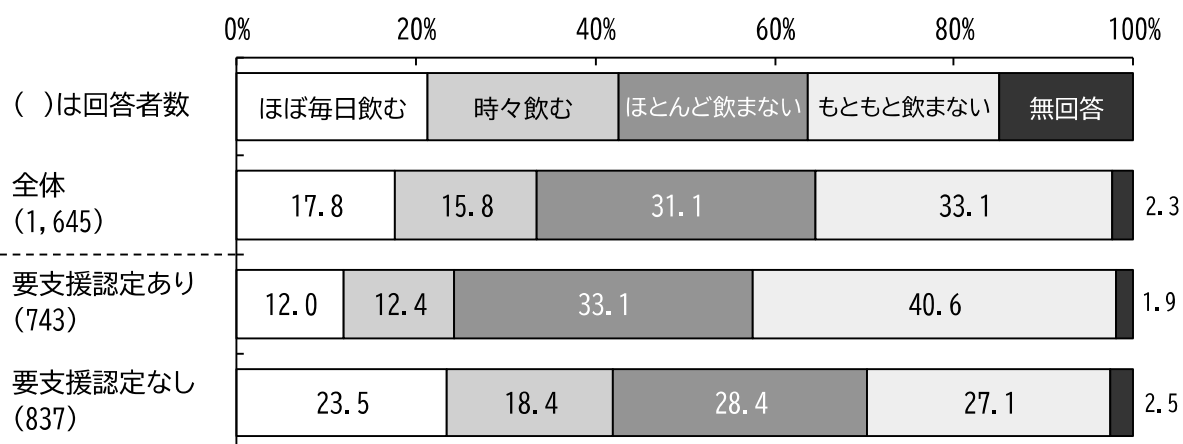
要支援認定ありでは、「もともと飲まない」40.6%が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」33.1%が続いています。

要支援認定なしでは、「ほとんど飲まない」28.4%が最も高く、次いで「もともと飲まない」27.1%、「ほぼ毎日飲む」23.5%が続いています。

図表 1-143 お酒



図表 1-144 お酒【認定状況別】



(6) タバコ

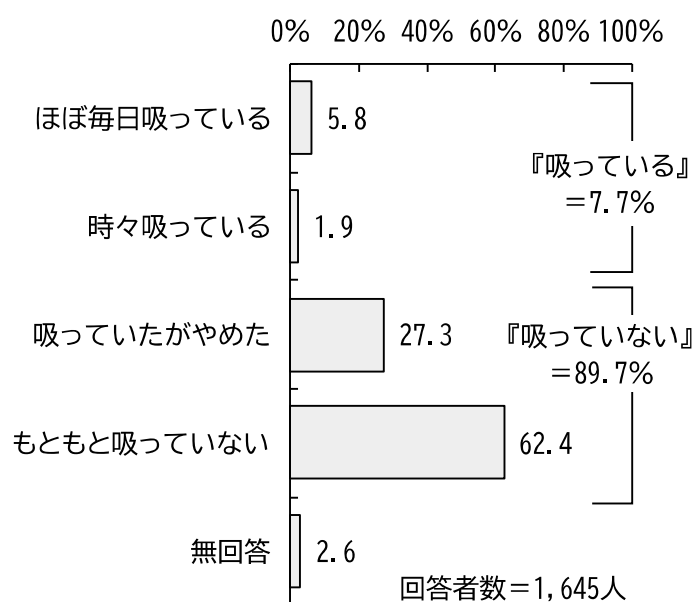
問7 (6) タバコは吸っていますか (1つを選択)

タバコを吸うかについては、全体では「もともと吸っていない」62.4%が最も高く、これと「吸っていたがやめた」27.3%を合わせた『吸っていない』89.7%となっています。一方、「ほぼ毎日吸っている」5.8%と「時々吸っている」1.9%を合わせた『吸っている』7.7%となっています。

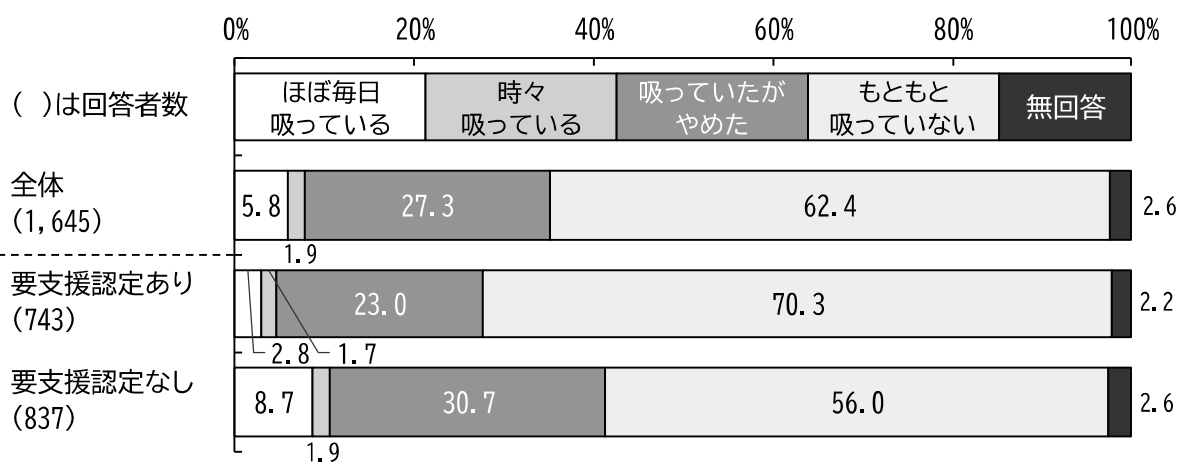
要支援認定ありでは、「もともと吸っていない」70.3%が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」23.0%が続いています。

要支援認定なしでは、「もともと吸っていない」56.0%が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」30.7%が続いています。

図表 1-145 タバコ



図表 1-146 タバコ【認定状況別】



（７）治療中・後遺症のある病気

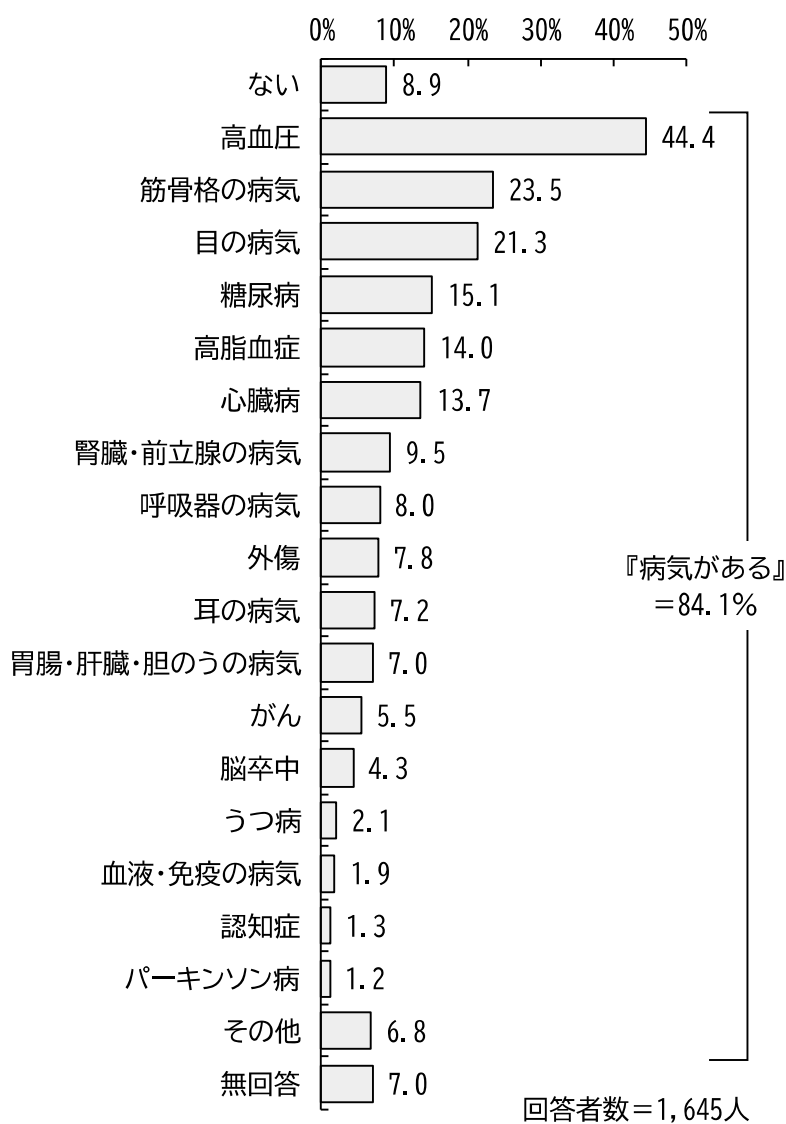
問７（７）現在治療中又は後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

治療中・後遺症のある病気は、全体では「高血圧」44.4％が最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」23.5％、「目の病気」21.3％、「糖尿病」15.1％、「高脂血症（脂質異常）」14.0％が続いています。

要支援認定ありでは、「高血圧」48.3％、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」33.5％、「目の病気」25.3％が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「高血圧」40.9％、「目の病気」18.3％、「高脂血症（脂質異常）」16.4％が上位3位となっています。

図表 1-147 治療中・後遺症のある病気（複数回答）



※『病気がある』（％）＝全体（％）－「ない」（％）－「無回答」（％）

図表 1-148 治療中・後遺症のある病気【認定状況別】

		回答者数	ない	高血圧	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	目の病気	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等)	外傷 (転倒・骨折等)
全体		1,645 100.0	147 8.9	730 44.4	386 23.5	351 21.3	249 15.1	231 14.0	225 13.7	156 9.5	131 8.0	128 7.8
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	14 1.9	359 48.3	249 33.5	188 25.3	118 15.9	89 12.0	135 18.2	84 11.3	70 9.4	96 12.9
	要支援認定なし	837 100.0	129 15.4	342 40.9	127 15.2	153 18.3	123 14.7	137 16.4	79 9.4	63 7.5	55 6.6	27 3.2

		回答者数	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん (悪性新生物)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	うつ病	血液・免疫の病気	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	その他	無回答
全体		1,645 100.0	119 7.2	115 7.0	90 5.5	71 4.3	34 2.1	31 1.9	21 1.3	19 1.2	112 6.8	115 7.0
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	72 9.7	59 7.9	50 6.7	42 5.7	21 2.8	20 2.7	14 1.9	14 1.9	54 7.3	58 7.8
	要支援認定なし	837 100.0	42 5.0	52 6.2	37 4.4	24 2.9	11 1.3	9 1.1	5 0.6	3 0.4	56 6.7	51 6.1

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

9 住まいや暮らしの環境

(1) 現在の住まいに住み続けたいか

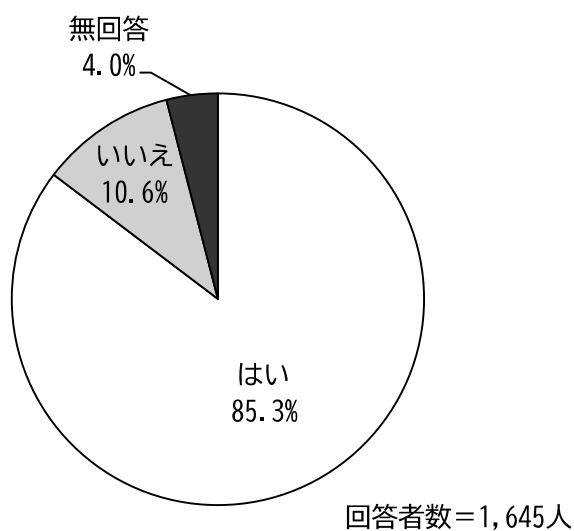
問8 (1) あなたは現在の住まいに住み続けたいと思いますか (1つを選択)

現在の住まいに住み続けたいかについては、全体では「はい」85.3%、「いいえ」10.6%となっています。

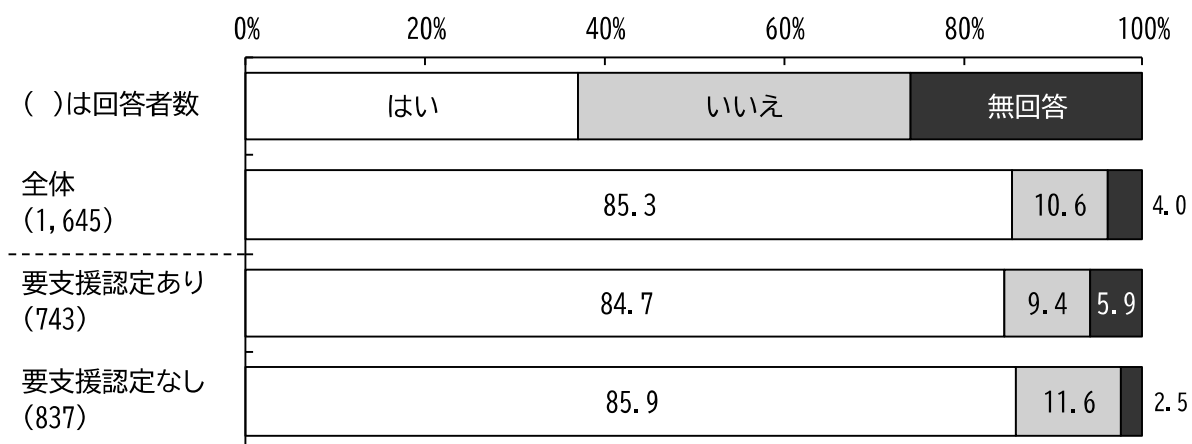
要支援認定ありでは、「はい」84.7%、「いいえ」9.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」85.9%、「いいえ」11.6%となっています。

図表 1-149 現在の住まいに住み続けたいか



図表 1-150 現在の住まいに住み続けたいか【認定状況別】



（２）住み続けたい理由

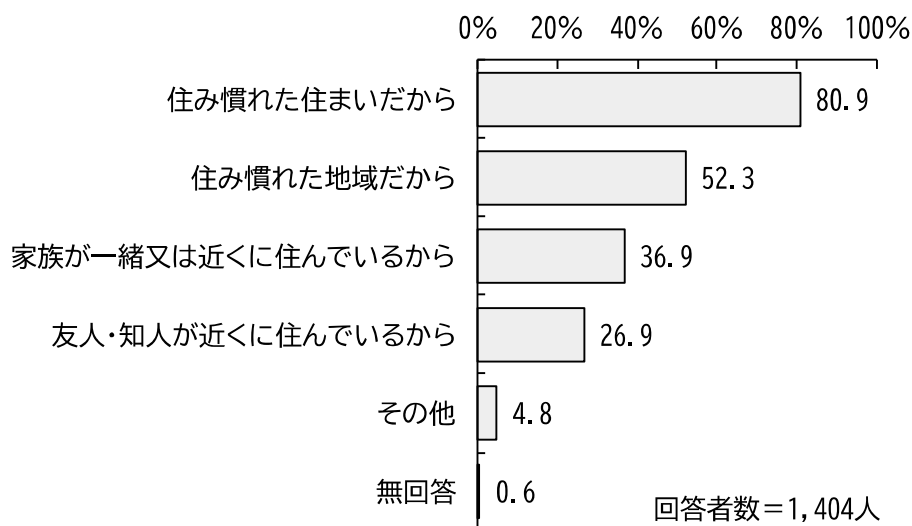
問８（１）①【（１）で「１． はい」（現在の住まいに住み続けたい）の方のみ】
住み続けたい理由は次のどれですか（いくつでも）

現在の住まいに住み続けたいと思う人に、今の場所に住み続けたい理由をたずねたところ、全体では「住み慣れた住まいだから」80.9%が最も高く、次いで「住み慣れた地域だから」52.3%、「家族が一緒又は近くに住んでいるから」36.9%、「友人・知人が近くに住んでいるから」26.9%となっています。

要支援認定ありでは、「住み慣れた住まいだから」79.8%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「住み慣れた住まいだから」81.6%が最も高くなっています。

図表 1-151 住み続けたい理由（複数回答）



図表 1-152 住み続けたい理由【認定状況別】

		回答者数	住み慣れた住まい だから	住み慣れた地域 だから	家族が一緒又は 近くに	友人・知人が 近くに	その他	無 回 答
全体		1,404 100.0	1,136 80.9	734 52.3	518 36.9	377 26.9	67 4.8	8 0.6
認定 状 況 別	要支援認定 あり	629 100.0	502 79.8	306 48.6	243 38.6	170 27.0	31 4.9	3 0.5
	要支援認定 なし	719 100.0	587 81.6	408 56.7	258 35.9	197 27.4	34 4.7	4 0.6

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（３）住み続けたいと思わない理由

問８（１）②【（１）で「２．いいえ」（現在の住まいに住み続けたいと思わない）の方のみ】

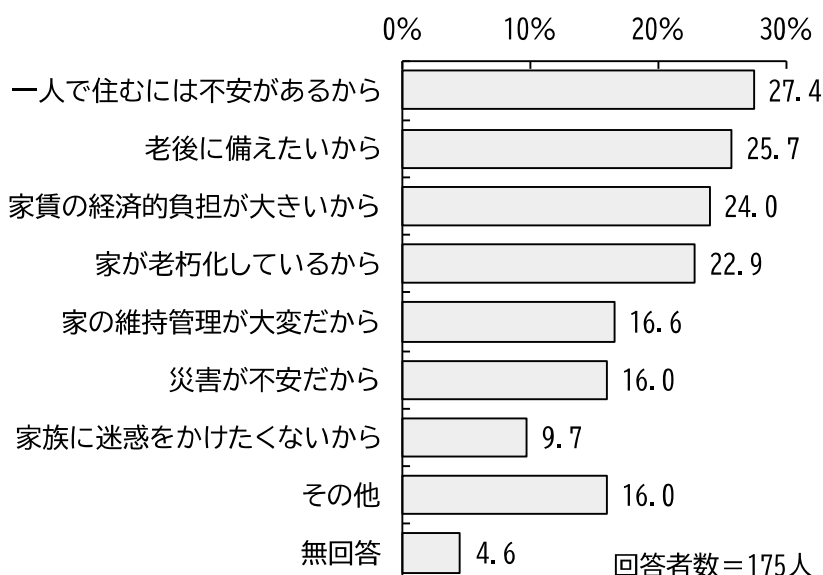
住み続けたいと思わない理由は次のどれですか（いくつでも）

現在の住まいに住み続けたいと思わない人に、その理由をたずねたところ、全体では「一人で住むには不安があるから」27.4%が最も高く、次いで「老後に備えたいから」25.7%、「家賃の経済的負担が大きいから」24.0%、「家が老朽化しているから」22.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「一人で住むには不安があるから」32.9%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「老後に備えたいから」27.8%が最も高くなっています。

図表 1-153 住み続けたいと思わない理由（複数回答）



図表 1-154 住み続けたいと思わない理由【認定状況別】

	回答者数	一人で住むには不安があるから	老後に備えたいから	家賃の経済的負担が大きいから	家が老朽化しているから	家の維持管理が大変だから	災害が不安だから	家族に迷惑をかけたくないから	その他	無回答
全体	175 100.0	48 27.4	45 25.7	42 24.0	40 22.9	29 16.6	28 16.0	17 9.7	28 16.0	8 4.6
認定状況別										
要支援認定あり	70 100.0	23 32.9	15 21.4	17 24.3	17 24.3	10 14.3	16 22.9	8 11.4	10 14.3	5 7.1
要支援認定なし	97 100.0	22 22.7	27 27.8	24 24.7	20 20.6	17 17.5	12 12.4	9 9.3	16 16.5	3 3.1

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(4) 今後暮らしたいと思う場所

問8 (1) ③【(1)で「2. いいえ」(現在の住まいに住み続けたいと思わない)の方のみ】
今後どのような場所で暮らしたいと思いますか(いくつでも)

現在の住まいに住み続けたいと思わない人に、今後どのような場所で暮らしたいと思うかをたずねたところ、全体では「高齢者向け住宅(※)」37.1%が最も高く、次いで「自宅を住み替えたい」21.7%、「介護施設(老人ホーム等)」18.3%が続いています。

要支援認定ありでは、「高齢者向け住宅(※)」38.6%、「介護施設(老人ホーム等)」31.4%、「自宅を住み替えたい」20.0%が上位3位となっています。

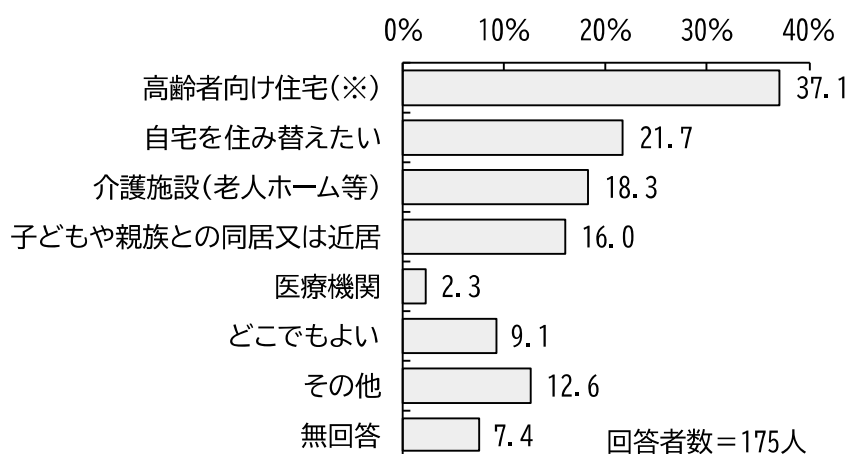
要支援認定なしでは、「高齢者向け住宅(※)」36.1%、「自宅を住み替えたい」23.7%、「子どもや親族との同居又は近居」19.6%が上位3位となっています。

※高齢者向け住宅

手すりや緊急通報システム装置等、高齢者に配慮した設備を備えている住宅です。

(具体例)シルバーピア住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、シニア向けマンション等

図表 1-155 今後暮らしたいと思う場所(複数回答)



図表 1-156 今後暮らしたいと思う場所【認定状況別】

	回答者数	高齢者向け住宅	自宅を住み替えたい	介護施設(老人ホーム等)	子どもや親族との同居又は近居	医療機関	どこでもよい	その他	無回答
全体	175 100.0	65 37.1	38 21.7	32 18.3	28 16.0	4 2.3	16 9.1	22 12.6	13 7.4
認定状況別									
要支援認定あり	70 100.0	27 38.6	14 20.0	22 31.4	7 10.0	3 4.3	3 4.3	8 11.4	9 12.9
要支援認定なし	97 100.0	35 36.1	23 23.7	8 8.2	19 19.6	1 1.0	13 13.4	12 12.4	3 3.1

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（５）現在の住まいに住み続ける上での不安

問８（１）④【すべての方にお伺いします】

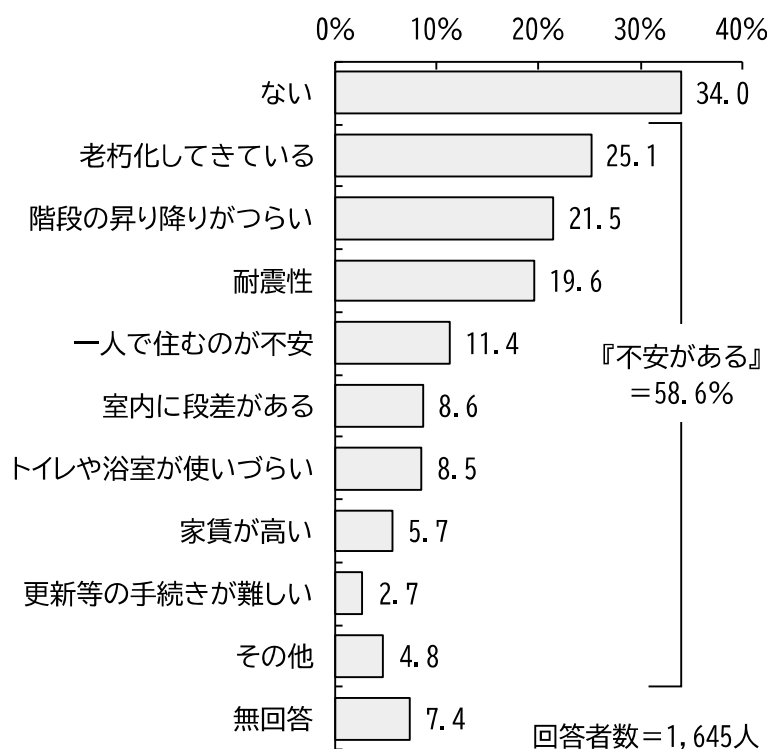
現在の住まいに住み続ける上での不安はありますか（いくつでも）

現在の住まいに住み続ける上での不安については、不安は「ない」34.0%が最も高く、次いで「老朽化してきている」25.1%、「階段の昇り降りがつらい」21.5%、「耐震性」19.6%、「一人で住むのが不安」11.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「ない」31.0%、「階段の昇り降りがつらい」26.5%、「老朽化してきている」23.4%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「ない」37.5%、「老朽化してきている」26.4%、「耐震性」20.3%が上位3位となっています。

図表 1-157 現在の住まいに住み続ける上での不安（複数回答）



※『不安がある』(%) = 全体(%) - 「ない」(%) - 「無回答」(%)

図表 1-158 現在の住まいに住民続ける上での不安【認定状況別】

		回答者数	ない	老朽化してきている	階段の昇り降りがつらい	耐震性	一人で住むのが不安	室内に段差がある	トイレや浴室が使いづらい	家賃が高い	更新等の手続きが難しい	その他	無回答
全体		1,645 100.0	559 34.0	413 25.1	353 21.5	322 19.6	187 11.4	142 8.6	140 8.5	93 5.7	45 2.7	79 4.8	121 7.4
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	230 31.0	174 23.4	197 26.5	140 18.8	112 15.1	74 10.0	76 10.2	37 5.0	23 3.1	30 4.0	73 9.8
	要支援認定なし	837 100.0	314 37.5	221 26.4	135 16.1	170 20.3	67 8.0	60 7.2	58 6.9	54 6.5	19 2.3	46 5.5	41 4.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

住民続けたいか別でみると、住民続けたいでは、不安は「ない」38.7%、「老朽化してきている」25.1%、「階段の昇り降りがつらい」20.9%が上位3位となっています。

住民続けたくないでは、「老朽化してきている」「階段の昇り降りがつらい」がともに 32.6%、「一人で住むのが不安」24.6%が上位3位となっています。

図表 1-159 現在の住まいに住民続ける上での不安【住民続けたいか別】

		回答者数	ない	老朽化してきている	階段の昇り降りがつらい	耐震性	一人で住むのが不安	室内に段差がある	トイレや浴室が使いづらい	家賃が高い	更新等の手続きが難しい	その他	無回答
全体		1,645 100.0	559 34.0	413 25.1	353 21.5	322 19.6	187 11.4	142 8.6	140 8.5	93 5.7	45 2.7	79 4.8	121 7.4
住民続けたいか別	はい	1404 100.0	543 38.7	353 25.1	293 20.9	281 20.0	143 10.2	118 8.4	117 8.3	60 4.3	26 1.9	57 4.1	55 3.9
	いいえ	175 100.0	16 9.1	57 32.6	57 32.6	40 22.9	43 24.6	24 13.7	20 11.4	33 18.9	18 10.3	22 12.6	6 3.4

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

10 認知症にかかる相談窓口の把握

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

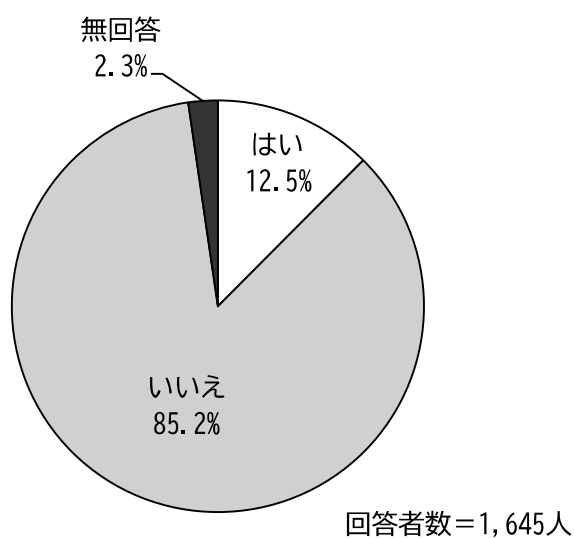
問9 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか
(1つを選択)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、全体では「はい」12.5%、「いいえ」85.2%となっています。

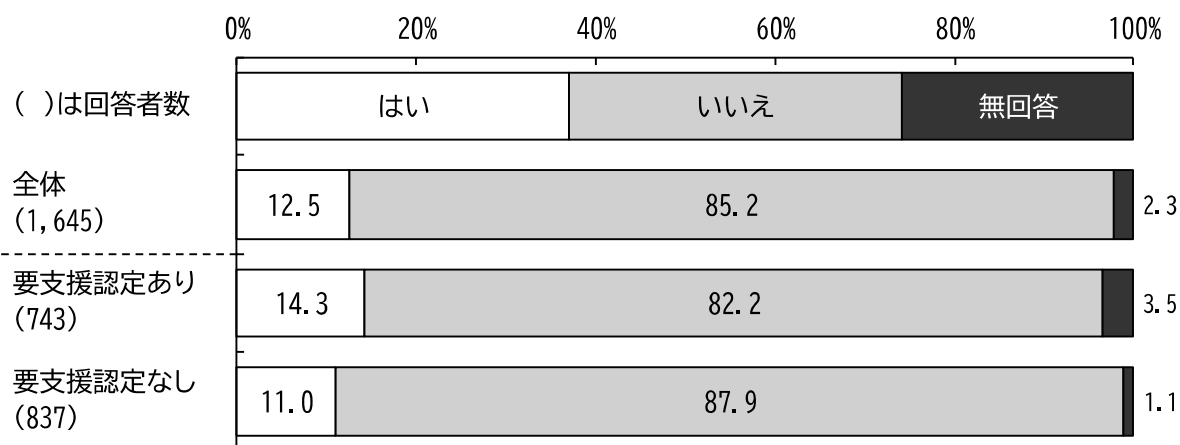
要支援認定ありでは、「はい」14.3%、「いいえ」82.2%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」11.0%、「いいえ」87.9%となっています。

図表 1-160 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



図表 1-161 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか【認定状況別】



（２）認知症に関する相談窓口を知っているか

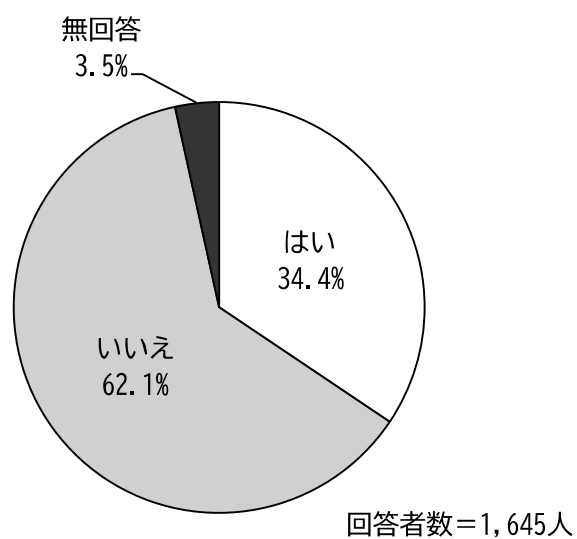
問９（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか（１つを選択）

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、全体では「はい」34.4%、「いいえ」62.1%となっています。

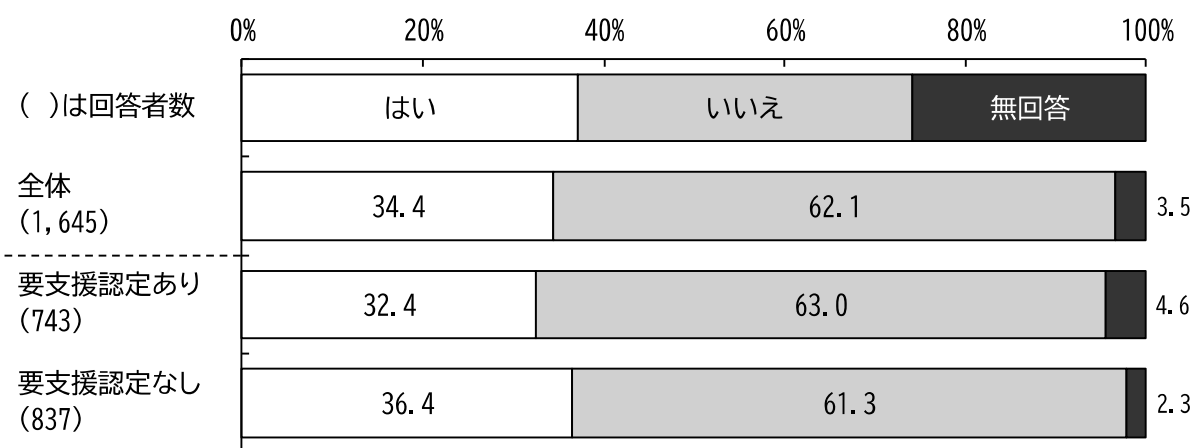
要支援認定ありでは、「はい」32.4%、「いいえ」63.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」36.4%、「いいえ」61.3%となっています。

図表 1-162 認知症に関する相談窓口を知っているか



図表 1-163 認知症に関する相談窓口を知っているか【認定状況別】



11 高齢者総合相談センター

(1) 高齢者総合相談センターの認知度

問 10 (1) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか
(1つを選択)

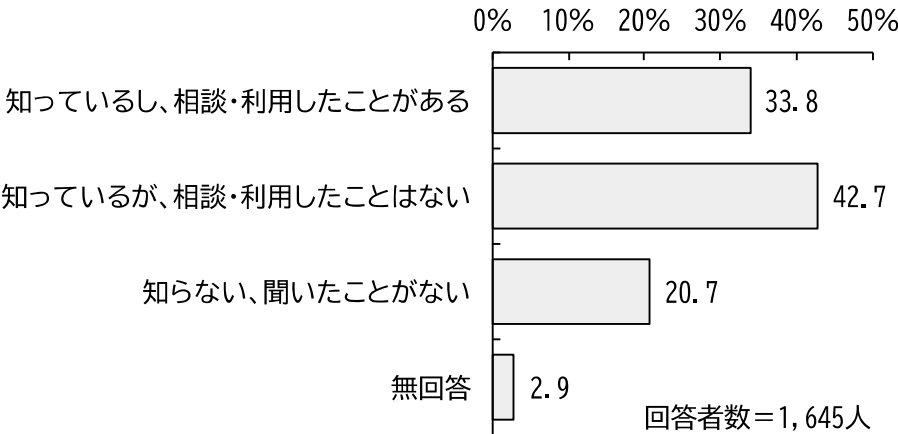
高齢者総合相談センターを知っているかについては、全体では「知っているが、相談・利用したことはない」42.7%が最も高く、次いで「知っているし、相談・利用したことがある」33.8%、「知らない、聞いたことがない」20.7%となっています。

要支援認定ありでは、「知っているし、相談・利用したことがある」55.2%が最も高く、「知っているが、相談・利用したことはない」28.0%となっています。

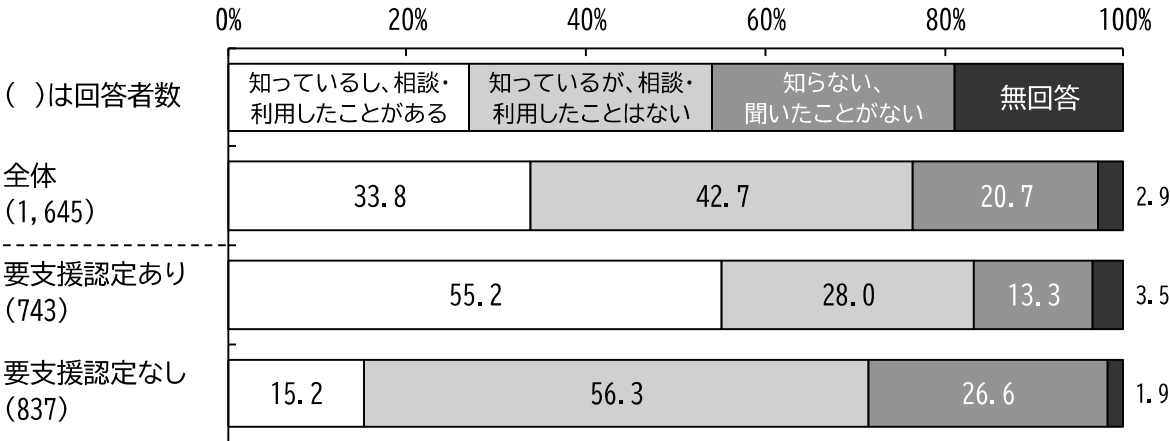
要支援認定なしでは、「知っているが、相談・利用したことはない」56.3%が最も高く、「知らない、聞いたことがない」26.6%となっています。

※葛飾区では、地域包括支援センターが高齢者の方の相談窓口であることがわかるよう、「高齢者総合相談センター」という通称名を使用しています。

図表 1-164 高齢者総合相談センターの認知度



図表 1-165 高齢者総合相談センターの認知度【認定状況別】



12 各種リスクの状況

本調査は、厚生労働省が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき実施しており、次ページ以降に、以下の7つのリスクについて該当する回答者の割合を算出しています。

7つのリスク	
(1) 運動器について	(5) 口腔機能について
(2) 転倒について	(6) 認知機能について
(3) 閉じこもりについて	(7) うつ傾向について
(4) 低栄養状態について	

7つのリスクについては、それぞれ以下①②③を集計しています。

①認定状況別、日常生活圏域別リスク状況

本年度調査の結果です。

②過去3年間の全体比較

過去3年間の「全体」について比較をしています。

③過去3年間のリスクあり該当者の認定状況別、日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合だけを抜粋して、全体、認定状況別、日常生活圏域別を掲載しています。％の基数となる回答者数は下表のとおりです。

<年度ごとの回答数>

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
全 体	1,645	1,735	1,714
要支援認定あり	743	815	776
要支援認定なし	837	836	866
立石・四つ木地区	283	260	290
南綾瀬・お花茶屋・堀切地区	234	250	249
亀有・青戸地区	197	228	203
奥戸・新小岩地区	256	275	258
柴又・高砂地区	277	301	290
金町・新宿地区	223	233	232
水元地区	175	188	190

(1) 運動器について

以下の5つの設問で運動器の機能低下に該当しているか判定します。3問以上、該当する選択肢が回答された場合は、運動機能の低下している高齢者になります。

＜運動機能の低下している高齢者：下記5項目中、3項目以上該当する人＞

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

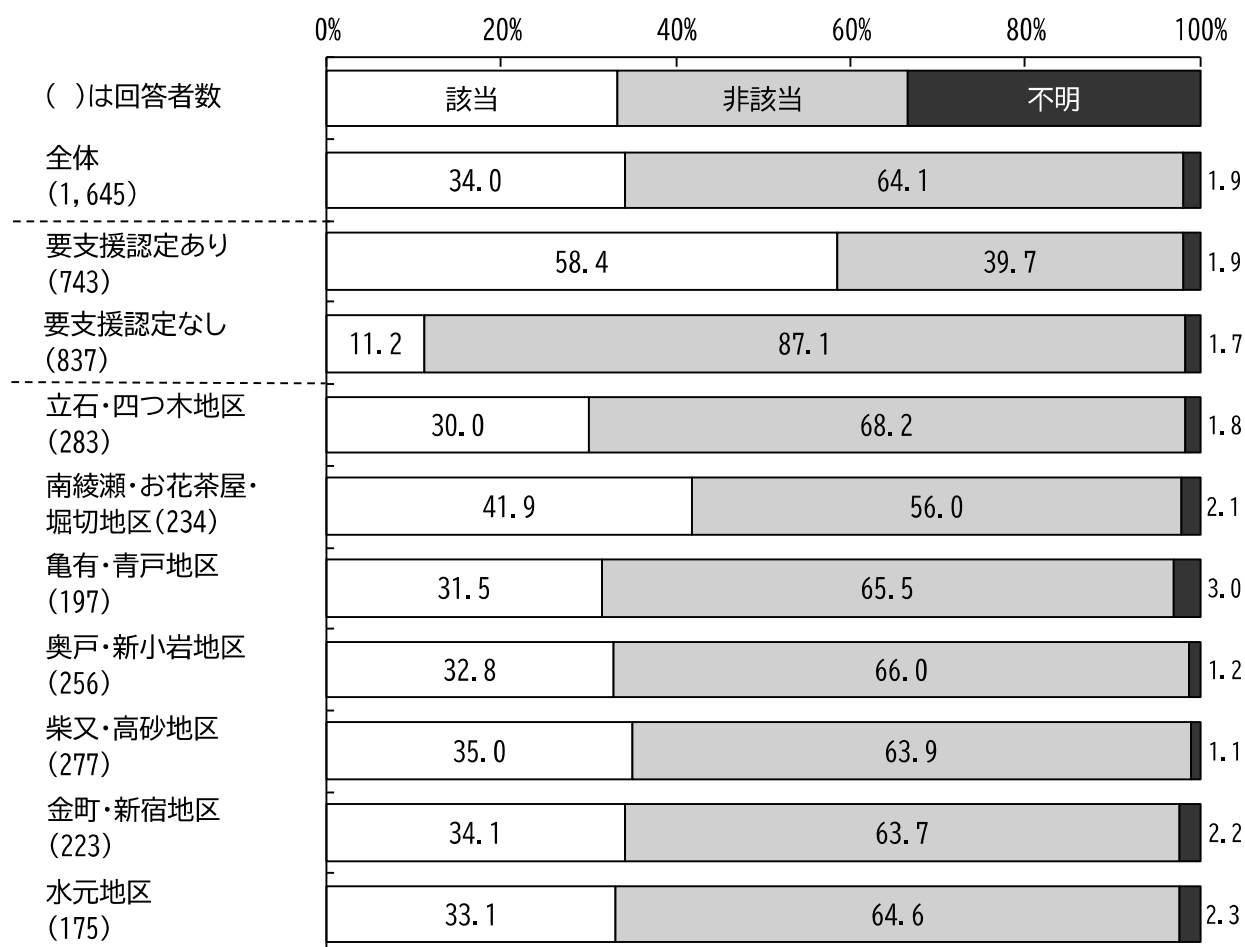
①運動器の機能低下リスクの状況

運動器の機能低下リスクの状況については、リスクありに該当する割合が全体で34.0%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり58.4%、要支援認定なし11.2%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+47.2ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の41.9%となっています。

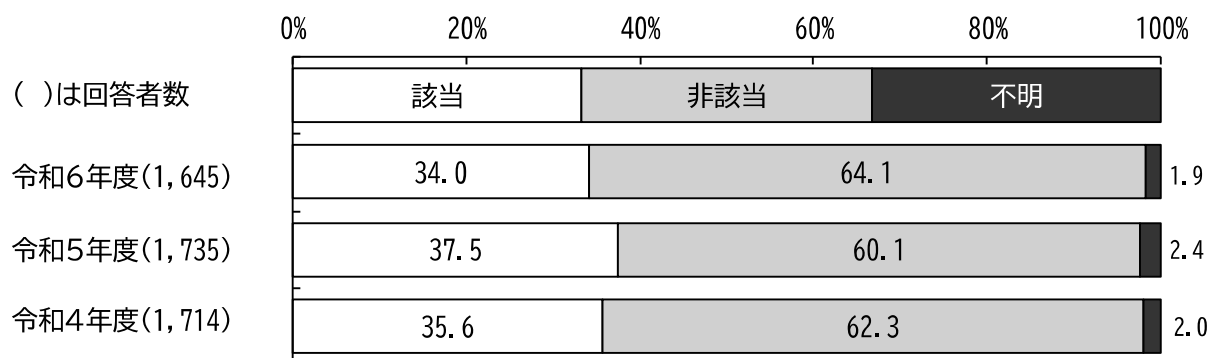
図表 1-166 運動器の機能低下リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 35.6%、令和5年度 37.5%、令和6年度 34.0%となっています。

図表 1-167 運動器の機能低下リスク【過去3年間の全体比較】

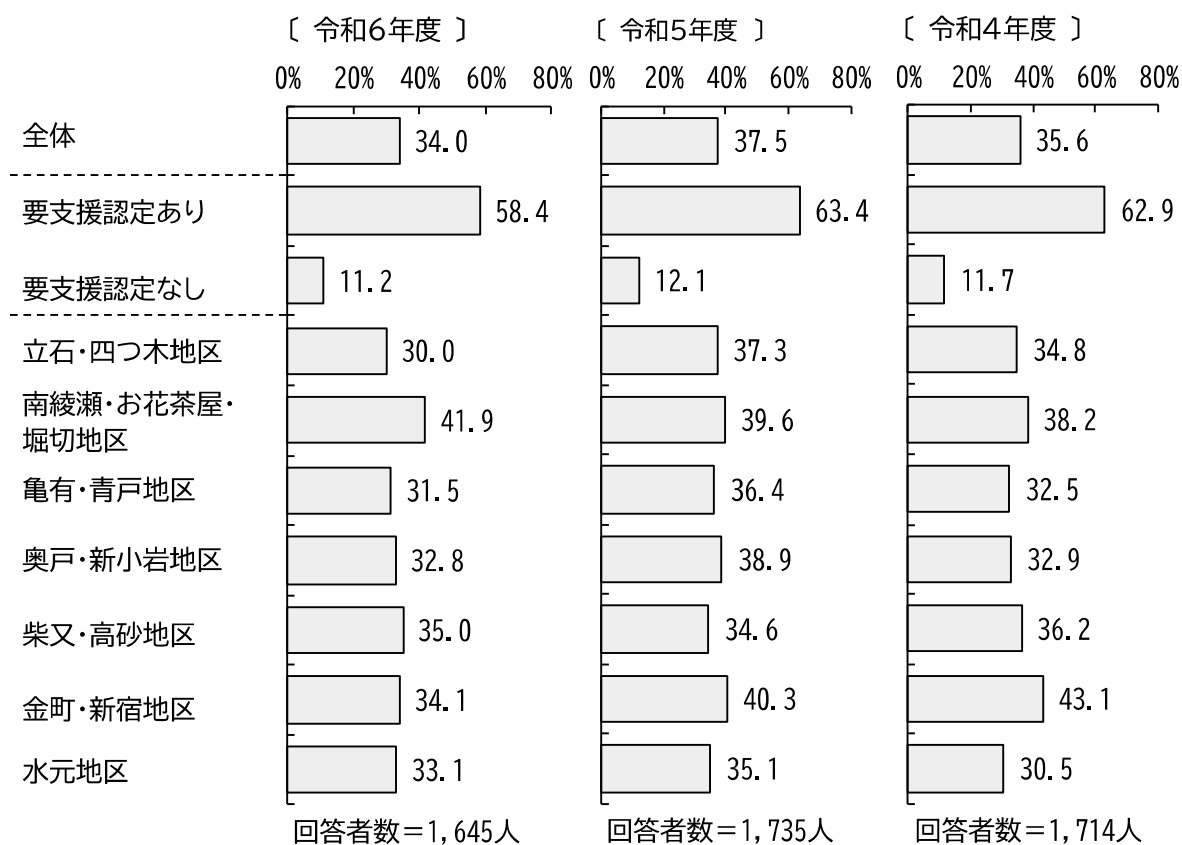


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは62.9%→63.4%→58.4%、要支援認定なしでは11.7%→12.1%→11.2%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度と令和5年度は金町・新宿地区で43.1%→40.3%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区で41.9%となっています。

図表 1-168 運動器の機能低下リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



(2) 転倒について

以下の設問で転倒のおそれがあるか判定します。該当する選択肢が回答された場合は、転倒のおそれがある高齢者になります。

＜転倒のおそれがある高齢者：「何度もある」「１度ある」に該当する人＞
問２（４）過去１年間に転んだ経験がありますか

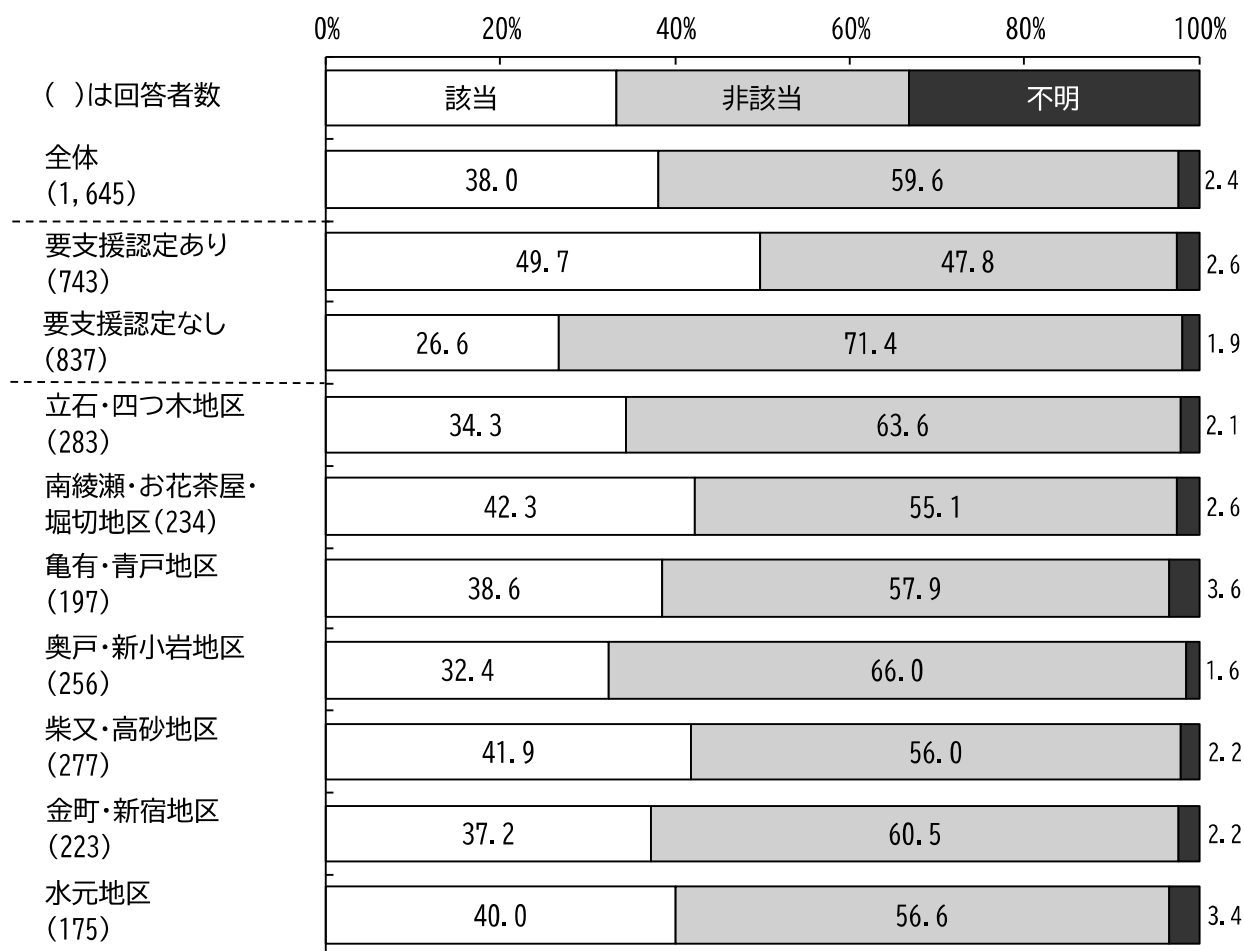
①転倒リスクの状況

転倒については、リスクありに該当する割合が全体で 38.0%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり 49.7%、要支援認定なし 26.6%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+23.1 ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の 42.3%となっています。

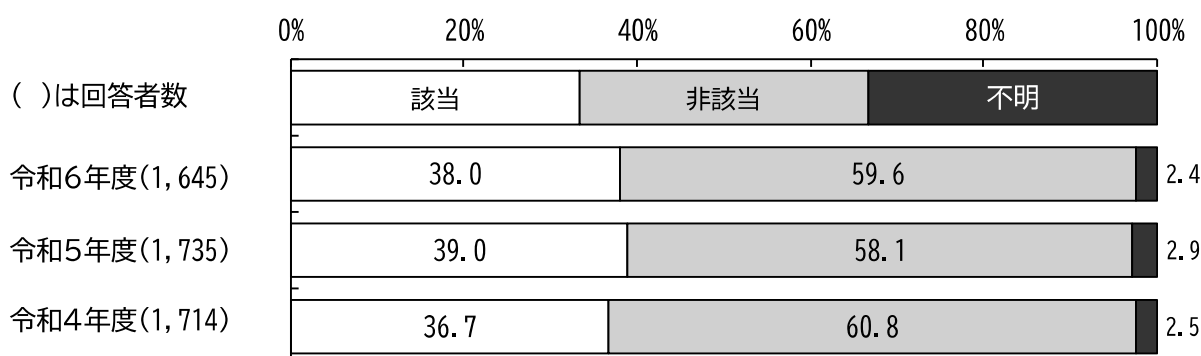
図表 1-169 転倒リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 36.7%、令和5年度 39.0%、令和6年度 38.0%となっています。

図表 1-170 転倒リスク【過去3年間の全体比較】

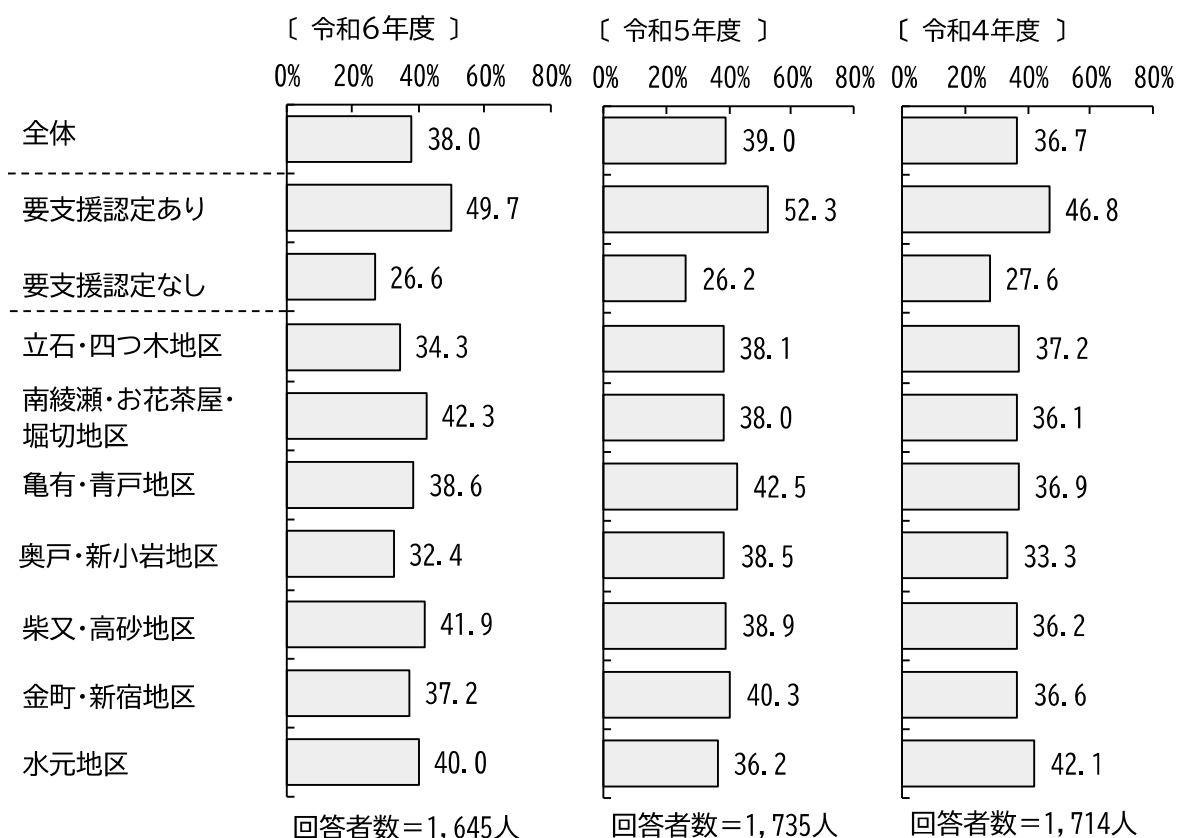


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは46.8%→52.3%→49.7%、要支援認定なしでは27.6%→26.2%→26.6%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は水元地区 42.1%、令和5年度は亀有・青戸地区 42.5%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 42.3%となっています。

図表 1-171 転倒リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



(3) 閉じこもりについて

以下の設問で閉じこもり傾向について判定します。該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

＜閉じこもり傾向のある高齢者：「ほとんど外出しない」「週1回」に該当する人＞
問2（6）週に1回以上は外出していますか

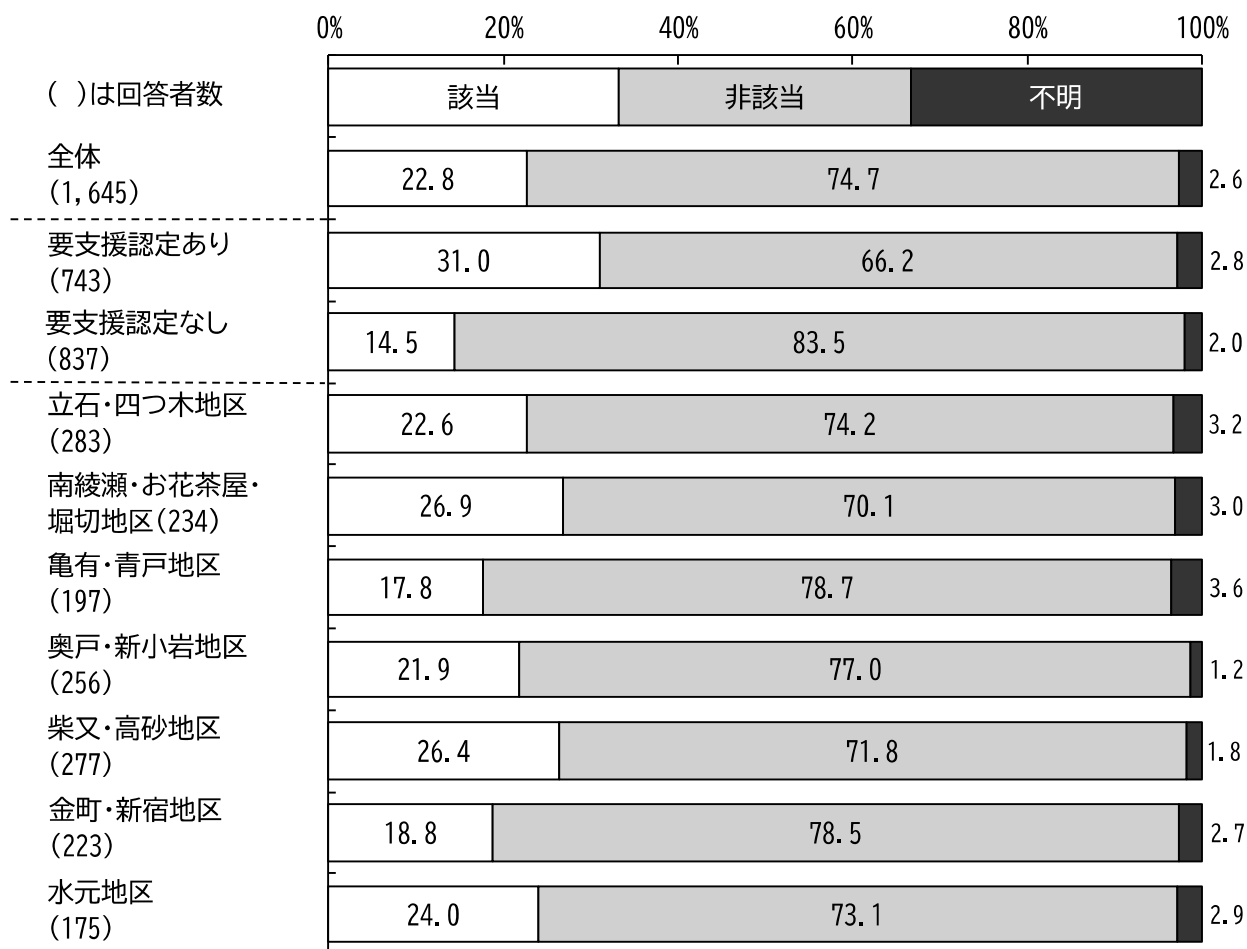
①閉じこもりリスクの状況

閉じこもりについては、リスクありに該当する割合が全体で22.8%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり31.0%、要支援認定なし14.5%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+16.5ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の26.9%となっています。

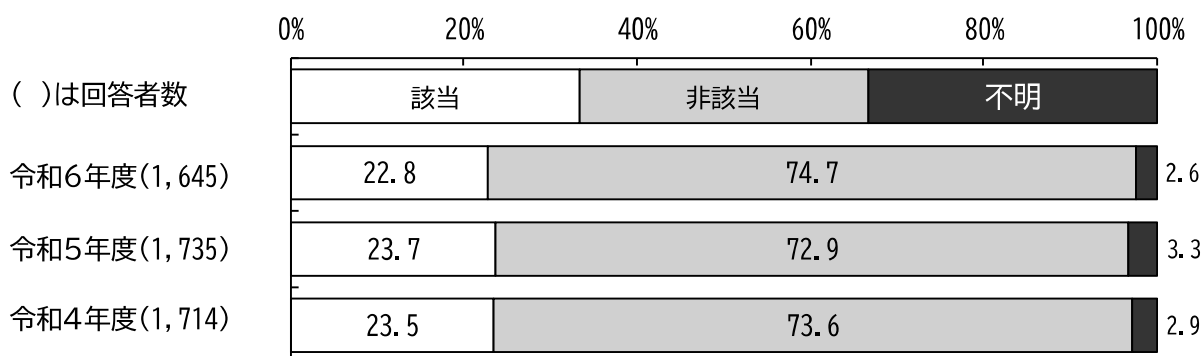
図表 1-172 閉じこもりリスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 23.5%、令和5年度 23.7%、令和6年度 22.8%となっています。

図表 1-173 閉じこもりリスク【過去3年間の全体比較】

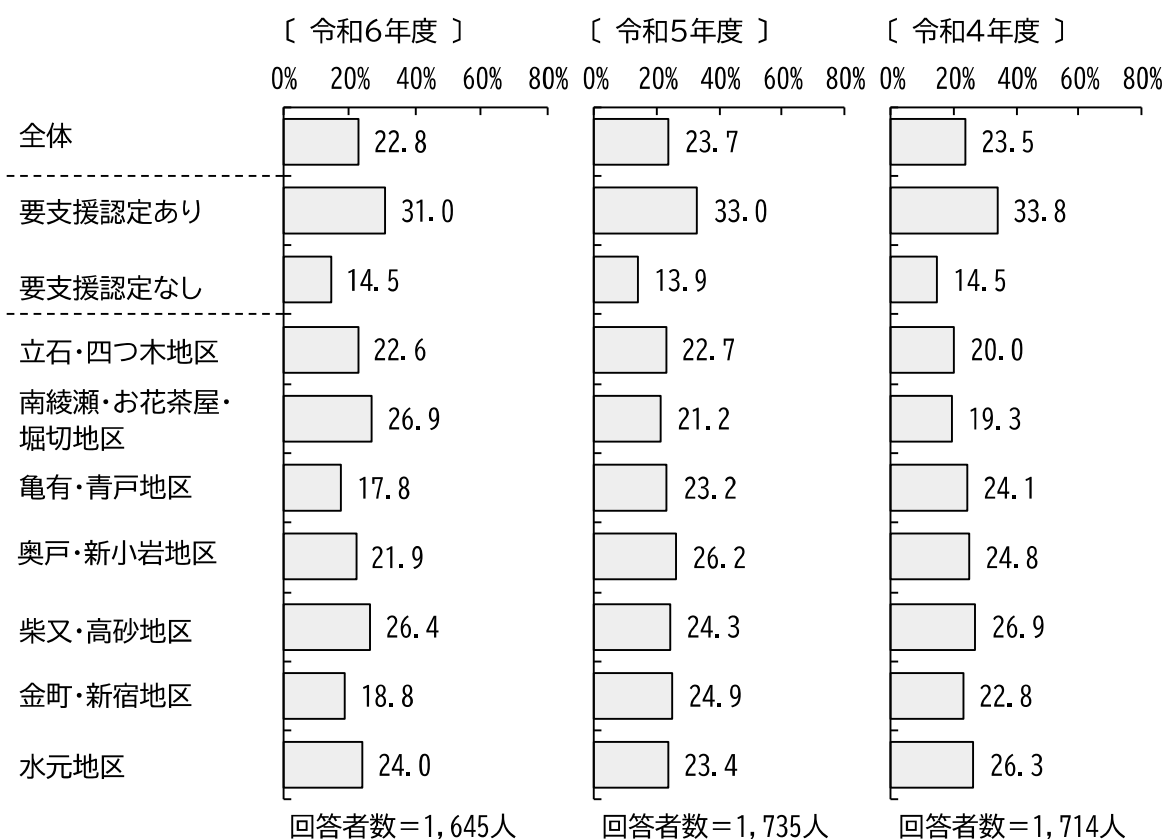


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 33.8%→33.0%→31.0%、要支援認定なしでは 14.5%→13.9%→14.5%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は柴又・高砂地区 26.9%、令和5年度は奥戸・新小岩地区 26.2%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 26.9%となっています。

図表 1-174 閉じこもりリスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



(4) 低栄養状態について

以下の設問で低栄養の傾向について判定します。どちらも該当する選択肢が回答された場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

＜低栄養状態にある高齢者：下記2項目、どちらも該当する人＞

問3 (1) 身長・体重 (BMI 18.5 以下)

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

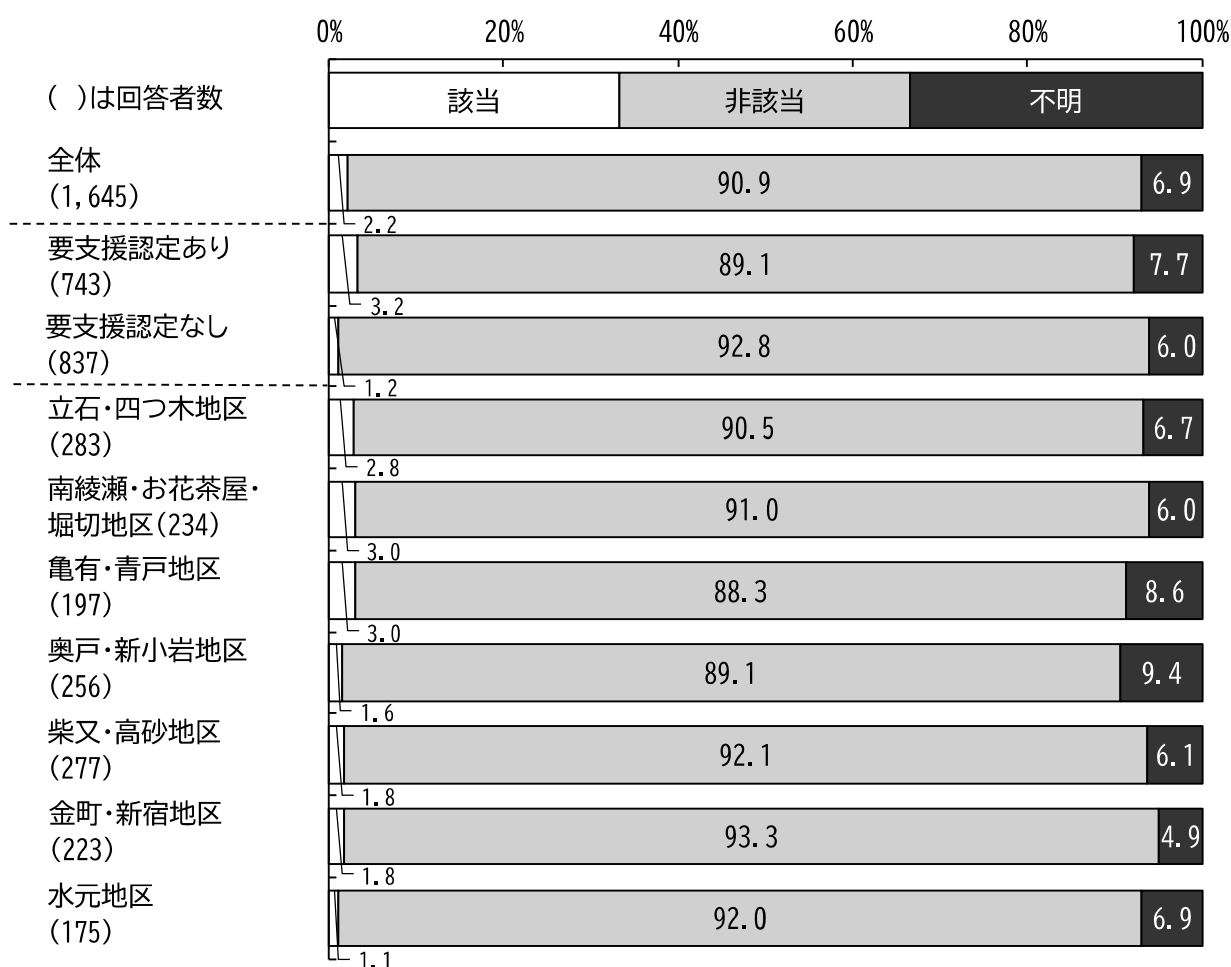
①低栄養リスクの状況

低栄養状態については、リスクありに該当する割合が全体で2.2%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり3.2%、要支援認定なし1.2%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+2.0ポイントとなっています。

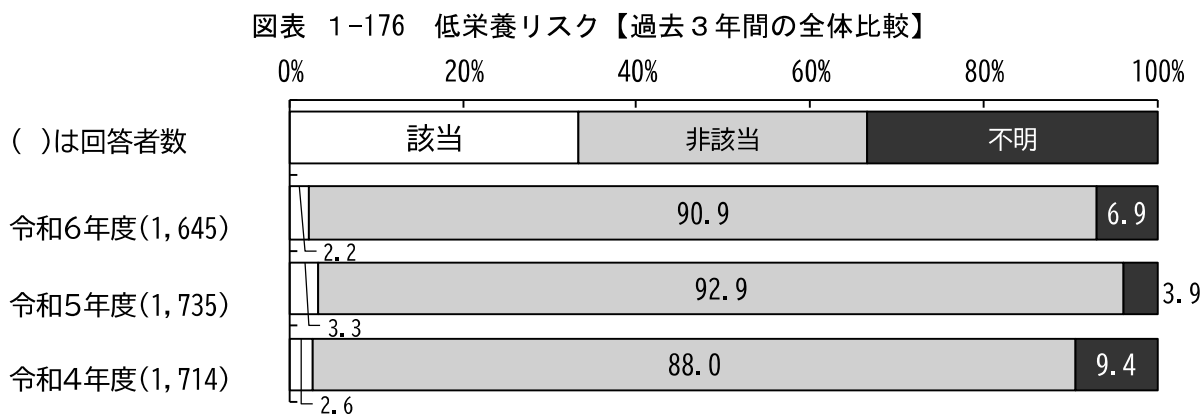
日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区と亀有・青戸地区でともに3.0%となっています。

図表 1-175 低栄養リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 2.6%、令和5年度 3.3%、令和6年度 2.2%となっています。

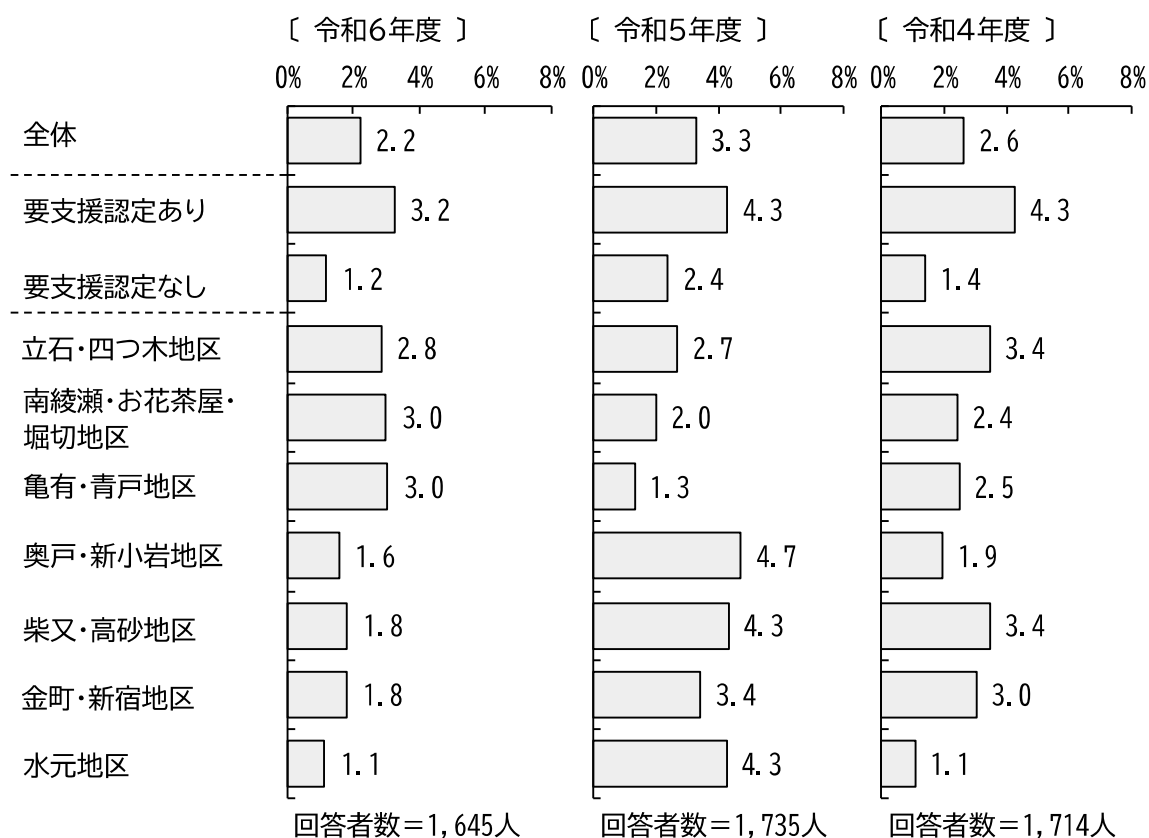


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 4.3%→4.3%→3.2%、要支援認定なしでは 1.4%→2.4%→1.2%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は立石・四つ木地区、柴又・高砂地区 3.4%、令和5年度は奥戸・新小岩地区 4.7%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区と亀有・青戸地区とともに 3.0%となっています。

図表 1-177 低栄養リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



（５）口腔機能について

以下の３つの設問で口腔機能の低下に該当しているか判定します。２問以上、該当する選択肢が回答された場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。

＜口腔機能の低下している高齢者：下記３項目中、２項目以上該当する人＞
 問３（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 問３（３）お茶や汁物等でむせることがありますか
 問３（４）口の渇きが気になりますか

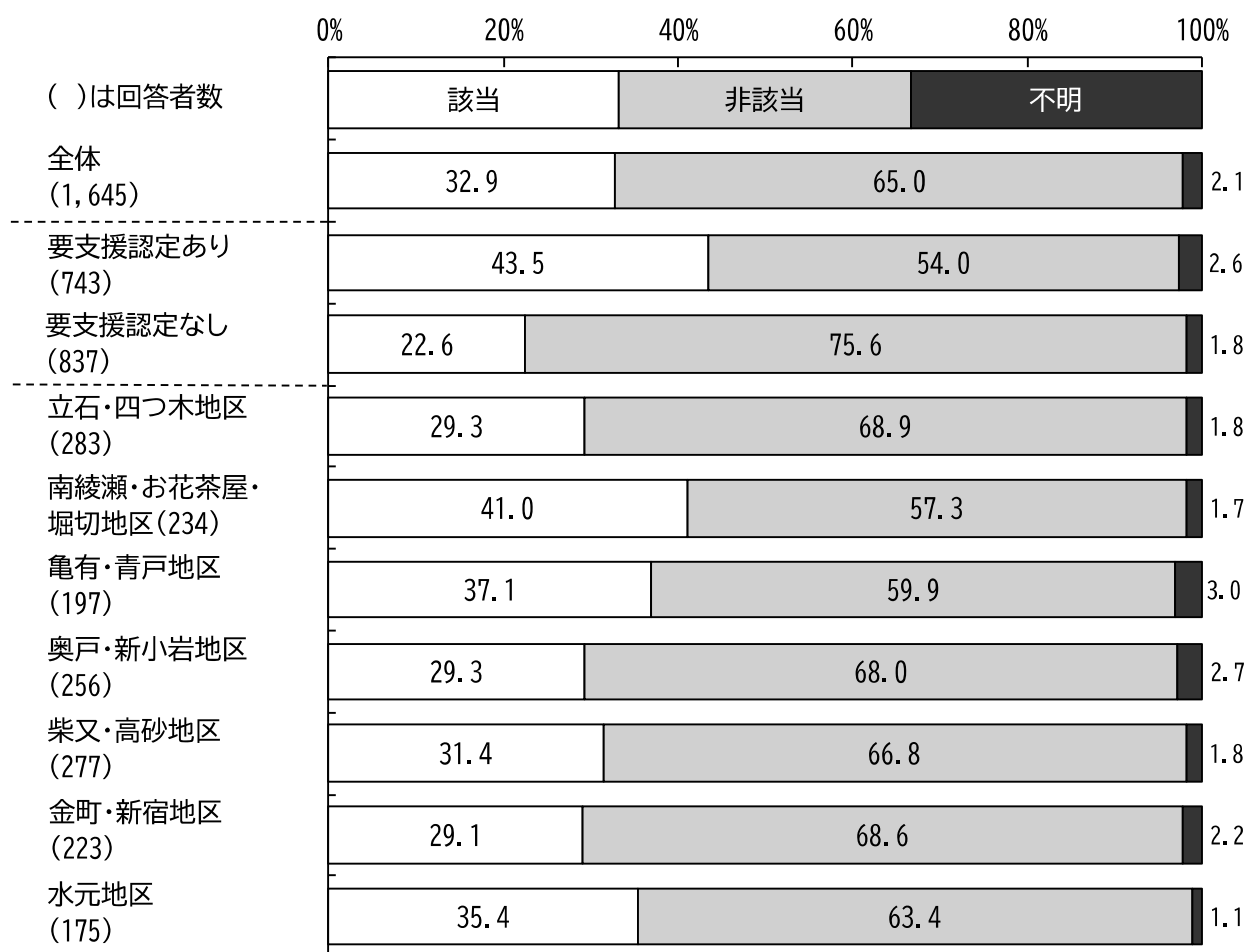
①口腔機能の低下リスクの状況

口腔機能については、リスクありに該当する割合が全体で 32.9%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり 43.5%、要支援認定なし 22.6%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+20.9 ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の 41.0%となっています。

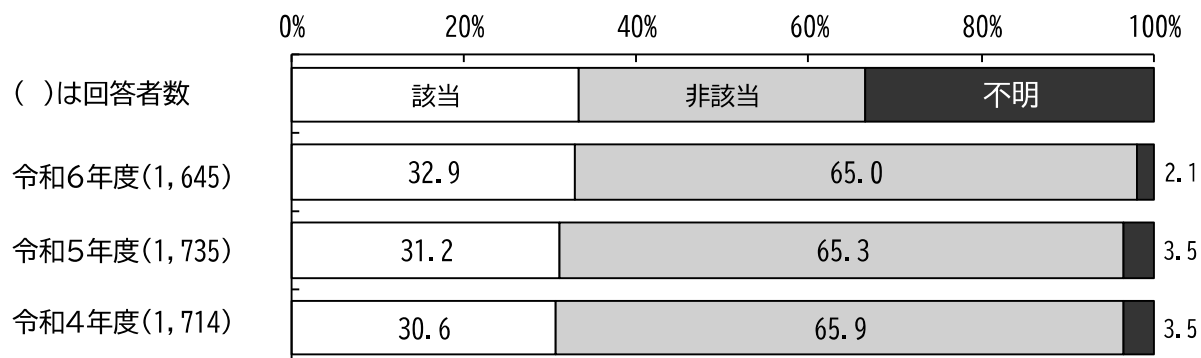
図表 1-178 口腔機能の低下リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 30.6%、令和5年度 31.2%、令和6年度 32.9%となっています。

図表 1-179 口腔機能の低下リスク【過去3年間の全体比較】

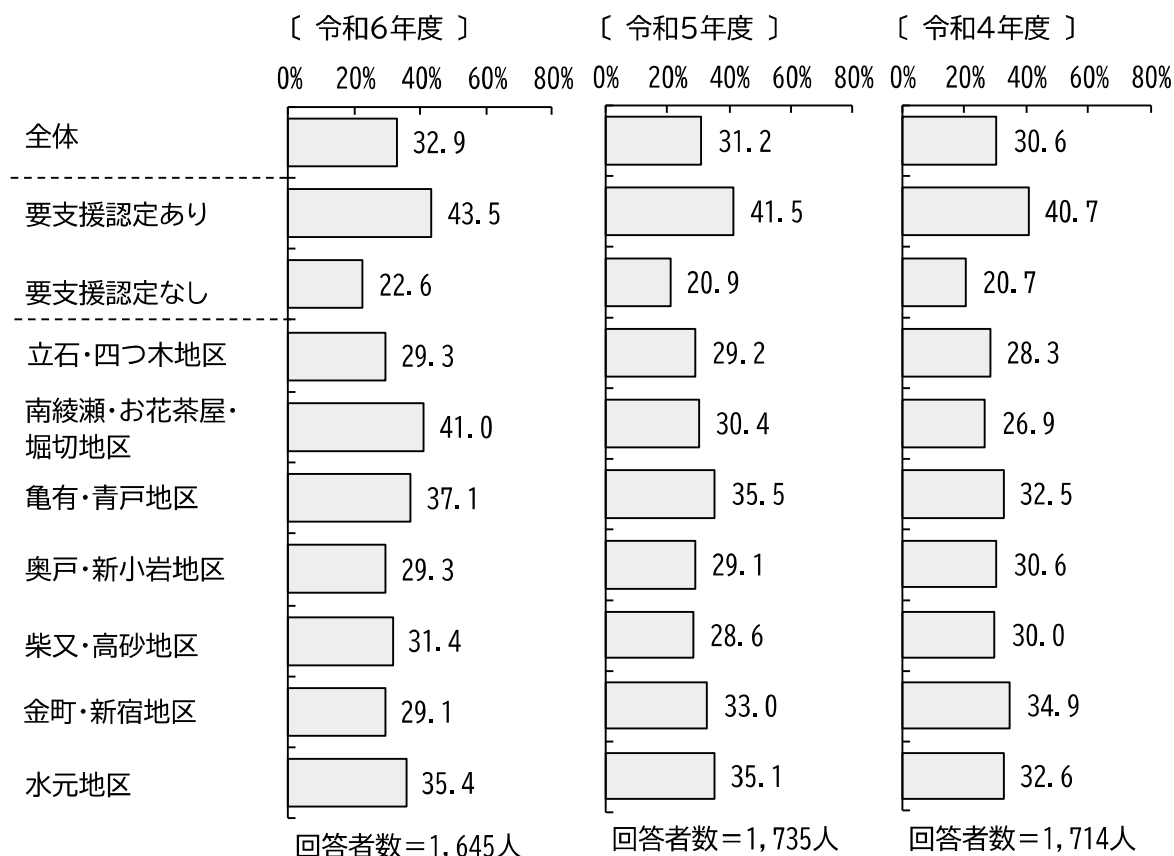


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 40.7%→41.5%→43.5%、要支援認定なしでは 20.7%→20.9%→22.6%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は金町・新宿地区 34.9%、令和5年度は亀有・青戸地区 35.5%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 41.0%となっています。

図表 1-180 口腔機能の低下リスク【過3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



（６）認知機能について

以下の設問で認知機能の低下について判定します。該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。しかしながら、もの忘れが多いと感じるかどうかは自己の判断によるものなので、認知機能低下の程度は測れません。

＜認知機能の低下がみられる高齢者：「はい」に該当する人＞

問４（１）もの忘れが多いと感じますか

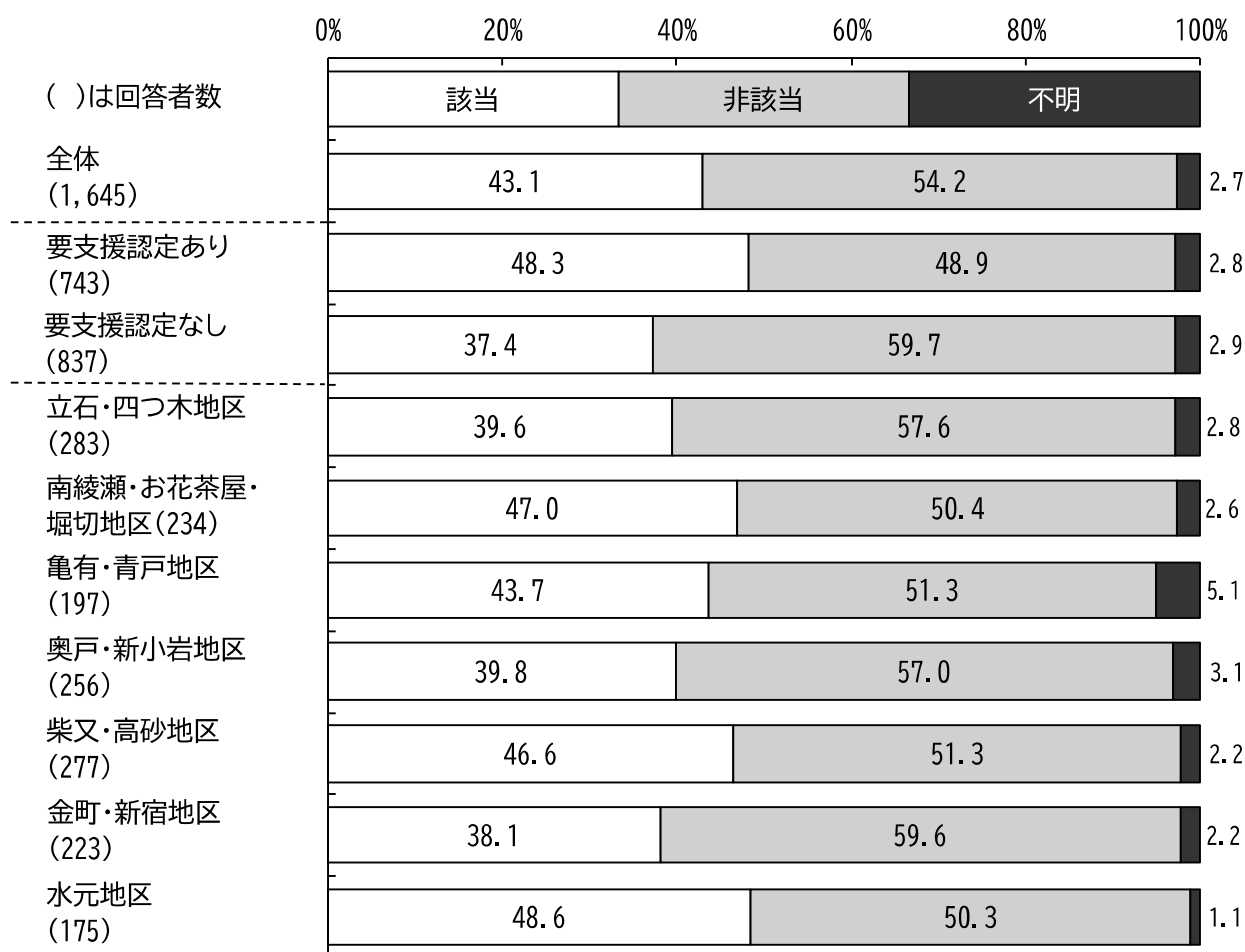
①認知機能の低下リスクの状況

認知機能については、リスクありに該当する割合が全体で 43.1%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり 48.3%、要支援認定なし 37.4%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+10.9 ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は水元地区の 48.6%となっています。

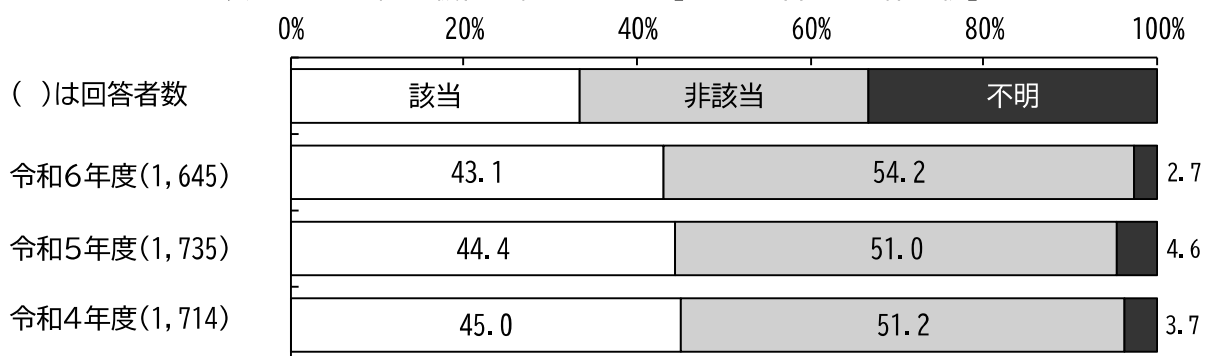
図表 1-181 認知機能の低下リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 45.0%、令和5年度 44.4%、令和6年度 43.1%となっています。

図表 1-182 認知機能の低下リスク【過去3年間の全体比較】

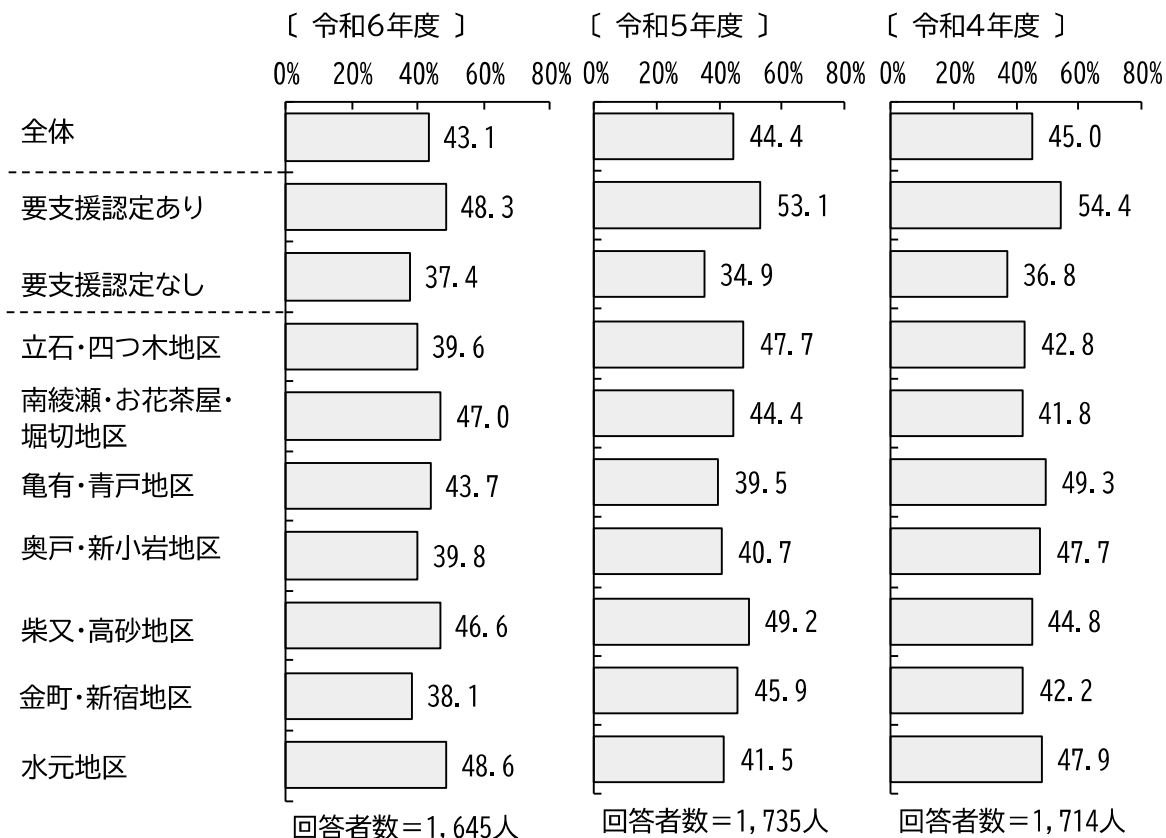


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは 54.4%→53.1%→48.3%、要支援認定なしでは 36.8%→34.9%→37.4%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は亀有・青戸地区 49.3%、令和5年度は柴又・高砂地区 49.2%、令和6年度は水元地区 48.6%となっています。

図表 1-183 認知機能の低下リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



(7) うつ傾向について

以下の2つの設問でうつ傾向について判定します。いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向のみられる高齢者になります。

くうつ傾向のみられる高齢者：下記2項目中、いずれか1つでも該当する人>
 問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
 問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

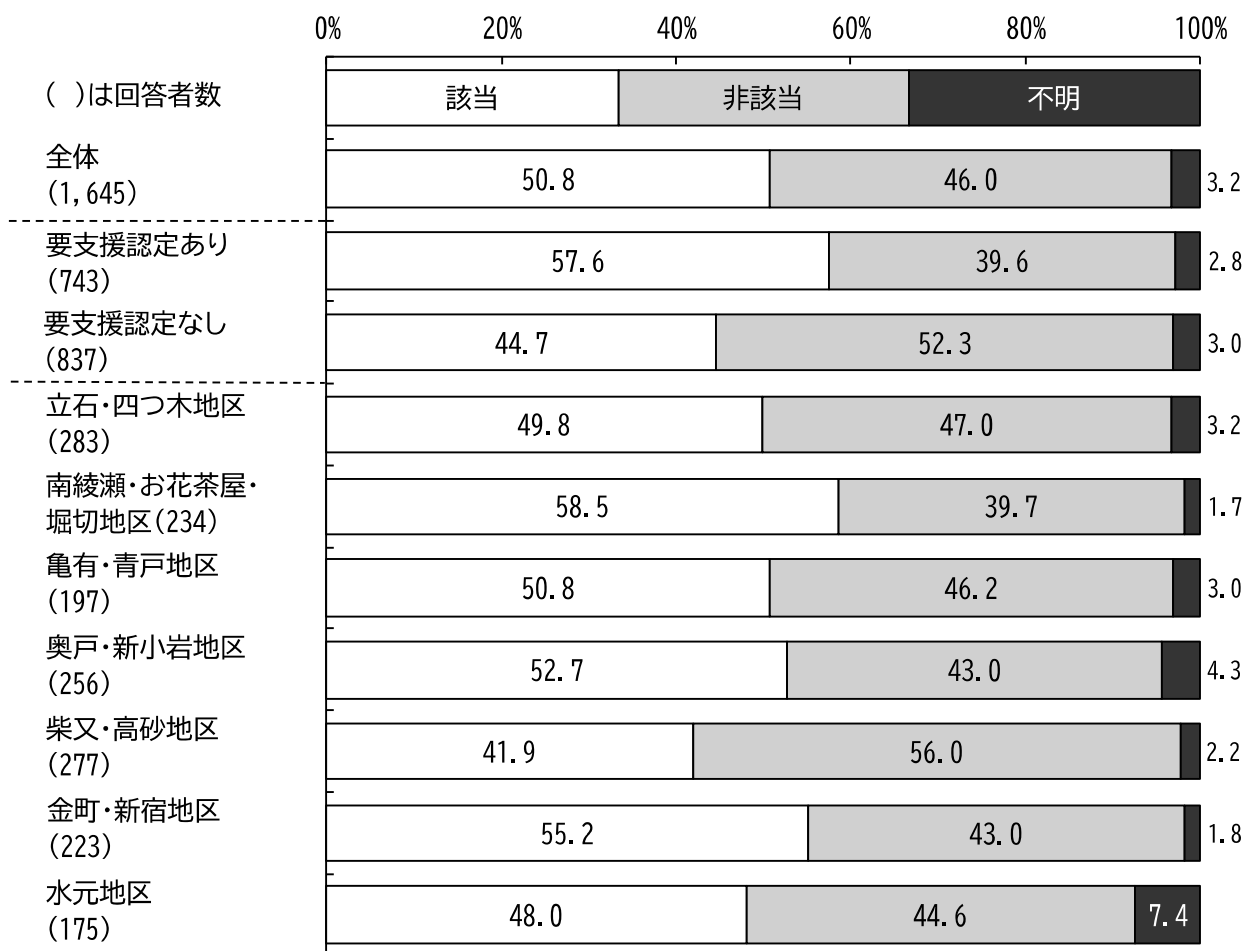
①うつ傾向リスクの状況

うつ傾向については、リスクありに該当する割合が全体で50.8%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり 57.6%、要支援認定なし 44.7%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+12.9 ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の58.5%となっています。

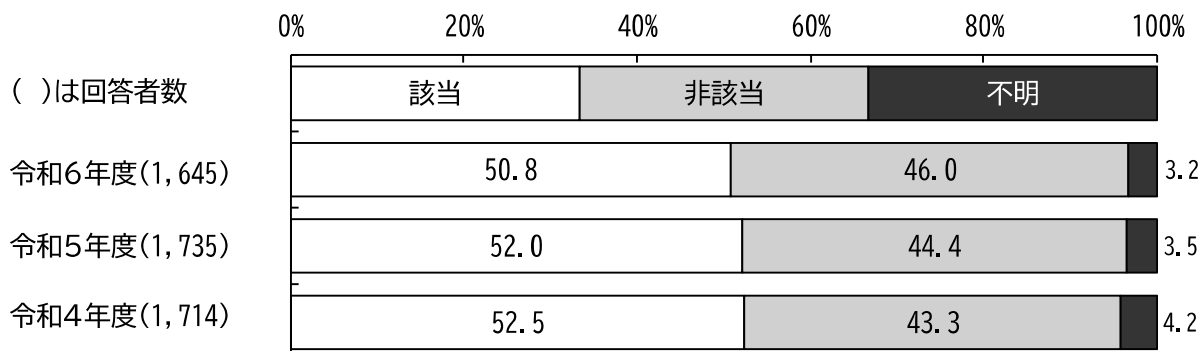
図表 1-184 うつ傾向リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 52.5%、令和5年度 52.0%、令和6年度 50.8%となっています。

図表 1-185 うつ傾向リスク【過去3年間の全体比較】

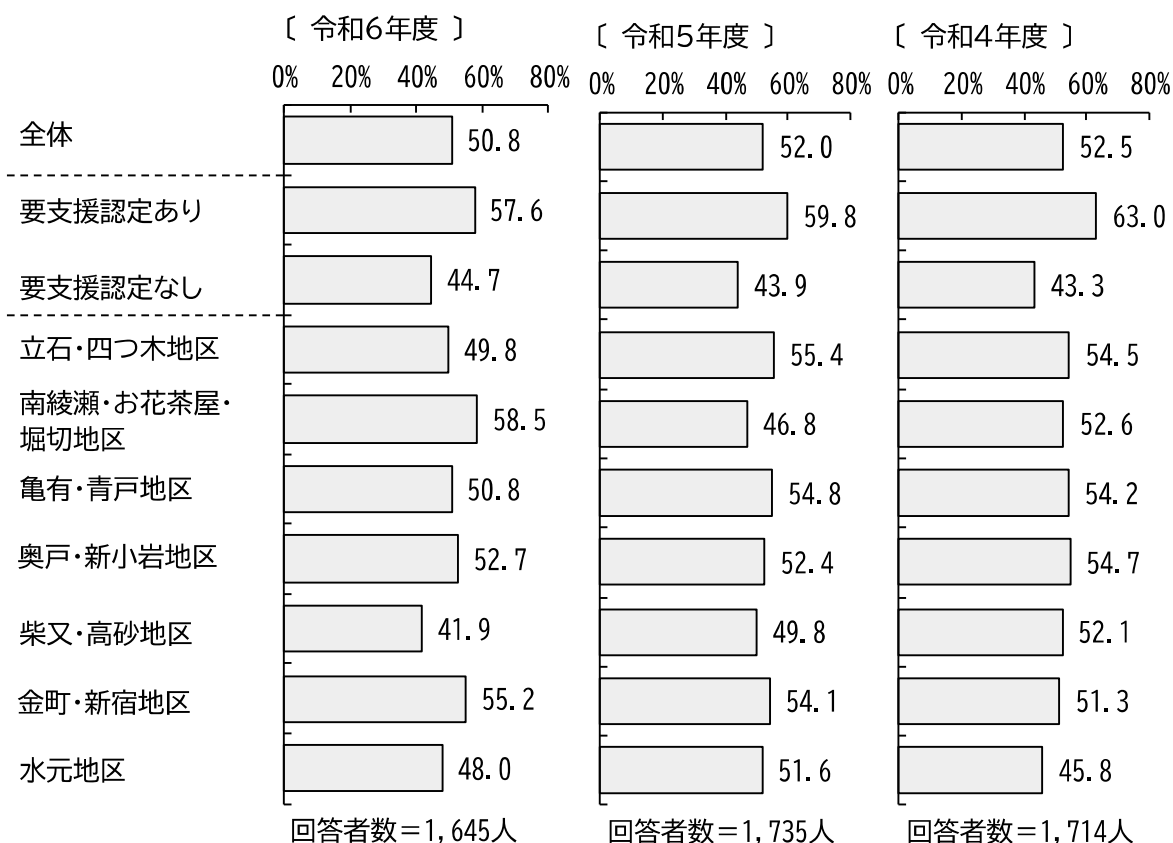


③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは63.0%→59.8%→57.6%、要支援認定なしでは43.3%→43.9%→44.7%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は奥戸・新小岩地区54.7%、令和5年度は立石・四つ木地区55.4%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区58.5%となっています。

図表 1-186 うつ傾向リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】





第2章 在宅介護実態調査

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、要介護者の在宅生活の継続や、ご家族等介護者の方の就労継続に有効なサービスの在り方を検討し、今後のより良い施策につなげるための基礎資料とすることを目的として、厚生労働省の調査手法に基づき実施しました。

2 調査実施概要

調査対象	在宅で生活をしている要介護1以上の認定を受けている方
対象者数	1,500人（無作為により抽出）
調査方法	郵送配付・郵送回収
調査期間	令和6（2024）年7月3日（水）～8月5日（月）

3 回収結果

配付数	回収数	有効回答数
1,500人	917人 （回答率 61.1%）	852人 （有効回答率 56.8%）

4 報告書の内容に関する留意点

- 回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。端数調整はしていないため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「回答者数＝852人」及び(852)は、集計対象者数を示しています。「～と回答した方にお伺いします。」という質問の回答者は、該当する条件の人が回答しているため、852人より少ない集計対象者数となり、条件によって集計対象者数は異なります。
- 複数回答は、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合の高い回答から記載しています。ただし、「その他」や「わからない」など、具体的な内容を含まない選択肢は下に記載しています。
- 図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化して掲載している場合があります。簡略化していない選択肢は、第3章 調査票をご参照ください。
- クロス集計の掲載にあたっては、分析の柱の項目の「無回答」の掲載省略や条件に合った人が回答する質問があるため、表側の回答者数(人)の合計と全体の回答者数(人)は一致しません。
- 問5の本人の要介護度について「要支援1」「要支援2」と回答した方は、抽出後の区分変更等により、介護度に変更があったと考えられるため、本調査の趣旨に鑑み有効回答数及び集計からは除いています。

Ⅱ 調査結果

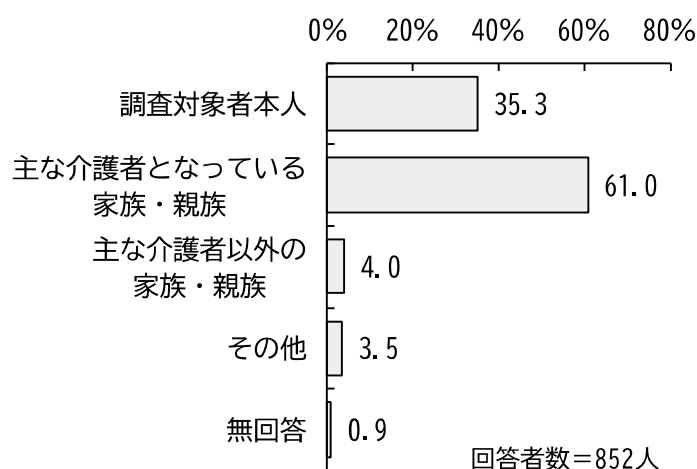
1 調査対象者本人について

(1) 回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」61.0%が最も高く、次いで「調査対象者本人」35.3%、「主な介護者以外の家族・親族」4.0%が続いています。

図表 2-1 回答者(複数回答)

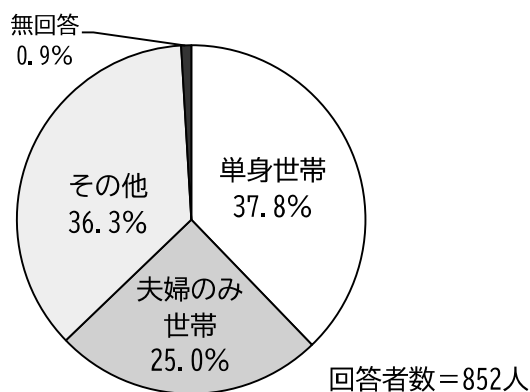


(2) 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

世帯類型は、「単身世帯」37.8%が最も高く、次いで「その他」36.3%、「夫婦のみ世帯」25.0%が続いています。

図表 2-2 世帯類型



(3) 性別と年齢

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

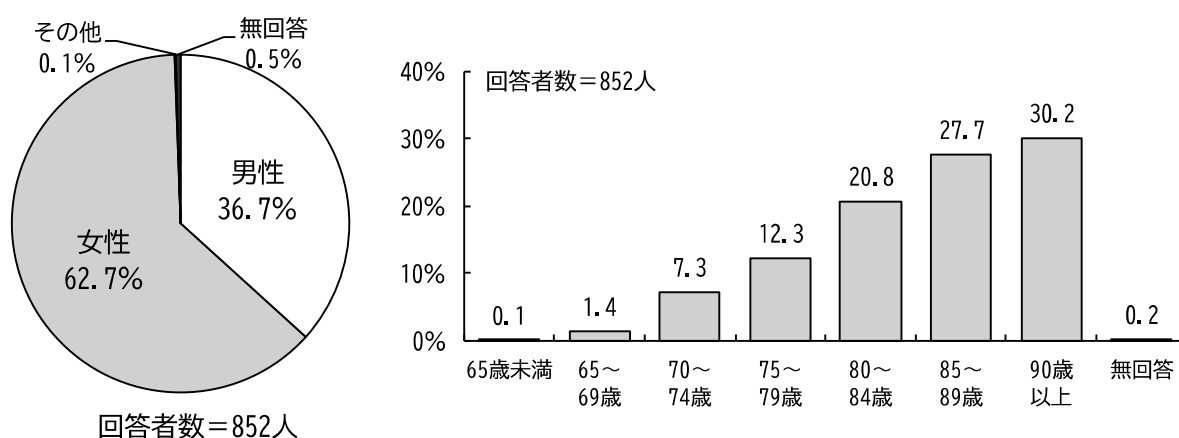
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

性別は、「男性」36.7%、「女性」62.7%となっています。

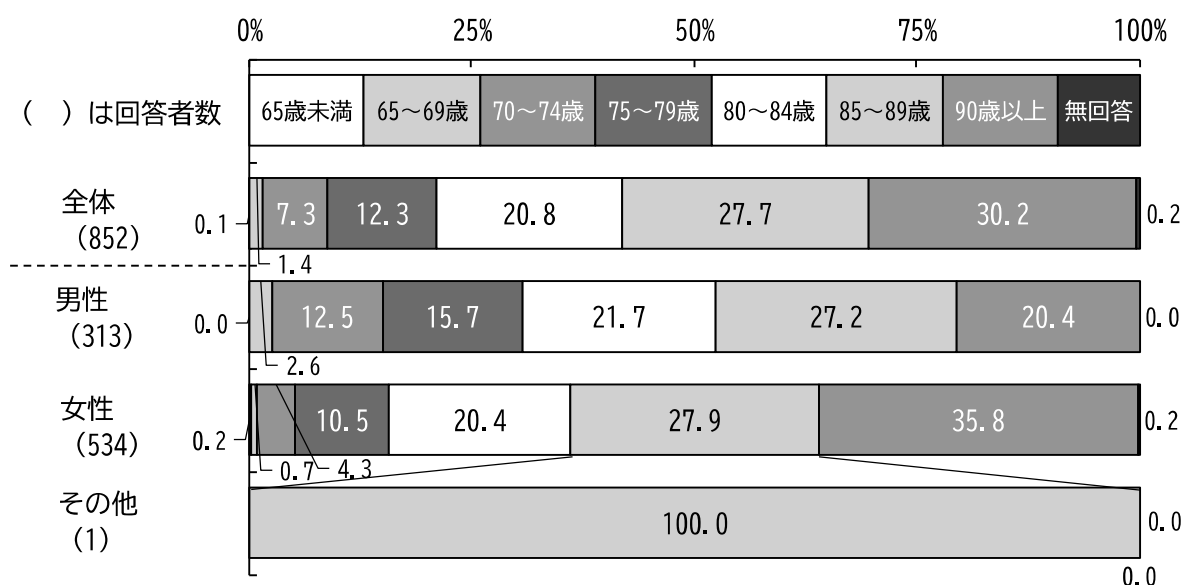
年齢は、「90 歳以上」30.2%が最も高く、次いで「85～89 歳」27.7%、「80～84 歳」20.8%が続いています。80 歳以上が 78.7%となっています。

年齢を性別でみると、「90 歳以上」の割合は女性が 35.8%、男性が 20.4%で、女性が男性を 15.4 ポイント上回っています。

図表 2-3 性別と年齢



図表 2-4 年齢【性別】



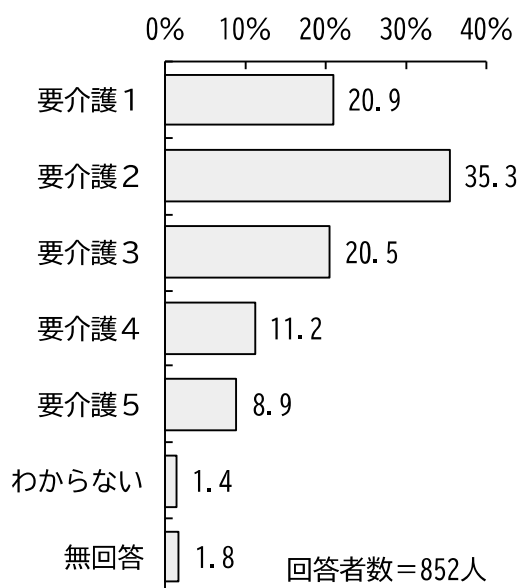
(4) 認定状況

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

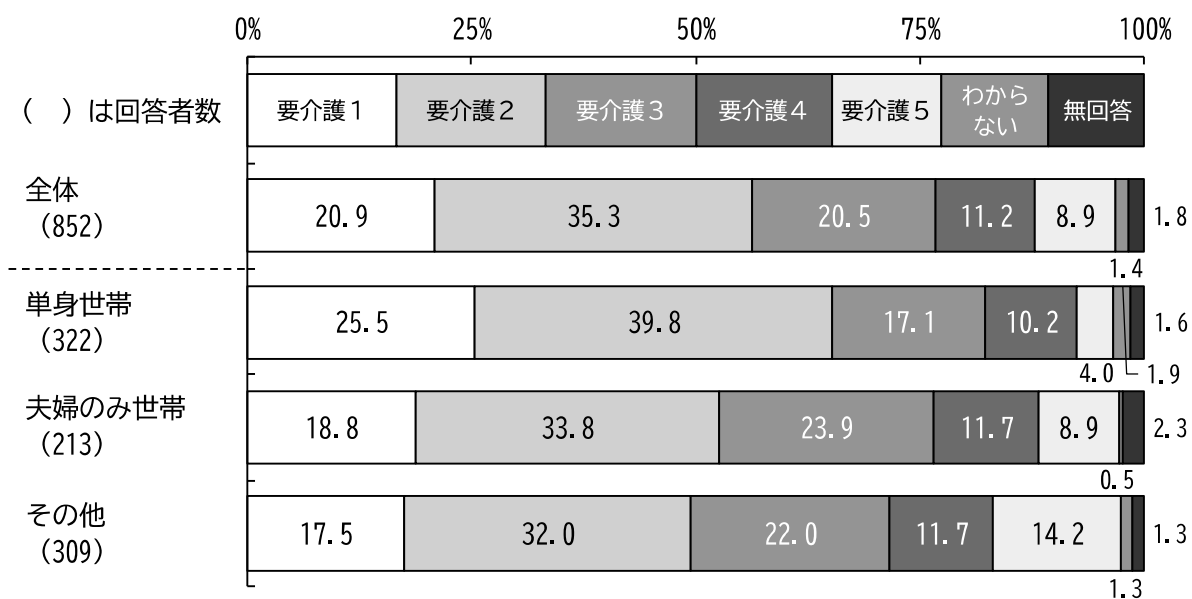
認定状況は、「要介護2」35.3%が最も高く、次いで「要介護1」20.9%、「要介護3」20.5%、「要介護4」11.2%、「要介護5」8.9%と続いています。

世帯類型別にみると、単身世帯では「要介護1」と「要介護2」の合計が65.3%で、全体を9.1ポイント上回っています。

図表 2-5 認定状況



図表 2-6 認定状況【世帯類型別】



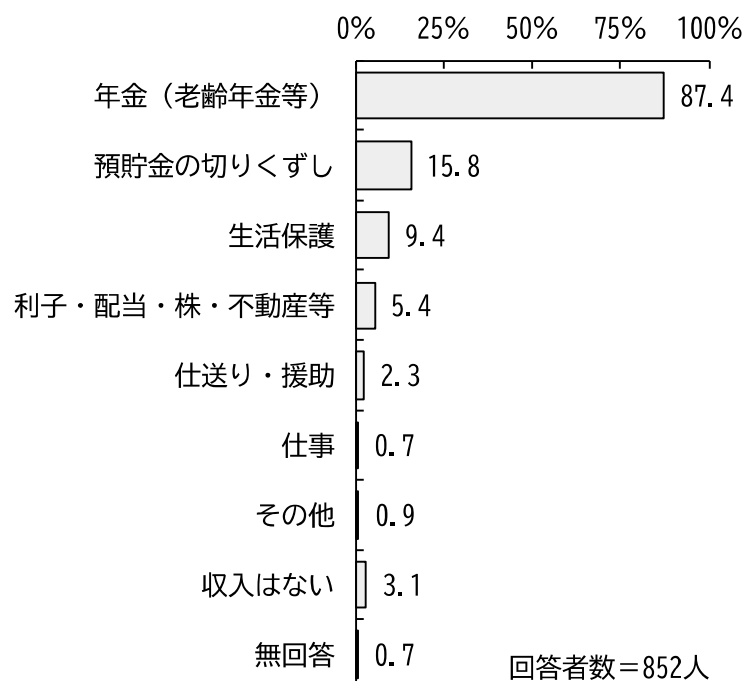
(5) 本人の収入

問6 ご本人の収入は次のうちどれですか。(複数選択可)

本人の収入は、「年金(老齢年金等)」87.4%が最も高く、次いで「預貯金の切りくずし」15.8%、「生活保護」9.4%、「利子・配当・株・不動産等」5.4%、「仕送り・援助」2.3%、「仕事」0.7%となっています。

一方、「収入はない」が3.1%となっています。

図表 2-7 本人の収入(複数回答)



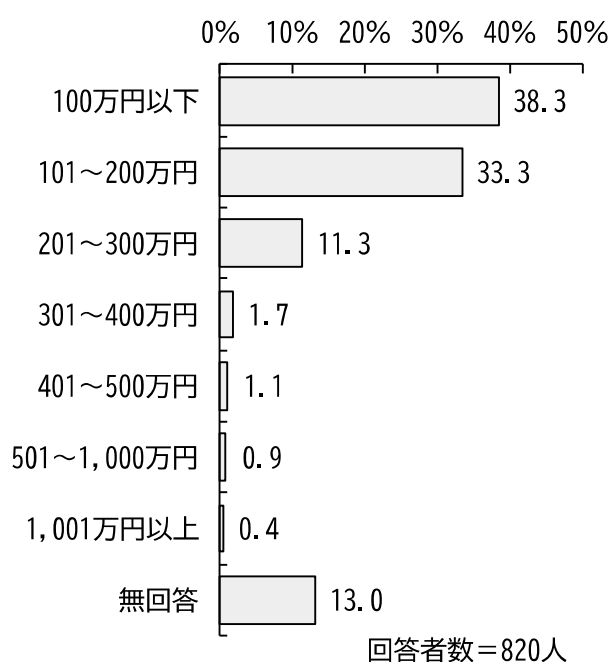
（６）本人の１年間の手取り額

問７ 問６で「１」～「７」と回答した方にお伺いします。

ご本人の１年間の手取り額（年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額）はどれくらいですか。（１つを選択）

収入がある方に本人の１年間の手取り額をたずねたところ、「１００万円以下」３８.３％が最も高く、次いで「１０１～２００万円」３３.３％、「２０１～３００万円」１１.３％が続いています。２００万円以下が ７１.６％となっています。

図表 ２－８ 本人の１年間の手取り額



(7) 施設等への入所・入居の検討状況

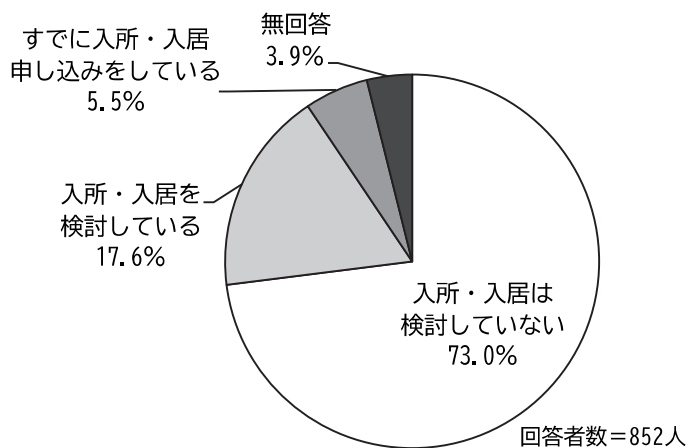
問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つを選択)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」73.0%が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」17.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」5.5%となっています。

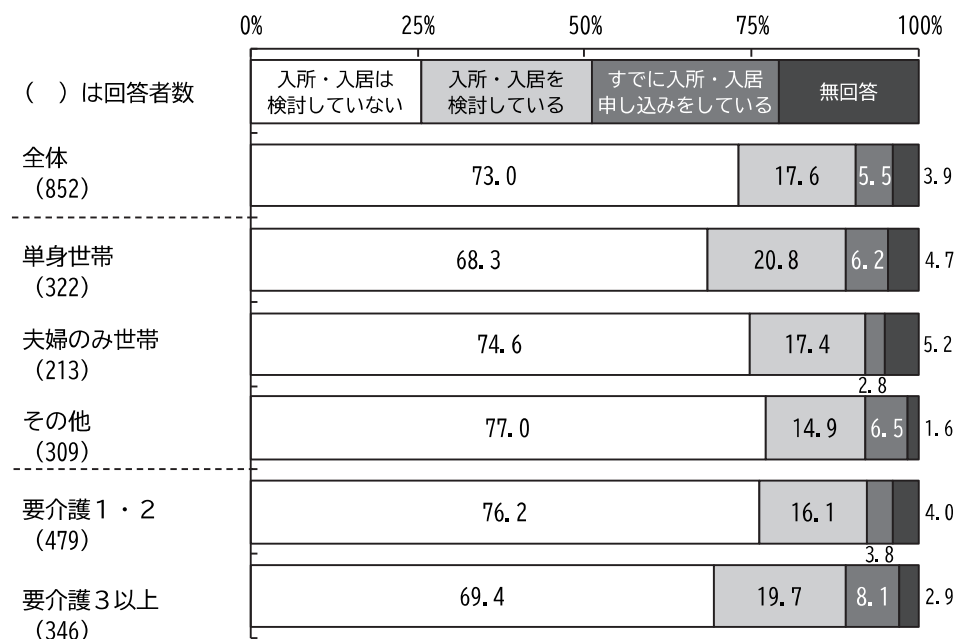
世帯類型別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、その他が6.5%、単身世帯が6.2%となっています。要介護度別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、要介護3以上で8.1%となっています。

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

図表 2-9 施設等への入所・入居の検討状況



図表 2-10 施設等への入所・入居の検討状況【世帯類型別／要介護度別】

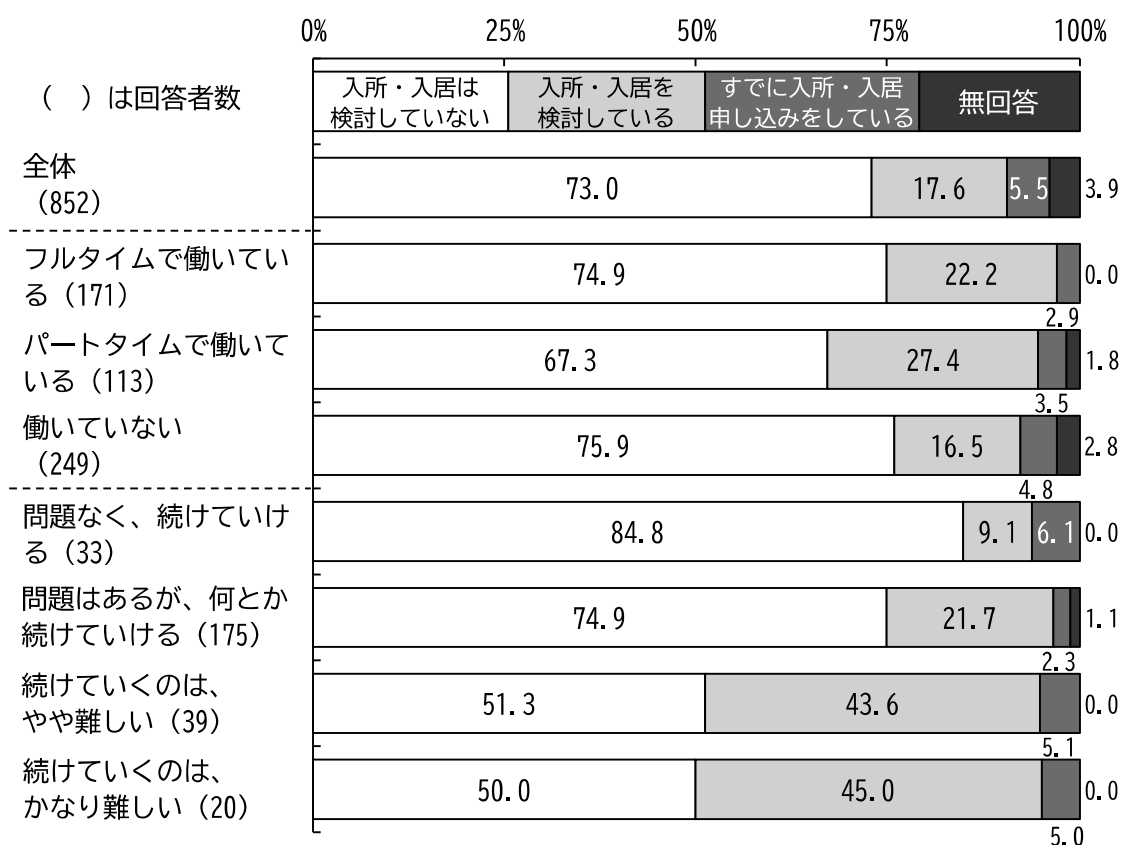


主な介護者の現在の勤務形態別(138 ページ)にみると、「入所・入居を検討している」割合は、パートタイム 27.4%、フルタイム 22.2%となっています。

主な介護者の今後の見込み別(142 ページ)でみると、「入所・入居を検討している」割合が高いのは、続けていくのはやや難しい 43.6%、続けていくのはかなり難しい 45.0%となっています。

図表 2-11 施設等への入所・入居の検討状況

【主な介護者の現在の勤務形態別／主な介護者の今後の見込み別】



※選択肢「主な介護者に確認しないと、わからない」は、回答者数が少ないため、掲載を省略しています。

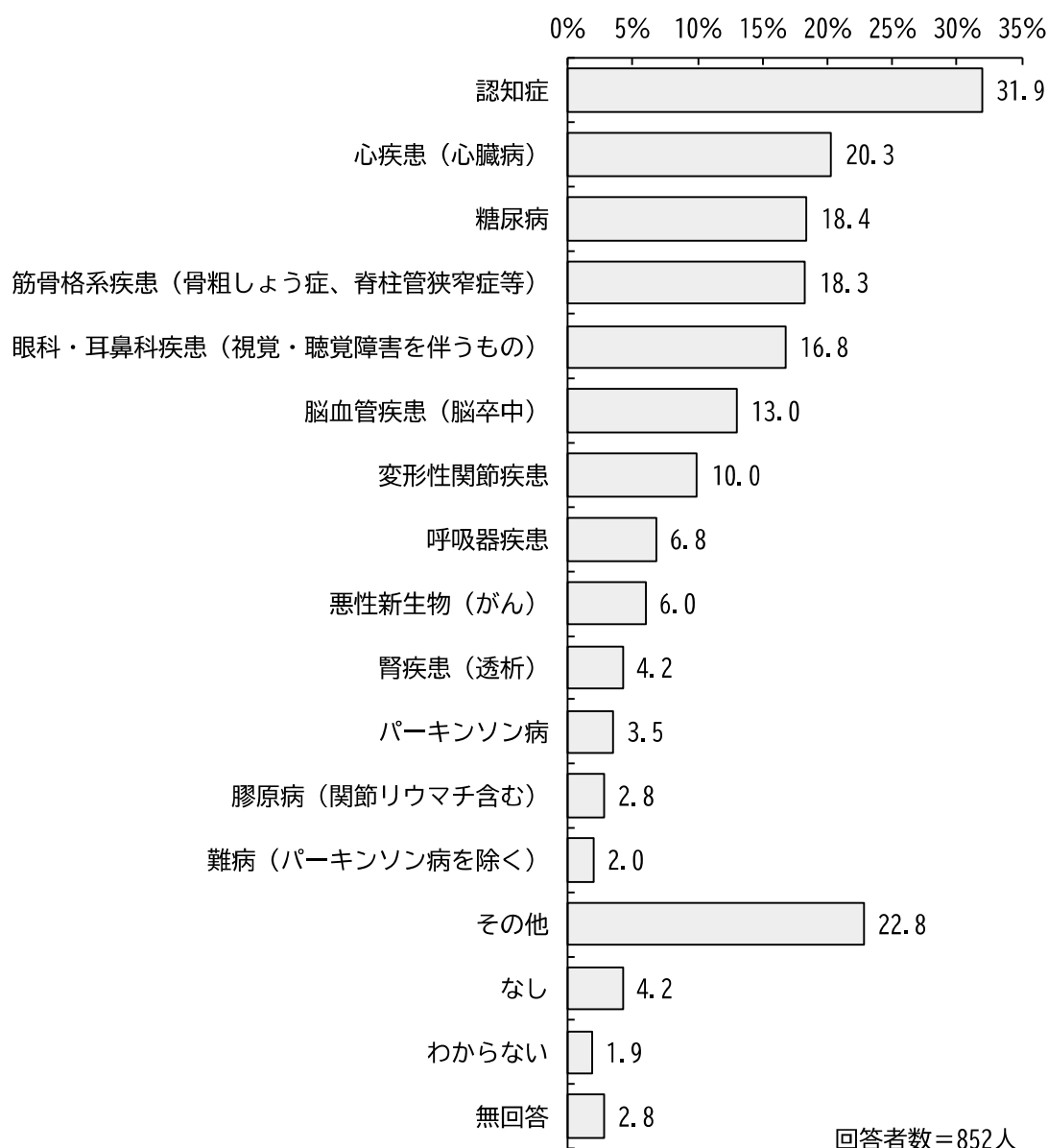
（８）現在抱えている傷病

問９ ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

現在抱えている傷病は、「認知症」31.9%が最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」20.3%、「糖尿病」18.4%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」18.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」16.8%、「脳血管疾患（脳卒中）」13.0%が続いています。一方、「なし」は4.2%となっています。

年齢別にみると、80歳以上では「認知症」の割合が高くなっています。

図表 2-12 現在抱えている傷病（複数回答）



図表 2-13 現在抱えている傷病【年齢別】

		回答者数	認知症	心疾患 (心臓病)	糖尿病	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	脳血管疾患 (脳卒中)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物 (がん)
全体		852 100.0	272 31.9	173 20.3	157 18.4	156 18.3	143 16.8	111 13.0	85 10.0	58 6.8	51 6.0
年齢別	65 歳未満	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69 歳	12 100.0	2 16.7	0 0.0	3 25.0	0 0.0	2 16.7	6 50.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
	70～74 歳	62 100.0	15 24.2	7 11.3	12 19.4	7 11.3	6 9.7	16 25.8	3 4.8	6 9.7	8 12.9
	75～79 歳	105 100.0	19 18.1	19 18.1	19 18.1	14 13.3	12 11.4	26 24.8	6 5.7	9 8.6	7 6.7
	80～84 歳	177 100.0	56 31.6	24 13.6	42 23.7	32 18.1	27 15.3	23 13.0	18 10.2	9 5.1	14 7.9
	85～89 歳	236 100.0	83 35.2	55 23.3	42 17.8	50 21.2	55 23.3	27 11.4	30 12.7	19 8.1	11 4.7
	90 歳以上	257 100.0	95 37.0	68 26.5	39 15.2	53 20.6	41 16.0	13 5.1	28 10.9	15 5.8	10 3.9

		回答者数	腎疾患 (透析)	パーキンソン病	膠原病 (関節リウマチ含む)	難病 (パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体		852 100.0	36 4.2	30 3.5	24 2.8	17 2.0	194 22.8	36 4.2	16 1.9	24 2.8
年齢別	65 歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69 歳	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74 歳	62 100.0	3 4.8	1 1.6	3 4.8	2 3.2	18 29.0	1 1.6	1 1.6	2 3.2
	75～79 歳	105 100.0	4 3.8	10 9.5	2 1.9	6 5.7	25 23.8	3 2.9	2 1.9	6 5.7
	80～84 歳	177 100.0	11 6.2	5 2.8	9 5.1	3 1.7	32 18.1	7 4.0	2 1.1	6 3.4
	85～89 歳	236 100.0	6 2.5	9 3.8	5 2.1	5 2.1	44 18.6	6 2.5	8 3.4	4 1.7
	90 歳以上	257 100.0	11 4.3	5 1.9	4 1.6	1 0.4	70 27.2	19 7.4	3 1.2	5 1.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（９）令和６年６月の１か月間における介護保険サービス利用の有無

問 10 令和６年６月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（１つを選択）

令和６年６月の１か月間における介護保険サービス利用の有無については、「利用した」84.4%、「利用していない」13.4%となっています。

要介護度別にみると、「利用した」人の割合は、要介護３以上が要介護１・２を 7.5 ポイント上回っています。

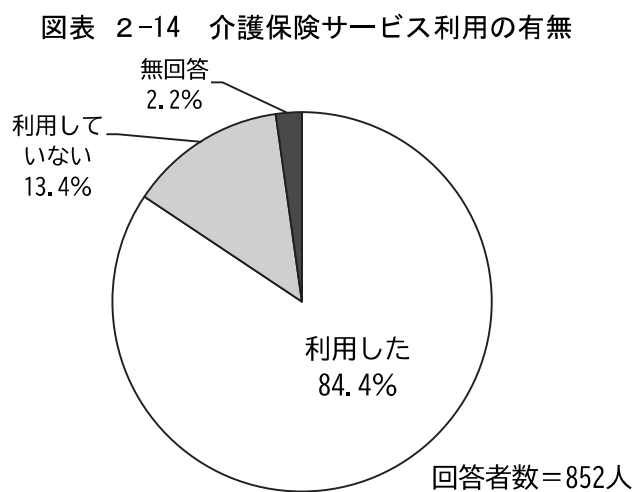


表 2-15 介護保険サービス利用の有無【要介護度別】

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
() は回答者数	利用した 利用していない 無回答					
全体 (852)	84.4 13.4 2.2					
要介護１・２ (479)	81.8 15.7 2.5					
要介護３以上 (346)	89.3 9.5 1.2					

(10) 介護保険サービス別の利用状況

問 11 問 10 で「1 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和 6 年 6 月の 1 か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0 回、利用していない）」を選択してください。（それぞれ 1 つに○）

介護保険サービス別の利用状況については、『利用している』割合の第 1 位のサービス種別は、E 通所介護（デイサービス）58.1% で、その内訳は、「週 2 回程度」18.6% が最も高く、次いで「週 3 回程度」16.4%、「週 1 回程度」8.9% が続いています。

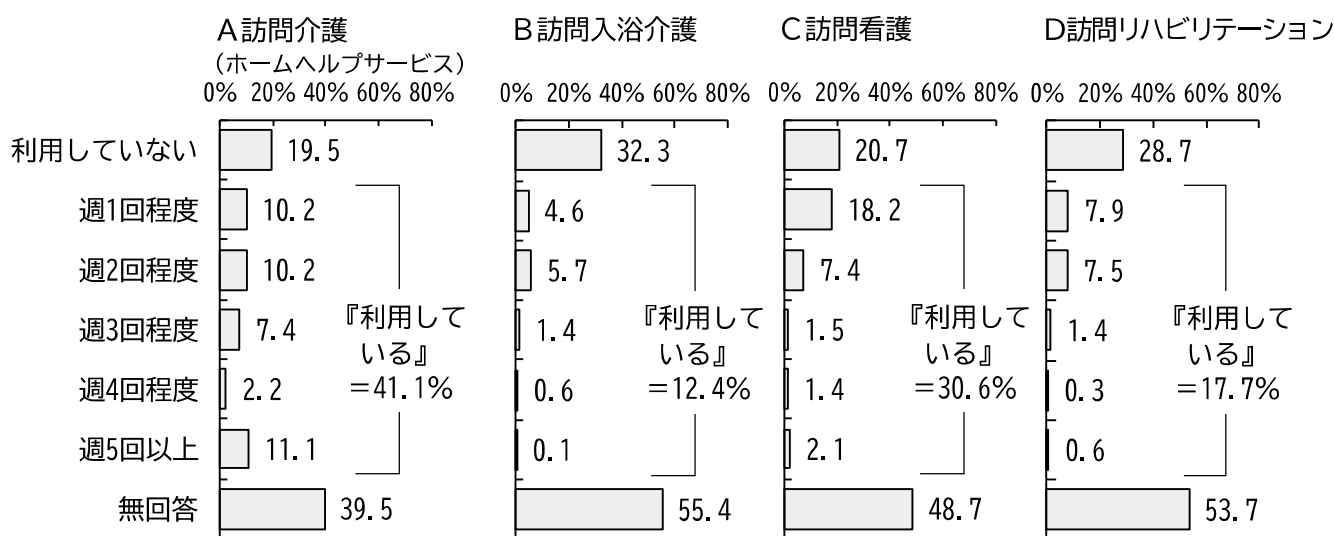
第 2 位は、A 訪問介護（ホームヘルプサービス）41.1% で、その内訳は、「週 5 回以上」11.1% が最も高く、次いで「週 1 回程度」「週 2 回程度」がともに 10.2% で続いています。

第 3 位は、C 訪問看護 30.6% で、その内訳は、「週 1 回程度」18.2% が最も高く、次いで「週 2 回程度」7.4% が続いています。

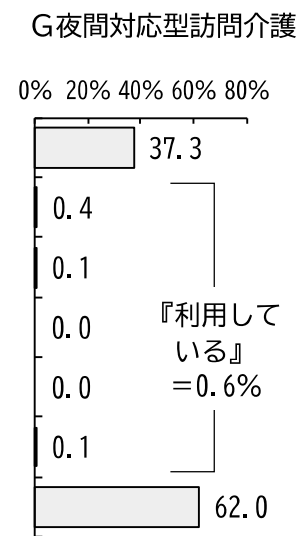
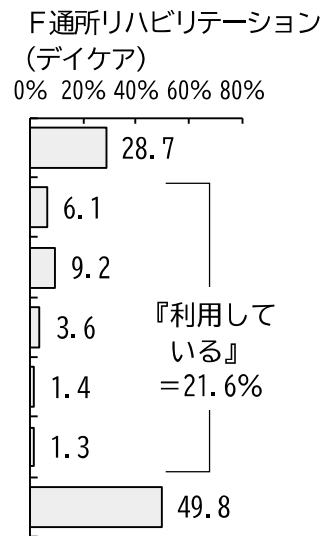
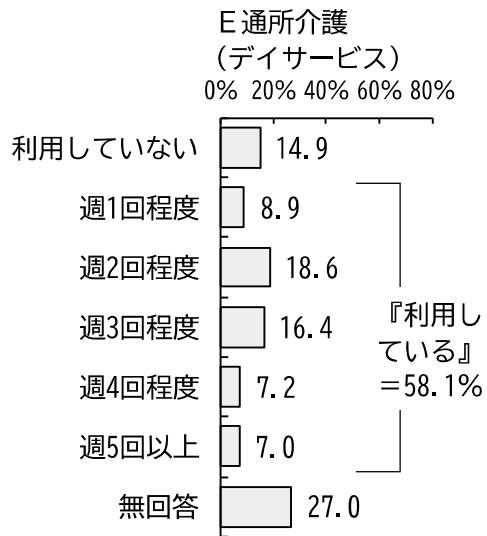
第 4 位以降は、F 通所リハビリテーション（デイケア）21.6%、D 訪問リハビリテーション 17.7%、K 短期入所（ショートステイ）14.7%、H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 12.9%、B 訪問入浴介護 12.4%、L 居宅療養管理指導 11.5% の順となっています。

一方、I 小規模多機能型居宅介護は 1.7%、J 看護小規模多機能型居宅介護は 1.3%、G 夜間対応型訪問介護は 0.6% とわずかな利用となっています。

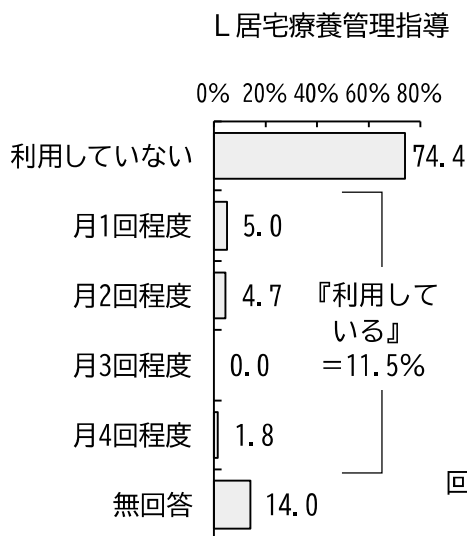
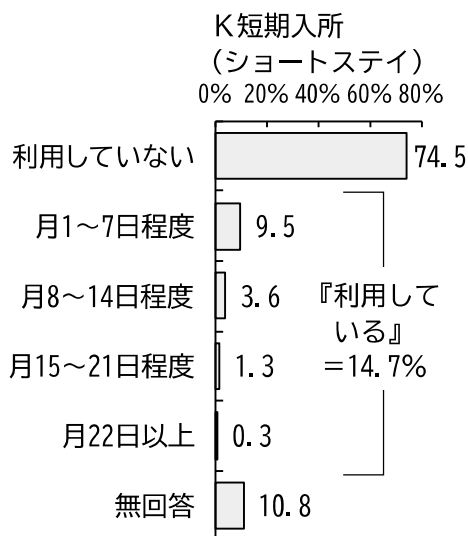
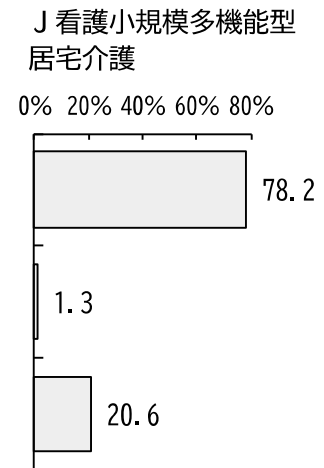
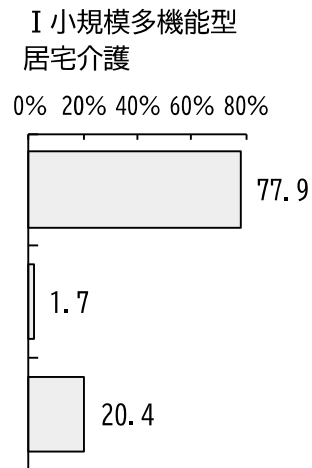
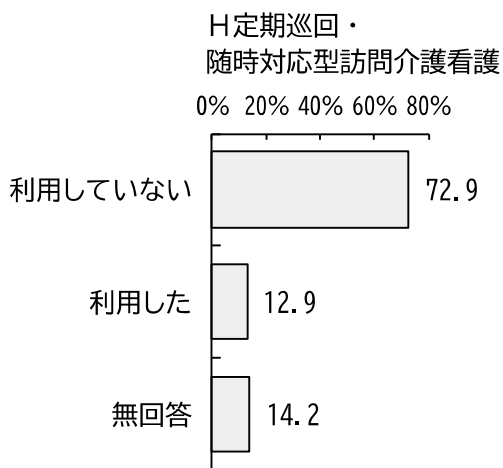
図表 2-16 介護保険サービス別の利用状況



回答者数=719 人



※ G 夜間対応型訪問介護
は訪問のあった回数を
回答しています。



回答者数 = 719 人

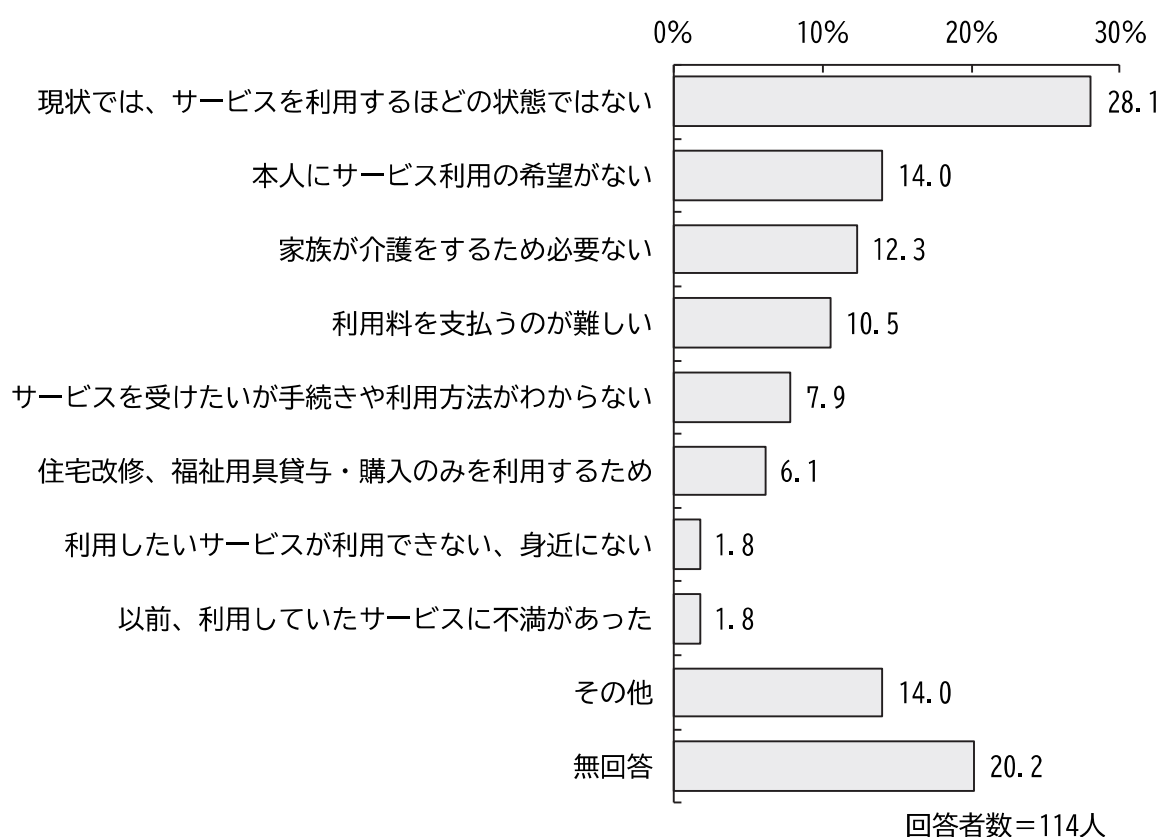
(11) 介護保険サービスを利用していない理由

問 12 問 10 で「2 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」28.1%が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」14.0%、「家族が介護をするため必要ない」12.3%、「利用料を支払うのが難しい」10.5%が続いています。

要介護度別にみると、要介護1・2の第1位は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」28.0%で、要介護3以上は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「家族が介護をするため必要ない」がともに24.2%で同率1位となっています。

図表 2-17 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



図表 2-18 介護保険サービスを利用していない理由【要介護度別】

		回答者数	現状では、サービスを利用する ほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けたいが手続きや 利用方法がわからない	住宅改修、福祉用具貸与・購入の みを利用するため	利用したいサービスが利用でき ない、身近にない	以前、利用していたサービスに 不満があった	その他	無回答
	全体	114 100.0	32 28.1	16 14.0	14 12.3	12 10.5	9 7.9	7 6.1	2 1.8	2 1.8	16 14.0	23 20.2
要介護度別	要介護１・２	75 100.0	21 28.0	12 16.0	5 6.7	9 12.0	6 8.0	4 5.3	2 2.7	2 2.7	10 13.3	17 22.7
	要介護３以上	33 100.0	8 24.2	3 9.1	8 24.2	2 6.1	3 9.1	3 9.1	0 0.0	0 0.0	6 18.2	5 15.2

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(12) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

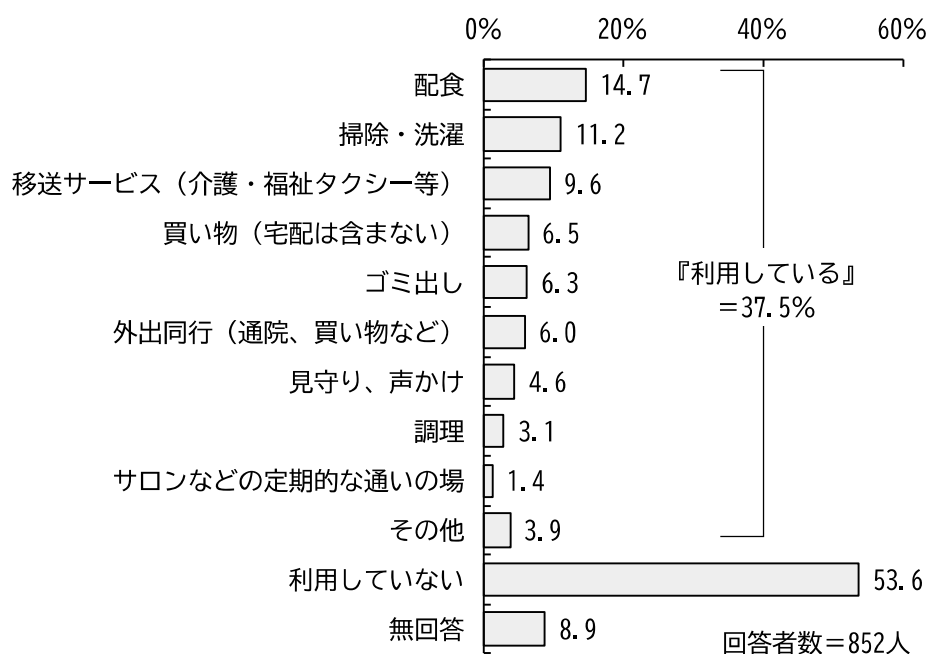
問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」53.6%となっています。『利用している』は37.5%で、その内訳は、「配食」14.7%が最も高く、次いで「掃除・洗濯」11.2%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」9.6%が続いています。

性別でみると、男性は「調理」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」「外出同行」の割合が女性をやや上回っている他は、女性の利用割合が男性を上回っています。

図表 2-19 「介護保険サービス以外」の支援・サービス（複数回答）



※『利用している』(%) = 全体(%) - 「利用していない」(%) - 「無回答」(%)

図表 2-20 「介護保険サービス以外」の支援・サービス【性別】

	回答者数	配食	掃除・洗濯	移送サービス	買い物	ゴミ出し	外出同行	見守り、声かけ	調理	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	852	125	95	82	55	54	51	39	26	12	33	457	76
	100.0	14.7	11.2	9.6	6.5	6.3	6.0	4.6	3.1	1.4	3.9	53.6	8.9
性別													
男性	313	36	27	32	19	11	19	15	13	3	11	174	31
	100.0	11.5	8.6	10.2	6.1	3.5	6.1	4.8	4.2	1.0	3.5	55.6	9.9
女性	534	88	67	50	35	43	32	24	13	9	22	281	44
	100.0	16.5	12.5	9.4	6.6	8.1	6.0	4.5	2.4	1.7	4.1	52.6	8.2
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(13) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

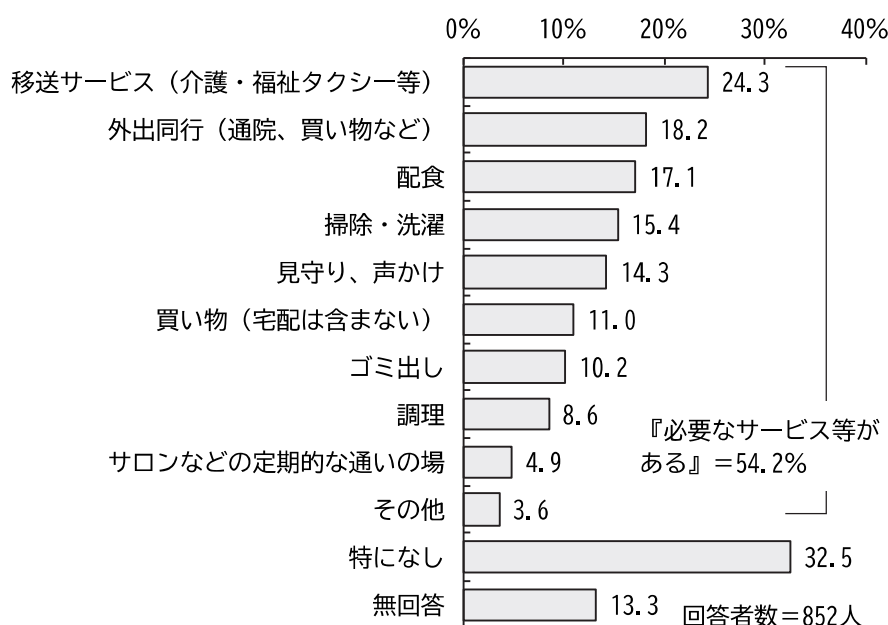
問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」24.3％が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」18.2％、「配食」17.1％、「掃除・洗濯」15.4％、「見守り、声かけ」14.3％が続いています。一方、「特になし」は32.5％となっています。

要介護度別でみると、要介護3以上は「特になし」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「配食」の割合が要介護1・2を上回っている他は、要介護1・2が要介護3以上の割合を上回っています。

図表 2-21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）



※『必要なサービス等がある』(%) = 全体(%) - 「特になし」(%) - 「無回答」(%)

図表 2-22 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス【要介護度別】

	回答者数	移送サービス	外出同行	配食	掃除・洗濯	見守り、声かけ	買い物	ゴミ出し	調理	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	852	207	155	146	131	122	94	87	73	42	31	277	113
	100.0	24.3	18.2	17.1	15.4	14.3	11.0	10.2	8.6	4.9	3.6	32.5	13.3
要介護1・2	479	105	90	80	87	72	57	53	44	26	18	141	71
	100.0	21.9	18.8	16.7	18.2	15.0	11.9	11.1	9.2	5.4	3.8	29.4	14.8
要介護3以上	346	98	61	64	44	49	34	33	27	16	13	128	34
	100.0	28.3	17.6	18.5	12.7	14.2	9.8	9.5	7.8	4.6	3.8	37.0	9.8

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(14) 訪問診療の利用の有無

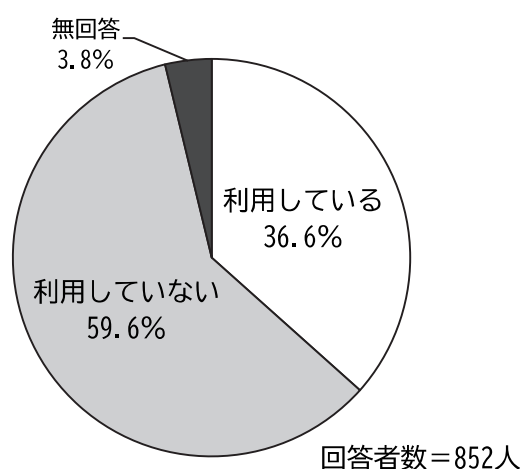
問 15 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。
（1つを選択）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

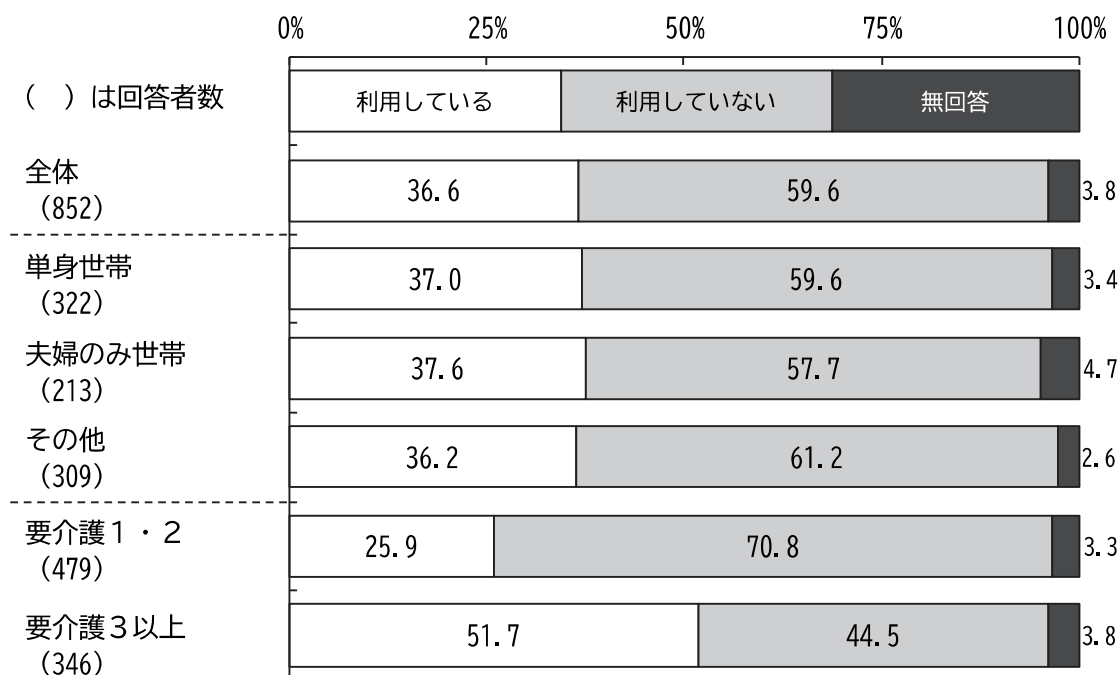
訪問診療の利用の有無は、「利用している」36.6%、「利用していない」59.6%となっています。

世帯類型別に「利用している」割合をみると、夫婦のみ世帯が他よりやや高く、要介護度別にみると、「利用している」割合は要介護3以上が 51.7%で要介護1・2を 25.8 ポイント上回っています。

図表 2-23 訪問診療の利用の有無



図表 2-24 訪問診療の利用の有無【世帯類型別／要介護度別】



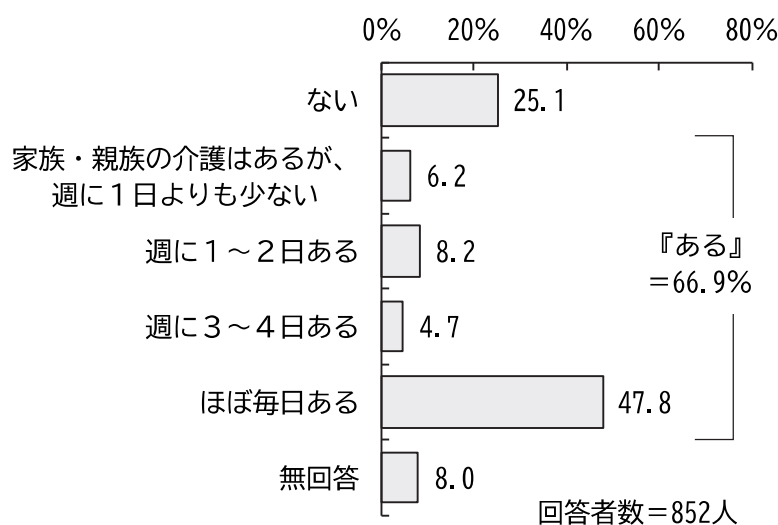
(15) 家族・親族からの1週間あたりの介護

問 16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

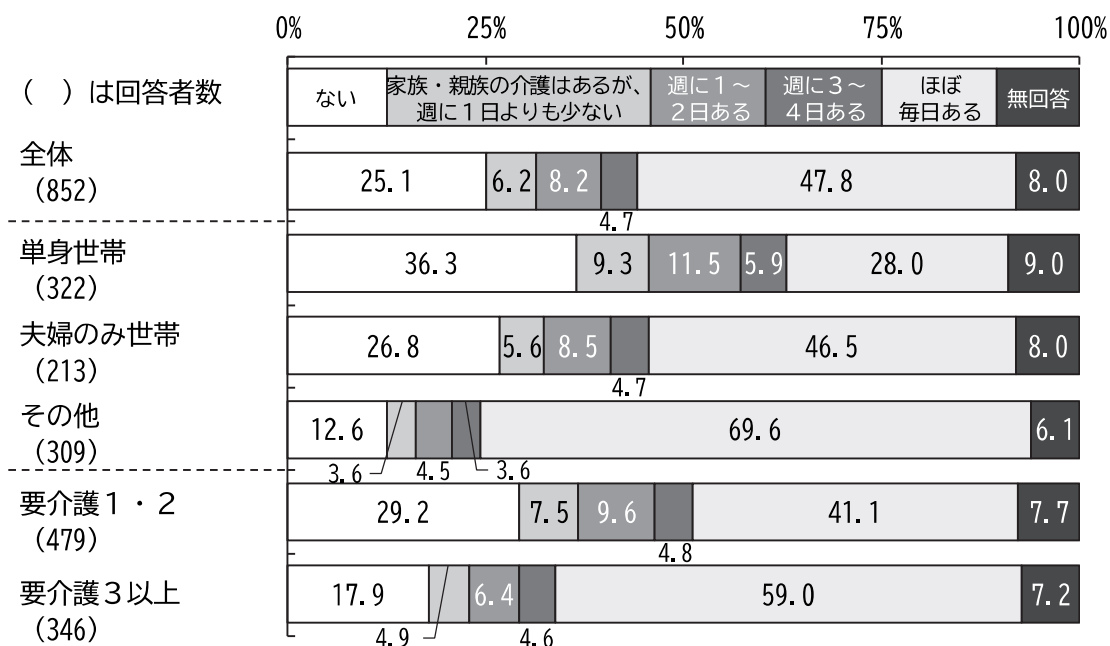
家族・親族からの1週間あたりの介護については、『ある』が66.9%で、その内訳は「ほぼ毎日ある」47.8%が最も高く、次いで「週に1～2日ある」8.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」6.2%が続いています。

世帯類型別にみると、その他世帯で「ほぼ毎日ある」が69.6%と他より高くなっています。要介護度別にみると、要介護3以上で「ほぼ毎日ある」が59.0%と他より高くなっています。

図表 2-25 家族・親族からの1週間あたりの介護



図表 2-26 家族・親族からの1週間あたりの介護【世帯類型別／要介護度別】



2 主な介護者について

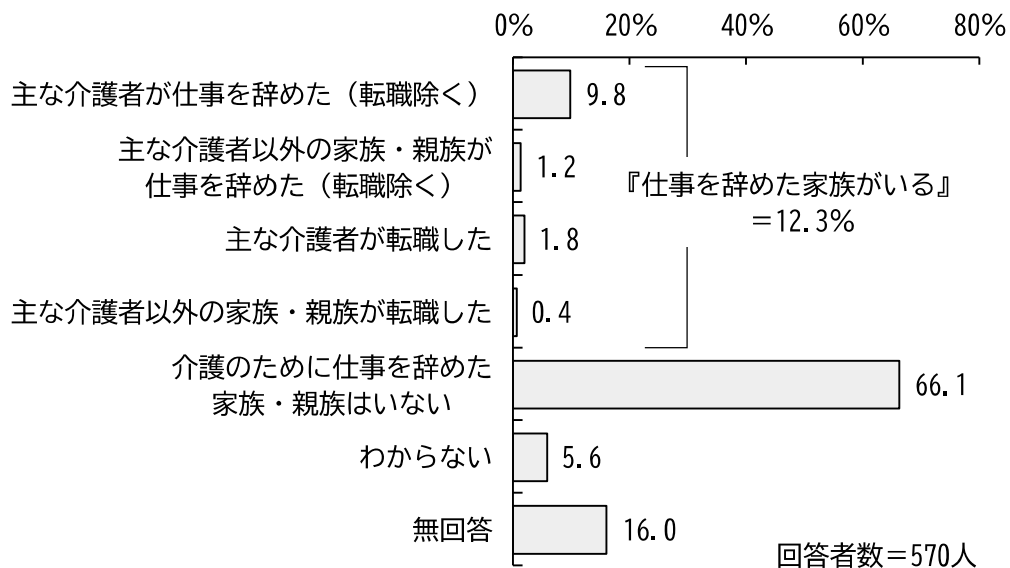
(1) 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.1%となっています。『仕事を辞めた家族がいる』は12.3%で、その内訳は、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」9.8%が最も高くなっています。

図表 2-27 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族（複数回答）



※『仕事を辞めた家族がいる』(%) = 全体(%) - 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(%) - 「わからない」(%) - 「無回答」(%)

（２）主な介護者

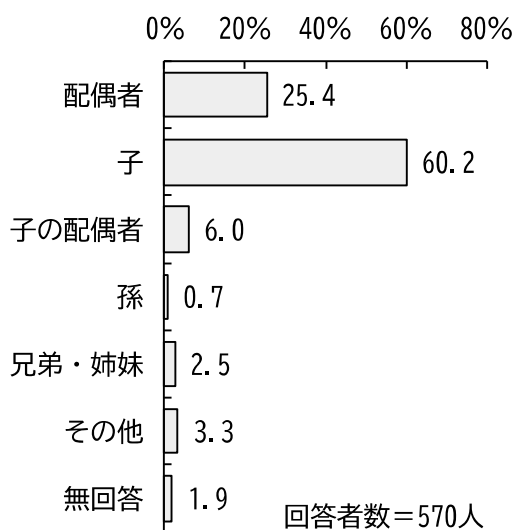
問２ 主な介護者の方は、どなたですか。（１つを選択）

主な介護者については、「子」60.2%が最も高く、次いで「配偶者」25.4%、「子の配偶者」6.0%が続いています。

本人の性別でみると、男性は「配偶者」47.1%が最も高く、一方、女性は「子」70.3%が最も高くなっています。

本人の年齢別でみると、概ね年齢が上がるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「子」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 2-28 主な介護者



図表 2-29 主な介護者【本人の性別／本人の年齢別】

		回答者数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		570 100.0	145 25.4	343 60.2	34 6.0	4 0.7	14 2.5	19 3.3	11 1.9
本人の性別	男性	189 100.0	89 47.1	77 40.7	3 1.6	0 0.0	8 4.2	6 3.2	6 3.2
	女性	377 100.0	54 14.3	265 70.3	31 8.2	4 1.1	6 1.6	12 3.2	5 1.3
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
本人の年齢別	65歳未満	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	8 100.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	38 100.0	24 63.2	3 7.9	0 0.0	0 0.0	7 18.4	1 2.6	3 7.9
	75～79歳	58 100.0	39 67.2	12 20.7	2 3.4	0 0.0	1 1.7	3 5.2	1 1.7
	80～84歳	115 100.0	33 28.7	67 58.3	4 3.5	1 0.9	2 1.7	5 4.3	3 2.6
	85～89歳	156 100.0	28 17.9	108 69.2	11 7.1	1 0.6	1 0.6	7 4.5	0 0.0
	90歳以上	194 100.0	16 8.2	149 76.8	17 8.8	2 1.0	3 1.5	3 1.5	4 2.1

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(3) 主な介護者の性別と年齢

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

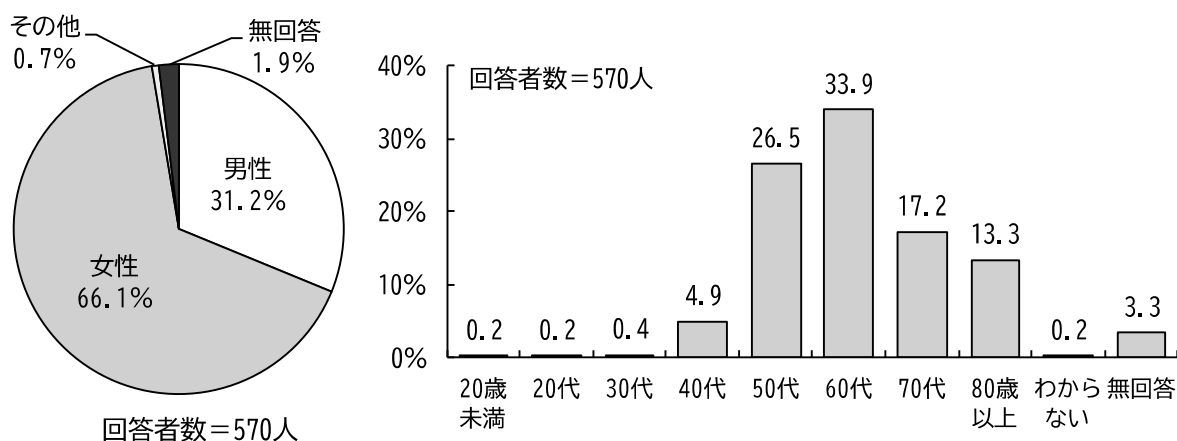
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

主な介護者の性別は、「男性」31.2%、「女性」66.1%となっています。

主な介護者の年齢は、「60代」33.9%が最も高く、次いで「50代」26.5%、「70代」17.2%、「80歳以上」13.3%が続いています。

主な介護者の年齢を性別でみると、60代以上では男性の割合が女性より高くなっています。40代と50代では女性の割合が男性より高くなっています。

図表 2-30 主な介護者の性別と年齢



図表 2-31 主な介護者の年齢【主な介護者の性別】

	回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体	570 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	28 4.9	151 26.5	193 33.9	98 17.2	76 13.3	1 0.2	19 3.3
主な介護者の性別	男性	178 100.0	0 0.0	1 0.6	5 0.6	41 23.0	61 34.3	32 18.0	31 17.4	1 0.6	5 2.8
	女性	377 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	23 6.1	110 29.2	129 34.2	64 17.0	44 11.7	0 0.0
	その他	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

主な介護者の年齢を本人の年齢別にみると、本人の年齢が 70～79 歳では主な介護者の年齢が「70 代」の割合が高く、主な介護者が配偶者であることが考えられます。

本人の年齢が 80～89 歳は主な介護者の年齢が「50 代」「60 代」、本人の年齢が 90 歳以上では主な介護者の年齢が「60 代」の割合が高く、主な介護者が子や子の配偶者であることが考えられます。

図表 2-32 主な介護者の年齢【本人の年齢別】

		回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		570 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	28 4.9	151 26.5	193 33.9	98 17.2	76 13.3	1 0.2	19 3.3
本人の年齢別	65歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.3	1 2.6	4 10.5	29 76.3	0 0.0	0 0.0	2 5.3
	75～79歳	58 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	10 17.2	6 10.3	2 3.4	30 51.7	7 12.1	0 0.0	2 3.4
	80～84歳	115 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	7 6.1	52 45.2	15 13.0	8 7.0	28 24.3	0 0.0	4 3.5
	85～89歳	156 100.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	5 3.2	62 39.7	56 35.9	5 3.2	25 16.0	0 0.0	2 1.3
	90歳以上	194 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	2 1.0	29 14.9	110 56.7	26 13.4	16 8.2	1 0.5	9 4.6

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

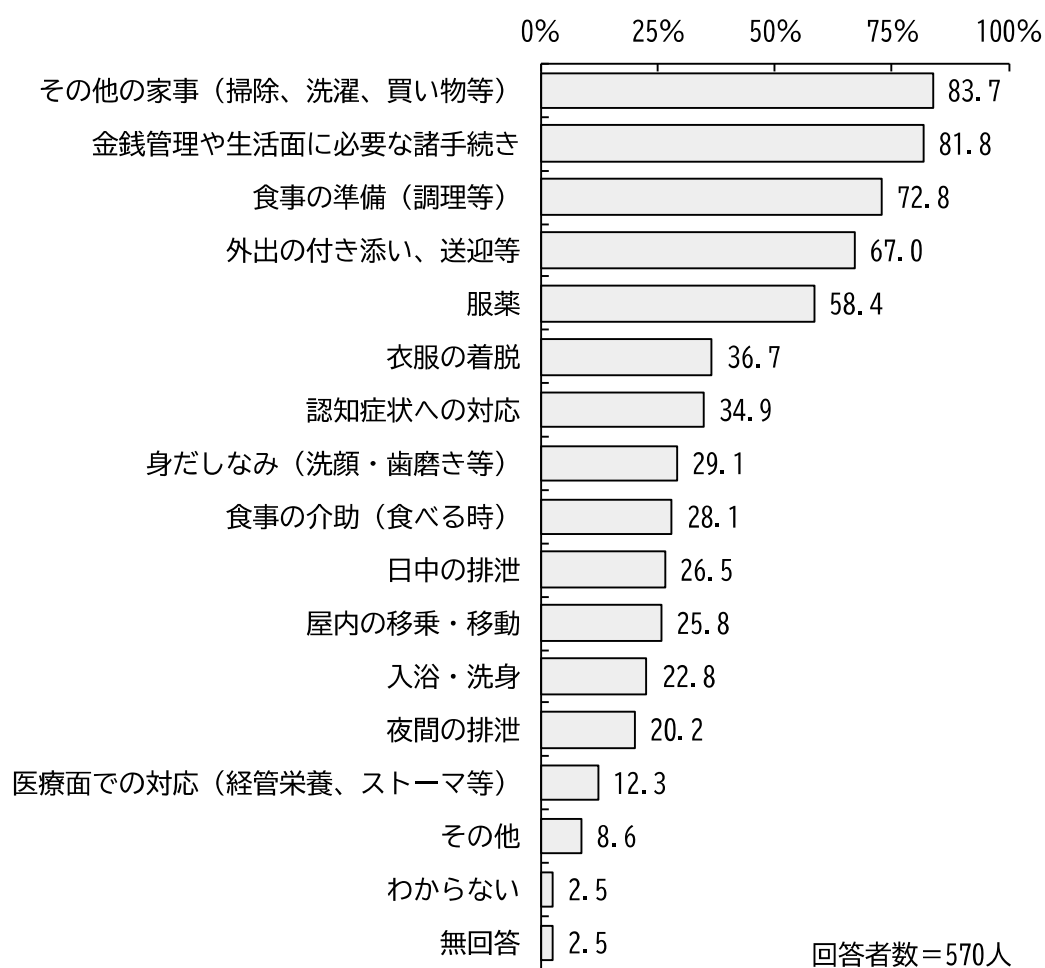
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（４）主な介護者が行っている介護等

問５ 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数選択可)

主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」83.7%が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」81.8%、「食事の準備(調理等)」72.8%、「外出の付き添い、送迎等」67.0%、「服薬」58.4%が続いています。

図表 2-33 主な介護者が行っている介護等（複数回答）



（５）主な介護者が不安に感じる介護等

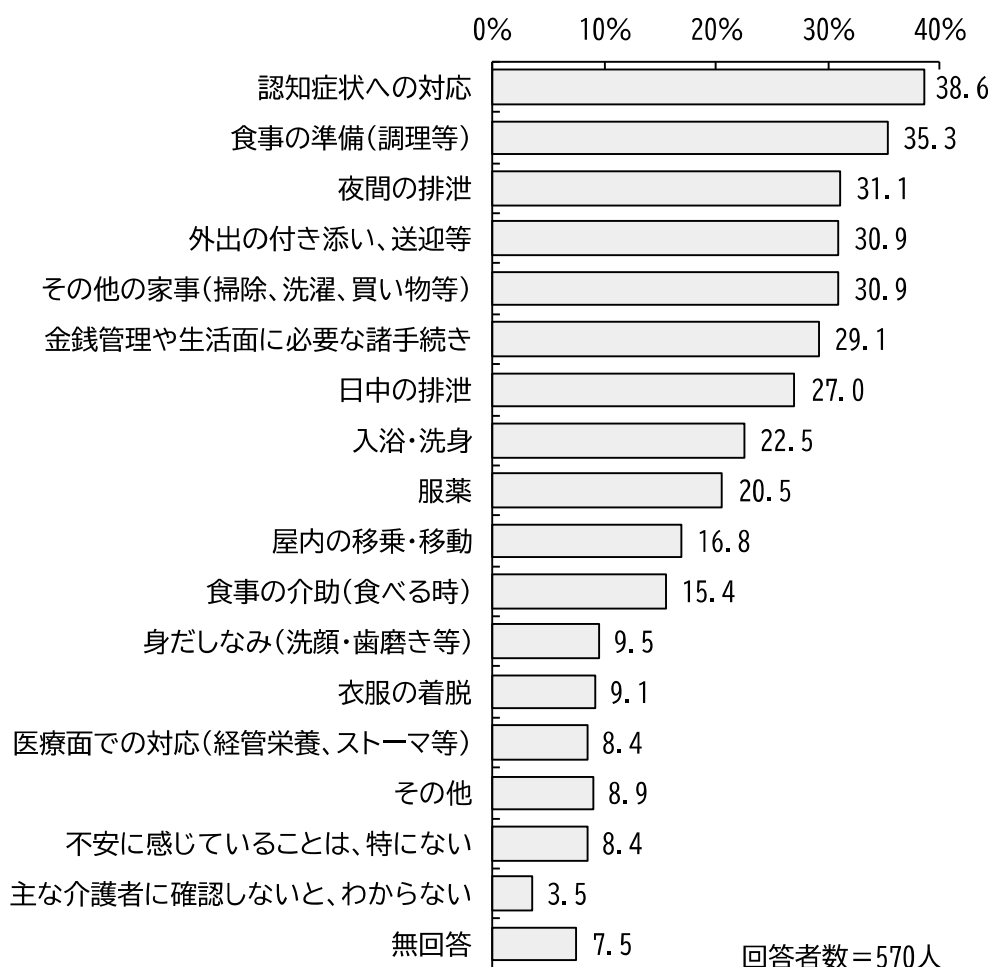
問６ 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）

（３つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」38.6%が最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」35.3%、「夜間の排泄」31.1%、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がともに 30.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」29.1%、「日中の排泄」27.0%、「入浴・洗身」22.5%、「服薬」20.5%が続いています。

主な介護者の今後の見込み別（142 ページ）にみると、問題なく、続けていける方の上位 3 位は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「食事の準備（調理等）」「外出の付き添い、送迎等」となっています。問題はあるが、何とか続けていける方の上位 3 位は、「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」となっています。続けていくのはやや難しい方と、続けていくのはかなり難しい方の第 1 位は「認知症状への対応」、第 2 位は「夜間の排泄」、第 3 位は「食事の準備（調理等）」と「日中の排泄」となっています。

図表 2-34 主な介護者が不安に感じる介護等（複数回答）



図表 2-35 主な介護者が不安に感じる介護等【主な介護者の今後の見込み別】

		回答者数	認知症状への対応	食事の準備（調理等）	夜間の排泄	外出の付き添い、送迎等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	日中の排泄	入浴・洗身	服薬
全体		570 100.0	220 38.6	201 35.3	177 31.1	176 30.9	176 30.9	166 29.1	154 27.0	128 22.5	117 20.5
主な介護者の今後の見込み別	問題なく、続けていける	33 100.0	8 24.2	12 36.4	8 24.2	11 33.3	10 30.3	13 39.4	7 21.2	5 15.2	4 12.1
	問題はあるが、何とか続けていける	175 100.0	76 43.4	62 35.4	53 30.3	49 28.0	49 28.0	54 30.9	45 25.7	42 24.0	37 21.1
	続けていくのは、やや難しい	39 100.0	18 46.2	15 38.5	16 41.0	12 30.8	14 35.9	11 28.2	14 35.9	10 25.6	11 28.2
	続けていくのは、かなり難しい	20 100.0	12 60.0	10 50.0	11 55.0	6 30.0	5 25.0	5 25.0	10 50.0	5 25.0	10 50.0
	主な介護者に確認しないと、わからない	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3

		回答者数	屋内の移乗・移動	食事の介助（食べる時）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	不安に感じていることは、特 にない	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
全体		570 100.0	96 16.8	88 15.4	54 9.5	52 9.1	48 8.4	51 8.9	48 8.4	20 3.5	43 7.5
主な介護者の今後の見込み別	問題なく、続けていける	33 100.0	3 9.1	2 6.1	1 3.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	8 24.2	1 3.0	2 6.1
	問題はあるが、何とか続けていける	175 100.0	25 14.3	24 13.7	19 10.9	15 8.6	11 6.3	15 8.6	13 7.4	3 1.7	7 4.0
	続けていくのは、やや難しい	39 100.0	8 20.5	6 15.4	5 12.8	3 7.7	2 5.1	5 12.8	1 2.6	0 0.0	2 5.1
	続けていくのは、かなり難しい	20 100.0	4 20.0	3 15.0	5 25.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主な介護者に確認しないと、わからない	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

（６）主な介護者の現在の勤務形態

問７ 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つを選択）

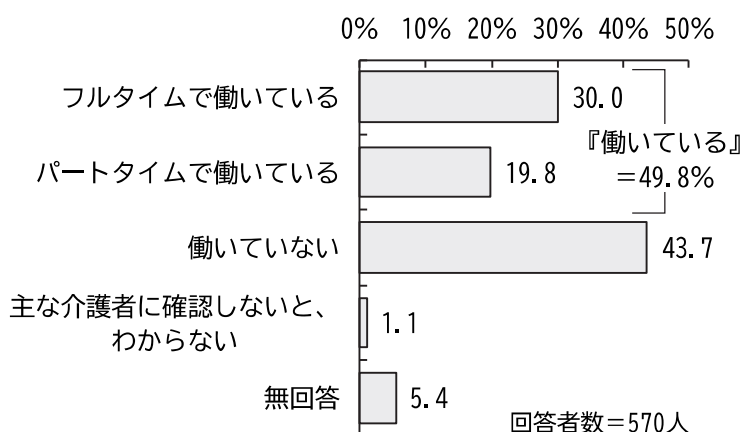
※「パートタイム」とは、「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の現在の勤務形態は、『働いている』が49.8%、「働いていない」が43.7%となっています。『働いている』方の内訳は、「フルタイムで働いている」30.0%、「パートタイムで働いている」19.8%となっています。

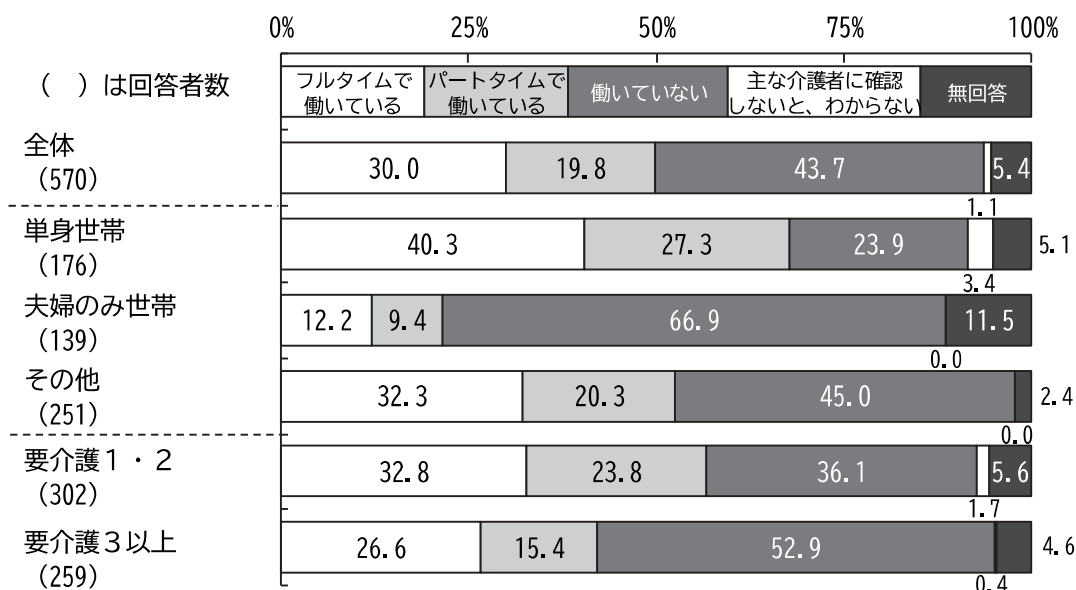
世帯類型別にみると、単身世帯では『働いている』が67.6%で「働いていない」23.9%を43.7ポイント上回っています。逆に、夫婦のみ世帯では「働いていない」が66.9%で『働いている』21.6%を45.3ポイント上回っています。

要介護度別にみると、要介護3以上は要介護1・2より「働いていない」割合が高くなっています。

図表 2-36 主な介護者の現在の勤務形態

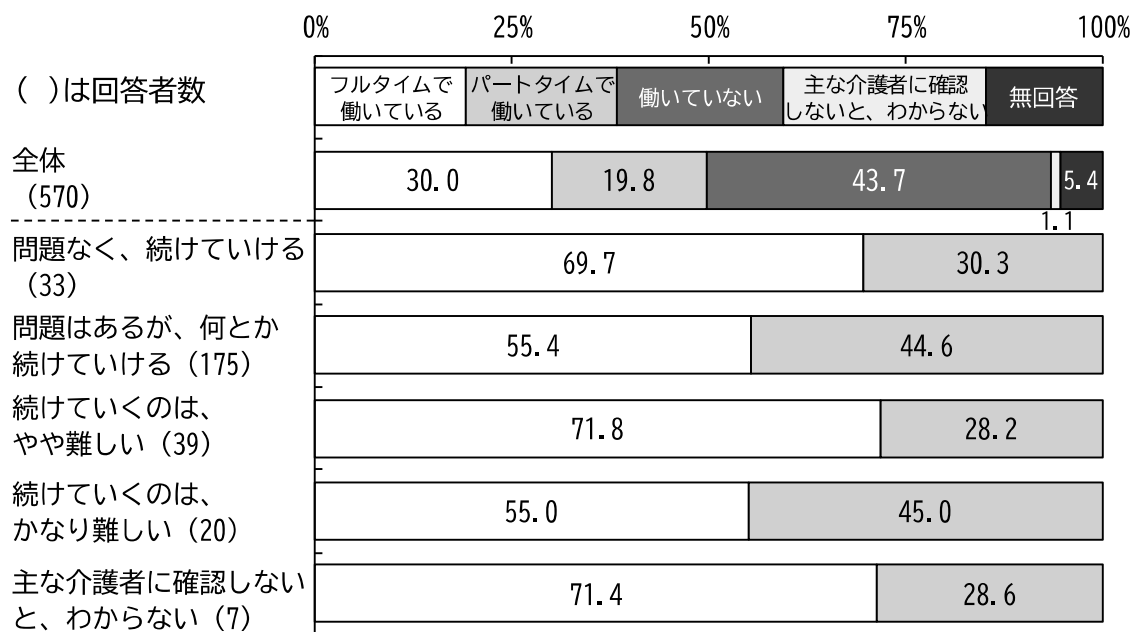


図表 2-37 主な介護者の現在の勤務形態【世帯類型別／要介護度別】



主な介護者の今後の見込み別(142 ページ)にみると、いずれの場合においても「フルタイムで働いている」割合は 5 割を超える状況となっています。

図表 2-38 主な介護者の現在の勤務形態【主な介護者の今後の見込み別】



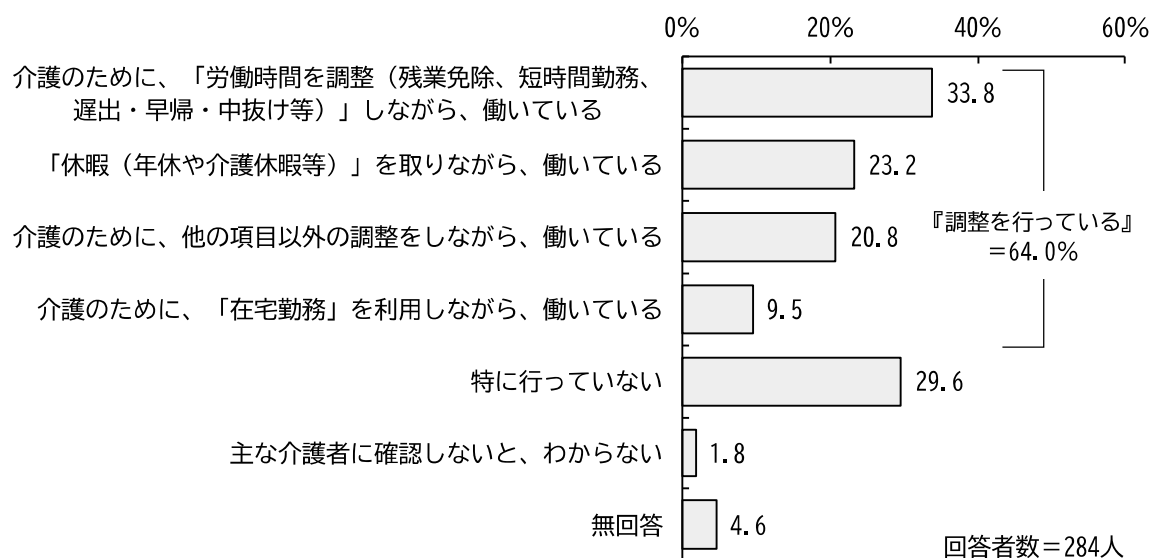
（７）介護者の働き方調整

問８ 問７で「１」「２」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

介護者の働き方調整については、『調整を行っている』64.0%、「特に行っていない」29.6%となっています。

『調整を行っている』と回答した方の内訳は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」33.8%が最も高く、次いで「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」23.2%、「介護のために、他の項目以外の調整をしながら、働いている」20.8%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」9.5%となっています。

図表 2-39 介護者の働き方調整（複数回答）



※『調整を行っている』(%) = 全体(%) - 「特に行っていない」(%) - 「主な介護者に確認しないと、わからない」(%) - 「無回答」(%)

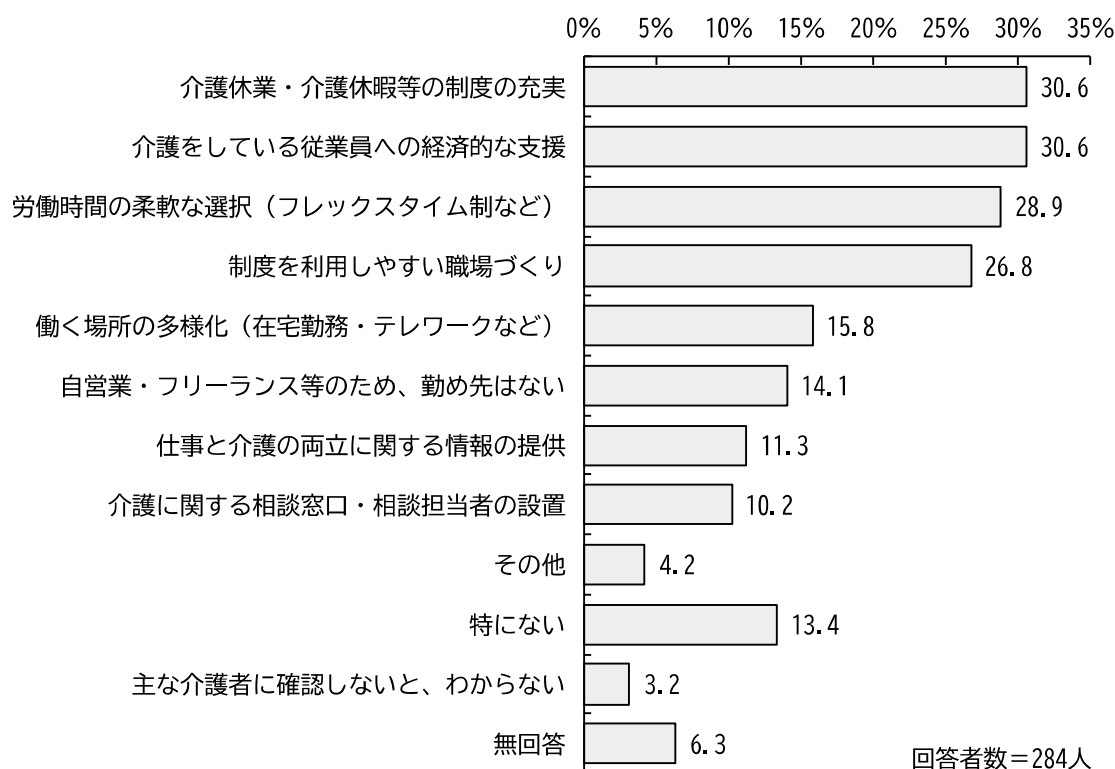
（８）仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

問 9 問 7 で「１」「２」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
(３つまで選択可)

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに 30.6%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」28.9%、「制度を利用しやすい職場づくり」26.8%が続いています。

一方、「特にない」は 13.4%となっています。

図表 2-40 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援（複数回答）



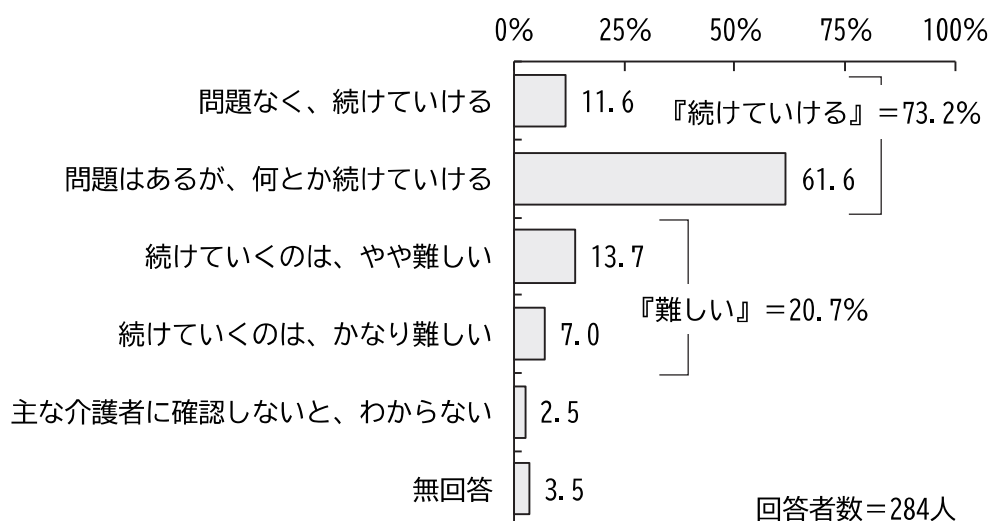
（９）働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み

問 10 問 7 で「１」「２」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つを選択）

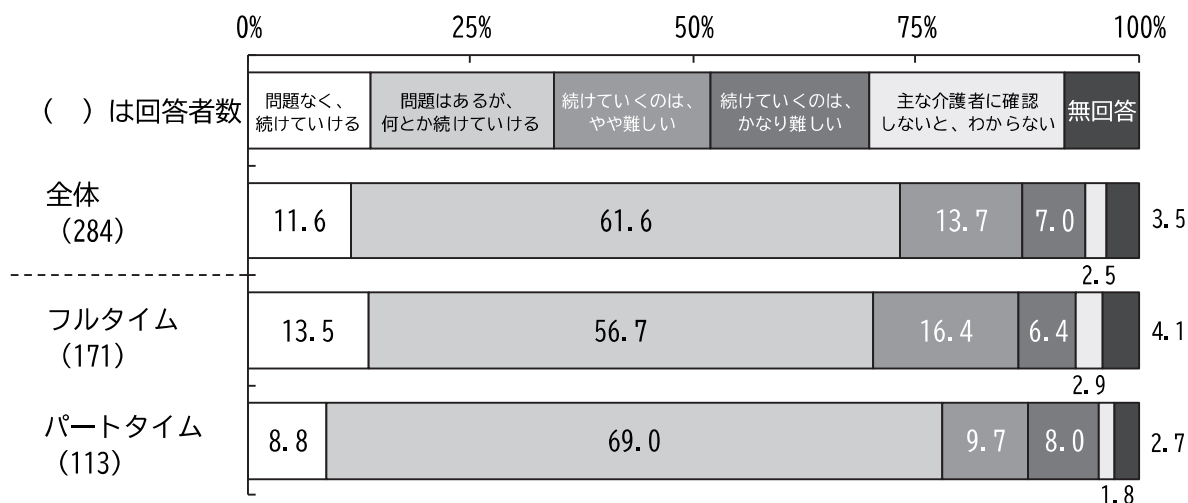
働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込みについては、『続けていける』73.2%、『難しい』20.7%となっています。その内訳は、「問題はあるが、何とか続けていける」61.6%が最も高くなっています。

主な介護者の現在の勤務形態別にみると、『難しい』割合はフルタイム 22.8%、パートタイム 17.7%で、パートタイムよりフルタイムが 5.1 ポイント高くなっています。

図表 2-41 主な介護者の今後の見込み



図表 2-42 主な介護者の今後の見込み【主な介護者の現在の勤務形態別】

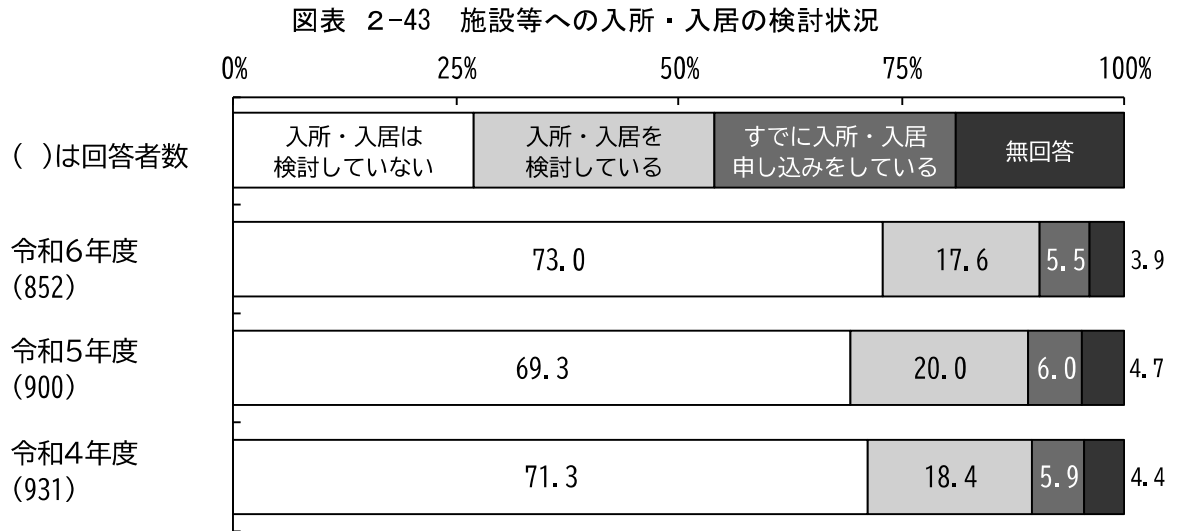


3 過去3年間の比較

(1) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況の3年間の推移をみると、「入所・入居は検討していない」は令和4年度 71.3%、令和5年度 69.3%、令和6年度 73.0%となっています。

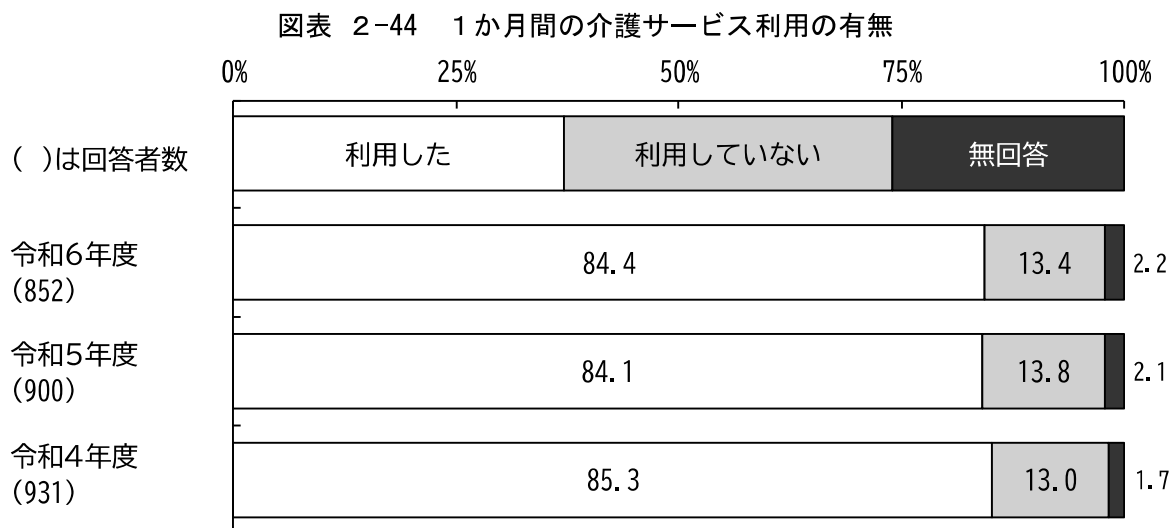
「入所・入居を検討している」は令和4年度 18.4%、令和5年度 20.0%、令和6年度 17.6%となっています。



（２）１か月間の介護サービス利用の有無

１か月間の介護サービス利用の有無の３年間の推移をみると、「利用した」は令和４年度 85.3%、令和５年度 84.1%、令和６年度 84.4%となっています。

「利用していない」は令和４年度 13.0%、令和５年度 13.8%、令和６年度 13.4%となっています。

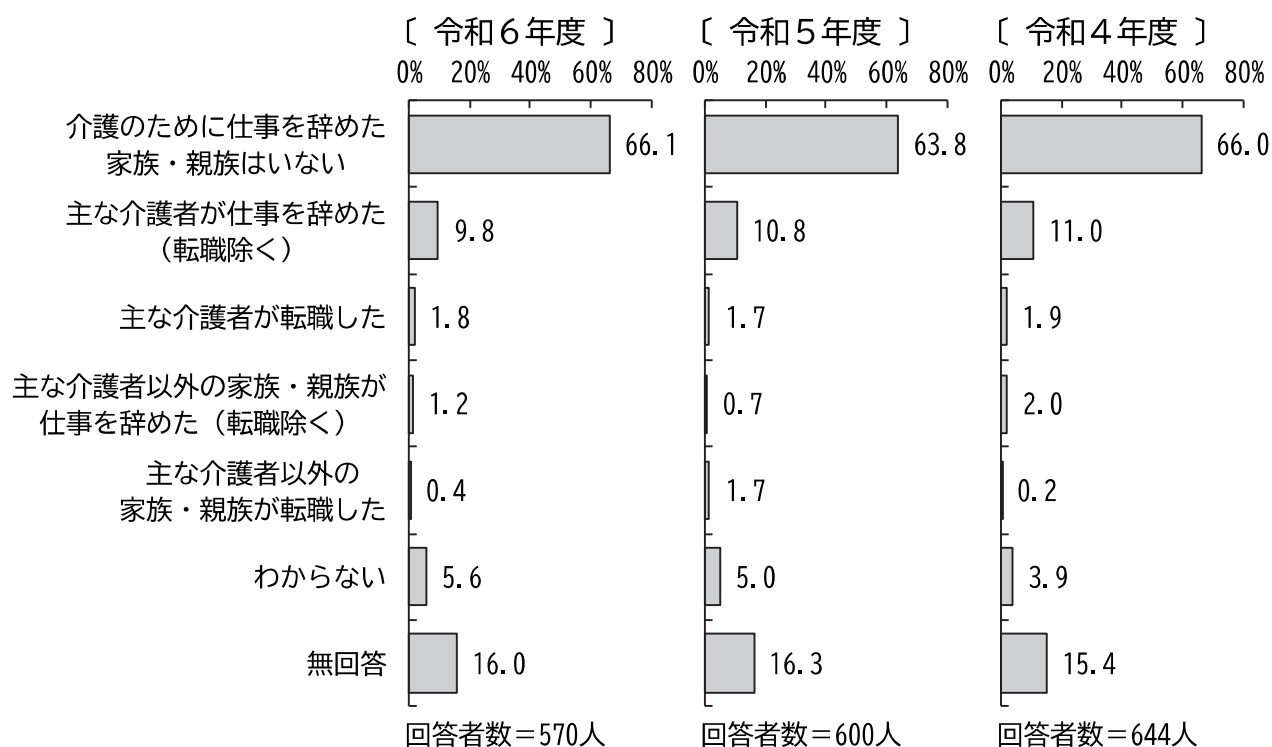


（３）介護を理由に過去１年間で仕事を辞めた家族・親族

介護を理由に過去１年間で仕事を辞めた家族・親族の３年間の推移をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は令和４年度 66.0%、令和５年度 63.8%、令和６年度 66.1%となっています。

「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は令和４年度 11.0%、令和５年度 10.8%、令和６年度 9.8%となっています。

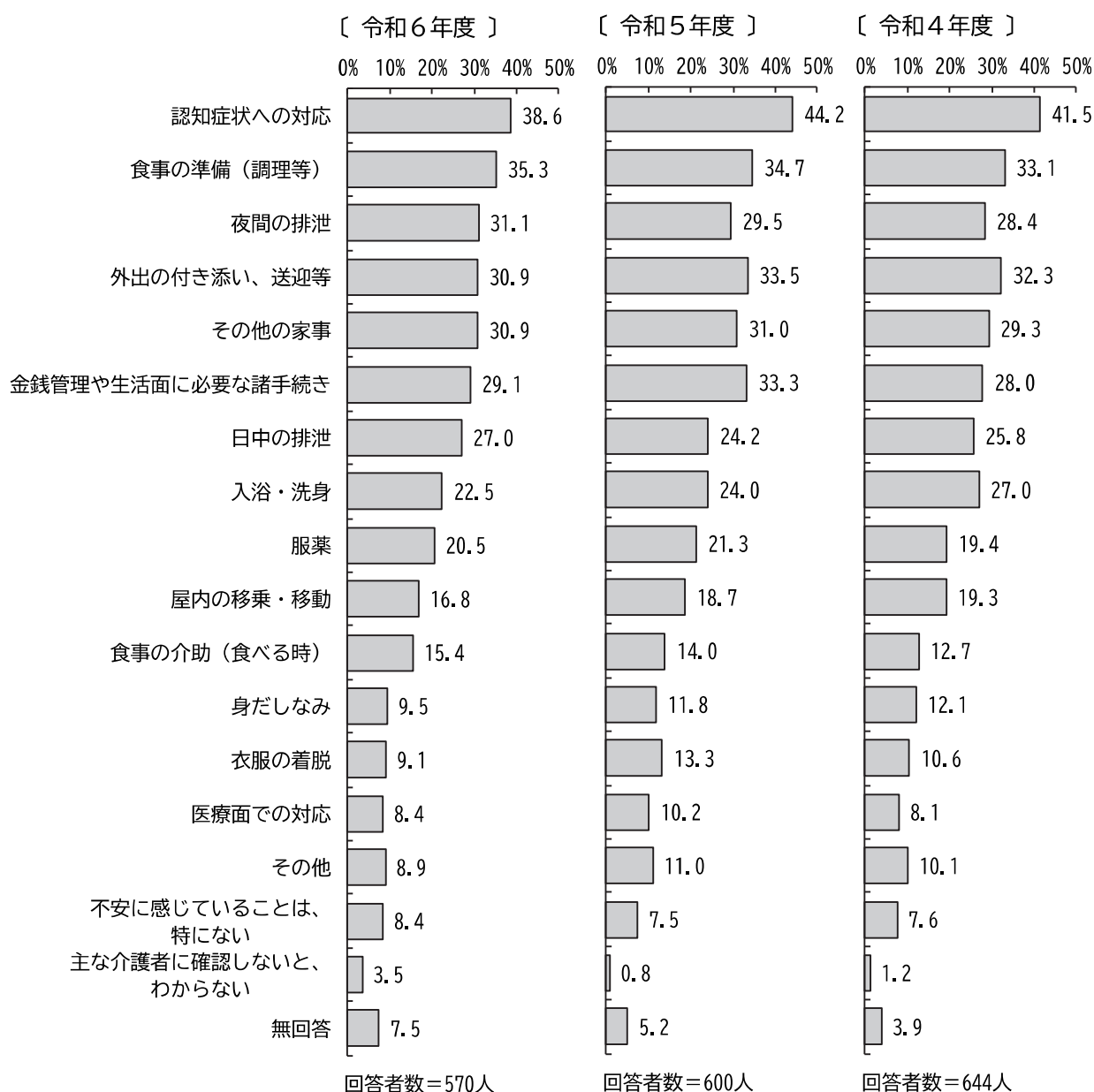
図表 2-45 介護を理由に過去１年間で仕事を辞めた家族・親族



（４）主な介護者が不安に感じる介護

主な介護者が不安に感じる介護の3年間の推移をみると、3年間を通じて増加しているのは「食事の準備（調理等）」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」となっています。

図表 2-46 主な介護者が不安に感じる介護

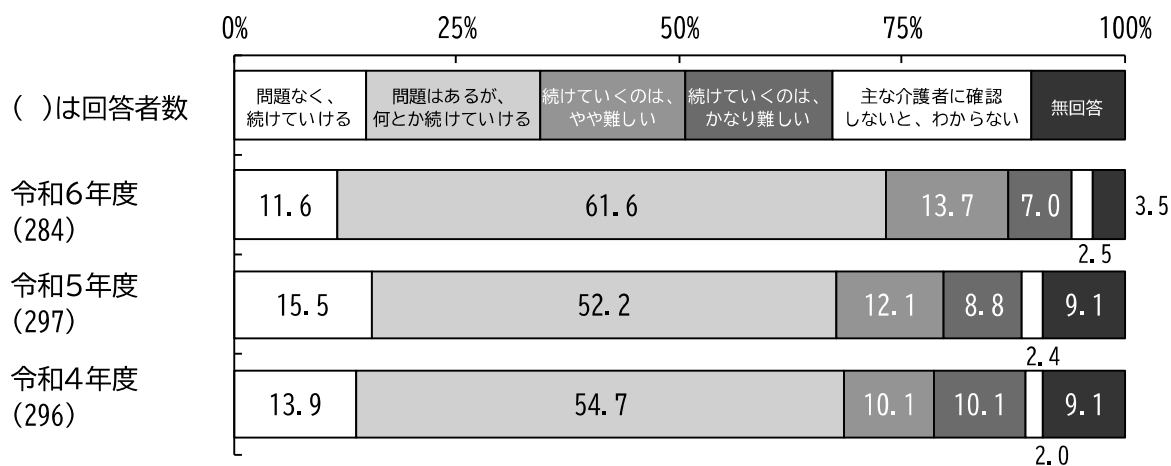


(5) 働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み

働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込みについて3年間の推移をみると、『続けていける』は令和4年度 68.6%、令和5年度 67.7%、令和6年度 73.2%となっています。

『難しい』は令和4年度 20.2%、令和5年度 20.9%、令和6年度 20.7%となっています。

図表 2-47 主な介護者の今後の見込み



※『続けていける』＝「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」

※『難しい』＝「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」

メモ



第3章 調査票

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

【調 査 票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- あて名のご本人がお答えになれない場合、ご家族の方等が、ご本人に代わり、ご記入ください。
- 調査票や返信用封筒には住所・氏名の記入は不要です。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、令和6年8月5日（月）までに郵便ポストに投かんしてください。

記 入 日	令和 6 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄） 3. その他（）	
あなたの性別と、令和6年7月1日現在の年齢をお答えください。	
1. 男性 2. 女性 3. その他 歳	

あなたの要介護認定の状況をお答えください。

1. 要支援 1	2. 要支援 2
3. 介護予防・日常生活支援総合事業対象者（※）	
4. 上記のいずれの認定も受けていない	

※高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)で「65歳からのいきいき元気度チェック(基本チェックリスト)」を受け、介護予防の支援が必要と判断された方です。

令和6年度 葛飾区

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な高齢者施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、高齢者施策の検討、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、葛飾区で適切に管理いたします。
- ただし、上記計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する葛飾区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | ※孫を含む3世帯の場合は「その他」に○をしてください |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)

①【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

- | | | |
|--|---|--------------------------------------|
| 1. 脳卒中 <small>(のうそっちゅう)</small> (脳出血・脳梗塞等) <small>(のうしゅつけつ・のうこうそく)</small> | 2. 心臓病 | 3. がん(悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 <small>(はいきしゅ)</small> (肺気腫・肺炎等) | 5. 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6. 認知症 <small>(にんちしょう)</small> (アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 <small>(とうようびょう)</small> |
| 9. 腎疾患 <small>(じんしつかん)</small> (透析) | 10. 視覚・聴覚障害 <small>(しかく・ちようかくしょうがい)</small> | 11. 骨折・転倒 <small>(こっせつ・てんとう)</small> |
| 12. 脊椎損傷 <small>(せきついそんしょう)</small> | 13. 高齢による衰弱 <small>(すいじゃく)</small> | 14. その他() |
| 15. 不明 | | |

②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか

- | | |
|---|---|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small>
公営賃貸住宅 | 4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分くらい続けて歩いていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか	
1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2～4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか	
1. はい	2. いいえ
①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 病気	2. 障害 しょうがい のうそっちゅう こういしょう (脳卒中の後遺症等)
3. 足腰等の痛み	4. トイレの心配(失禁等)
5. 耳の障害(聞こえの問題等)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | |
| 12. タクシー | 13. その他 (|) |

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長

--	--	--

 cm

体重

--	--	--

 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物の忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 年金等の書類(区役所や病院等に出す書類)が書けますか		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞を読んでいますか		
1. はい	2. いいえ	
(11) 本や雑誌を読んでいますか		
1. はい	2. いいえ	

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか	
1. 趣味あり → ()	
2. 思いつかない	
(18) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり → ()	
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①～⑧それぞれに回答してください(それぞれ一つに○)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
(回答例)●●●のグループ	1	2	3	4	5	6
① ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための 通いの場(※)	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

※介護予防のための通いの場

筋トレや体操、脳トレ等、健康維持や認知症予防を目的とした活動を行う場所(団体)です。

(具体例) 通所型住民主体サービス実施団体やシニア活動マップ掲載団体、地域の自主グループ等

問6**たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

**(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)**

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 町会・自治会・高齢者クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）・区役所 | |
| 6. その他 | 7. そのような人はいない |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人（いない） | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7. その他 | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

- | | | |
|--|--|---|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつけつ・のうこうそく</small> 脳出血・脳梗塞等) |
| 4. 心臓病 | 5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病 | 6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 (<small>ししつじょう</small> 脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等) | | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の病気 | 10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の病気 (<small>こつそ</small> 骨粗しょう症・ <small>しょう</small> 関節症等) | |
| 11. <small>がいしょう</small> 外傷 (<small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等) | 12. がん (悪性新生物) | 13. <small>めんえき</small> 血液・免疫の病気 |
| 14. うつ病 | 15. <small>にんちしょう</small> 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 | 19. その他 () |

問8 住まいや暮らしの環境について

(1) あなたは現在の住まいに住み続けたいと思いますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

①【(1) で「1. はい」(現在の住まいに住み続けたい) の方のみ】
住み続けたい理由は次のどれですか (いくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 住み慣れた住まいだから |
| 2. 住み慣れた地域だから |
| 3. 家族が一緒又は近くに住んでいるから |
| 4. 友人・知人が近くに住んでいるから |
| 5. その他 () |

②【(1)で「2. いいえ」(現在の住まいに住み続けたいと思わない)の方のみ】
住み続けたいと思わない理由は次のどれですか (いくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 老後に備えたいから | 2. 家が老朽化しているから |
| 3. 災害が不安だから | 4. 一人で住むには不安があるから |
| 5. 家族に迷惑をかけたくないから | 6. 家賃の経済的負担が大きいから |
| 7. 家の維持管理が大変だから | 8. その他 () |

③【(1)で「2. いいえ」(現在の住まいに住み続けたいと思わない)の方のみ】
今後どのような場所で暮らしたいと思いますか (いくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 自宅を住み替えたい | 2. 子どもや親族との同居又は近居 |
| 3. 高齢者向け住宅 (※) | 4. 介護施設 (老人ホーム等) |
| 5. 医療機関 | 6. どこでもよい |
| 7. その他 () | |

④【すべての方にお伺いします】
現在の住まいに住み続ける上での不安はありますか (いくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. ない | |
| 2. 階段の昇り降りがつらい | 3. 室内に段差がある |
| 4. トイレや浴室が使いづらい | 5. 老朽化してきている |
| 6. 耐震性 | 7. 一人で住むのが不安 |
| 8. 更新等の手続きが難しい | 9. 家賃が高い |
| 10. その他 () | |

※高齢者向け住宅

手すりや緊急通報システム装置等、高齢者に配慮した設備を備えている住宅

(具体例) シルバーピア住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、

サービス付き高齢者向け住宅、シニア向けマンション等

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

問 10 高齢者総合相談センターについて

(1) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか

1. 知っているし、相談・利用したことがある
2. 知っているが、相談・利用したことはない
3. 知らない、聞いたことがない

※葛飾区では、地域包括支援センターが高齢者の方の相談窓口であることがわかるよう、「高齢者総合相談センター」という通称名を使用しています。

■ ■ ■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■ ■ ■

2 在宅介護実態調査

令和6年度 葛飾区 在宅介護実態調査 調査票

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 調査対象者本人 | 2 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3 主な介護者以外の家族・親族 | 4 その他 |

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦のみ世帯 | 3 その他 |
|--------|----------|-------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 65歳未満 | 2 65～69歳 | 3 70～74歳 | 4 75～79歳 |
| 5 80～84歳 | 6 85～89歳 | 7 90歳以上 | |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | |
| 3 要介護1 | 4 要介護2 | 5 要介護3 |
| 6 要介護4 | 7 要介護5 | 8 わからない |

問6 ご本人の収入は次のうちどれですか。(複数選択可)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| 1 仕事 | 2 年金(老齢年金等) | 3 預貯金の切りくずし |
| 4 利子・配当・株・不動産等 | 5 仕送り・援助 | 6 生活保護 |
| 7 その他 | 8 収入はない ⇒ 問8へ | |

問7へ

問7 問6で「1」～「7」と回答した方にお伺いします。

ご本人の1年間のおおよその手取り額(年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額)はどれくらいですか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1 100 万円以下 | 2 101～200 万円 | 3 201～300 万円 |
| 4 301～400 万円 | 5 401～500 万円 | 6 501～1,000 万円 |
| 7 1,001 万円以上 | | |

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- | |
|---------------------|
| 1 入所・入居は検討していない |
| 2 入所・入居を検討している |
| 3 すでに入所・入居申し込みをしている |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問9 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|--|---|
| 1 脳血管疾患(脳卒中)
<small>のうけっかんしゅつかん のうそつちゅう</small> | 2 心疾患(心臓病) |
| 3 悪性新生物(がん) | 4 呼吸器疾患 |
| 5 腎疾患(透析)
<small>じんしゅつかん</small> | 6 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
<small>きんこつかくけいしゅつかん こつ そ しょう せきちゅうかんきょうさくしやう</small> |
| 7 膠原病(関節リウマチ含む)
<small>こうげんびやう</small> | 8 変形性関節疾患
<small>へんけいせいかんせつしゅつかん</small> |
| 9 認知症
<small>にんちしやう</small> | 10 パーキンソン病 |
| 11 難病(パーキンソン病を除く) | 12 糖尿病
<small>とうにょうびやう</small> |
| 13 眼科・耳鼻科疾患
(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14 その他 |
| 15 なし | 16 わからない |

問10 令和6年6月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 利用した ⇒次ページの間11へ | 2 利用していない ⇒4ページの間12へ |
|-------------------|----------------------|

問11 問10で「1 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和6年6月の1か月の間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1 利用して
いない)」を選択してください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週 1 回 程度	週 2 回 程度	週 3 回 程度	週 4 回 程度	週 5 回 以上
(※回答例)●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
B 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
C 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
D 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
E 通所介護 (デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
F 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
G 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上

	利用の有無(1つに○)	
H 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1 利用していない	2 利用した
I 小規模多機能型居宅介護	1 利用していない	2 利用した
J 看護小規模多機能型 居宅介護	1 利用していない	2 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月 1～7 日 程度	月 8～14 日 程度	月 15～21 日 程度	月 22 日 以上
K 短期入所(ショートステイ)	0 回	1～7 日	8～14 日	15～21 日	22 日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月 1 回 程度	月 2 回 程度	月 3 回 程度	月 4 回 程度
L 居宅療養管理指導	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回

問12 問10で「2 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2 本人にサービス利用の希望がない
- 3 家族が介護をするため必要ない
- 4 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5 利用料を支払うのが難しい
- 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8 サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
- 9 その他

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。

(複数選択可)

- | | | |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物(宅配は含まない) | 5 ゴミ出し | 6 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 移送サービス
(介護・福祉タクシー等) | 8 見守り、声かけ | 9 サロンなどの定期的な通いの場 |
| | 10 その他 | 11 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | | |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物(宅配は含まない) | 5 ゴミ出し | 6 外出同行(通院、買い物など) |
| 7 移送サービス
(介護・福祉タクシー等) | 8 見守り、声かけ | 9 サロンなどの定期的な通いの場 |
| | 10 その他 | 11 特になし |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問15 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1 ない	}	調査は終了です <u>B票へ進んでください</u>
2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない		
3 週に1～2日ある		
4 週に3～4日ある		
5 ほぼ毎日ある		

- A票の問16で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。
(複数選択可)

1 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3 主な介護者が転職した
4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6 わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

1 配偶者	2 子	3 子の配偶者
4 孫	5 兄弟・姉妹	6 その他

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20代 | 3 30代 |
| 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 |
| 7 70代 | 8 80歳以上 | 9 わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

〔生活援助〕

- 12 食事の準備(調理等)
- 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- 15 その他
- 16 わからない

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまで選択可)

【身体介護】

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

【生活援助】

- 12 食事の準備(調理等)
- 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

- 15 その他
- 16 不安に感じていることは、特にない
- 17 主な介護者に確認しないと、わからない

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------------|---|--------------|
| 1 フルタイムで働いている | } | 次ページの間8～間10へ |
| 2 パートタイムで働いている | | |
| 3 働いていない | } | 調査は終了です |
| 4 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(複数選択可)

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 3 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 5 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 6 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9 その他
- 10 特にない
- 11 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 問7で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |
| 5 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び
「在宅介護実態調査」結果報告書
令和6年（2024）年11月

葛飾区福祉部高齢者支援課／介護保険課

〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

TEL 03-5654-8256（高齢者支援課直通）

03-5654-8443（介護保険課直通）

この冊子は印刷用の紙へリサイクルできます。